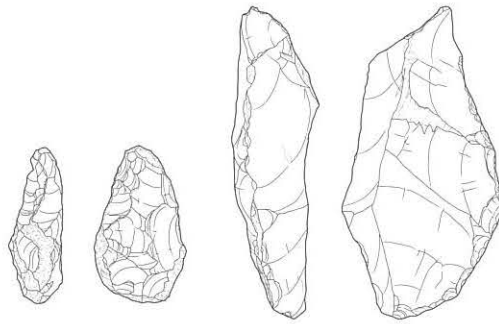


# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告15

(2017～2018年度：本荘北地区1708調査地点)



2020

熊本大学埋蔵文化財調査センター







# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告15

(2017～2018年度：本荘北地区1708調査地点)

2020

熊本大学埋蔵文化財調査センター





1. 本荘北地区 1708 調査地点航空写真（東より）



2. 本荘北地区 1708 調査地点航空写真（西より）



3. 本荘北地区 1708 調査地点航空俯瞰写真 (南より)



4. 本荘北地区 1708 調査地点東側土層断面 (南西より)



## 序 文

本報告書は、2017～2018年度の調査成果の一部である。

その主要なものは、本荘北地区の附属病院旧管理棟および旧外来臨床研究棟の取り壊しにともなう調査—1708調査地点で発見された日向と熊本城を結ぶ日向往還の旧ルートと考えられる道路跡に関するものである。日向往還の旧ルートが考古学的に確認されるのは初めてであり、2018年12月から2019年4月に速報展示「発掘されたメインストリート」を開催して解説し、新聞社等にも取り上げられた。道路遺構の発掘調査に主に携わったのは、吉留広調査員である。是非とも道路遺構に関する詳細を御味読いただきたい。

なお、2017年11月・12月には、「熊本地震」の復興事業で繁忙を極めたために、鹿児島大学埋蔵文化財調査センターの新里貴之助教に派遣職員として発掘調査の御支援をいただいた。新里助教には1708地点の発掘調査にも参加していただいた。新里助教ご本人はもちろんのこと、発掘調査業務での大学間の派遣職員という恐らく初めての試みの実現に御尽力くださった関係各位に改めて御礼申し上げたい。

2020年3月

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター  
センター長 伊藤正彦

## 例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査センター（平成23年10月1日に「熊本大学埋蔵文化財調査室」より改組）が2017年度から2018年度にかけて実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2017・2018年度に埋蔵文化財調査センターが実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、1件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点について、下記のとおり報告する。  
Ⅱ章：本荘北地区 1708調査地点
4. 以上の調査を実施した2017・2018年度の埋蔵文化財調査センターの組織と調査体制は以下のとおりである。  
センター長：伊藤正彦（文学部教授）  
調 査 員：大坪志子（センター准教授）・山野ケン陽次郎（センター助教）・吉留広（技術補佐員）・土野雄貴（技術補佐員）  
事務補佐員：濱田春美
5. 遺物番号として通し番号を1から付けており、写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文中、Ⅰ章は山野が、Ⅱ章は吉留・山野が、自然科学分析の文章はバリノ・サーヴェイ株式会社が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図は、大坪、土野、山野、吉留、横田光智（株式会社有明測量開発者）が作成した。
8. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、小山正子、首藤優子、末吉美紀、園田智子、吉留広が作成した。
9. 本書に使用した図版の製図は、Adobe社の「Illustrator」と「Photoshop」を使用して、吉留、山野、鬼塚美枝、増井弘子がおこなった。
10. 遺構実測及び製図には手描きによる記録とともに、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は、吉留と横田が撮影した。航空写真は株式会社埋蔵文化財サポートシステムが撮影した。遺物写真は、吉留、小山、末吉が撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、吉留、首藤が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。
14. 本書で使用した調査地点配置図および遺構図の座標は世界測地系による。
15. 出土した遺物への注記は遺跡略号+調査地点番号+出土遺構（位置）の順でおこなった。
16. 土層・遺物の色調観察は「小山正忠・竹原英雄編著『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社」に基づく。
17. 本書の編集は、吉留・山野がおこなった。

# 本文目次

## I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要 ..... 1
2. 調査に至る経緯 ..... 4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡 ..... 5

## II 本荘北地区の調査

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)
  - (1) 調査の目的と経過 .....27
  - (2) 調査区の基本層序 .....29
  - (3) 検出遺構 .....36
  - (4) 出土遺物 .....89
  - (5) 近世道路遺構についての考察 .....96
  - (6) 111号溝内堆積物の自然科学分析 ..... 111

# 挿 図 目 次

- |  |  |
|--|--|
| 図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)..... 2              | 図12 64号道路 I 区西側硬化面 8 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....42                   |
| 図2 本荘北地区における調査地点位置図 (1/2000).....28                      | 図13 64号道路 II 区北側・南壁土層断面実測図 (1/50).....44                           |
| 図3 1708調査地点 I 区東壁土層断面実測図 (1/100) .....30                 | 図14 64号道路 II 区北側硬化面 1 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....45                  |
| 図4 1708調査地点 I 区南壁・II 区東壁土層断面実測図 (1/100).....32           | 図15 64号道路 II 区北側硬化面 2 - a・2 - b・3 検出遺構実測図 (1/150・1/50) .....46     |
| 図5 1708調査地点 II 区南側・西壁土層断面実測図 (1/100).....33              | 図16 64号道路 II 区北側硬化面 4 - a・4 - b・4 - c 検出遺構実測図 (1/150・1/50) .....47 |
| 図6 1708調査地点近世・近代遺構配置図 (1/400) ..... 34・35                | 図17 64号道路 I 区東側・102・183・217・265号道路・土層断面実測図 (1/50) .....49          |
| 図7 64号道路 I 区西側土層断面実測図(1/50) .....36                      | 図18 64号道路 I 区東側硬化面 1・2 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....50                 |
| 図8 64号道路 I 区西側硬化面 1・2・3 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....38      | 図19 64号道路 I 区東側硬化面 3・4 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....51                 |
| 図9 64号道路 I 区西側硬化面 4 検出遺構実測図 (1/50) .....39               | 図20 64号道路 I 区東側硬化面 5・6 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....52                 |
| 図10 64号道路 I 区西側硬化面 5 - a・5 - b 検出遺構実測図 (1/50) .....40    | 図21 64号道路 I 区東側硬化面 7・8 検出遺構実測図 (1/150).....54                      |
| 図11 64号道路 I 区西側硬化面 5 - c・6・7 検出遺構実測図 (1/150・1/50).....41 |  |

図22	64号道路 I 区東側硬化面 9・10 検出遺構 実測図 (1/150) ……………	55	図45	111号溝実測図 (1/50・1/150) ……………	82
図23	64・183・217・265号道路, 187・264号 溝土層断面実測図 (1/50) ……………	57	図46	314・320・323号溝・313号ピット実測図 (1/150・1/50・1/20) ……………	83
図24	183号道路路面 1・315号溝検出遺構実測 図 (1/250・1/200) ……………	58	図47	170号土坑墓実測図 (1/50) ……………	84
図25	183号道路路面 2・3 検出遺構実測図 (1/250) ……………	59	図48	214・215・219号土坑墓実測図 (1/50) ……………	85
図26	183号道路路面 4・5 検出遺構実測図 (1/250) ……………	60	図49	1708調査地点出土遺物実測図 1 (1/2・ 1/3) ……………	87
図27	184号溝・234号土坑実測図 (1/50・ 1/20) ……………	61	図50	1708調査地点出土遺物実測図 2 (1/2・ 1/3) ……………	88
図28	102号道路実測図 (1/150・1/50) ……………	62	図51	1708調査地点出土遺物実測図 3 (1/2) ……………	89
図29	107号土坑実測図 (1/50) ……………	63	図52	1708調査地点出土遺物実測図 4 (1/2・ 1/3・1/4) ……………	90
図30	56号溝実測図 (1/150・1/50) ……………	64	図53	1708調査地点出土遺物実測図 5 (1/2・ 1/3) ……………	91
図31	1708調査地点古墳時代・古代遺構配置図 (1/400) ……………	66・67	図54	1708調査地点出土遺物実測図 6 (1/3) ……………	92
図32	43・44号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	68	図55	1708調査地点出土遺物実測図 7 (1/2・ 1/3・1/4) ……………	93
図33	182・186号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	69	図56	1708調査地点出土遺物実測図 8 (1/3) ……………	94
図34	169号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	70	図57	1708調査地点出土遺物実測図 9 (1/3) ……………	95
図35	11・65号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	72	図58	慶長国絵図と正保国絵図 ……………	99
図36	71号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	73	図59	熊本屋舗轄割下絵図 ……………	100
図37	213・226号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	74	図60	熊本全図と1708調査地点検出道路遺構の 路線復元図 ……………	101
図38	247・254号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	75	図61	埋土⑫の不定方位法 X線回折チャート ……………	114
図39	311号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	76	図62	111号溝 B-B' 埋土13の主要珪藻化石群集 組成 ……………	115
図40	277号竪穴建物実測図 (1/50) ……………	77	図63	テフラ ……………	121
図41	276号道路実測図 (1/150・1/50) ……………	78	図64	珪藻化石 ……………	122
図42	159・163・167号溝土層断面実測図 (1/50) ……………	79			
図43	159・163・167号溝実測図 (1/150) ……………	80			
図44	209・210・111号溝実測図 (1/150・ 1/50) ……………	81			

## 図版目次

図版 1	1708調査地点 ……………	125
写真 1	A～F - 10～12グリッド掘削状況	

	(西より)	
写真 2	A～E - 1, AB - 1～9グリッド	

	掘削状況（西より）		（東より）
図版 2	1708調査地点…………… 126	写真19	64号道路 I 区西側硬化面 8 完掘状況（西より）
写真 3	N～S-1～4グリッド掘削状況（北東より）	写真20	64号道路 I 区西側ベルト A-A' 土層断面（北西より）
写真 4	C～E-0グリッド掘削状況（西より）	写真21	64号道路 I 区西側東壁 B-B' 土層断面（未調査区）（東より）
図版 3	1708調査地点…………… 127	写真22	64号道路 I 区東側硬化面 1 検出状況（東より）
写真 5	U-7～9グリッド掘削状況（東より）	写真23	64号道路 I 区東側硬化面 2 掘削状況（東より）
写真 6	J～N-13, 14グリッド掘削状況（東より）	図版 8	1708調査地点…………… 132
図版 4	1708調査地点…………… 128	写真24	64号道路 I 区東側硬化面 2 遺物出土状況（東より）
写真 7	N～P-8～10グリッド265, 264, 267, 183, 217号溝完掘状況（西より）	写真25	64号道路 I 区東側硬化面 3 検出状況（西より）
写真 8	V-2グリッド東側調査区断面（西より）	写真26	64号道路 I 区東側硬化面 4 検出状況（西より）
図版 5	1708調査地点…………… 129	写真27	64号道路 I 区東側硬化面 5 検出状況（西より）
写真 9	J～N-14グリッド南側調査区断面（北西より）	写真28	64号道路 I 区東側硬化面 6 検出状況（西より）
写真10	v-14, 15グリッド掘削状況（西より）	写真29	64号道路 I 区東側硬化面 7 敷石検出状況（西より）
図版 6	1708調査地点…………… 130	写真30	64号道路 I 区東側硬化面 8 検出状況（西より）
写真11	u～z-10～12グリッド掘削状況（西より）	写真31	64号道路 I 区東側硬化面 9 検出状況（東より）
写真12	64号道路 I 区西側硬化面 3 波板状痕跡検出状況（東より）	図版 9	1708調査地点…………… 133
写真13	64号道路 I 区西側硬化面 3 波板状痕跡 K 1～6 完掘状況（東より）	写真32	64号道路 I 区東側硬化面10側溝検出状況（西より）
写真14	64号道路 I 区西側硬化面 4 波板状痕跡 K 7～13完掘状況（東より）	写真33	64号道路 I 区東側硬化面10検出状況（西より）
写真15	64号道路 I 区西側硬化面 5-b 波板状痕跡 K31（左）K32（右）遺物出土状況（東より）	写真34	64号道路 I 区東側土層断面（I 区中央ベルト A-A）（西より）
図版 7	1708調査地点…………… 131	写真35	64号道路 II 区北側硬化面 1 検出状況（西より）
写真16	64号道路 I 区西側硬化面 5-c 完掘状況（西より）	写真36	64号道路 II 区北側硬化面 2 波板用痕跡 K73検出状況（北東より）
写真17	64号道路 I 区西側硬化面 6 完掘状況（東より）	写真37	64号道路 II 区北側硬化面 3 検出状況
写真18	64号道路 I 区西側硬化面 7 完掘状況		

	(西より)	写真59	169号竪穴建物竈土層断面(北東より)
写真38	64号道路Ⅱ区北側硬化面4K79補修痕検出状況(南東より)	写真60	169号竪穴建物硬化面検出状況(南より)
写真39	64号道路Ⅱ区北側硬化面4-2完掘状況(南より)	写真61	169号竪穴建物竈支柱掘方検出状況(南より)
図版10	1708調査地点…………… 134	写真62	11号竪穴建物完掘状況(西より)
写真40	183号道路HI-12グリッド帯状硬化検出状況(東より)	写真63	65号竪穴建物残存状況(南より)
写真41	183号道路N~P-8~10グリッド路面2帯状硬化検出状況(西より)	図版13	1708調査地点…………… 137
写真42	183号道路TU-8~10グリッド路面2検出状況(西より)	写真64	71号竪穴建物硬化面検出状況(南西より)
写真43	183号道路N~P-8~10グリッド路面3検出状況(東より)	写真65	213号竪穴建物硬化面検出状況(北より)
写真44	183号道路TU-8~10グリッド路面3P12~15検出状況(東より)	写真66	226号竪穴建物完掘状況(南より)
写真45	234号土坑獣骨出土状況(西より)	写真67	247・254号竪穴建物残存状況(北西より)
写真46	184号溝L-10グリッド完掘状況(北東より)	写真68	311号竪穴建物完掘状況(北より)
写真47	217号道路Q~S-10グリッド完掘状況(西より)	写真69	277号竪穴建物硬化面検出状況(北西より)
図版11	1708調査地点…………… 135	写真70	276号道路硬化面1検出状況(北より)
写真48	187号溝土層断面(南より)	写真71	276号道路硬化面2検出状況(東より)
写真49	187号溝上部K-12グリッド完掘状況(南東より)	図版14	1708調査地点…………… 138
写真50	187号溝K-12グリッド完掘状況(南東より)	写真72	276号道路硬化面3検出状況(北より)
写真51	102号溝TU-3グリッド硬化面検出状況(北より)	写真73	159号溝鉄分・マンガン層検出状況(北西より)
写真52	102号溝完掘状況(北より)	写真74	159号溝土層断面(北より)
写真53	56号溝F~I-1~3グリッド完掘状況(南西より)	写真75	163号溝土層断面(南より)
写真54	315号溝完掘状況(東より)	写真76	163号溝P-12グリッド鉄分・マンガン層検出状況(南西より)
写真55	107号土坑獣骨出土状況(南西より)	写真77	167号溝P-12グリッド遺物出土状況(南東より)
図版12	1708調査地点…………… 136	写真78	210号溝完掘状況(北より)
写真56	43号竪穴建物硬化面検出状況(西より)	写真79	323号溝完掘状況(南西より)
写真57	44号竪穴建物完掘状況(西より)	図版15	1708調査地点…………… 139
写真58	186号竪穴建物硬化面検出状況(南より)	写真80	218号溝K1~4完掘状況(西より)
		写真81	111号溝土層断面(南西より)
		写真82	111号溝Q-3グリッド白色埋土内

	遺物出土状況（南より）		写真89	219号土坑墓完掘状況（北東より）
写真83	111号溝Q～S-1～3グリッド鉄分・マンガン層検出状況（南より）		写真90	192・193・196号土坑完掘状況（南より）
写真84	111号溝J-12グリッド白色土検出状況（南西より）		写真91	313号ピット内獣骨出土状況（北より）
写真85	111号溝J-12グリッド鉄分・マンガン層検出状況（東より）	図版17	1708調査地点出土遺物1	141
写真86	170号土坑墓木棺木柩検出状況（南より）	図版18	1708調査地点出土遺物2	142
写真87	170号土坑墓完掘状況（南より）	図版19	1708調査地点出土遺物3	143
図版16	1708調査地点	図版20	1708調査地点出土遺物4	144
写真88	214・215号土坑墓完掘状況（北より）	図版21	1708調査地点出土遺物5	145
		図版22	1708調査地点出土遺物6	146
		図版23	1708調査地点出土遺物7	147

## 表 目 次

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表	1
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表	7
表3	1708調査地点出土遺物一覧表	103
表4	テフラ分析結果	113
表5	土壌化学分析結果	116
表6	珪藻分析結果	117





# I 構内遺跡と調査の概要



## 1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪（北・東・南）地区・宇留毛地区・本荘（北・中・南）地区・大江地区・渡鹿地区・京町地区・城東地区および新南部地区の8地区、市外の益城地区・合津地区の2地区の計10地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。本章ではこのうち、黒髪地区に相当する「黒髪町遺跡群」と、本書で報告する本荘地区に相当する「本庄遺跡」について詳細を述べる。

熊本大学の法学部・文学部・教育学部・工学部・理学部などが設置されている黒髪地区は、黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-88）に含まれている。本遺跡は、熊本市市街地の北東にそびえる立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面に位置しており、西を坪井川の作る中位段丘、南を白川右岸の低位段丘によって囲まれる。遺跡の範囲は東西約900m、南北約1000mであり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。

遺跡の発見は昭和10年（1935：以後和暦の後の括弧内に西暦を付す）、大学に隣接する熊本県立中学済々黌（現済々黌高等学校）の校庭から弥生時代の甕棺2基などが見つかり、下林繁夫・小林久雄により調査されたことに始まる（田添夏喜1986）。戦後、昭和40年（1965）には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学・高等学校）敷地内で、弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甎などが発見され、遺跡の重要性が再認識された（笠置1971）。埋蔵文化財調査センター（または埋蔵文化財調査室）による発掘調査でも、黒髪南地区の北西に位置する9704調査地点において弥生時代中期後半の須玖式と黒髪式を用いた甕棺墓群が見つかった（小畑・大坪編2008）。その後、0206調査地点でも汲田式の甕棺墓1基が発見され（大坪編2014）、1121調査地点でも黒髪式の甕棺墓が1基検出された（大坪編2013）。これにより熊本大学構内も含めて弥生時代中期の墓域が広範囲にわたり存在することが判明した。このように本遺跡は弥生時代中期の中九州に主として分布する「黒髪式土器」の標識遺跡として著名である。加えて、昭和58年（1983）に実施された済々黌高等学校内における調査によって、

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

No.	地区名(学部名等)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教等)	熊本市中央区黒髪2丁目40-1				
2	黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市中央区黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡群	集落址 墓地	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 近世・近代	
3	黒髪南地区(工・理)	熊本市中央区黒髪2丁目39-1				
4	宇留毛地区(学生寄宿舎・職員宿舎等)	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・ 平安	
5	本荘北地区(医学部附属病院・医学部等)	熊本市中央区本荘1丁目1-1				
6	本荘中地区(発生医学研究所、エイズ学研究所等)	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡(熊大病院敷地遺跡)	散布地 集落址 墓地	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・中世・ 近世・近代	
7	本荘南地区(保健学科等)	熊本市中央区九品寺4丁目24-1				周辺遺跡
8	大江地区(薬学部等)	熊本市中央区大江本町5-1		官衙址		周辺遺跡
9	渡鹿地区(課外活動施設)	熊本市中央区渡鹿4丁目1-1	大江遺跡群	集落址	奈良・平安	
10	渡鹿地区(職員宿舎)	熊本市中央区渡鹿1丁目16				
11	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡群	集落址	弥生・近世	
12	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市中央区城東町5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関遺遺構	近世	
13	新南部地区(教育学部新南部農場)	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
14	益城地区(地域共同ラボラトリー)	上益城郡益城町田原2081-7	上面ノ平遺跡	散布地	縄文～中世	
15	合津地区(沿岸域環境科学教育研究センター)	上天草市松島町合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度調査により貝塚でないと判明

※遺跡の種類、時代は近年の調査成果を反映させた。

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

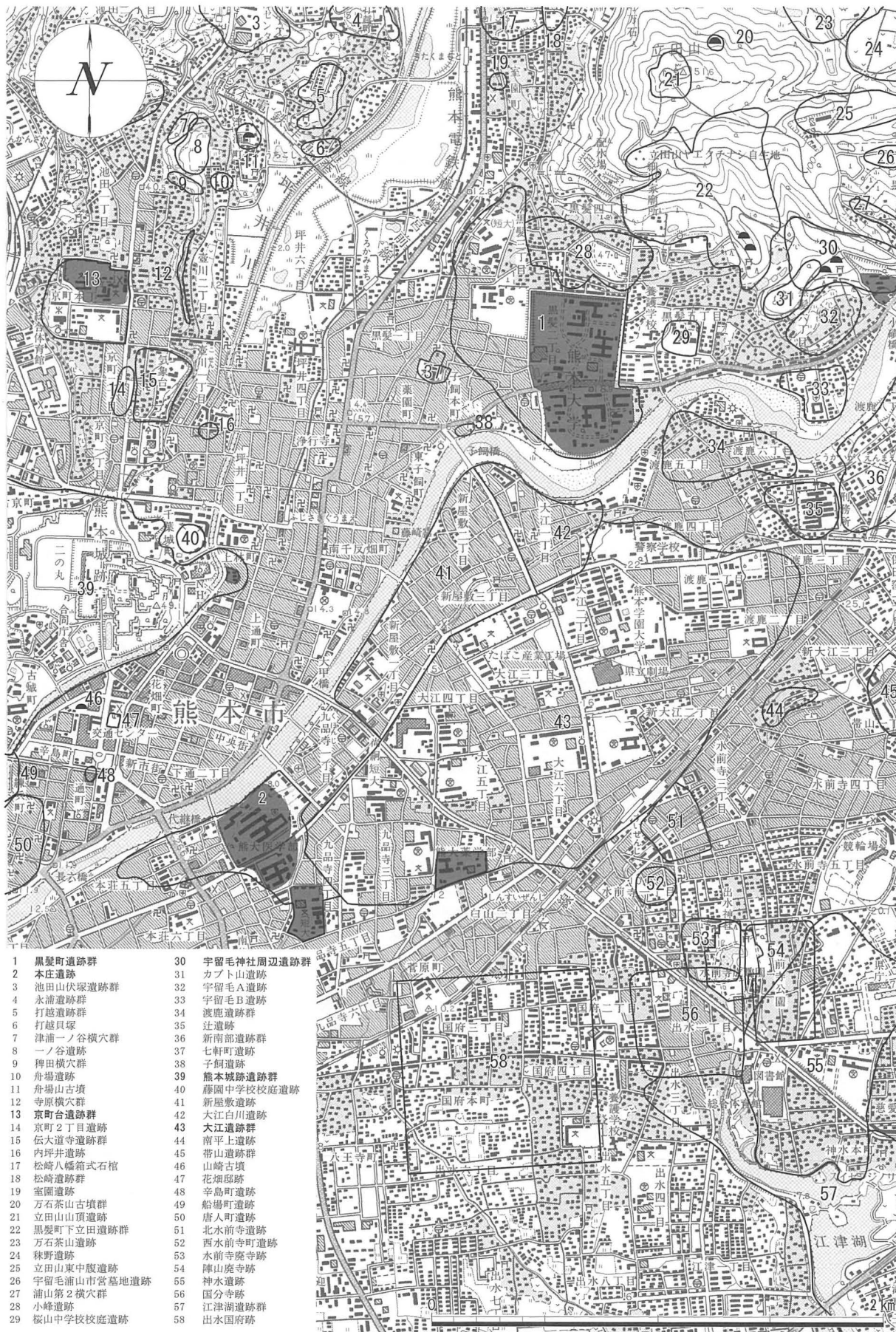


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

古代の竪穴住居址や「寺門」銘の墨書土器が出土するなどし（田添 ibid）、古代飽田郡における拠点的性格をもつ遺跡である可能性が示されるようになった（新熊本市史編纂室編1996）。また、同地域は古代の官道や駅伝制の研究上、『延喜式』に記された西海道上の駅である「養蚕駅」、あるいは旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1979・木下1995）。鶴嶋俊彦は肥後国北部の古代官道について分析する中で、本センターによる黒髪南地区9603調査地点における発掘成果を受け、南北方向に走る2本の溝が駅路の側溝であるとの見解を示し、周囲の掘建柱建物との関係性も含め、熊本大学構内に蚕養駅の駅家が存在した可能性に言及した。近年の大学構内の調査では、黒髪北地区や南地区から古代の竪穴住居や掘建柱建物が広い範囲に確認されており、飽田郡家や駅家に関連する集落と考えられる。さらに、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司建部公の居所であり、飽田郡家として比定されるなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡群は古代律令制下の駅伝制を考える上で極めて重要である。

また本遺跡では、熊本市教育委員会や当センターにおける調査の蓄積により縄文時代の文化層が広い範囲で確認されている。黒髪北地区9802調査地点（小畑編2009）や黒髪南0302調査地点（小畑・大坪編2011）では縄文時代早期の押型文土器や条痕文土器が当時地山と考えられていた土層中から出土した。その後の黒髪地区の各調査地点では、古代の包含層中や地山と想定していた土層から縄文時代後・晩期の土器が少なくながらも発見されている。このほか、2006年に熊本市教育委員会により実施された黒髪町遺跡群第4次調査では、阿高式土器や南福寺式土器が一定量得られており、遺構の検出こそなかったものの、小規模な集落の端部に位置するものと報告されている（美濃口編2008）。このように縄文時代の資料が増加する中、2013・2014年度には大きな調査成果が上がった。黒髪南地区の東側、理学部棟周辺のライフライン再生工事に伴う発掘調査が実施され、白川右岸の平野部から出水式・御手洗A式土器など縄文時代後期前葉を主体とする文化層と、配石墓に埋葬された縄文人骨などが発見されたのである（山野編2019）。御手洗A式土器は西北九州から中九州にかけて分布する縄文時代後期前葉の土器だが、出土数が少なく全容が不明瞭であった。調査では器形全体を復元できる資料が出土しており、層位的な調査が実施されたことから、本調査成果が縄文時代後期前葉の土器の変遷と集落や文化様態の解明の一助となると思われる。また、縄文人骨が貝塚や洞穴遺跡などの人骨が残存しやすい立地・条件下ではなく、平野部で発見されたことも重要である。人骨は矮小な調査区から3体（うち1体は未調査）検出されており、調査区周辺が墓域であった可能性が高い。

近年では本地区における近代の調査事例でも重要な成果を得ることができている。熊本大学の黒髪北地区は明治23年（1890）に設立した第五高等中学校・高等学校の敷地を引き継いでおり、その南側に対面する黒髪南地区は明治39年（1906）に設立した熊本高等工業学校の敷地を含む。そのため、大学構内には明治から大正にかけての煉瓦建造物が複数現存している。このうち黒髪北地区に所在する五高記念館、化学実験場、正門と、黒髪南地区に所在する工学部研究資料館はいずれも煉瓦造りで国の重要文化財に指定されている。また、黒髪南地区の本部棟（旧熊本高等工業学校本館）は大正期に建てられた初期の鉄筋コンクリート建築であり、登録有形文化財に登録されている。2015年度にはこの建物周囲の発掘調査を実施しており、周辺から煉瓦の基礎が広い範囲で発見された（山野編2016）。これらは明治41年（1908）に竣工した熊本高等工業学校旧本館の建物基礎であることが判明し、周囲からはこの建物が大正12年（1923）に全焼した際の溶けたガラスや木片、生活道具などが出土した。この他、黒髪北地区1528調査地点では第五高等学校の寮である「習学寮」の浴室・炊事場の煉瓦基礎が検出され、レンガに「熊本監獄製造印」が押されていることが確認できた（松田・大坪編2017）。これら煉瓦の積み方や刻印、法量などは近代熊本の建築や煉瓦生産の実態について様々な知見を与え

## 2. 調査に至る経緯

てくれる（山野2018）。熊本監獄に関する遺構として黒髪南地区1309調査地点では、明治から大正期にかけての囚人墓地が多数発見されており、近代にかけて大学敷地における土地の利用状況の多様さが明らかになっている（山野・柴田編2017）。

医学部附属病院・医学部が所在する本荘北地区および研究・開発施設が所在する本荘中地区、そして医学部保健学科が所在する本荘南地区は、本庄遺跡（熊本大学病院敷地遺跡：熊本市埋蔵文化財地図No.8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡群と同じく熊本平野を形成する扇状地形を東西に流れる白川の低位河岸段丘上に立地する遺跡であり、標高は12～13mである。附属病院の所在する白川左岸よりの地点は標高が高く、本荘中地区のある南東部へ向かって地形が緩やかに傾斜する。敷地内には白川より分岐した小河川（三の井手）が暗渠となって流れている。1963年頃、本学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦類が採集されており、遺跡としての認定を受けた。また、敷地東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集されており、遺跡包蔵地が敷地外に広がることが想定された。しかし、その後学術的発掘調査は実施されず、遺跡の詳細については本学埋蔵文化財調査室による調査が開始されるまで不明であった（以上、松田・大坪編2017を引用・一部改変）。

1995年には、本荘南地区においてR I 総合センター遺伝子実験施設の建築に伴う発掘調査が熊本大学埋蔵文化財調査室により実施され、古代の竪穴建物や須恵器・土師器といった遺物が確認された。これにより遺跡の範囲が南北500m、東西500mを超えるものと推定された（小畑編1995）。1996年からは大学の現地再開発事業に伴う発掘調査が開始され、これまでに本荘北地区を中心として様々な考古学的知見を得ることができた。本荘北地区の各調査地点では縄文時代の土器や石器、弥生時代の溝などが検出されているが、遺跡の主体ではなく散発的なものに留まる。ただし、0411調査地点での調査では縄文時代後期後葉から晩期にかけての縄文土器片がまとまって出土しており、縄文時代の文化層が今後確認される可能性もある（松田・大坪編2017）。本荘北地区の北西側では9901調査地点、0006調査地点、0104調査地点、0119調査地点等では、中・大規模工事に伴って発掘調査が実施され、古墳時代前期や古代を中心とした竪穴建物や掘立柱建物、溝などの遺構や遺物が密に分布することが確認されている（大坪編2000・2010）。本荘北地区では古代の溝や水溜状遺構など水路と思わしき遺構も多く確認され、近世の畑や水田床土も広い範囲で検出されることから、白川から水が引かれるなどし、古くから水田として利用されてきたことが想定できる（大坪編2010）。2014年には本荘北地区1321調査地点において、上述した現在の三の井手の脇から間知石を利用した石垣が発見されている。間知石の形態から江戸時代後期頃のものと考えられ、本石垣は現在の三の井手の前身と推測される（山野編2016）。また、本荘北地区の東側にあたる9601調査地点、1104調査地点では、仙崇寺に係ると考えられる明治期以降の近代墓地が400基以上発見されており、これに伴う六道銭や泥面子などの優良な資料が得られている（大坪編2013）。

以上、熊本大学黒髪地区および本荘地区について遺跡の概要と近年の調査成果について触れた。本荘地区を含む本庄遺跡は縄文時代から近代の遺物・遺構を包含する複合遺跡であり、その内容は多岐にわたっている。本報告においては、本荘地区1地点について掲載している。

## 2. 調査に至る経緯

熊本大学の熊本市内の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年（1985）に当時の熊本県知事から

校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年（1993）に現地再開発することが決定され、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年（1993）10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まったところ、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ外向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年（1994）4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。

平成23年（2011）10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。これを契機とし、埋蔵文化財の発掘調査を主体的業務としながらも、『速報展示』や『地下の文化財散歩』の開催など、これまでの調査成果を用いた活用事業にも尽力している。経緯の詳細については『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』等を参照されたい（以上、山野編2019を引用・一部改変）。

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

平成7年（1994）以後、平成30年（2018）3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から平成29・30（2017・2018）年度に実施した本荘北地区における熊本大学（医病）基幹・環境整備（旧管理棟等取壊し）工事に伴う

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

発掘調査（1708調査地点）に関する遺構・遺物について報告する。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。

#### (引用・参考文献)

- 大坪志子編 2000『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』6 -1999年度- 熊本大学埋蔵文化財調査室  
大坪志子編 2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VI 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 大坪志子編 2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IX 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第9集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 大坪志子編 2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』X 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己編 1995『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』2 -1995年度- 熊本大学埋蔵文化財調査室  
小畑弘己編 2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』V 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己・大坪志子編 2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』IV 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己・大坪志子編 2011『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』VIII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第8集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 笠置英行 1971「九州女学院遺跡」『熊本市北部地区文化財調査報告書』熊本市教育委員会
- 木下良 1979「第六節 肥後国」『古代日本の交通路』IV pp.99-130 大明堂
- 木下良 1995「肥後国府の変遷について」『古代文化』9-27 pp.1-19 古代学協会
- 新熊本市史編纂室編 1996『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室
- 田添夏喜 1986『黒髪町遺跡多士会館敷地発掘調査報告 黒髪町遺跡』財団法人多士会館
- 鶴嶋俊彦 1997「肥後国北部の古代官道」『古代交通研究』第7号 pp.39-66 古代交通研究会
- 松田光太郎・大坪志子編 2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XII 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 美濃口雅朗編 2008『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書集』平成19年度 熊本市教育委員会
- 山野ケン陽次郎編 2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 山野ケン陽次郎編 2018「第三章 平成28年度熊本地震に係る煉瓦等落下物に関する調査報告」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』23 pp.49-57 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 山野ケン陽次郎・柴田亮編 2018『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XIII 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 山野ケン陽次郎編 2019『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』14 熊本大学埋蔵文化財調査センター



表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94・4・15～17	9401	(黒北) 運動場整備(照明塔建設)工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報1
94・4・21	9402	(黒北・南) 基幹整備(教育学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報1
94・4・25	9403	(黒北・南) 地区基幹整備(工学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報1
94・5・13～14	9404	(黒北) 福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報1
94・5・17～6・25	9405	(京町) 附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告I
94・5・20・23・24	9406	(黒北) 武夫原運動場整備(集水橋埋設)工事	発掘調査	100㎡	古代		年報1
94・5・23～7・28	9407	(黒北) 福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		本報告I
94・8・1～8・10	9408	(渡鹿) グラウンド集水橋整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告I
94・8・11	9409	(黒北) 武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし・土師器片	年報1
94・8・12	9410	(京町) 附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報1
94・8・22	9411	(黒北) 基幹整備(附属図書館スロープ取設)工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず・遺構・遺物なし	年報1
94・9・12～10・31	9412	(黒南) 工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代堅穴住居址・古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告I
94・11・14～12・22	9413	(渡鹿) グラウンド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址・道路址・古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告I
95・1・17～21	9414	(黒北) 福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・1・9～11・1・26～2・1	9415	(黒南) 工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・2・27	9416	(城東) 附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・3・15～23	9417	(黒南) 福利施設設備工事					
1995年度							
95・4・25～5・2	9501	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代堅穴住居址・柱穴・溝・縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95・5・9～10	9502	(黒南) 工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・15～16	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・29/30 6・21	9504	(黒南) 工学部研究実験棟新営電気設備(その2)に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・21		(黒南) 工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・22	9508	(黒南) 事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・9・8～10・12	9509	(合津) 理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石・縄文早期土器・石器	年報2
95・11・2	9510	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認・古代土器片	年報2
95・11・6～8	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・堅穴住居址・古代土師器・須恵器	年報2
95・11・13～16	9512	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う排水枘設置	発掘調査	60㎡	古代	古代堅穴住居址・柱穴・包含層・縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95・11・17	9513	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・11・17	9514	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95・11・21～22	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95・11・22	9515	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
95・11・24	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・11・28～29	9516	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴・縄文土器片・古代土師器	本報告I
95・12・1	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・12・4	9517	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・12・5	9518	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・12～14	9519	(黒南) 工学部研究実験棟新営I期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝・古代土師器・須恵器	年報2
95・12・18	9520	(黒北) 教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・25～96・2・22	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形堅穴遺構・土壇・縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告I
96・3・1	9521	(黒南) 工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壇・ピット・弥生中期土器	年報2
96・3・8	9522	(黒北) 文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
96・3・21	9523	(城東) 教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96・3・25～26	9524	(京町) 教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96・4・19	9601	(本荘北) 医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝・古代土師器・須恵器	本報告IV
96・5・10	9602	(黒北) 法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

96-5-10~6-24	9603	(黒南) 工学部校舎建設	発掘調査	1,000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・土壌・柱穴、縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告IV	
96-5-13	9604	(黒北) 教育学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近代	遺構・遺物なし	年報3	
96-5-14	9605	(京町) 教育学部附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14㎡	近代	磁器	年報3	
96-5-15	9606	(大江) 薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3	
96-6-17	9607	(黒北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層確認、古代須恵器	年報3	
96-6-19	9608	(黒南) 工学部 RI 実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-5	9609	(黒北) 入試保管庫建設工事(試掘)	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-6~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事(1・2・3区)	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期堅穴住居址・古代堅穴住居址、古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-8-22~27	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(4区)	発掘調査	37.4㎡	古代	堅穴住居址・柱穴、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-8-29~30	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(5区)	発掘調査	28.2㎡	古代	竈址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-9-6	9610	(黒北) 教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-10-1~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(6区)	発掘調査	104.3㎡	古代	古代道路・堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-10-11~97-1-17	9601	(本荘北) 医学部校舎本体工事(本調査区)	発掘調査	1,686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壌・古代道路・堅穴住居址・掘立柱建物・土壌・近代墓地、縄文後期土器・古墳/古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告IV	
96-10-21~29	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(7-8-9区)	発掘調査	62.5㎡	古代	古代堅穴住居址・竈、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-11-12~13	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(10区)	発掘調査	21.8㎡	古代	古代堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-11-12	9611	(黒南) 工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-12-18	9612	(黒南) 工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-3~31	9613	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-7	9614	(黒南) 工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報3	
<b>1997年度</b>								
97-4-8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認・遺構なし、古代土器片	年報4	
97-5-7	9702	(黒南) 理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管理設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-5-28	9703	(本荘北) 医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-7-28~11-4	9704	(黒南) 工学部校舎新営工事	発掘調査	1,783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代竈棺墓・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓、弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報4	
97-10-29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-10-22	9706	(黒北) 法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-11-11~98-3-31	9707	(本荘北) 医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地、古代土壌・柱穴、甕・人骨・墓石等・古代土器	年報4	
98-1-30~2-12	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報4	
98-2-3~2-13	9709	(黒南) 管財係黒髪6号宿舍取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認・遺構なし、磨耗した古代土器	年報4	
<b>1998年度</b>								
98-4-14	9804	(黒南) 工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報5	
98-6-26~7-2	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報5	
98-7-6	9801	(本荘南) 同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5	
98-7-13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報5	
98-7-28~9-10	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文・古代・近世	堅穴住居址・掘立柱建物・溝・土坑	本報告V	
98-9-21~22	9803	(黒北) 文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報5	
98-9-25~11-6	9802	(黒北) 文化部室取設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壌・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告V	
98-9-28	9805	(本荘北) 大学病院棟棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5	
98-9-29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出、遺構・遺物なし	年報5	
98-9-30	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎ベッド支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層、柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-10-6	9808	(黒南) 工学部1・9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず、遺物なし	年報5	
98-10-28~11-20	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎ベッド支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石鏃等 古代堅穴住居址・土壌・溝・近代	本報告V	
98-11-2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず	本報告V	
98-12-14~18	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層、柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-12-16	9802	(黒北) 文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古代	遺構面確認・遺構・遺物なし	年報5	
98-12-17~99-1-10	9805	(本荘北) 大学病院棟棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古代	堅穴住居址、古代土器片	年報5	
99-1-12	9811	(黒南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5	

I 構内遺跡と調査の概要

99-1-21~3-25	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鏃等、古代堅穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告V
99-2-2	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99-2-10	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず、遺物なし	年報5
99-2-18	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認。遺構・遺物なし	年報5
99-2-9~3-9	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出。遺構・遺物なし	年報5
99-3-11~12	9812	(大江) 渡鹿団地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認。遺構・遺物なし	年報5
99-3-10~31	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古 代	一部包含層・遺構面確認(ピット)・遺物なし	年報6
<b>1999年度</b>							
99-4-5~8-31	9901	(本荘北) 病棟(軸) 新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴・溝・土壇墓・土師器・須恵器・鉄器・胎衣壺・土鏡・近代溝	本報告X
99-6-14~7-14	9902	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古 代	古代柱穴、溝、遺物を少量検出	年報6
99-6-17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ-2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99-7-19/26	9904	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古 代	遺構・遺物なし	年報6
99-7-29~7-30	9905	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99-7-2~8-7	9906	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古 代	古代溝6条、柱穴2個、古代土器片少量を検出	年報6
99-9-22~10-5	9907	(黒南) 工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期~晩期	ピット群、縄文土器片出土	本報告VI
99-11-24~25	9908	(黒東) 附属看護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが、遺構なし。近世磁器片	年報6
00-2-14~3-24	9909	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地、近世陶磁器、煙管、銅・鉄銭	本報告VI
00-1-25	9910	(本荘北) 血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		攪乱著しく、遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00-3-6~14	9911	(黒南) 水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	本報告X
00-3-14	9912	(黒南・東) 外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00-3-2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00-3-16~17	9914	(本荘南) さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
<b>2000年度</b>							
00-4-7	0001	(黒南) 水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-11	0002	(黒南) 水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-17	0003	(本荘北) 附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-23	0004	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-30	0005	(黒南) 工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事(Ⅰ区)	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳・古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本報告VI
00-11-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓地	近・現代墓石・墓壇・遺骨	年報7
00-11-27~29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-12-4~13	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅱ区)	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土壇状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告VI
00-12-8~01-1-10	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備電気設営工事(Ⅳ区)	立会調査	31.5㎡	古 代	遺構なし。土師器数点	年報7
00-12-19~20	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅲ区)	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古 代	住居址・土師器	本報告VI
00-12-26~28	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近代墓壇・墓石・遺骨	年報7
01-1-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅴ区)	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007	(京町) 附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01-2-5	0008	(黒北) 生涯学習境域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		攪乱のため遺物・遺構なし	年報7
01-2-6~9	0009	(黒南) 理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古 代	包含層を確認、古代土師器・須恵器	年報7
01-2-16~19	0010	(黒北) 体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-2-22	0011	(大江) 旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-5~6	0012	(黒北) 外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-6	0013	(大江) 屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-22	0014	(黒北) 旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
<b>2001年度</b>							
01-4-9~7-3	0101	(本荘北) 附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1,733.75㎡	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鏃・土師器・須恵器	本報告VI
01-5-14	0102	(黒南) 基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告VI
01-5-14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-9~26	0102	(黒南) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄 文	縄文土器・寛永通宝・風倒木痕・防空壕	年報8

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

01-7-4~10-29	0104	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備 (共同溝設置)	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生 ・古墳・古 代	住居址・溝・縄文土器・弥生 土器・土師器・須恵器・石器・鉄 鏃・青銅器	本報告VI
01-7-13	0105	(京町) 正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-31	0107	(大江) 薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-1/13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-2/21	0109	(黒北) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-27	0110	(大江) 薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-4	0111	(本荘南) 医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2.78㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-8-22/9-4	0112	(黒北) 食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-14 10-1	0113	(本荘南) 医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-9-17	0114	(本荘北) 附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-10-19	0115	(黒南) 理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-10-22~ 02-2-19	0116	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備 (A~D地区・ボイラー設備更新等)	立会調査	426.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-12-8~02-2-9	0117	(本荘北) 医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古 代	住居址・柱基礎 土師器・須恵器	年報8
01-12-12~02-2-4	0118	(黒南) 基幹・環境整備 (特高変電設備等・植栽その他)	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02-2-25~ 3-20	0119	(本荘北) 医療用ガス供給設備空気取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳 ・古 代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文 土器・土師器・須恵器・鉄鏃	本報告VI
02-3-18	0120	(本荘北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,492.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02-3-18	0121	(本荘北) 附属病院西病棟(仕上II) 新営工事	立会調査	1,076.4㎡		溝?・遺物なし	年報8
02-3-22	0122	(本荘北) 附属病院西病棟電気設備工事(仕上II)	立会調査	54㎡		遺構・遺物なし	年報8
<b>2002年度</b>							
02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-4-15~16	0202	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-4-17	0203	(黒南) インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡			年報9
02-4-17	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡			年報9
02-4-24	0205	(黒南) 食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0.73㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-5-20~29	0206	(黒南) 総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		甕棺	本報告X
02-5-30~8-2	0203	(黒南) インキュベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近 世	畑址	年報9
02-6-3	0207	(黒南) 総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-6-12~8-14	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳 ・古 代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・ 土師器・須恵器	本報告X
02-7-2	0208	(黒北) 図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-8-29	0209	(京町) 附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-10-1~ 10-3,11-18	0210	(黒南) 工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏃	本報告X
02-10-7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新営工事(渡り廊下部分)	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02-12-3/5/11	0212	(黒南) 通用門拡張工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9
	0213	(本荘北) 総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-7	0214	(本荘北) 基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-18	0215	(大江) 薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-7	0217	(本荘南) 体育部室(プレハブ)新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03-3-11	0219	(本荘南) 塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9
03-3-26	0220	(新南部) 教育学部新南部農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古 代	住居址・柱穴・溝・古代土師器・ 須恵器	年報9
<b>2003年度</b>							
03-4-10	0301	(黒南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-4-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10
03-5-20	0303	(黒南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-6-2~7-2	0304	(本荘北) 基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・弥生 古墳・古 代	住居址・溝・縄文石器・土師器・ 須恵器・近代陶磁器	本報告IX
03-7-18	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-8-19	0305	(京町) 附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-8-6~9-12	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(Ⅰ区)	発掘調査	168.2㎡	縄文・古 代	溝・ビット・土坑・遺物包含層・ 縄文土器	本報告VII
03-9-4~9-8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-9-5	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-9-29	0308	(宇留毛) 小頑宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-10-2	0309	(本荘南) 動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-10-1~10-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	縄文・古 代	溝・ビット・陶磁器・土師器・須 恵器・縄文土器・石器	本報告VIII
03-10-27		(黒北) 教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-11-6		(薬) 記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古 代	土師器	年報10
03-11-17~28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-11-26	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(ガス管)	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10
03-12-9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡			年報10

I 構内遺跡と調査の概要

03・12・10	0311	(本荘北) 中央診療棟 (軸) 設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・14	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・15～19	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・23～27	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	古 代	溝・ビット・土師器	本報告Ⅶ
04・1・30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・9 04・2・16	0316	(黒南) 理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡			年報10
04・2・23	0317	(本荘北) 借樹の木移植	立会調査	16㎡			年報10
04・3・4	0318	(黒北) 附属養護学校門横水道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・5～9	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	中世・古代	溝・ビット・陶磁器・土師器	本報告Ⅶ
04・3・9	0319	(黒北) 井戸改修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	
04・3・9	0320	(黒北) 福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0321	(黒南) 外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0322	(黒南) 総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0323	(黒北) 教室新築工事 (空調機取設)	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0324	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0325	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・15	0326	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	
04・3・16	0327	(薬) 外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	
04・3・17	0323	(黒北) 教室新築工事 (植栽)	立会調査	8.92㎡	古 代	土師器・須恵器片	
04・3・22	0328	(京町) 教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	
04・3・19	0329	(黒北) 消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	
<b>2004年度</b>							
04・4・7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事 (渡廊下設置)	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・4・9		本荘団地北地区中央診療棟 (軸) 設営工事	試掘調査	10.44㎡	古 代	溝?・土師器	年報11
04・4・13～5・31 04・5・26	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事 黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	発掘調査 試掘調査	1,241.8㎡ 7.76㎡	古 代 古 代	土師器・須恵器・縄文土器 ビット・土師器	年報11 年報11
04・5・14 04・10・14	0403	本荘団地北地区中央診療棟 (軸) 設営工事	立会調査	150㎡	古 代	土師器	年報11
04・5・21	0404	薬学部地区植物園支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・25,28	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事 本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備工事	立会調査 試掘調査	68.48㎡ 10㎡	古 代・縄文	遺構・遺物なし 土師器・縄文土器・土壌	年報11 年報11
04・5・24,26 6・4 10・26～28 11・12,29	0406	薬学部地区宮本記念館 (仮称) 建設工事 (旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス配管・樹木移植)	立会調査	1,332.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・26	0408	宇留毛団地小噴宿舎揚水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・29 04・8・6 04・8・20	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古 代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・8・9 8・10～11 11・5,11	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・17～19,23 9・3 9・14～22 05・1・27～	0411	本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (ポンプ室・R I 実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連) 工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ビット	本報告Ⅷ
04・9・16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑標柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・1～28	0411	本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳・古 代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄鏃・勾玉・石器	本報告Ⅷ
04・11・26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・6	0422	本荘団地北地区中央診療棟 (軸) 工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古 代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・12・24	0423	黒髪団地北地区記念館 (木造) 取壊工事	立会調査	75.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・1・11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・1～2, 7～9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館前工事 (配管工事)	立会調査	160.08㎡	古 代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・21～3・30 5・9～6・10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1,170.4㎡	古 代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・4,8～9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84㎡	近 世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅銭	本報告Ⅳ
05・2・4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05-2-21~22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報11
05-2-21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報11
05-2-28,3-14,4-1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846㎡			
05-3-1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05-3-1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05-3-1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05-3-2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事(仮称)	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05-3-9	0435	黒髪南地区さく井設備工事(追加分)	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05-3-10,15,16,18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05-3-14-16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05-3-22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05-3-23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05-3-24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05-3-24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05-3-24	0442	(本荘北) 附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05-3-24	0443	(本荘北) 中央診療棟連絡棟II管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05-3-25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05-3-28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
<b>2005年度</b>							
05-4-19~20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事(追加)	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-4-27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-2-4~6-10	0425	(黒髪) 情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1,065.2㎡	縄文・古代	堅穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告Ⅲ
05-5-30, 6-4,5,14	0503	(本荘) 発生医学研究センター施設整備事業(外構)	立会調査	2,337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-7,10	0504	小碓宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-9,10,12	0505	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家前)	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-20	0506	(大江) 薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-21	0507	(本荘中) 敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-7-8	0508	(黒髪) 情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-7-13,14 7-19~9-30	0509	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	本報告Ⅴ
05-7-19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-8-1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-2~3	0513工④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-2~25	0513理②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-5~10	0513工⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-8~18	0513工①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18	0515	本荘団地(南地区) 駐車場環境整備工事(その2),追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18~23	0515工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-19~29	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-4	立会調査	259㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-23~29	0513工②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	65㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-29~30	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-30~9-1	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-1~13	0513理①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	堅穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05-9-1,20	0517	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・現在地)	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-4,5	0513理⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-12~27	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-14	0519	(黒髪北) 学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0513工⑭	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-5	立会調査	0.79㎡		包含層・ピット	年報12
05-9-15	0513工⑮	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0521	本荘団地(北地区) 台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-16~10-2	0513工②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-9-16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-27	0523	(医病) 中央診療棟(北上)	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-11~11-7	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2, 3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05-10-11	0524	本荘団地(北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-13,14 17,18	0525	(黒髪) 情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05-10-14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-19,20	0527	(黒髪北) 文学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12

I 構内遺跡と調査の概要

05-10-21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-25	0529	(医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-26	0530	薬学部温床室(苗床温室)補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0533	(黒北) ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-16.21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-29 12-15	0513工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	48㎡	古 代	住居址・柱穴	年報12
05-11-29 12-5	0513理⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	24㎡	古 代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-4	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	117.4㎡	古 代	土師器	年報12
05-12-7	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87㎡	古 代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05-12-9	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	25㎡	古 代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-12-12	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2, 5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-12	0535	教育学部新南農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05-12-13	0513工21	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工22	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工23	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工24	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0513理⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-15	0513理⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1, 2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-19.21.26 06-1-6-11 2-27-3-2	0538	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事(追加)	立会調査	70.235㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
05-12-22	0539	本荘団地(中地区)ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-26	0513理⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-4-19	0513理⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	89㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-1-5	0513理⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-10.25	0540	本荘団地(南地区)埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-17	0513工25	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-20	0513工26	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26 2-2.10.27	0541	(黒髪南) 理学部駐輪場整備工事(追加・再追加含む)	立会調査	1,110.6㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
06-1-23	0513工27	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-24	0513工28	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0513工29	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-27	0542	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動経路)	立会調査	146.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-30	0513工30	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-16.3-13	0544	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-24.3-7 3-8.13.16.17	0546	(黒髪) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-3-10	0547	(黒髪) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-13	0548	本荘団地(中地区)渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外污水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12

2006年度

06-4-11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0602	(黒髪北) 接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0603	(黒髪北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古 代	溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
06-4-11 4-12	0604	(黒髪北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古 代	住居址?・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
06-4-12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-18.19	0607	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-21	0608	(黒髪北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-11	0611①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-22.25	0611②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-22	0612①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古 代	柱穴・土師器	年報13
06-5-22-24	0612②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古 代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06-6-12	0614	(黒髪) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-22.28 7-3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13
06-6-27.7-7	0612③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0617	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・24・25	0611③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・8・31～9・1	0611④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古 代	溝・土師器	年報13
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・11	0611⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・12	0611⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・14,15	0611⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・9・20,21	0611⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0611⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2	0621	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・2.16 27.30 11・13	0622	(医病) 環境整備(西側駐車場等)工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古 代	土師器・須恵器・縄文土器	本報告Ⅶ
06・10・10,12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・16	0625	(医病) 基幹・環境整備(外灯)工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・19	0626	(医病) 基幹整備(ボイラー設備他更新)工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・17,27 12・4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古 代	土師器	年報13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・15,18～ 25,27,28 07・1・4～9	0612④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古 代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2,943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・25 07・4・2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・10,11,19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・18,22,23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古 代	土師器・須恵器・礫	年報13
07・1・30	0637	(本荘) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・1	0638	(宇留毛) ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・20	0639	(本荘) 医学部保健学科校舎CT用接接地气	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・1	0641	(本荘中) 医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・8	0643	(黒髪南) 理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古 代	土師器	年報13
07・3・8	0644	(南地区) 西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・20	0646	(医病) 環境整備(救急棟改修)機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・22	0647	(教) 附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・26	0648	(医病) 環境整備(山崎記念館外部改修)工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
<b>2007年度</b>							
07・4・10	0701	(教) 附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古 代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16,20	0703①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7,8	0704	(黒髪南) 新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古 代	土師器・須恵器	年報14
07・6・7		(医病) 東病棟新営工事	試掘調査				年報14
07・6・13	0705	(医病) 東病棟新営に伴う支障配線替工事(電気設備)	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19,21,27	0703②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26,29 7・10,18,19	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07・6・28	0708	(黒髪北) 大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	(本荘北) 仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6,14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	(京町) 教育学部附属小学校仮設校舎取設工事(変更)	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9,10	0703⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0711	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備)工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0703⑥-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14



I 構内遺跡と調査の概要

07・7・30～9・3	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ビット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告VII
07・8・7	0712	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告V
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	(黒髮南) 理学部1.2号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳 ・古代・近 世	縄文土器・土師器・須恵器・石 器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・ 宋銭	本報告V
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械 設備)工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～27 10・2	0703㉔	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.16	発掘調査	275.5㎡	古 代	住居土・ビット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・1.2	0718	(大江) 薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古 代	溝・土師器	年報14
07・10・4.15 16.22.25	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ビット・弥生土器 土師器	本報告V
08・1・30.31 2・13							
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ビット・溝・弥生土 器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告V 本報告XI
07・12・3～ 12・4.6.7	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代	竪穴住居・ビット・弥生土器・土 ・近世・近 代	本報告V
08・1・18							
07・12・5	0722	(黒髮) 工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5.11	0723	(黒髮) 工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7.10.12	0724	(本荘) 医学部基礎研究棟(C棟取り壊し)工事	立会調査	1,000㎡	古 代	土抗・ビット・土師器	年報14
07・12・7	0725	(京町) 教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10.17.18 08・1・16.17	0703㉓-1	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	148.75㎡	古 代?	ビット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代 ・近世・近 代	竪穴住居・ビット・近代土坑・弥 生土器・土師器・須恵器・近世・ 近代陶磁器	本報告
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16.17	0703㉑	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	(黒髮) 工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	(黒髮) 工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703㉒-2	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703㉑	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備事業-10	立会調査	204㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29.30	0703㉒-3	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	96.7㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・1.4	0703㉒-4	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	53.02㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・14	0729	(黒髮南) ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	(黒髮東) 教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	(黒髮南) 旧情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	(本荘) 特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11.26	0733	(医病) 旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	(黒髮北) 排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	(大江北) 薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	(黒髮南) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	(本荘南) 医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	(黒髮北) 出庫注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報14
<b>2008年度</b>							
08・4・2	0801	(医病) 旧中央診療棟とりこわし工事(追加)	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理舎ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	(本荘北) 駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	(黒髮南) ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6.19.23.26 7・4.10.18.28 8・25 12・1.8	0806	(黒髮) 南地区福祉施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古 代	土師器	年報15
08・6・20.25 ～7・1 7・28～30 12・4.18.19	0806	(黒髮) 南地区福祉施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古 代	溝・ビット・土師器・須恵器・近 代陶磁器・石器	本報告XII
08・6・9.10	0807	(本荘) 医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・18	0808	(黒髮北) 有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・23 7・1.3.4 7・15 7・16	0809	(黒髮南) 福祉施設樹木移植工事(追加)	立会調査/ 発掘調査	23.5㎡	古 代	溝・住居址・土師器・石器	本報告XII
08・7・10	0810	宇留毛田地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

08・7・11	0811	(黒髪南) 共用棟Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	(黒髪南) 掲示板改修工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	(本荘中) 医学部基礎構内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥生	溝発見	年報15
08・8・20～ 8・22	0814	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本報告Ⅷ
08・8・21	0815	(本荘南) こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	(本荘中) 医学部基礎構内水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	(黒髪北) ボンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9,10	0820	(黒髪北) 文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘団地(北地区)看護師宿舎埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側囲障整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9,10～ 11・28	0819	(渡鹿) 体育館耐震改修その他工事	一次掘削/ 発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳 ・古代	縄文土器・石器、古墳時代玉、土 師器・石器、人骨	本報告Ⅷ
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	(本荘南) 医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	(医病) 電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	(黒髪南) 共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	(本荘) こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報15
08・11・10	0829	(黒髪北) 学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18,19 21,25	0830	(本荘) こばと保育園新営機械設備工事(変更2)	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	20㎡	近 代	溝 古代土師器・須恵器・石器	本報告Ⅷ
08・11・18,20 12・24	0831	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	(黒髪北) 教育学部本館東側汚水橋補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	(本荘中) 共用研究棟新営工事(変更)	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11,15 ～19	0835	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	一次掘削/ 発掘調査	580㎡		ビット・住居址・土師器・須恵 器・弥生土器・縄文土器・石器・ 鉄器	本報告Ⅷ
09・1・13～2・19							
08・12・22 12・24,25	0836	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 (変更その1,その2)	一次掘削/ 発掘調査	456.54㎡	古 代	溝・住居址・ビット・土師器・須 恵器・石器	本報告Ⅷ
09・1・5～2・27 3・10							
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹(追加)	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	(黒髪北) 教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	(黒髪南) 備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	(黒髪南) 南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移 植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	(本荘) 医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	(黒髪北) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事 (変更)	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	(黒髪南) 福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	(城東町) 附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13 2・19	0847-1 ～2	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更) ～2	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～24 2・27 3・4～ 3・5 3・13	0848-1 ～5	(黒髪北) 文法学部本館改修(変更,変更その2) ～5	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪団地(北地区)外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事(追加)	発掘調査 (立会調査)	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	(医病) 水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	(黒髪南) 排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847-3	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26～ 3・12	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古 代	ビット・堅穴住居址・遺状遺構・ 土塚墓・土師器・須恵器・石製紡 錘車	本報告Ⅷ
09・2・26	0855	(黒髪南) 旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	(黒髪南) 旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡ (内1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～6.11	0858	(黒髪北) 教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)		遺構・遺物なし	年報15

I 構内遺跡と調査の概要

09・3・6.13	0860	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～11.17	0861	(黒髪北) 文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～11	0863	(黒髪南) ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16.23	0864	(黒髪北) 環境整備(排水等)工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	(黒髪南) 南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	(黒髪北) 学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	(黒髪北) 北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	(医病) カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
<b>2009年度</b>							
09・4・15.17	0901	(黒髪南) 西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・4・20.22, 24.27.30 5・1.25.27.28	0902	(黒髪南) 西門改修工事	立会調査	422㎡		内扉・扉新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	(本荘中) 中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	(宇留毛) 学生寄宿舍駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	(黒髪南) 屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その1(変更)	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	(大江) 薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	(黒髪北) ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地(東地区)インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	(黒髪北) 文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	(宇留毛) 留学生宿舍新営電気設備工事(追加その5)	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	(本荘中) 動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	(本荘中) 構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	(黒髪北) 教育学部本館文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修外構工事(変更)	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	(黒髪南) 工学部研究実験棟準備室A種接地工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	立会調査/ 発掘調査	工区①0㎡ ⑨15.9㎡ (0925舎) ⑤⑥一部50㎡ ⑩5.3㎡	古 代	ピット・住居 土師器環・須恵器蓋	本報告Ⅹ
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査/ 発掘調査	工区③39㎡ ④5.4㎡ ⑦25.5㎡ ⑨15.9㎡ (0923・ 0925舎)	古 代	ピット	本報告Ⅹ
09・10・27～30 11・12.13.19 24～26 12・1～3	0925	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査/ 発掘調査	工区⑨15.9 ㎡(0923 舎)⑥7.2㎡ ⑧7.2㎡ ⑩23.7㎡	古 代	ピット・住居址・溝 土師器・高坏 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
09・10・13.28	0926	(医病) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	64㎡		土師器	年報16
09・10・20	0927	(黒髪南) ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09・10・21	0928	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	(医病) 第6病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	(本荘北) 基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	(医病) 東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡		A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	0932	(黒髪南) 旧図書館工学部分室改修工事	立会調査/ 発掘調査	地中梁試掘 ピット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古 代	溝 古代土師器・須恵器	本報告Ⅶ
09・12・9	0933	(京町) 附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	(黒髪南) 旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・7.12.19.28 2・2	0935	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	423.21㎡	古 代・近代	ピット 土師器・須恵器・磁器	本報告Ⅶ

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

10・1・12	0936	(医病) 旧こぼと保育園駐車場整備	立会調査	12m		埋堊	年報16
10・1・13・23	0937	(黒髮南) 旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56m		遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17~19	0938	(黒髮南) エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査/ 発掘調査	10m	縄文	溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本報告Ⅶ
10・1・15	0939	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12m		遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1m		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	(黒髮北) 体育館屋外階段改修工事	立会調査	1m		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	(黒髮北) 体育館屋外配水管改修	立会調査	1m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	(黒髮南) 旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7m		V字型遺構(溝?)	年報16
10・2・8	0944	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)	立会調査	3m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)追加	立会調査	7.2m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	(大江) 薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	(黒髮北) 教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	(黒髮北) 教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5m		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	(黒髮南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	(黒髮南) 環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	(本荘中) ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	(大江北) 薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	(黒髮東) 教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	(黒髮北) 教育学部本館B棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査	17m		遺構覆土検出, 計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	(黒髮南) 備蓄倉庫2取設工事	立会調査	0.83m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	(黒髮南) 大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	(京町) 附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63m	弥生	ビット・浅い窪み 弥生時代甕棺口縁部	年報16
10・3・11	0964	(黒髮北) 体育館改修電気設備工事(電柱撤去)	立会調査	1.2m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	(黒髮北) 文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	(黒髮北) 保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	(黒髮南) 事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	(黒髮北) 共用棟黒髮6揚水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	(黒髮東) ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	(京町) 附属中学校教育学部同窓会用魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	(黒髮北) 文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	(本荘南) 保健学科E棟給水配管工事	立会調査	8.7m		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	(大江北) 薬学部蓄溜館屋外給水配管工事	立会調査	0.34m		遺構・遺物なし	年報16
<b>2010年度</b>							
10・4・6	1001	(本荘中) ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9m		遺構・遺物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	(黒髮北) 文法学部本館耐震ブレース設置他工事	立会調査	22m 0.18m		遺構・遺物なし	年報17
10・6・30	1003	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18m		遺構・遺物なし	年報17
10・8・4	1004	(黒髮北) 守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04m		遺構・遺物なし	年報17
10・8・9	1005	(京町) 附属小学校給排水設備工事	立会調査	17m		遺構・遺物なし	年報17
10・8・10 9・36~10 11・3・4	1006	(黒髮北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査/ 発掘調査	1,211.68m	古代	ビット・住居址・竈粘土 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
10・8・10・9・3	1007	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事	立会調査	48.2m		遺構・遺物なし	年報17
10・8・11	1008	(黒髮北) 高圧配電線等改修工事	立会調査	13m		遺構・遺物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	1.6m	古代	ビット・遺物なし	年報17
10・9・15	1010	(城東) 附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2m		遺構・遺物なし	年報17
10・9・24	1011	(黒髮南) 理学部1・2号館中庭植栽	立会調査	2.3m		遺構・遺物なし	年報17
10・10・4.5.7	1012	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事(追加)	立会調査	67.7m		遺構なし 土師器片	年報17
10・10・4.5.7	1013	(黒髮北) 教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82m		遺構・遺物なし	年報17
10・11・10.11	1014	(黒髮北) 教育学部本館耐震壁設置等工事	立会調査	91.63m		遺構・遺物なし	年報17
10・10・26 11・2・1.10 15.22.25 3・23	1015	(黒髮北) 教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2,101.01m		遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	(黒髮北) 教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46m		遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘南) テニスコート整備工事	立会調査	0.25m		遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	(黒髮北) 五高記念館樹木移植工事	立会調査	4m		遺構なし 須恵器・土師器片	年報17
10・12・20	1019	(黒髮北) 五高記念館便所新営工事	立会調査	5m		遺構・遺物なし	年報17

I 構内遺跡と調査の概要

10・12・27	1020	(本荘南) テニスコート整備工事(追加)	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(黒髪北) 五高記念館便所新管電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(黒髪北) 五高記念館便所新管機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(黒髪南) 囲障改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	(本荘北) カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・24.25	1025	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(黒髪北) 教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(黒髪北) 北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(黒髪北) 教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・16	1029	(本荘北) 学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・22				0.75㎡			
11・3・17	1030	(黒髪南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(黒髪北) 教育学部本館西側・文学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
<b>2011年度</b>							
11・4・18.19	1101	(黒髪南) 車庫給水引込管改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(本荘中) 医学部基礎研究棟 A 棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	62㎡ (8.2㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(黒髪南) 倒木抜根緊急工事	立会調査	6.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21~ 9・22	1104	(本荘北) 臨床医学教育研究センター(仮称)整備事業	立会調査/ 発掘調査	試掘31.2㎡ 発掘503.9㎡	古代・近代	住居址・墓墳・ピット 土師器・須恵器・人骨・銭貨・泥 面子・甕棺	本報告IX
11・6・22	1105	(黒髪南) 埋蔵文化財調査室排水管取設工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17~19 11・14.10 21.24~25 11・28 12・9.12~14	1106	(本荘中) 医学部基礎研究棟(A棟)とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,556.04㎡	古墳・古 代・近世	溝・ピット 土師器片・須恵器	本報告IX
11・7・5	1107	(医病) 中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(黒髪北) 障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ (3㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・15	1109	(黒髪北) 障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	50.7㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(黒髪北) 五高記念館前樹木シロアリ被害支柱緊急取替え工事	立会調査	3.53㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(黒髪南他) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟前通路陥没等補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・9・21.22 26~29 10・4.11 26~28 31	1112	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)機械設備工事	立会調査/ 発掘調査	500㎡	古墳・古 代・近世	竪穴住居址・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)工事	立会調査/ 発掘調査	264.83㎡		1112調査地点と同様	本報告IX
11・10・11~13 17.18.11・1.11	1114	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替え)機械設備工事その2	立会調査/ 発掘調査	184.81㎡	古代・近世	住居址?・溝・ピット 遺物なし	本報告IX
11・9・20	1115	(黒髪北) ラグビー場横給水管補修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・10・24~ 10・27	1116	(黒髪北) 文学部講義棟便所増築等改修工事	立会調査/ 発掘調査	20㎡	古 代	竪穴住居址?・ピット 古代土師器・須恵器	本報告IX
11・10・24.25 12・12 12・1・27	1117	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7㎡		遺構なし 土師器片	年報18
11・11・15	1118	(大江) 電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14 12・1・17.18	1119	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟等とりこわしに伴う支障樹木移植等)工事	立会調査	407㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・24.25	1120	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟北側平屋部とりこわし)工事	立会調査	728㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・28~ 12・6・4	1121	(黒髪南) 基幹・環境整備(屋外排水設備等)工事	立会調査/ 発掘調査	7,748.6㎡	縄文・弥生 中期・古 代・中世 期	住居址?・土坑・溝・溝状遺構・ ピット・土坑状遺構・畑址(畝) 甕棺・縄文土器片・土師器片・須 恵器片・円礫・黒曜石チップ・黒 曜石片・礫塊石器(敲石?)	本報告IX
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備(血液照射管理室とりこわし)工事	立会調査	165.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	(医病) 基幹・環境整備(中庭支障樹木撤去)工事	立会調査	21.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	(黒髪北) 北地区食堂屋外給水配管工事	立会調査	1.54㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・19.20	1125	(大江北) 北門周辺環境整備(植栽・外灯)工事	立会調査/ 発掘調査	8.37㎡	古 代	溝 土師器片・敲石・瓦片	本報告IX
11・12・19	1126	(大江北) 北門周辺環境整備(道路等)工事	立会調査	4.77㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 設備管理棟ボイラー室ドレン配管他改修工事	立会調査	8.1㎡		遺構なし・土師器片	年報18
12・1・16	1128	(黒髪北) 北地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・17.18.20 2・3.6~7 16.17.20.21.27	1129	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟とりこわし)工事	立会調査/ 発掘調査	716.0㎡	古墳・古代	溝・土坑・ピット 古代土師器・須恵器・石製品	本報告IX

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

11・12・9,13,14 12・1・24,26~27 2・8,15	1130	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B・D棟) とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,169.6㎡	中世以降	溝・土坑・ビット 土師器片・動物骨	本報告IX
12・1・25	1131	(京町団地) 環境整備 (法面保護) 工事	立会調査	4.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1,6	1132	(医病) 基幹・環境整備 (渡り廊下Cとりこわし) 工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133	(本荘中) 医学部旧ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	46.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,17 21	1134	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その1)	立会調査	747㎡		住居址もしくは溝と思われる遺構 プラン, 遺物なし	年報18
12・2・16	1135	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その2)	立会調査	1㎡ (1,248㎡)		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,20,21	1136	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その3)	立会調査	60.8㎡		住居址か溝? 土師器片・須恵器片	年報18
12・2・20	1137	(黒髪南) 理学部3号館スロープ取設工事	立会調査	115.60㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138	(宇留毛) 建物名表示看板設置	立会調査	0.49㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	(黒髪北他) 施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	(京町) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	(京町) 環境整備 (南側囲障) 工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	(大江) 薬草用植物園屋外掲示板設置工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	(本荘中) ガス供給施設取替	立会調査	24.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	(本荘中) エイズ学研究センター, 生命資源研究・支援センター, 動物資源開発研究施設新館, 実験排水槽配管盛り替え工事	立会調査	7.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・26~3・27 4・24 8・21~23	1145	(医病) 基幹・環境整備 (第6棟とりこわし) 工事	立会調査/ 発掘調査	427.30㎡	古代・中世 以降	溝・土坑・ビット 土師器片・瓶の取手・須恵器片	本報告IX
<b>2012年度</b>							
12・4・10	1201	(黒髪南) 事務局南側寄贈樹木植栽工事	立会調査	0.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	(京町) 附属小学校給食センター耐震二次診断調査業務	立会調査	7.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・14,15 6・18 7・9,10 10・15,16	1203	(本荘北) 本荘北地区駐車場配管工事 (新設)	立会調査	159.7㎡		磁器	年報19
12・6・20,29 7・3,26 7・31 8・6,17	1204	(本荘北) 樹木移植等工事	立会調査	1360㎡		磁器	年報19
12・6・19~7・19	1205	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B棟東側) とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	756㎡	古代・近世	溝・ビット・土師器・須恵器・陶 磁器・獣骨	本報告X
12・6・25	1206	(黒髪北) 五高記念館南側屋外給水管補修他工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 7・3~5	1207	(本荘北) 水銀指定基準超過区域土壌掘削除去に伴う立会調査・発掘調査	立会調査/ 発掘調査	100㎡	古代・近代	堅穴住居址・墓・溝 (保存)・ ビット2・土師器・須恵器	年報19
12・7・9,10	1208	(本荘北) 立体駐車場支障配線替工事	立会調査	73.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・6,9,13	1209	(本荘中) 医学部基礎研究棟B棟漏水処置に伴う立会調査	立会調査	9.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210	(京町) 附属小学校給水管補修工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・23,24	1211	(京町) 教育学部附属中学校西側フェンス改修工事	立会調査	3.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212	(医病) 西病棟西側道路陥没復旧工事	立会調査	6.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・17,20	1213	(本荘北) 本荘北地区駐車場既設配管工事	立会調査	468㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・16,17,20 9・5	1214	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事	立会調査	224.3㎡		磁器・土師器	年報19
12・8・21	1215	(城東) 教育学部附属幼稚園屋外埋設ガス配管改修工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216	(京町) 附属小学校体育館系統排水改修工事	立会調査	395㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217	(医病) 駐車場整備員控室改修機械設備工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・3,4	1218	(黒髪北) 防災管理システム取設工事	立会調査	100.3㎡		ビット・土器・陶磁器	年報19
12・9・12,13	1219	(大江) 屋外給水管修理	立会調査	39.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220	(黒髪北) プール機械室冠水対策工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221	(京町) ブロック塀改修工事	立会調査	171㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・20,21	1222	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	40㎡		遺構?	年報19
12・9・26~28 10・1~	1223	(本荘中) 国際先端医学研究拠点施設新営工事	立会調査/ 発掘調査	1059㎡	古代・近世	溝・堅穴住居址・掘立柱建物址・ 土坑・ビット・石製品・土師器・ 須恵器・陶磁器・土製品・鉄製 品・獣骨	本報告X
12・10・15,23,24	1224	(黒髪南) 理学部温室Aとりこわし工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225	(医病) 西病棟西側地盤改良工事	立会調査	31.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226	(本荘北) 外来診療棟新営電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	2.2㎡		遺構?	年報19
12・11・19,20,21	1227	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事 (追加)	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・26,27 12・20	1228	(黒髪南) 理学部園場倉庫新営工事	立会調査	27.6㎡	古 代	溝又は住居址?	年報19
12・12・10	1229	(黒髪北) 教育学部本館植栽替工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・12・18,19	1230	(黒髪北) 教育学部北側擁壁改修工事	立会調査	5.2㎡	古 代	ビット・土師器・須恵器	年報19
13・1・28,29	1231	(大江) 薬学部A棟南側池系統屋外給水管改修工事	立会調査	36.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232	(大江) 大江地区R I 施設屋外給水弁取替工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・7,8 12,13	1233	(本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事	立会調査/ 発掘調査	9.3㎡	古 代	ビット・土師器	本報告XI

I 構内遺跡と調査の概要

13・2・21.22	1234	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査/ 発掘調査	24.1㎡	古代・近世以降	土坑・土師器・須恵器・磁器	年報19
13・2・21	1235	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1236	(黒髪北) 教育学部喫煙所設置工事	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1237	(黒髪南) 理学部3号館南側実験廃棄物置場工事	立会調査	9.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・28	1238	(黒髪南) 電気自動車庫新営工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・5	1239	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	8.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・6	1240	(黒髪南) 工学部駐輪場工事	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・7	1241	(京町) 教育学部附属小学校校舎 AB棟空調設備取設工事	立会調査	27.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・11.14	1242	(本荘中) 動物資源研究開発研究施設本館重油地下タンク撤去に伴う立会調査	立会調査	29.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・21.25	1243	(本荘南) 保健学科 E棟東側地中埋設物撤去工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・26	1244	(本荘北) 看護師宿舎1階院内保育園改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
<b>2013年度</b>							
13・5・21~7・27	1301	(黒髪北) 附属図書館中央館樹木伐採工事	立会調査	298.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・21~7・10	1302	(黒髪北) 附属図書館中央館改修機械設備工事	立会調査/ 発掘調査	395.00㎡	古 代	住居・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・5・21~6・12	1303	(黒髪北) 附属図書館中央館改修電気設備工事	立会調査	97.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・25.31	1304	(黒髪北) 五高記念館前漏水補修工事	立会調査	0.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・17.21.25	1305	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障樹木移植等工事	立会調査	127.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・18~7・12	1306	(黒髪北) 附属図書館中央館外構工事	立会調査/ 発掘調査	1,368.00㎡	古 代	溝	年報20
13・7・19	1307	(黒髪南) 事務局本館西側側溝補修工事	立会調査	4.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・7・19	1308	(大江北) 薬学部倉庫1とりこわし工事	立会調査	47.03㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・8・8~10・4	1309	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事	立会調査/ 発掘調査	632.00㎡	近現代	畑址・土坑墓・蔵骨器・陶磁器・ガラス製品・面子・鉄製品	本報告Ⅻ
13・8・5~ 15・3・20	1310	(黒髪南) ライフライン再生(給水設備等)工事	立会調査/ 発掘調査	5,251.70㎡	縄文・古代 近世・近代	住居・柱穴・溝・陶磁器・土師器・須恵器・鉄器・縄文土器・石器・土製品	本報告14
13・9・24~10・4	1311	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障配管替工事	立会調査	101.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・10・11	1312	(黒髪北) 知命堂給水管漏水補修工事	立会調査	0.815㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・13	1313	(黒髪北) テニスコート改修工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・2	1314	(黒髪北) 知命堂改修工事	立会調査	41.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・12~ 14・3・14	1315	(黒髪北・黒髪南) 都市計画事業 中部及び東部処理区雨水吐貯留管(C-3, E-4)築造工事	立会調査	5.60㎡	近世・近代	陶磁器	年報20
13・10・28	1316	(医病) 中央診療棟東側汚水弁蓋取設工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・1~ 12・18	1317	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(地下タンク)	立会調査/ 発掘調査	100.10㎡	古 代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~ 12・18	1318	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(発電機設備)	立会調査/ 発掘調査	236.40㎡	古 代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~ 12・18	1319	(本荘中) 基幹整備(自家発電設備)工事(埋設配管)	立会調査/ 発掘調査	155.90㎡	古 代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・20	1320	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(舗装・構造物関係)	立会調査	3,309.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・15~ 14・12・9	1321	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(人孔・雨水関係)	立会調査/ 発掘調査	989.50㎡	古 代	住居・溝・柱穴・土坑	年報20
13・11・15~ 14・12・2	1322	(医病) 環境整備(東側駐車場等)工事(樹木関係)	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・23	1323	(医病) 作業室改修機械設備工事	立会調査	3.75㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・19	1324	(医病) 設備管理棟ボイラー設備等工事(配管工事)	立会調査	17.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・20~ 11・13	1325	(医病) 基幹整備(電気設備)工事	立会調査/ 発掘調査	468.10㎡	古 代	柱穴・土師器	年報20
13・11・21.22	1326	(医病) 旧電話交換室改修機械設備工事	立会調査	13.78㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・21.22	1327	(医病) 旧電話交換室改修工事	立会調査	36.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・25.26	1328	(医病) 看護師宿舎屋外ガス配管改修工事	立会調査	30.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・29	1329	(本荘北) 駐車場ゲートインターホン移設工事	立会調査	22.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・28~ 14・2・7	1330	(城東町) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事	立会調査	208.49㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9~ 14・1・14	1331	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	83.51㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9. 14・2・25	1332	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	75.26㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・1・17~ 2・12	1333	(医病) 設備管理棟ボイラー設置等工事(重油地下タンク更新・汚染土壌除去)	立会調査/ 発掘調査	101.56㎡	古 代	柱穴・土師器・須恵器	年報20
14・1・21	1334	(黒髪北・黒髪南) 交通安全施設更新工事	立会調査	1.28㎡	近現代	陶磁器	年報20
14・1・31	1335	(大江北) PHS更改工事	立会調査	0.64㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・5	1336	(城東) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	529.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・10	1337	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	10.62㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17	1338	(黒髪北) 全学教育棟(C棟)スロープ取設工事	立会調査	57.68㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17~26	1339	(黒髪北・南) 屋外サイン設置工事	立会調査	196.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1340	(黒髪北) 黒髪北倉庫A(旧外国人宿舎)改修工事	立会調査	39.30㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・21	1341	(京町) 教育学部附属中学校門扉改修工事	立会調査	20.00㎡		遺構・遺物なし	年報20

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

14・2・25 3・13~17	1342	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	48.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・12~25	1343	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	588.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・24~3・13	1344	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	702.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・23~3・12	1345	(本荘中他) 基盤整備(給水設備等)工事(本荘中地区分)	立会調査	909.00㎡	近世	陶磁器・古銭	年報20
14・3・6~3・17	1346	(黒髪南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	29.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1347	(黒髪南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	132.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27	1348	(黒髪南) 総合研究棟(工学系)改修電気設備工事	立会調査	48.76㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27~3・17	1349	(黒髪南) 総合研究棟(工学系)改修機械設備工事	立会調査	365.00㎡	近世・近代	陶磁器・瓦・泥面子	年報20
14・2・28	1350	(京町) 支障樹木撤去	立会調査	57.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・10	1351	(京町) 備蓄倉庫新設	立会調査	141.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1352	(城東町) 教育学部附属幼稚園ブロック塀改修工事	立会調査	272.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1354	(黒髪北) 黒髪北倉庫A改修機械設備工事	立会調査	0.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1355	(黒髪北) 備蓄倉庫新設	立会調査	52.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1356	(大江北) 薬学部北門入口胸像設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1357	(大江北) 備蓄倉庫新設	立会調査	24.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1358	(大江北) 支障樹木撤去	立会調査	18.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・22	1359	(黒髪北) 仮設駐車場取設工事	立会調査	427.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・19	1360	(黒髪北) 重要文化財五高記念館耐震診断業務	立会調査	20.40㎡	近代	陶磁器・瓦	年報20
14・3・19,20	1361	(黒髪南) 重要文化財工学部研究資料館耐震診断業務	立会調査	4.00㎡	近代	陶磁器	年報20
14・3・27	1362	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念時計台設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・28	1363	(黒髪南他) 都市ガスメーター取替工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
<b>2014年度</b>							
14・4・3	1401	(黒髪北) 附属図書館中央館雨水排水ポンプ増設工事	立会調査	4.41㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・11	1402	(大江北) 体育館改修その他工事	立会調査	60.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・14~16	1403	(大江北) 体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	414.00㎡	古代	土師器	年報21
14・4・14	1404	(大江北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	44.29㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・17	1405	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念樹再植樹	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・18,5・19	1406	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営その他工事(外構工事)	立会調査	1,672.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・5・30	1407	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわしに伴う支障配管撤去工事	立会調査	3.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・9	1408	(黒髪南) 本部(旧事務局本館)基礎調査	立会調査	21.00㎡	近代	赤煉瓦基礎	年報21
14・6・24	1409	附属幼稚園プール遮光ネット取付	立会調査	1.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・20	1410	(黒髪北) 附属図書館中央館看板補修工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19,26	1411	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事(機械設備)	立会調査	16.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19,26	1412	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	396.70㎡		土師器	年報21
14・7・8,14	1413	(医病) 中央診療棟東側環境整備工事	立会調査	225.40㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・8,14	1414	(医病) 中央診療棟東側環境整備(機械設備)工事	立会調査	21.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・25	1415	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事(仮設電源)	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・9・4~ 15・4・15	1416	(黒髪北) 武道場等改修機械設備工事	立会調査	1,087.30㎡	古代・近世	ビット・須恵器・土師器・陶磁器・鉄器	年報21
14・9・11~ 15・6・10	1417	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事(建築工事)	立会調査/ 発掘調査	747.90㎡	弥生・古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、弥生土器・土師器・陶磁器	本報告Ⅷ
14・9・16~11・20	1418	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営機械設備工事	立会調査	532.00㎡	近現代	土坑墓・墓石・骨壺、陶磁器	年報21
14・10・10,14	1419	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営電気設備工事	立会調査	49.388㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1420	(本荘南) 体育館改修機械設備工事	立会調査	26.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14,15	1421	(本荘南) 体育館改修工事	立会調査	320.02㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1422	(本荘南) 体育館改修電気設備工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・16~ 15・9・2	1423	66kV 銀座橋熊大医学部線鉛被 OF ケーブル改修工事	立会調査/ 発掘調査	148.26㎡	古代	溝、土師器・須恵器	年報21
14・10・29~11・26	1424	(医病) 枯木除根伐採業務	立会調査	21.16㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・21~ 15・7・29	1425	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(地下躯体撤去・擁壁設置)	立会調査	1,655.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、土師器・須恵器	本報告Ⅷ
14・11・17,12・24~ 15・11・2	1426	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(本体工事)	立会調査/ 発掘調査	2,141.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、土師器・須恵器	本報告Ⅷ
14・11・18	1427	(黒髪北) 体育館改修工事	立会調査	811.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・19	1428	(京町他) 教育学部附属教育実践総合センター等外部改修工事	立会調査	7.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1429	(黒髪南) 本部樹木等撤去その他工事	立会調査/ 発掘調査	282.40㎡	古代・近世・近代	住居又は溝・ビット・赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1430	(黒髪南) 本部屋外スロープ取設工事	立会調査/ 発掘調査	195.77㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・15・16	1431	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他電気設備工事	立会調査	12.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・18~ 15・6・24	1432	(医病) 管理棟改修その他工事(撤去)	立会調査	279.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・19	1433	(医病) 案内板設置業務	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・22	1434	(黒髪南) 黒髪南 S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事	立会調査	77.90㎡	近代	土器片、建物基礎	年報21
14・12・22 15・1・16	1435	(黒髪南) 黒髪南 S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事(電気設備)	立会調査	46.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・1・7~6・2	1436	(黒髪南) 本部エレベーター棟増築工事	立会調査/ 発掘調査	60.30㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21



I 構内遺跡と調査の概要

15・1・14～9.7	1437	(黒髪南) 本部改修その他機械設備工事	立会調査／発掘調査	102.0㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
15・2・9	1438	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修その他工事	立会調査	159.10㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・9～27	1439	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修機械設備工事	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・10.3・4	1440	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	85.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・12	1441	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事	立会調査	40.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・2・25～7・3	1442	(医病) 管理棟改修その他工事	立会調査	563.40㎡		遺構・遺物なし	本報告Ⅻ
15・2・26～4・16	1443	(京町) 教育学部附属小学校新営その他機械設備工事(その2)	立会調査	241.80㎡	弥生	溝・ピット、弥生土器	本報告Ⅻ
15・2・27	1444	(黒髪北) 法学部サークル棟新営その他工事	立会調査	64.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・2～3・6	1445	(黒髪北) 環境整備(駐車場等)に伴う樹木等移植業務	立会調査	86.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・18～23	1446	(黒髪北) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	194.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・3	1447	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(大江)	立会調査	32.60㎡		土師器	年報21
15・3・4	1448	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(黒髪)	立会調査	57.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・24	1449	(黒髪北) 全学教育棟屋外ガス漏洩補修工事	立会調査	3.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・3・16	1450	(渡鹿2) 渡鹿宿舎駐車場増設工事	立会調査	213.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・5・2	1451	(本荘南) ポンプ室設置及び給水設備取替工事	立会調査	180.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
<b>2015年度</b>							
15・5・11	1501	(黒髪北) 五高記念館前庭植栽除根業務	立会調査	30.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・18,19 16・11・4	1502	(本荘北) 臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	77.87㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・20,21	1503	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その2)	立会調査	19.00㎡	古代	土師器・瓦	年報22
15・5・18～ 7・28	1504	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その3)	立会調査	485.00㎡	古代・近代	住居・溝・土坑・ピット・建物基礎、土師器・須恵器	本報告Ⅻ
15・6・12～ 7・29	1505	(医病) 管理棟改修機械設備工事	立会調査	349.00㎡	古代・近世	土師器・陶磁器	年報22
15・6・29	1506	(黒髪南) 黒髪南C7 6階実験室電源その他工事	立会調査	40.80㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・7・30	1507	(黒髪北) 北地区学生会館A棟前舗装補修工事	立会調査	150.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・7.12・18	1508	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事	立会調査	36.70㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・20	1509	(大江北) A棟北側屋外給水管修理工事	立会調査	28.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・11	1510	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(黒髪)	立会調査	42.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・14	1511	人文社会科学喫煙所設置工事	立会調査	12.06㎡	古代	土師器・須恵器	年報22
15・9・15	1512	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(大江)	立会調査	14.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・28	1513	(本荘北) 臨床研究棟新営仮設電柱建柱工事	立会調査	9.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・10・26～ 29～3・1	1514	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修機械設備工事	立会調査	78.90㎡	古代	住居・溝・ピット、土師器・須恵器	本報告Ⅻ
15・11・26	1515	(黒髪北) 北地区学生会館中庭インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	19.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・26	1516	(黒髪北) 黒髪北E1(全学教育棟)西側インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	27.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・30	1517	(宇留毛) 寄宿舎共通棟男子浴室等改修機械設備工事	立会調査	9.2㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・12・8	1518	(本荘北) 屋外サイン設置工事	立会調査	32.5㎡	古代	土師器・須恵器	年報22
15・12・7.9.16	1519	(本荘中他) 屋外サイン設置工事	立会調査	54.4㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・4.6.12	1520	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・ガス・水道)取設工事(黒髪)	立会調査	172.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・14	1521	(黒髪北) 武夫原廻り(五高記念館側)フェンス復旧工事	立会調査	5.88㎡	近代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・18,19	1522	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気水・ガス)取設工事(大江)	立会調査	40.3㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・3・11	1523	(黒髪南) 黒髪南W7排水設備改修工事	立会調査	10.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・5～2・29	1524	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事(外構工事)	立会調査	412.30㎡	古代	住居・溝・ピット、土師器・須恵器	本報告Ⅻ
16・1・25.2・1.2	1525	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス)取設工事(本荘中他)	立会調査	93.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・28	1526	(京町) 教育学部附属教育実践総合センター東側プレハブ倉庫復旧工事	立会調査	11.91㎡	弥生	弥生土器	年報22
16・2・4	1527	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス)取設工事(本荘北)	立会調査	12.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12～22	1528	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修工事	立会調査	311.00㎡	近代	赤煉瓦基礎	本報告Ⅻ
16・2・12	1529	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修電気設備工事	立会調査	35.20㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12,19	1530	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修機械設備工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・3	1531	(大江北) 審議館東側埋設ガスパ漏洩修理工事	立会調査	2.00㎡		不明遺構	年報22
16・3・7.8	1532	(本荘南) 駐車場拡張工事	立会調査	80.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
<b>2016年度</b>							
16・8・8	1601	(黒髪南) E9取り壊しに伴う支障配管撤去工事	立会調査	1.53㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・9・12	1602	(宇留毛) 国際交流会館A・B棟北型中庭陥没補修工事	立会調査	44.73㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・11・4	1502	(本荘北) 臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	12.54㎡		土師器	年報23
16・11・9	1603	(黒髪) 台風15号に伴う斜木の木起こし業務	立会調査	42.16㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・11・10,	1604	(黒髪北) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	86.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・16～17							
16・11・11	1605	(黒髪南) 黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事	立会調査	123.22㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・1	1606	(黒髪南) 黒髪南C2改築に伴う仮設校舎取設工事(電気その1)	立会調査	11.87㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・5	1607	(黒髪南) 黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事(その1)	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・5	1608	(黒髪南) 黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事(その2)	立会調査	2,465.00㎡		遺構・遺物なし	年報23

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

16・12・6	1609	(黒髪南) 黒髪南 C2仮設校舎取設工事 (機械その1)	立会調査	335.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・16, 27・17・2・1	1610	(京町) 教育学部附属小学校仮設校舎取設工事	立会調査	416.10㎡		弥生土器	年報23
16・12・20~28	1611	(黒髪南) 黒髪南 C2改築に伴う仮設駐車場整備工事 (その4)	立会調査	11.35㎡	古代・近代	住居?・土師器・須恵器・石器・磁器	年報23
17・1・16	1612	(黒髪北) 屋外市水管逆止弁取付工事	立会調査	5.37㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1613	(黒髪南) 黒髪南 C2仮設校舎取設工事 (機械その2)	立会調査	623.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1614	(黒髪南) 黒髪南 C2改築に伴う仮設校舎取設工事 (電気その2)	立会調査	45.80㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1615	(大江) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	96.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・19	1616	(新南) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	32.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・23	1617	(宇留毛) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	106.50㎡		弥生土器	年報23
17・1・23	1618	(本荘北) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	19.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・23	1619	(本荘中・南) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	8.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・26	1620	(京町) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	10.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・30	1621	(黒髪南) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	41.75㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・30	1622	(渡鹿) 台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	15.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
13・2・1	1623	(京町) 教育学部附属小学校仮設校舎取設に伴う支障配管替え工事	立会調査	62.3㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・6	1624	(医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等支障配管替) 工事	立会調査	220.50㎡	近世?	土師器・須恵器・陶器	年報23
17・2・7~8	1625	(黒髪南) 理学部園樹木切り株撤去工事	立会調査	56.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・10	1626	(医病) 枯木樹木伐根業務	立会調査	7.10㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・14・22~ 24	1627	(宇留毛) 環境整備 (擁壁) 災害復旧工事	立会調査	157.15㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・15	1628	(本荘南) 本荘南 1 等給水管設備改修工事	立会調査	1,015.80㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・28	1629	(大江南) 薬草園給水管修理工事	立会調査	1.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・1, 17	1630	(渡鹿) 渡鹿住宅2号棟屋外ガス管補修工事	立会調査	20.1㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・2	1631	(医病) 木工室他給水管盛替工事	立会調査	7.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・6, 9	1632	(黒髪北) 給水ポンプ室東側フェンス設置工事	立会調査	3.04㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・13	1633	(本荘中) 本荘中 5 災害復旧工事	立会調査	271.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・14	1634	(黒髪南) コンプレッサー保管庫設置	立会調査	12.28㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・22	1635	(大江北) 薬用植物園北側樹木移植業務	立会調査	15.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
<b>2017年度</b>							
17・4・5	1701	(黒髪南) 工学部研究資料館内部基礎調査	立会調査	15.40㎡	古代・近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
17・4・17~28	1702	(京町) 教育学部附属小学校管理棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	493.90㎡	弥生・古代・近世	住居・柱穴	年報24
17・5・22	1703	(医病) 特別高圧受電棟給水漏水復旧工事	立会調査	0.84㎡		なし	年報24
17・5・23	1704	(本荘中) 本荘中 4 他災害復旧工事 (ブロック塀復旧)	立会調査	44.10㎡	古代	土師器	年報24
17・5・30	1705	(大江北) 薬学部根株除根業務	立会調査	40.75㎡		なし	年報24
17・6・1~11・13	1706	(本荘中) ライフライン再生工事	立会調査	995.10㎡	古代・近世	水路・溝・柱穴・土坑・建物基礎	年報24
17・7・3~8・28	1707	(京町) 教育学部附属小学校管理棟とりこわし工事	発掘調査	582.01㎡	縄文・弥生・古代・近世	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・青銅製品・住居・溝・柱穴	年報24
17・7・3~ 18・7・19	1708	(病) 基幹・環境整備 (旧管理棟取壊し) 工事	発掘調査	4691.71㎡	古代・近世・近代	土師器・須恵器・陶磁器・住居・溝・道路・柱穴	本書
17・7・20	1709	(本荘中) ガス圧容器電源設置に伴う電源引込のための建柱工事	立会調査	33.15㎡		なし	年報24
17・8・28	1710	(城東町) 教育学部附属幼稚園管理棟遊戯室災害復旧工事	立会調査	1.76㎡		なし	年報24
17・8・28	1711	(黒髪南) 屋外掲示板設置工事	立会調査	6.20㎡		なし	年報24
17・9・1	1739	(京町) 教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	0.48㎡	古代	なし	年報24
17・9・20	1712	(大江北) イノベーションセンター新営に伴う支障樹木伐採除根業務	立会調査	27.80㎡		なし	年報24
17・9・20~ 18・5・14	1713	(黒髪) 龍神橋架け替えに伴う擁壁改修その他	立会調査	1164.00㎡	古代・中近世・近代	住居・柱穴・溝道路・石垣	年報24
17・9・28	1714	(本荘北) 西病棟他災害復旧工事 (ブロック塀復旧)	立会調査	56.50㎡		なし	年報24
17・10・11~13	1715	(大江北) イノベーションセンター新営に伴う支障配管替え工事	立会調査	215.60㎡		なし	年報24
17・10・12~ 12・25	1716	(黒髪南) 黒髪南 C2取り壊し工事	立会調査	3220.70㎡		なし	年報24
17・10・16~18	1723	(黒髪南) 黒髪南 C2取り壊し工事に伴う支障排水管替工事	立会調査	4.00㎡		柱穴・土師器・須恵器	年報24
17・10・18~25	1717	(黒髪北) 黒髪北 N1他災害復旧工事	立会調査	131.63㎡	近代	石垣・レンガ・瓦	年報24
17・10・19~20	1718	(黒髪南) 工学部百周年記念館前バナーポール取設工事	立会調査	8.33㎡		なし	年報24
17・11・7~8	1719	(京町) 工作物災害復旧工事	立会調査	9.65㎡	古代	土師器・須恵器	年報24
17・11・7	1720	(黒髪南) 黒髪南 C1北側植樹工事	立会調査	0.64㎡		なし	年報24
17・11・7~15	1721	(黒髪北) 五高記念館南側樹木移植等工事	立会調査	65.06㎡	古代	土師器・須恵器	年報24
17・11・24	1722	(本荘中) ライフライン再生 (駐輪場取設) 工事	立会調査	61.20㎡	近代	建物基礎	年報24
17・12・25~ 18・4・13	1724	(黒髪南) 黒髪南 C2新営その他工事	発掘調査	405.70㎡	古代・近代	住居・柱穴・溝・近代建物基礎・土師器・須恵器・鉄製品・陶磁器・貨幣	年報24
18・1・10~ 11.13.30	1738	(黒髪北) サークル広場屋外給水管取替工事	立会調査	10.21㎡	古代	なし	年報24
18・1・10~ 2・16	1725	(京町) 教育学部附属中学校体育館改修その他工事	立会調査	260.17㎡	弥生・古代・近世	住居・柱穴・土坑	年報24

I 構内遺跡と調査の概要

18・1・22～23	1726・1727	(黒髪北) 赤門耐震補強工事	立会調査	15.10㎡	近代	敷石(玉砂利)・赤門基礎	年報24
18・1・31	1740	(黒髪北) 五高記念館廻り屋外給水管修理	立会調査	1.05㎡	近代	なし	年報24
18・2・19～ 3・9	1728	(大江北) イノベーションセンター新営に伴う支障配線替工事	立会調査	151.42㎡	古代・近世 近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
18・2・21～23	1729	(渡鹿) 教育学部倉庫新営電気設備工事	立会調査	49.50㎡	古代	土師器	年報24
18・2・21～22	1730	(渡鹿) 教育学部倉庫新営その他工事(建築・機械設備)	立会調査	562.50㎡	古代	土師器	年報24
18・3・6	1731	(渡鹿2) 渡鹿住宅2号棟屋外ガス管改修工事	立会調査	1.55㎡	なし	なし	年報24
18・3・7～22	1732	(新南部) 加工舎取り壊し工事	立会調査	186.30㎡	古代・近世	溝?・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
18・3・12	1733	(本荘中) 本荘中2他工作物災害復旧工事	立会調査	56.30㎡	なし	なし	年報24
18・3・13	1734	(黒髪) 龍神橋架け替えに伴う擁壁改修その他工事(ガス設備工事)	立会調査	57.30㎡	古代・近世	溝・土師器・陶磁器	年報24
18・3・23～継続中	1735	(黒髪) 擁壁移設工事	立会調査	141.00㎡	近世・近代	道路	年報24
18・3・26	1736	(大江北・大江南) 樹木移植	立会調査	28.25㎡	近代	レンガ	年報24
18・3・26～ 4・3	1737	(新屋敷1) 新屋敷1号宿舍取り壊し工事	立会調査	220.20㎡	古代・近世 近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24



## II 本荘北地区の調査



# 1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

## (1) 調査の目的と経過

### ① 調査地と調査経緯

本調査は熊本大学(医病)基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査である。工事内容は、旧管理棟および旧外来臨床研究棟の建物基礎、建物周辺の樹木・共同溝・観察池・井戸の撤去である。本荘北地区は本庄遺跡(熊本市埋蔵文化財包蔵地区№8-95)に含まれ、古墳時代と古代を中心とした遺構や遺物が確認されている。従来調査では本調査区の中庭部分にあたる9807調査地点において古代の竪穴建物、掘立柱建物、近世から近代の道路遺構が検出された(小畑編2009)。また、本調査区の北側に位置する基礎医学研究棟新設の際の調査である9601調査地点では本調査区方向へ走る古代または近世の溝が3条検出されている(小畑編2008)。

従前の調査によって、本調査地点でも古墳時代から近世の遺構が広範囲に広がると予想された。撤去される建物基礎底面のレベルは地表下約2.3mと深く、調査範囲の多くは破壊を受けていると思われた。しかし、本荘地区0314・1106・1205調査地点などでは各地中梁の間から遺構が検出されていたため、立会調査で遺構の有無を確認したところ、梁・フーチングの間から古代や近世の遺構を検出できた。2017年7月5日に熊本県教育庁文化課と熊本市教育委員会文化振興課に連絡し、7月10日から発掘調査に切り替え、調査を継続することとなった。

### ② 調査の経過

旧管理棟および旧外来臨床研究棟の各調査は、工事の都合上、並行して実施することができなかった。そこで先行して調査した旧管理棟に係る調査区をⅠ区、後続して調査した旧外来臨床研究棟に係る調査区をⅡ区とした。また、水道配管切り離し工事を実施した恵和会建物北側の調査区をⅢ区とした(図2)。Ⅲ区は水道管の掘方埋土のみの掘削で、立会にて終了している(大坪編2019)。Ⅰ・Ⅱ区は、重機の移動や基礎の撤去の工程で文化層を破壊する可能性が高かったため、基礎撤去前に調査を実施する運びとなった。また、本調査区の土壌には、フッ素・鉛・水銀や化合物が含まれる箇所(以後汚染土範囲)が9箇所存在し、廃土の移動や仮置きが困難となる場合が生じた。そのため、鉄板の上に汚染土を仮置きし、調査完了後に基礎を撤去、汚染土を元の位置に戻すという工程を踏む必要があった。汚染土範囲の調査では、熊本市環境局環境推進部水保全課の立会のもと表土掘削を実施した。このように本発掘調査では、撤去した基礎や汚染土を含む廃土置き場の確保のため、工事行程を調整しながら、小規模かつ部分的な調査を継続することとなり、遺構の密度も高いことから、工期内に発掘調査を終えることは困難であった。センターでは、株式会社有明測量開発社への業務委託や、鹿児島大学埋蔵文化財調査センター職員の協力を得て、調査を迅速化するなどの対応をとった。

2017年7月3日 立会調査開始。Ⅰ区(旧管理棟)の重機による表土掘削開始。

2017年7月5日 溝など遺構を検出。熊本県教育庁文化課、熊本市教育委員会文化振興課に報告。

2017年7月10日 発掘調査に切替え。遺構掘削・測量・写真撮影開始。

2017年7月13日 汚染土範囲について、熊本市環境局環境推進部水保全課立会のもと表土掘削。

2017年7月21日 近世、近代の道路遺構検出。

2017年8月24日 Ⅱ区(旧外来臨床研究棟)遺構内容確認のための試掘開始。

2017年8月28日 Ⅲ区(恵和会建物北側)水道配管切り離し工事立会、調査完了。

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

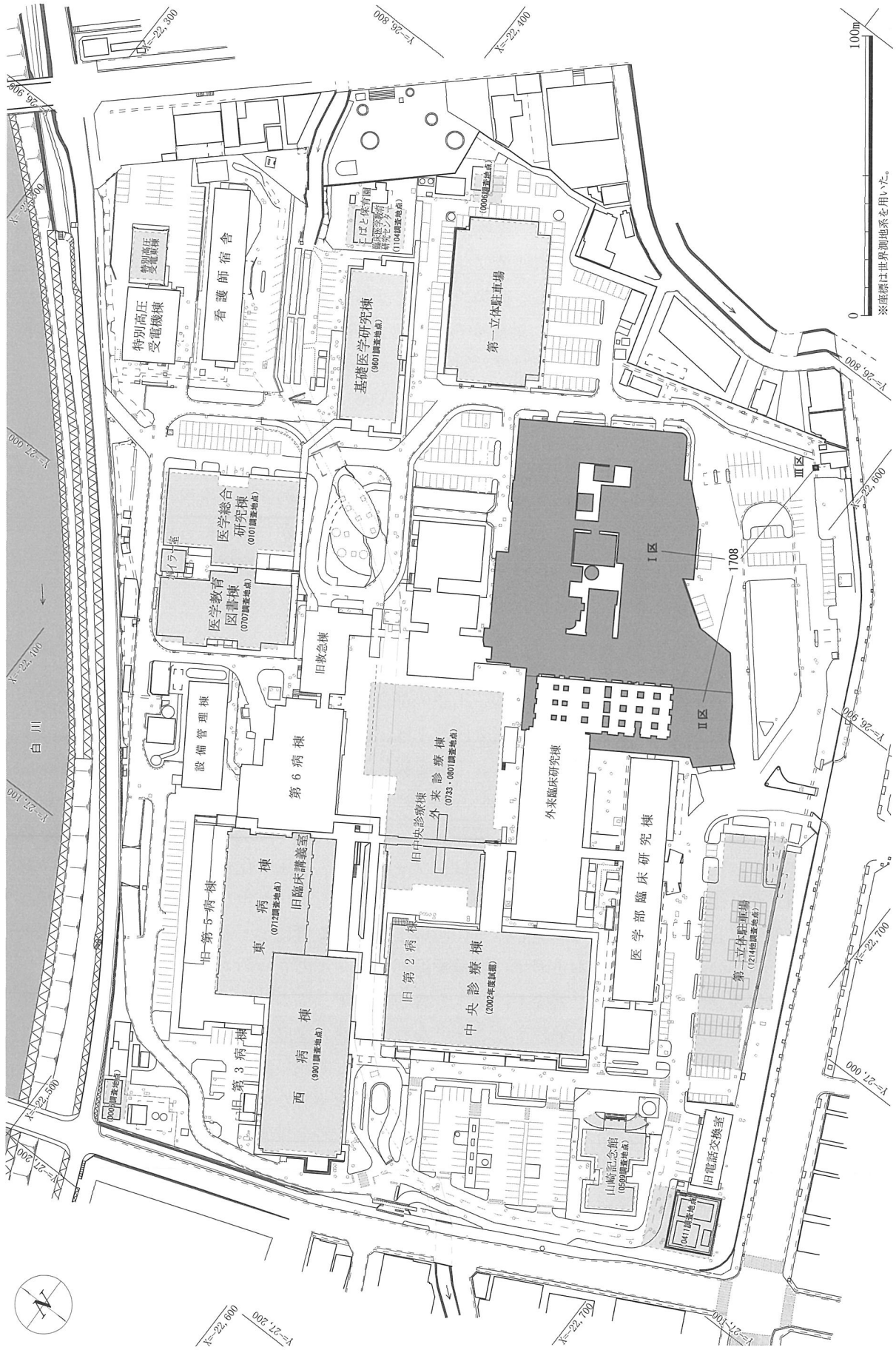


図2 本荘北地区における調査地点位置図 (1/2000)



- 2017年11月1日 横田光智氏（株式会社有明測量開発社）が調査に参加開始。  
 2017年11月27日 新里貴之氏（鹿児島大学埋蔵文化財調査センター）が調査に参加開始。  
 2018年1月24日 I区について株式会社埋蔵文化財サポートシステムによる空中撮影を実施。  
 2018年2月28日 I区調査完了。  
 2018年3月1日 II区南側調査開始。  
 2018年4月10日 II区南側調査完了。  
 2018年4月11日 II区北側調査開始。  
 2018年4月27日 発掘調査完了。撤収作業。  
 2018年7月19日 立会調査完了。

### ③ 調査の組織

調査員：吉留広・大坪志子・山野ケン陽次郎・士野雄貴（以上4名：熊本大学埋蔵文化財調査センター）

新里貴之（鹿児島大学埋蔵文化財調査センター）

横田光智（株式会社有明測量開発社）

事務担当：濱田春美

発掘作業員：青木立子・井手美幸・上田英治・上村久子・岡本敬裕・北岡浩治・草野賢一郎・栗崎強・佐々木朱梨・椎葉仁美・田中鳴美・土島敏治・鶴山進・中村和彦・林田裕次・平野浩治・藤井勇二・本郷慶司・松崎仁美・松村勝博・松村洋子・松本和徳・峰元幸・宮田義則・村山國誠・森川征子・森川護・森直人・谷田 修・山本和男・米光司朗

整理作業員：井上裕美・江口路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

調査指導・協力者：岡本真也（歴史公園鞠智城・温故創生館）、甲元真之（熊本大学名誉教授）、鶴島俊彦（熊本城調査研究センター）・山下義満（熊本県教育庁文化課）（敬称略、五十音順）

### ④ 調査の方法

調査区は、地中梁とフーチングにより碁盤状に区画されていたため、この区画を用いてグリッドを設定した。I区の北西端から南北軸で北から南に向かって1～13まで数字を付し、東西軸では西から東に向かってA～Vまでのアルファベットを付した（図6参照）。また、最初に調査を開始した北西端のグリッド（A-1）より北側には「0」を追加で設けた。II区に相当する西側の旧外来臨床研究棟ではzから降順でアルファベットを付している。旧外来臨床研究棟では、旧管理棟の地中梁・フーチングとは間隔がやや異なっていたため、縦軸の数字を新たに北側から1、10～12を付し、調査グリッド名とした。先述のとおり、調査区全体を一括して掘削することができなかつたため、I区A～D-1～4グリッドから時計回りに順次調査を実施した。

### (2) 調査区の基本層序（図3～5）

本調査区は、南北約90m、東西約110mの略長方形を呈し、面積は7681.2㎡である。当センターによる過去の調査地点である9807調査地点周辺にあたり、9601地点の南側、0733・0801調査地点の南東側に位置する（図2）。周辺地形は、調査区北側に流れる白川左岸から南側へ向かってごく緩やかに傾斜している。本調査区のうち、旧管理棟など建物内側に相当する箇所は、建物地中梁の直上まで一面削平を受けていた。しかし、地中梁よりも下位のレベルでは、梁同士の間には褐色の地山が残存する

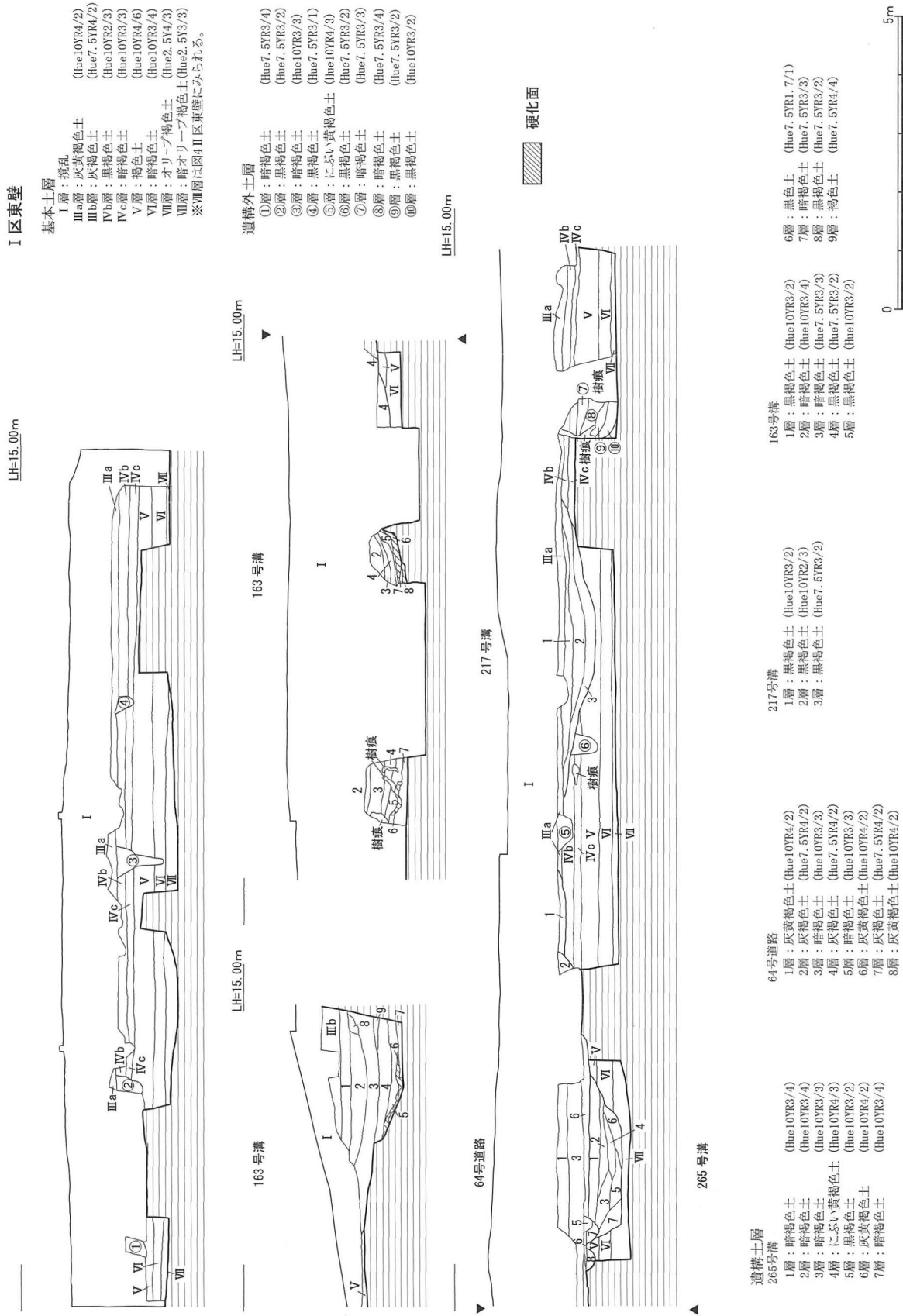


図3 1708調査地点 I 区東壁土層断面実測図 (1/100)

状況が多く、遺構検出が可能であった。とくに建物の外側に相当する箇所は比較的土層の残りが良く、近世の包含層をも確認できた。古代の遺構も広い範囲で確認できたが、中庭など基礎が存在しない場所は工事施工範囲外となることから調査は実施していない。基本土層の所見を以下に示した。

I層 表土、現代盛土、碎石、アスファルト。

II a層 (灰褐色砂層)

昭和28年6.26水害によって堆積した砂層。しまり強く、粘り気はない。細かい並行葉理が認められる。鉄分やマンガンを含む。遺物はほとんど含まないが、まれにガラスや陶磁器が出土する。多くは建物建築の際に削平されているが、建物外側には部分的に残存している。

II b層 (暗褐色土層)

焼土、炭化物、礫、3cm大の褐色ブロックを多く含む。終戦直後から昭和25年までの堆積層と考えられる。

II c層 (にぶい黄褐色土層)

現代の整地層。しまり強く、粘り気はややある。焼土、炭化物、礫を多く含む。終戦後の整地土層と考えられる。レンガ、瓦、陶磁器、ガラスを含む。

III a層 (灰黄褐色土層)

近世の遺物包含層。しまりはややあり、粘り気は少ない。炭化物小片や土器由来の橙色粒子、1cm大の礫を部分的に含む。陶磁器、瓦を含む。

III b層 (灰褐色土層)

近世の遺物包含層。しまりはややあり、粘り気は少ない。III a層より色調暗い。炭化物小片や土器由来の橙色粒子、1cm大の礫を部分的に含む。陶磁器を多く含み、瓦を含まない。

IV a層 (暗褐色土層)

中世、古代の遺物包含層。III b層よりしまり弱く、粘り気はややある。炭化物小片や焼土粒、土器由来の橙色粒子を含む。土師器、須恵器といった古代の遺物を含む。壁面には中世の遺物は認められないが、本土層から瓦器が出土している。

IV b層 (黒褐色土層)

古代、古墳時代の遺物包含層。しまりはIV a層に近い。粘り気はややある。炭化物小片や土器由来の褐色粒子を少量含む。調査区内では削平されほぼ残存せず、I区の中庭付近とII区南側で部分的に薄く堆積し、調査区外の壁では15cm程堆積が確認できた。

IV c層 (暗褐色土層)

IV層とV層の漸移層にあたる層でIV b層と比較して色調が明るい。古代の遺物を少量含む。

V層 (褐色砂質土層)

白川の自然堤防。しまりはややあり、粘り気はほぼない。従前の調査から縄文時代後・晩期の遺物包含層とみられるが、遺物は出土していない。I区・II区南側の検出面に相当する。

VI層 (暗褐色砂質土層)

V層よりもしまりが強く、粘り気はややある。色調は上下層と比較し暗い。無遺物層。

VII層 (オリーブ褐色砂層)

しまりは強く、粘り気はない。水分を含むと緑色に見え、乾くと白色となり、サラサラになる。無遺物層。II区北側の検出面に相当する。

VIII層 (暗オリーブ褐色砂層)

しまりは非常に強く、粘り気はない。硬質の凝灰岩質砂岩層。無遺物層。

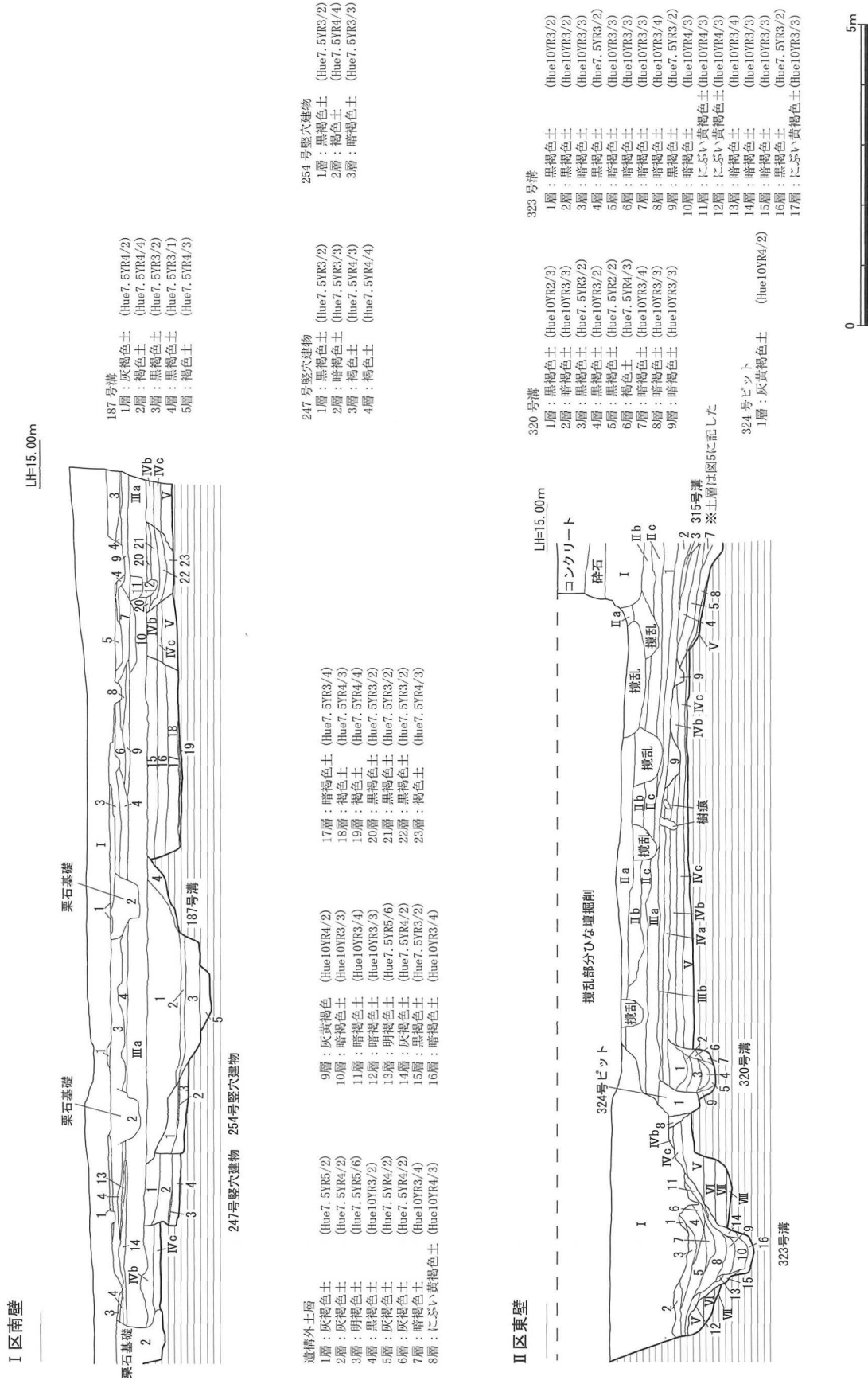
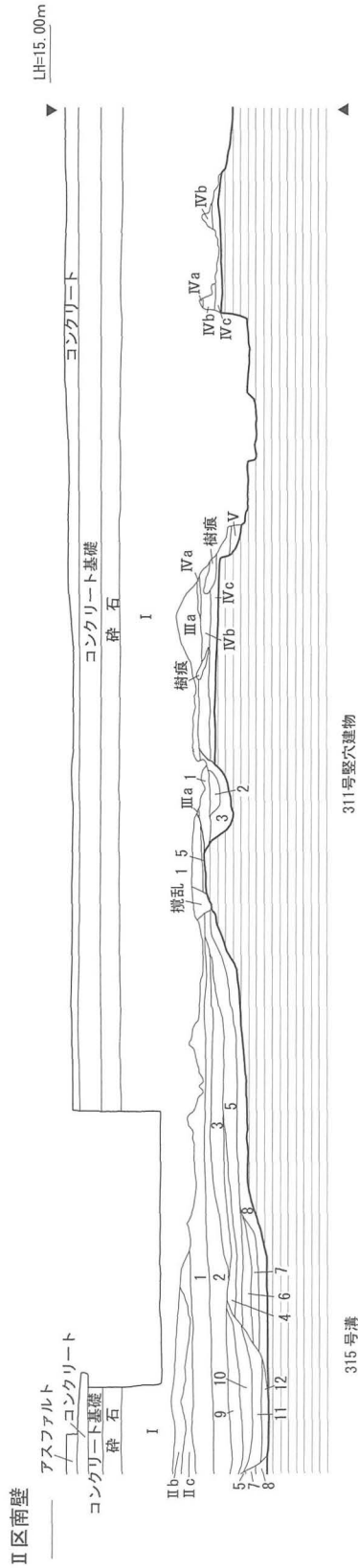


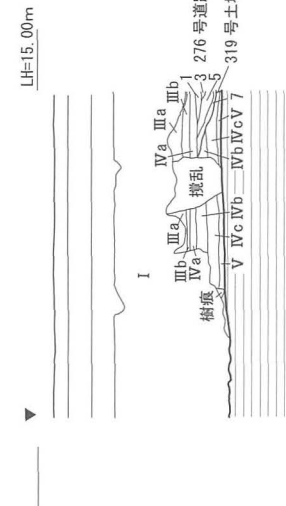
図 4 1708 調査地点 I 区南壁・II 区東壁土層断面実測図 (1/100)



- 315号溝
- 1層：灰黄褐色土 (hue10YR4/2)
  - 2層：灰黄褐色土 (hue10YR4/2)
  - 3層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
  - 4層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
  - 5層：暗褐色土 (hue10YR3/2)
  - 6層：暗褐色土 (hue10YR3/2)
  - 7層：暗褐色土 (hue10YR3/2)
  - 8層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - 9層：にぶい黄褐色土 (hue10YR4/3)
  - 10層：灰黄褐色土 (hue10YR4/2)
  - 11層：にぶい黄褐色土 (hue10YR4/3)
  - 12層：暗褐色土 (hue10YR3/4)

- 311号壁穴建物
- 1層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
  - 2層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
  - 3層：暗褐色土 (hue10YR3/4)

- 276号道路
- 1層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
  - 2層：黒褐色土 (hue10YR3/2)
  - 3層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - 4層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - 5層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
  - 6層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
  - 7層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - 8層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - 9層：暗褐色土 (hue10YR3/3)



- 基本土層
- I層：攪乱
  - IIb層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
  - IIc層：にぶい黄褐色土 (hue10YR4/3)
  - IIIa層：灰黄褐色土 (hue10YR4/2)
  - IIIb層：暗褐色土 (hue7.5YR4/2)
  - IVa層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - IVb層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
  - IVc層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
  - V層：褐色土 (hue10YR4/6)

- 319号土坑
- 1層：黒褐色土 (hue10YR3/2)
  - 2層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
  - 3層：褐色土 (hue10YR4/4)

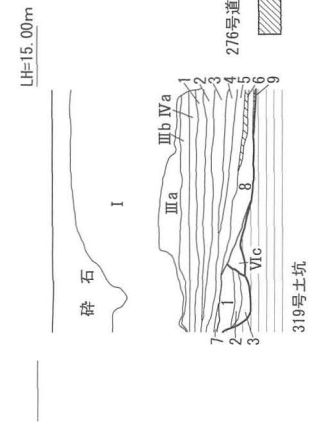
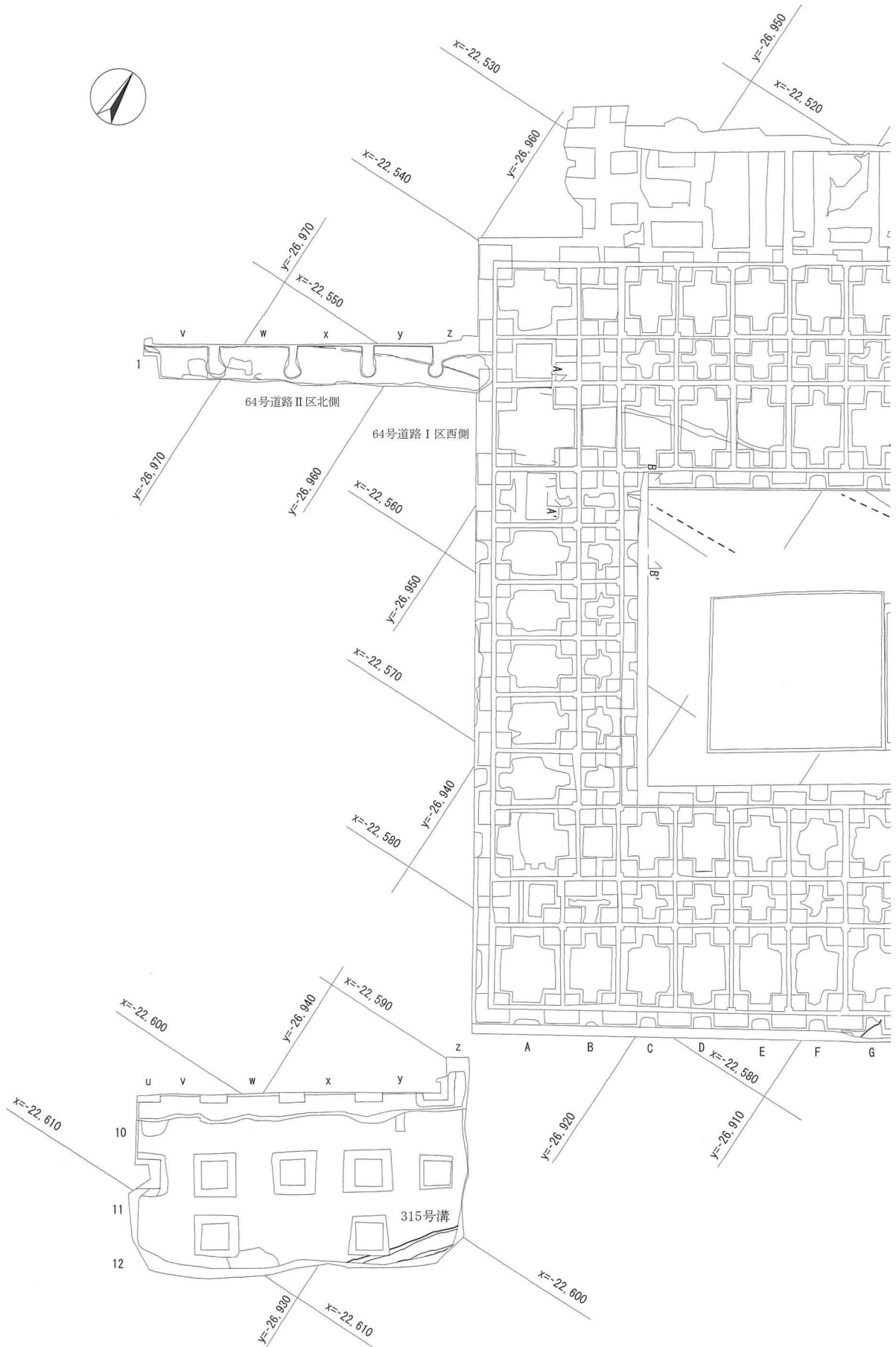


図5 1708調査地点II区南側・西壁土層断面実測図 (1/100)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)



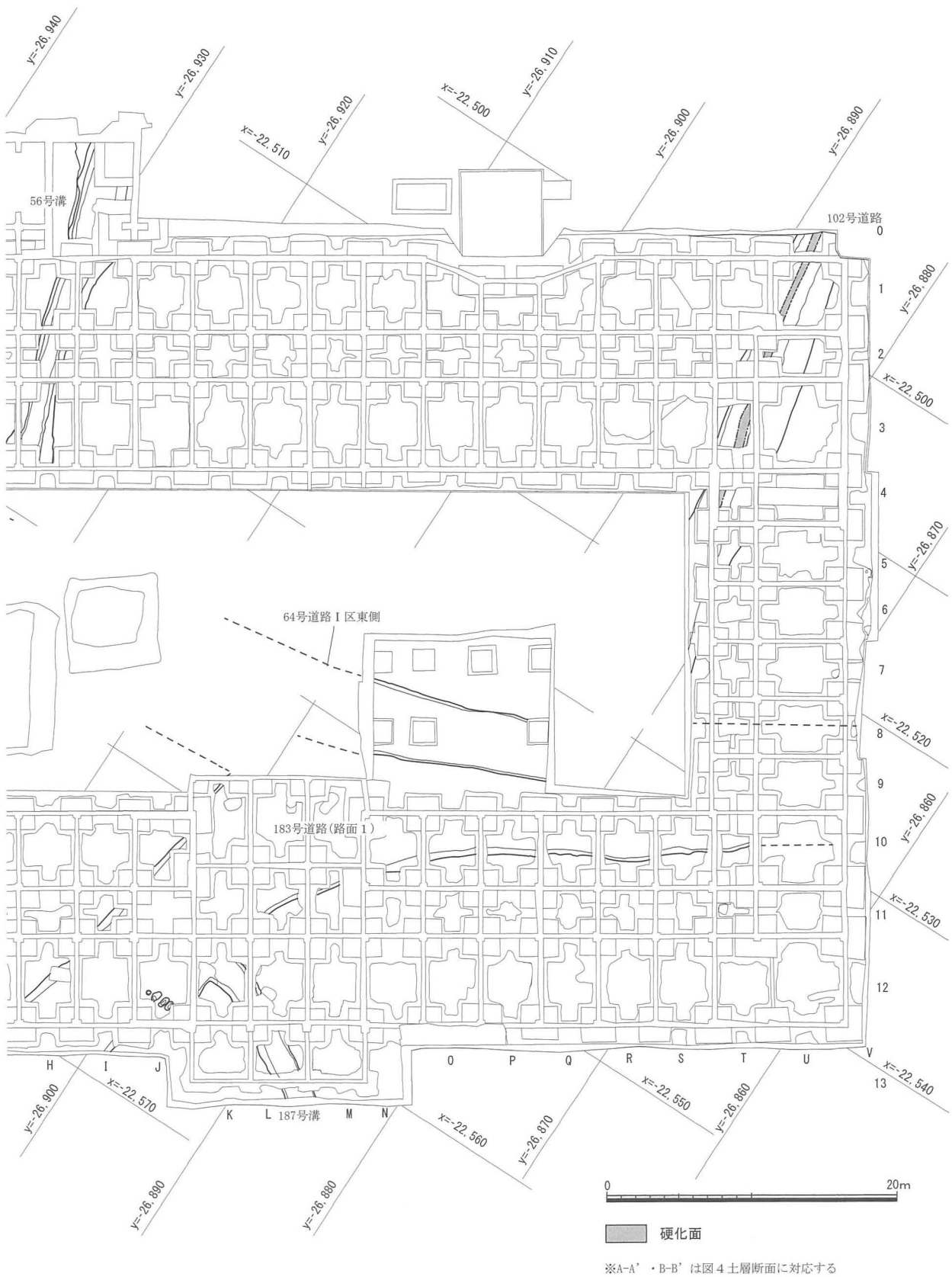


図6 1708調査地点近世・近代遺構配置図 (1/400)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

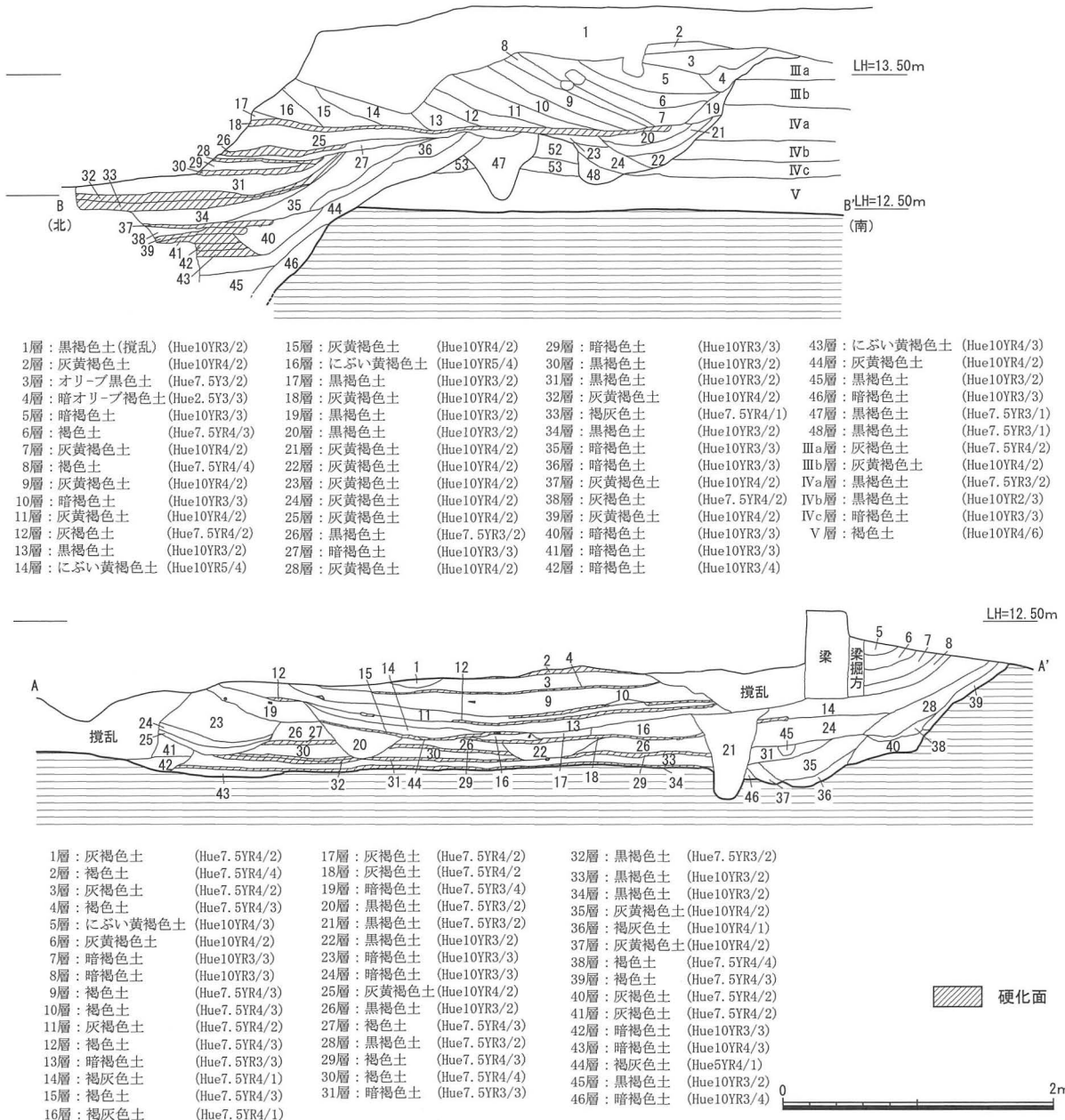


図7 64号道路I区西側土層断面実測図 (1/50)

(3) 検出遺構

I区では大部分がV層まで削平を受けていたため、V層中位で遺構検出を実施した。ただし、中庭の調査区(N~P-7~9グリッド)は基礎掘方が浅い上、地中梁が存在しないため残存状況がよく、IV層中位で遺構を検出することができた。一方のII区南側では、地中梁がフーチングよりも70cm程上位にあり、基礎周辺が削平されるに留まっていた。加えて調査区周辺の旧地形は、白川から南側に向けて緩やかに傾斜しているため、文化層の残存状況が北側に比べて良好であり、III層中位から遺構を検出することが可能であった。またII区北側は、旧外来臨床研究棟の建築工事の際にほぼ全体がVII層まで掘削されており、遺構の大部分は削平を受けていたため、近世の道路遺構の下部が一部残存するのみであった。以下、主要な遺構について、近世・近代と古墳時代・古代に分けて説明をおこなう。

近世・近代の調査 (図6)

I区では近世~近代に比定される道路遺構1条(64号道路)、近世に比定される道路遺構4条(183



号道路、102号道路、217号道路、265号道路)、溝3条(56号溝、187号溝、188号溝)を検出した。またⅡ区では、Ⅰ区の道路遺構(183号道路)の続きと思われる遺構(315号道路)を1条検出した。このうち各道路遺構では、当時の路面に相当する複数枚の硬化面や、硬化面上面で検出される溝や土坑などの遺構が確認できた。発掘調査にあたり、これら遺構の性格を明確にするために大学史等の地図との比較をおこなった。その結果、これらが熊本大学医学部附属病院の前身である熊本県立病院(明治30年建立)の設立以前に存在した遺構であると推定できた。さらに本遺構が江戸時代の絵図との照合によって、当該時期に使用された道路に該当することが分かった。その使用時期は江戸時代前期までさかのぼると思われる。こうした事前の調査により、本道路遺構等が地域史にとってとりわけ重要であると判断し、当センターでは詳細な発掘調査を実施することとした。

#### 64号道路(図7～22)

64号道路はⅠ区をほぼ東西に横断する形で検出された。検出範囲で東西約95m、上端幅最長約6m、検出面からの深さ1.0mを測る。調査区東側端ではやや南へカーブし、調査区西端30m付近(M-9グリッド付近)では南北に軸を持つ183号道路と交錯し、そこから東側では北へ緩やかにカーブする(図6)。A～E-3・4グリッドのV層褐色土層で幅6m程の平面プランが検出され、当初は溝と認識して調査を開始した。しかし、土層断面上で複数の硬化面や側溝を認識でき、道路遺構であることが明確となった。先述のとおり本道路遺構が重要性の高い遺構であると判断されたため、以後は各硬化面を検出するなど、詳細な調査を実施する運びとなった。64号道路は大きく分けて以下の三地点で検出できており、それぞれA～E-3・4グリッドをⅠ区西側、N～P-7～9グリッドをⅠ区東側、Ⅱ区のv～z-1グリッドをⅡ区北側と呼称し、以下、検出地点ごとに説明をおこなうこととする。硬化面の様相は各検出地点でばらつきがあり、対応関係を明確にすることはできないため、各地点で硬化面番号を付した。各硬化面からは道路遺構の長軸に沿うようにして掘られた溝や、路面上で検出される比較的短い溝や土坑、不定形の連続土坑が検出されている。前者は道路側溝に相当し、後者は道路遺構で頻繁に検出される性格不明の「波板状痕跡」に該当する。説明にあたり側溝の性格を持つ遺構にはDに数字を付し、単一土坑、あるいは連続的土坑(波板状痕跡を含む)にはKに数字を付すこととする。遺構の規模の説明中でとくに注記のない場合、「深さ」は検出面からの深さを示す。出土遺物については、波板状痕跡埋土内から土器や鉄器など破片資料が出土するほか、礫が多くみられる。礫の存在は波板状痕跡の性格を考える上で重要だと判断し、注記することとした。

#### 64号道路Ⅰ区西側(図7～12)

Ⅰ区西側、A～E-3・4グリッドで検出した64号道路について説明をおこなう。検出地点西側では遺構上部が旧外来臨床研究棟の基礎掘方によって破壊を受けている。検出面では幅約7m、深さ0.8mを測り、断面U字状の切通し構造を呈する。道路主軸はE-16°-Nを示す。B～E-3グリッドでは遺構埋土を一括して掘削したが、A-3・4グリッドでは硬化面を複数枚検出することができた。調査では8枚の硬化面を確認し、各硬化面上で側溝や波板状痕跡を検出できた。各硬化面と溝など検出した遺構の概要、遺物の出土状況について説明をおこなう。

硬化面1はⅠ区西側において攪乱埋土直下で検出された(図8、図7下-2層)。北側から7mの範囲で硬化面は路面を覆うようにして確認され、幅2.6m、厚さ2～4cmを測る。硬化面上面では、路面に沿って東西に軸を持つ溝D1が検出された。幅0.4m、深さ0.1mを測る。路面の中央付近から硬化面にややめり込むようにして束になった寛永通宝が出土している(図51-34・35)。

硬化面2は硬化面1の10cm程下位、路面中央付近で検出された(図8、図7-4層)。硬化面は路面に沿って検出され、幅2.5m、厚さ約2cmを測る。硬化面上面では溝D2を、硬化面の範囲外では

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

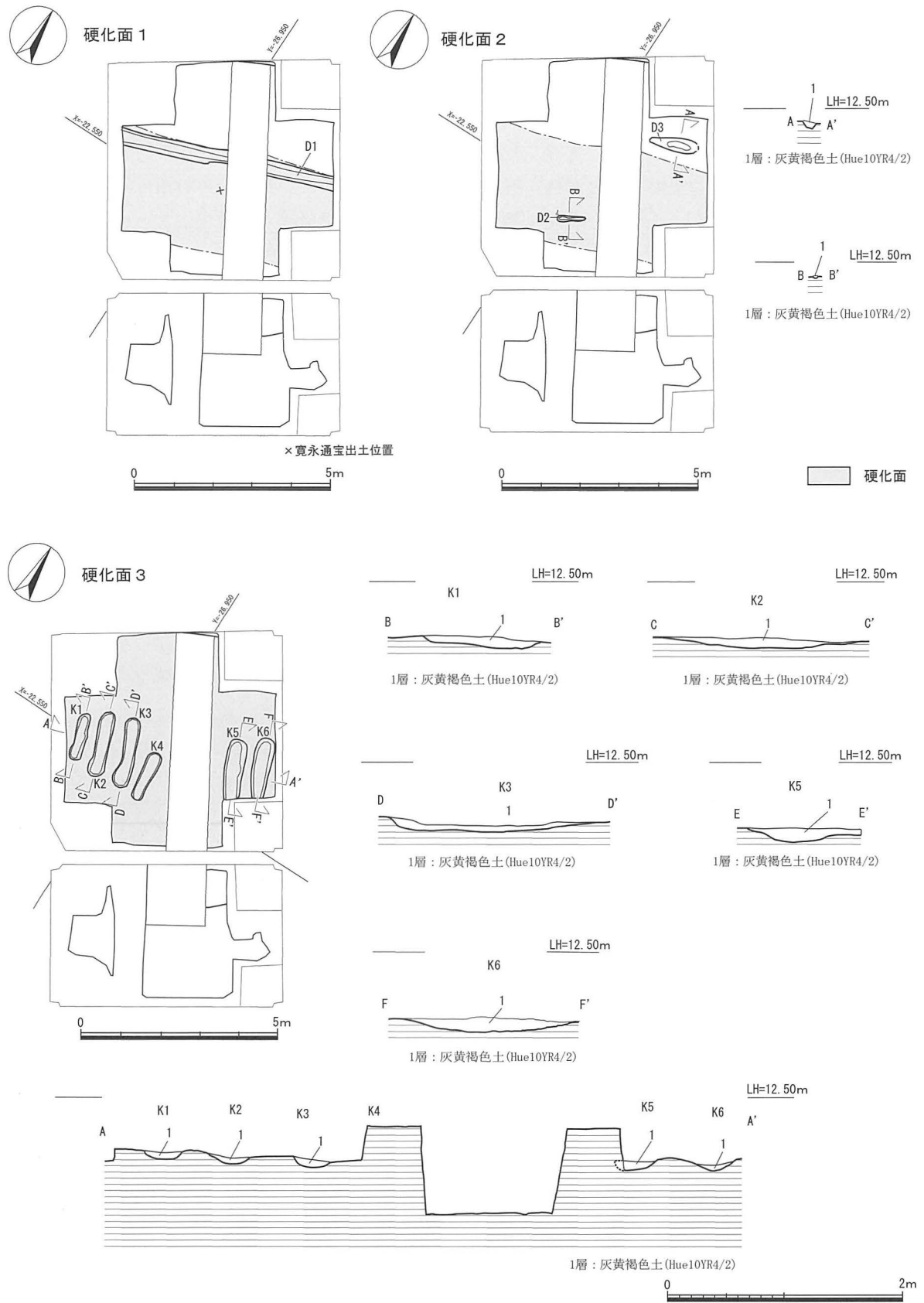


図8 64号道路I区西側硬化面1・2・3検出遺構実測図(1/150・1/50)

硬化面 4

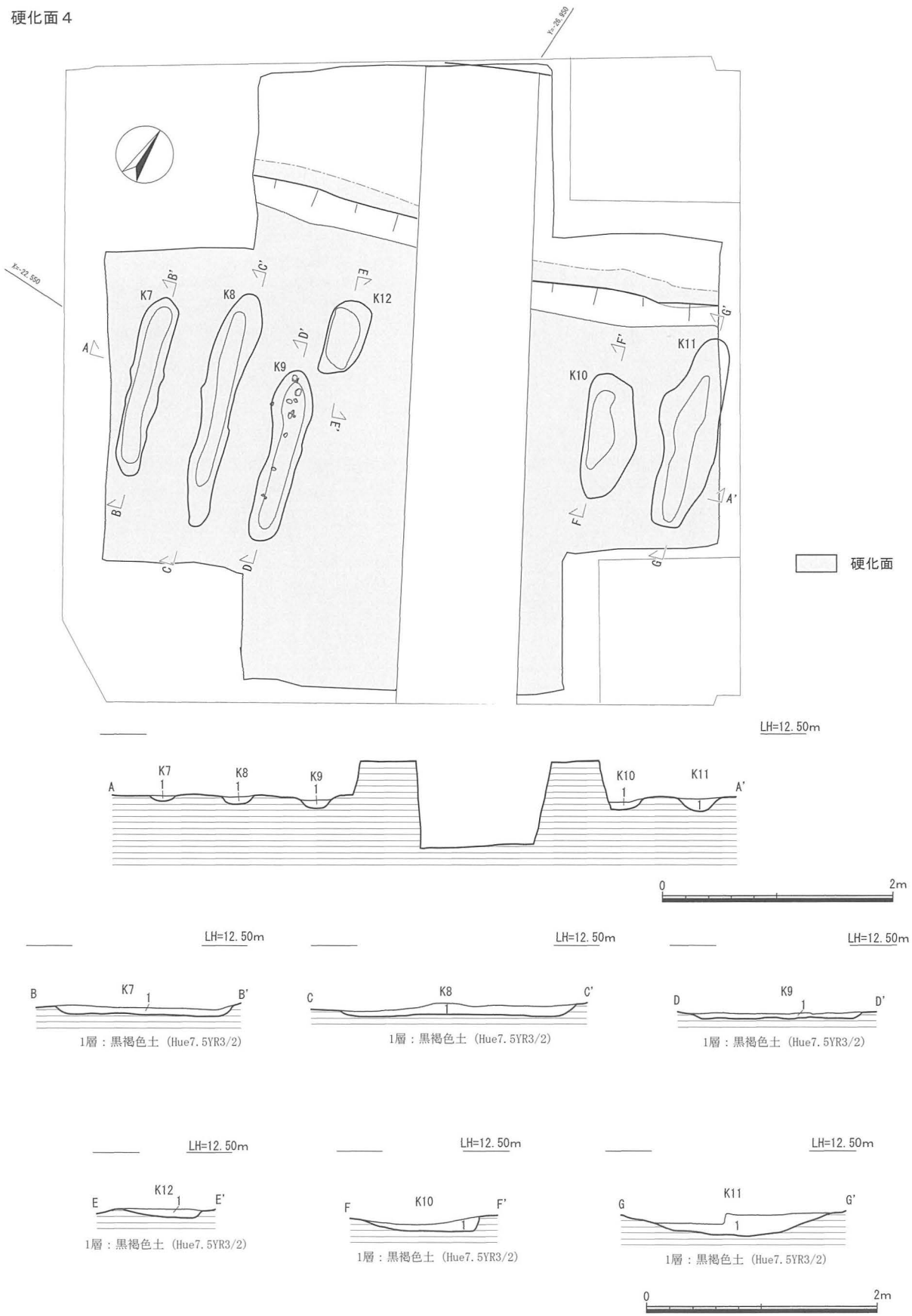


図9 64号道路I区西側硬化面4検出遺構実測図(1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

硬化面 5-a/5-b

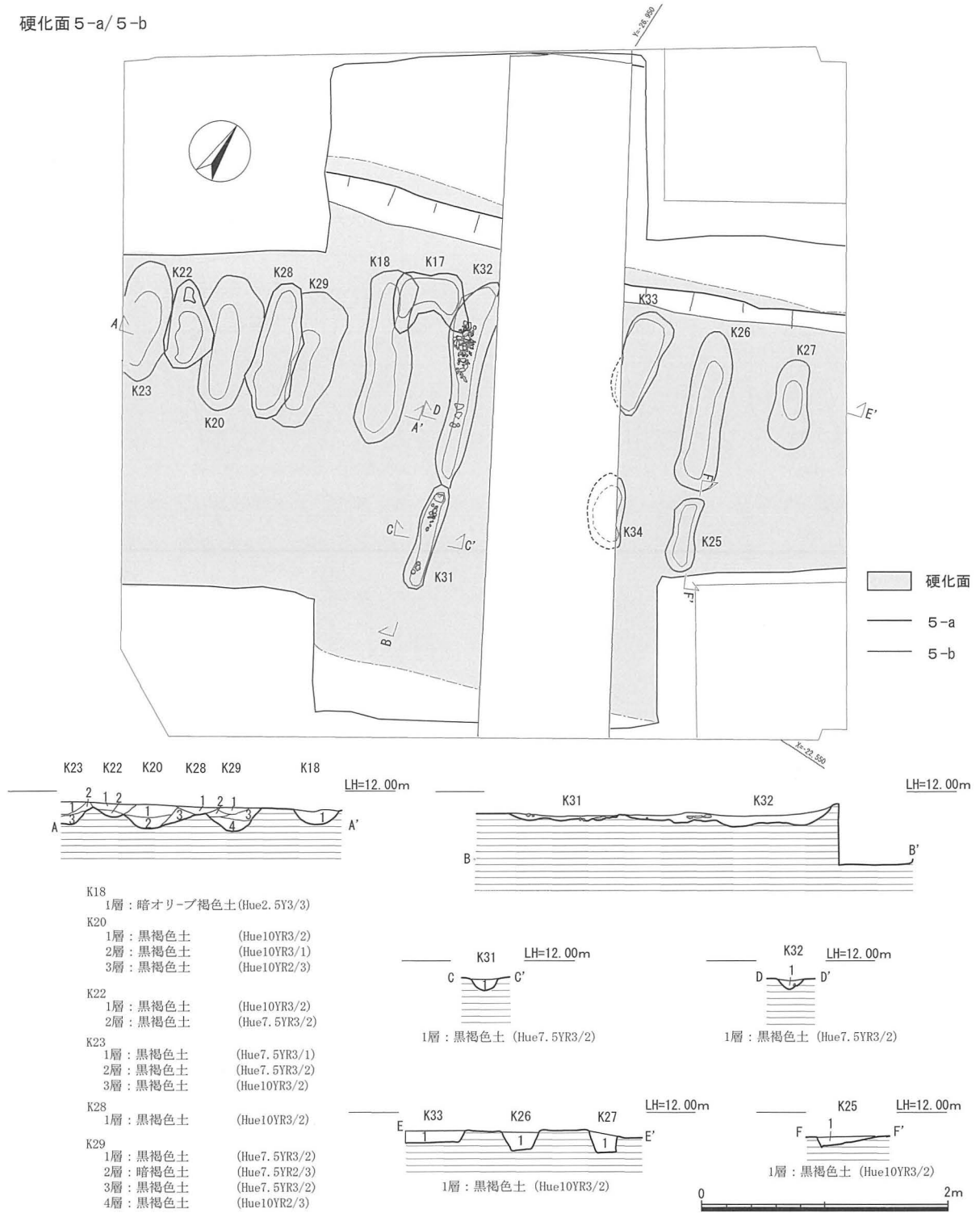


図10 64号道路I区西側硬化面5-a・5-b検出遺構実測図(1/50)

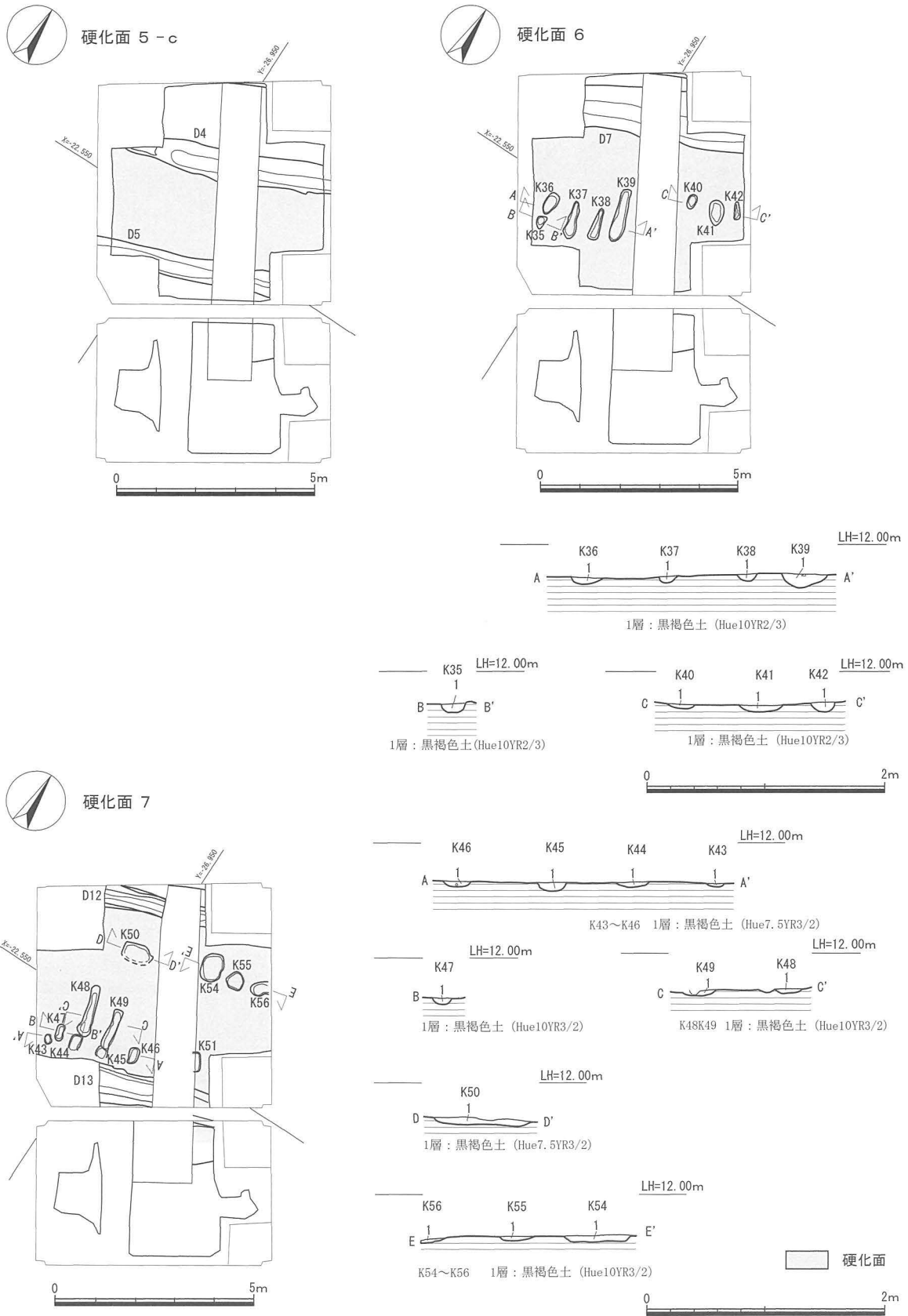


図11 64号道路 I 区西側硬化面5-c・6・7検出遺構実測図 (1/150・1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

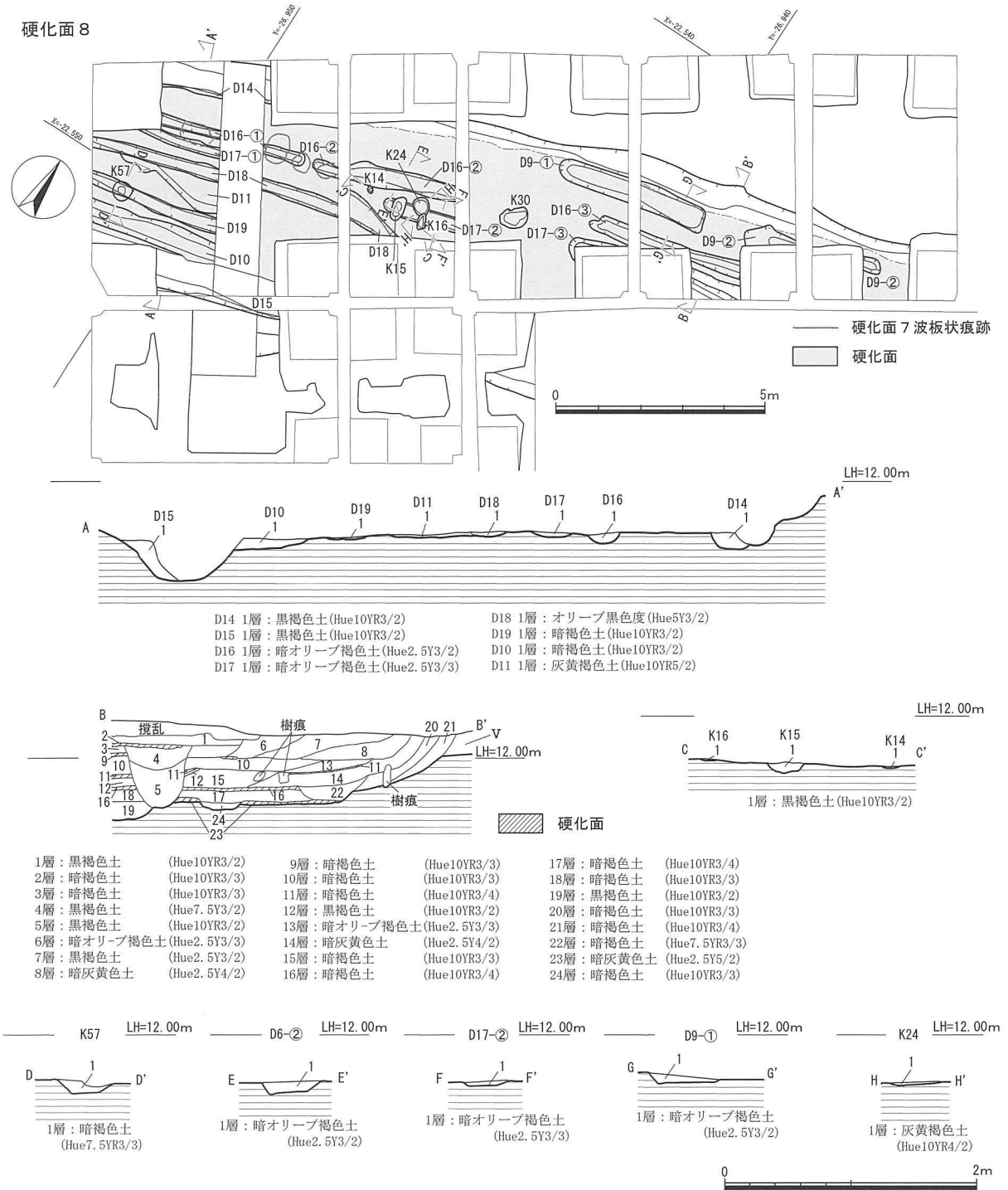


図12 64号道路 I 区西側硬化面 8 検出遺構実測図 (1/150・1/50)

溝D 3を検出した。いずれも東西に長軸を持ち、D 2は長軸0.7m、短軸0.2m、深さ0.1mを測る。D 3は長軸1.3m、短軸0.4m、深さ0.2mを測る。これらは路面と同一軸に走る溝であり、連続して並ばないため、波板状痕跡とは性格が異なると思われる。

硬化面3は硬化面2の15cm程下位、A-3グリッド全域で検出された(図8、図7-10層)。幅約5.5m、厚さ2cmを測る。硬化面上面では道路軸に直行する向きの溝状の波板状痕跡が6基(K1-6)検出された。短軸方向の断面形態がレンズ状で、長軸1.3~1.8m、短軸0.3m、深さ6cmを測る。

各痕跡の心心間距離は0.6～0.7mと統一的である。埋土中からは遺物は出土しなかったが、炭化物を多く含む特徴があった。

硬化面4は硬化面3の5cm程下位、路面全体にかけて検出された(図9、図7-12層)。幅約4.2m、厚さ2cmを測る。硬化面上面では溝状の波板状痕跡が6基(K7～12)検出された。長軸は0.7～2.1m、短軸0.3～0.5m、深さ6～18cmを測る。短軸方向の断面形態はレンズ状で、長軸方向の断面では端部がゆるやかに傾斜するものと、急に立ち上がるものが確認できる。各溝の心心間距離は0.7mと統一的だが、K7～9・12とK10・11には分布的空白が存在する。K7～12では底面に張り付くようにして土師器・須恵器・磁器・陶器・瓦器・瓦の破片や鉄釘・火打石・礫が検出されている。

硬化面5は硬化面4の6～8cm下位、路面中央付近において検出された(図10・11、図7-15層)。幅約3.8m、厚さ2cmを測る。本検出面では、路面北側において中端が確認され、下端から中端までの斜面には硬化面が検出されなかったが、中端外側には硬化面が一部認められた。硬化面5上面の遺構は切合い関係によって3時期に分けられ、新しい順にa～cの枝番を付した。硬化面5検出範囲からはK17・22・28の溝状の波板状痕跡3基(5-a)を検出し、これらに切られる形でK18・20・23・25・26・27・29・31～34の溝状の波板状痕跡11基(5-b)を検出した。5-aの波板状痕跡は長軸0.35～1.1m、短軸0.4m、深さ0.1mを測り、心心間距離は0.75mである。5-bの波板状痕跡は長軸0.5～1.7m、短軸0.16～0.5m、深さ5～20cmを測り、各溝の心心間距離は0.7mと統一的である。5-aの波板状痕跡の埋土上面はやや硬くしまっており、5-bの形成時までで一時期路面となっていた可能性がある。また、路面北側中端の硬化面を掘削したところ、その直下から溝状遺構のD4が検出された。路面を挟んだ2m南側でもD4に対応する溝状遺構D5を検出し、これらを硬化面5中の最終面と判断した(5-c)。溝の幅は0.65～0.75m、深さ0.2mを測り、両溝の心心間距離は2.5mである。波板状痕跡の主に底部から土師器・須恵器・磁器・陶器・瓦の破片や鉄塊・礫が出土した。側溝からは土師器・陶器・鉄塊が出土した。

硬化面6は硬化面5から約5cm下位、路面中央付近で検出された(図11、図7-18層)。幅約4m、厚さ2cmを測る。硬化面検出面北側では溝D7を検出しており、幅1m、深さ0.3mを測る。硬化面上面からは波板状痕跡を8基(K35～42)検出した。このうちK37～K39は溝状、K35・36、K40～42は楕円状の平面プランを持つ。波板状痕跡は長軸0.4～1.4m、短軸0.2～0.4m、深さ0.1mを測り、心心間距離は0.7～0.8mにおさまる。波板状痕跡の底部から土師器・須恵器・磁器・陶器・瓦の破片や鉄塊・礫が、側溝からは土師器・須恵器の破片、礫が出土した。特にK43・44では遺物が多量に出土している。

硬化面7は硬化面6の10cm下位、路面中央付近で検出された(図11下、図7-29層)。幅約4m、厚さ2～3cmを測る。硬化面検出面では路面長軸に沿うようにして南北に溝D12・D13が検出されており、その検出位置から硬化面6形成時に伴う側溝であると推定できる。D12は幅0.5m、深さ0.2m、D13は幅0.8m、深さ0.22mを測り、両溝の心心間距離は約4.6mである。側溝の断面形状は浅いU字状を呈する。また、硬化面6検出面では波板状痕跡12基(K43～51・54～56)を検出した。本硬化面における波板状痕跡は、長軸0.2～1.3m、短軸0.2～0.5m、深さ0.2m、心心間距離は0.7～0.8mを測る。硬化面南側に並列する楕円形状のK43～46、51とそのやや北側に並列する溝状のK47～49は、平面形態の差や検出位置のずれから、やや時期差があるように思われる。これら波板状痕跡の底面からは土師器・須恵器・磁器・陶器・瓦器・瓦の破片や礫が出土している。

硬化面8は硬化面7の5cm程下位、路面中央で検出された(図12、図7-34層)。本硬化面が64号道路の最下面の路面に相当する。幅3.5m、厚さ2cmを測る。本硬化面上面では硬化面3～7にみら

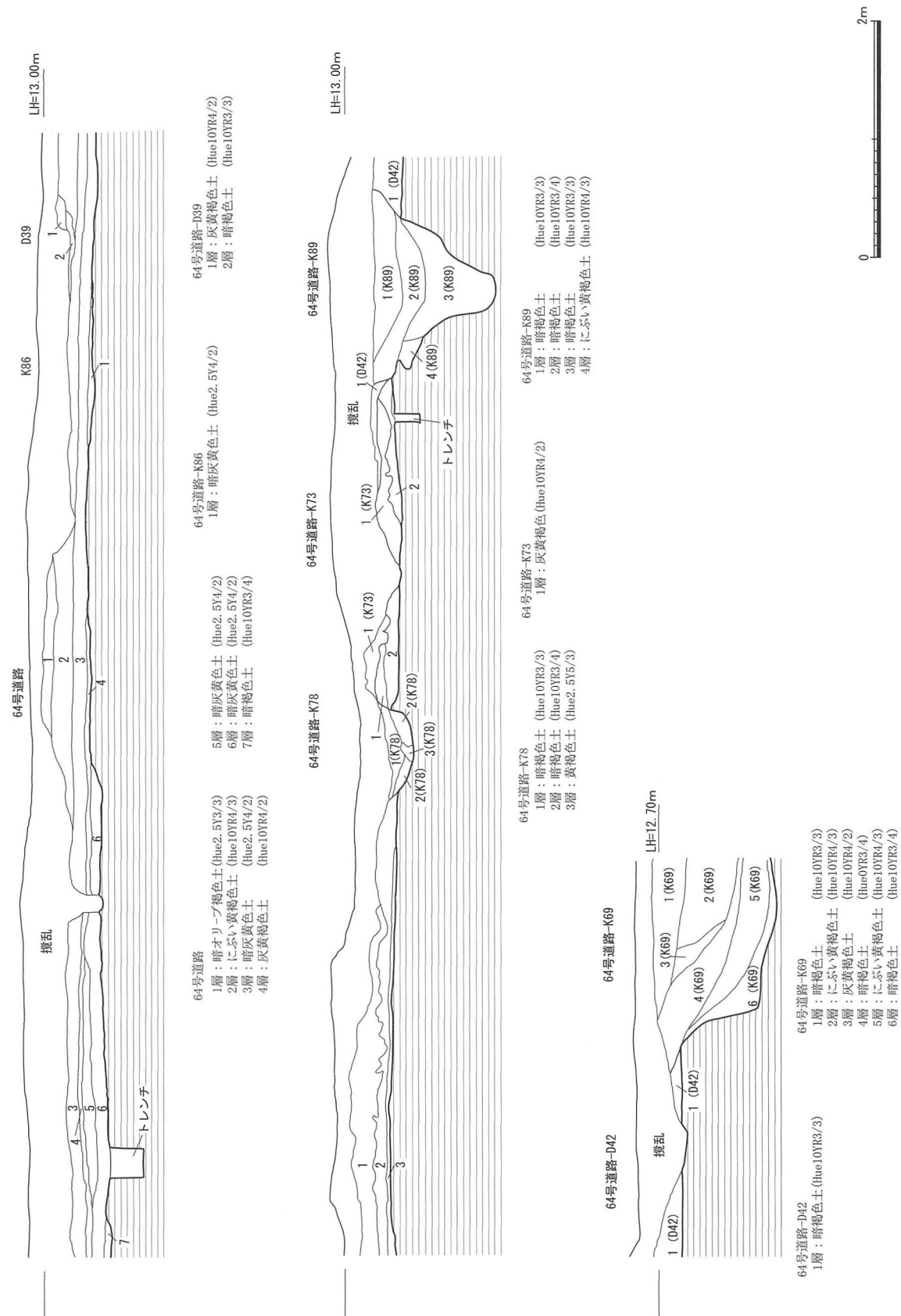


図 13 64号道路Ⅱ区北側・南壁土層断面実測図 (1/50)





1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

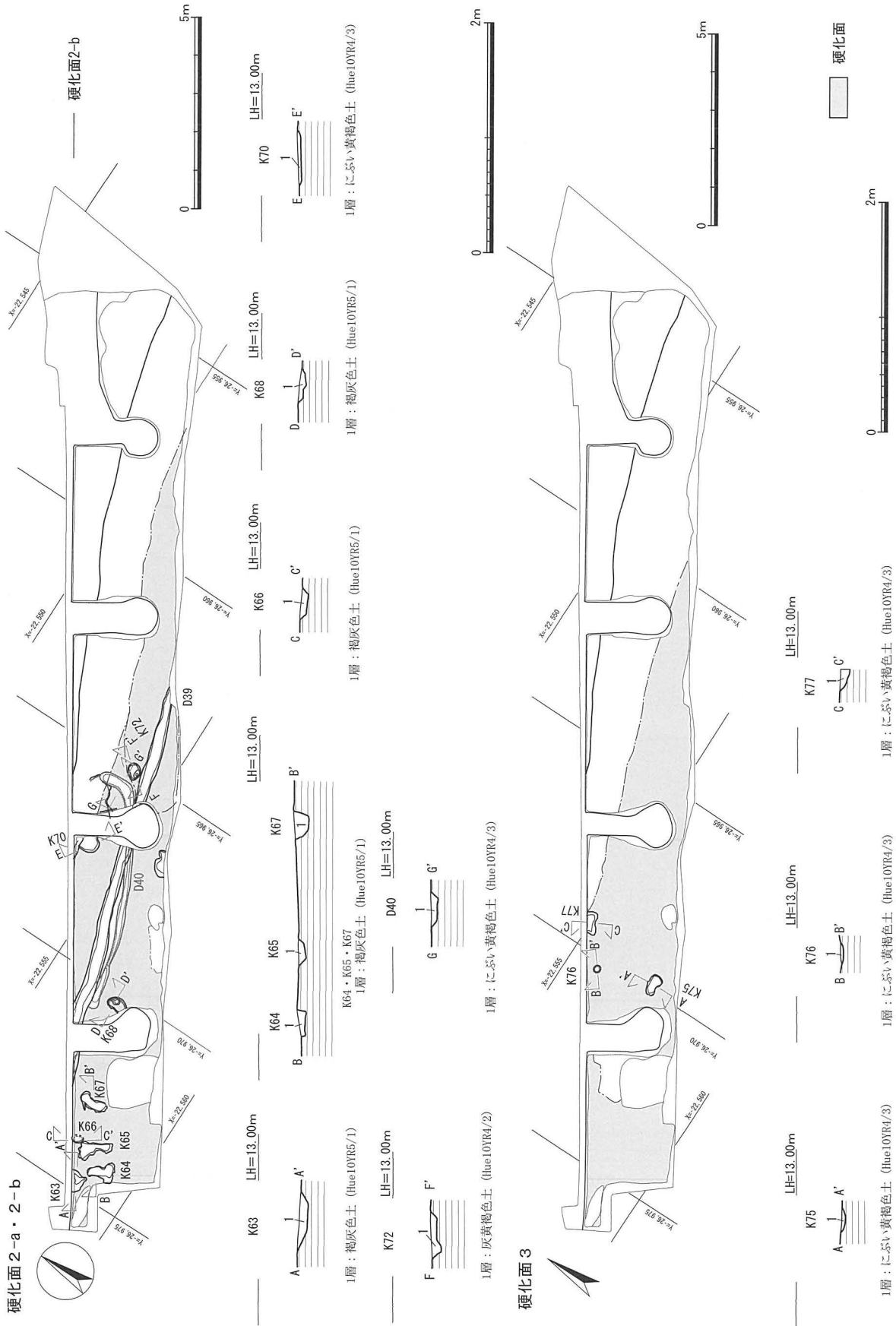


図15 64号道路Ⅱ区北側硬化面2-a・2-b・3検出遺構実測図 (1/150・1/50)

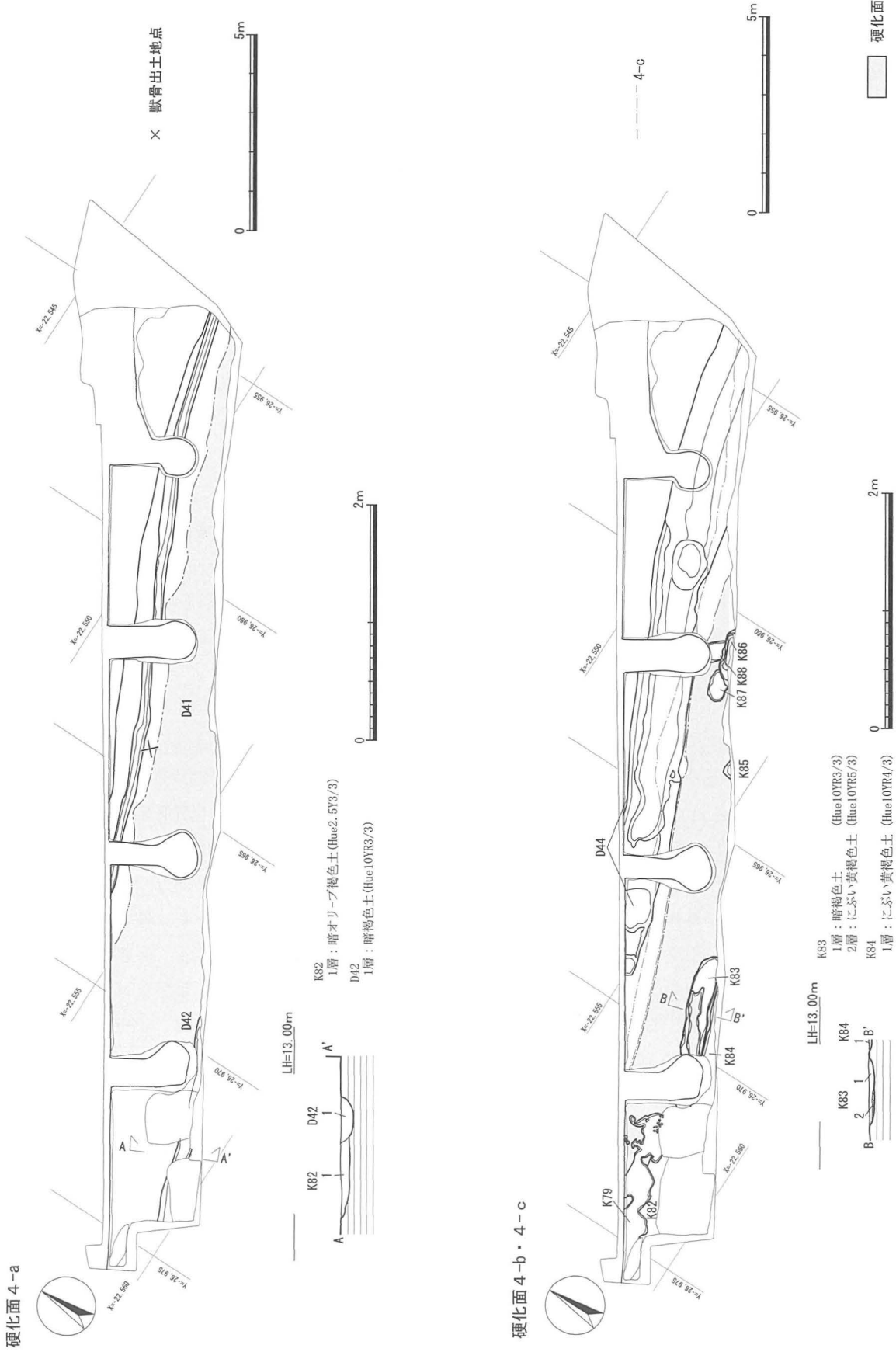


図16 64号道路Ⅱ区北側硬化面4-a・4-b・4-c検出遺構実測図 (1/150・1/50)

れたような道路遺構に直行する波板状痕跡はほぼ確認できなかったのに対し、道路遺構に並行する溝状遺構が数多く検出された。また、A-3グリッドの中央からやや西側付近では土坑K57が検出された。幅0.5×0.5mのピット状で深さ4cmを測る。B-3グリッドでは土坑K14・15・16・24が検出された。このうちK14~16は長軸0.2~0.6m、短軸0.1~0.3m、深さ2~10cm、心心間距離は0.65~0.8mを測る。K24は0.4×0.4mのピット状で、深さ2cmを測る。また、路面長軸とほぼ同一方向の溝状遺構であるD9~11・14~19が検出された。各溝は基礎梁や攪乱により途切れているものの、ほぼ同じ並びである点や隣接するため、同一遺構と思われるものには枝番を付して図に示した。D9-①はC・D-3グリッド、道路北側の立ち上がり付近に位置する。長軸3.7m、短軸0.7m、深さ8cmを測る。D9-②はDE-3グリッド道路北側の立ち上がり付近に位置する。長軸3.4m、東側短軸0.3m、深さ5cmを測る。D10・11・14・17・19は短軸0.2~0.8m、深さ3~30cmを測り、本検出地点の西側に延びるものとみられる。D16・17は本地点の東西に長く、断続的に広がっていた。長軸14.3~14.5m、短軸0.2~0.5m、深さ8cmを測る。D16・17の空白地でK30が検出された。プランは0.7×0.4mで深さ4cmを測る。他の溝とやや向きを異にしてD18が検出されている。幅0.3~0.6m、深さ4cmを測る。各検出遺構からは土器片がごく少量出土するのみであった。

#### 64号道路Ⅱ区北側 (図13~16)

64号道路Ⅰ区西側の西側延長部分に相当する。Ⅱ区のv~z-1グリッドで検出した。旧外来臨床研究棟の建物基礎によって上部構造の大部分が破壊を受けていたが、4面の硬化面を検出することができた。道路は主軸がE-26-Nを示し、z-1グリッド付近で道筋がやや南側へカーブしている。本グリッドにおける工事は、グリッド北側のコンクリート壁の撤去を目的としていた。そのため本グリッドより南側については調査の必要がなかった。

本道路遺構検出地点において、攪乱埋土を除去した後に検出した最初の硬化面を硬化面1とした(図14)。本地点は建物掘方などで大部分が削平されているため、硬化面の検出は部分的なものとなった。幅約1.5m、厚さ4cmを測る。x-1グリッドでは南側に一部遺構埋土が残っており、埋土を掘削後に土坑K62が検出された。この他、攪乱除去後に硬化面1よりも下位から土坑K69・73・78・89、溝D38が検出されたが、南壁土層断面(図13)で確認したところK73以外の遺構は硬化面1に伴う遺構でなく、より上位に存在した硬化面に伴う遺構の可能性が高い。K62・73は平面プランが歪で底部に凹凸面を持つ。現状で長軸1.3~2.5m、短軸0.4~0.6m、深さ0.12mを測る。埋土は並行葉理の砂層堆積で、鉄分・マンガンの沈着が認められる。K69は現状で長軸1.6m、短軸0.7m、深さ0.9mを測る。K89は現状で長軸1.2m、短軸0.4m、深さは0.9mを測る。K78は全体規模不明、深さも0.2m程であるが、南側の未調査部分はさらに深くなる様子を示す。K69・89・78の3つの土坑は、道筋に沿って直線状に並び、心心間距離約4mと統一の間隔を持つことから、同時期の関連遺構と考えられるがその性格は不明である。溝D38は路面に沿って検出されたことから側溝であると考えられる。本遺構の検出面は下位の硬化面2と同レベルだが、調査の結果、硬化面1あるいはその上位の硬化面に伴う遺構と推定される。現状で幅0.4m、深さ0.36mを測る。図化できる遺物はなかった。

硬化面2は硬化面1の4cm程下位、調査区南側で検出された(図15上)。幅約2.25m、厚さ2cmを測る。硬化面上面では土坑K63~68・70・72、溝D39・40を検出した。K63~68はそれぞれ統一性のない歪んだ平面プランを持つ。長軸0.15~0.9m、短軸0.2~0.6m、深さ8~12cmを測る。これらは平面プランや規格、その位置から同時期の関連遺構(波板状痕跡)と考えられる。いずれの埋土にも並行葉理を有する砂層堆積がみられ、一部に鉄分の沈着が認められる。そのためある時期に一括で埋没した遺構の可能性が高い。K70は他の土坑と埋土の様子が異なり、シルト質の粘性土で炭化物を多く

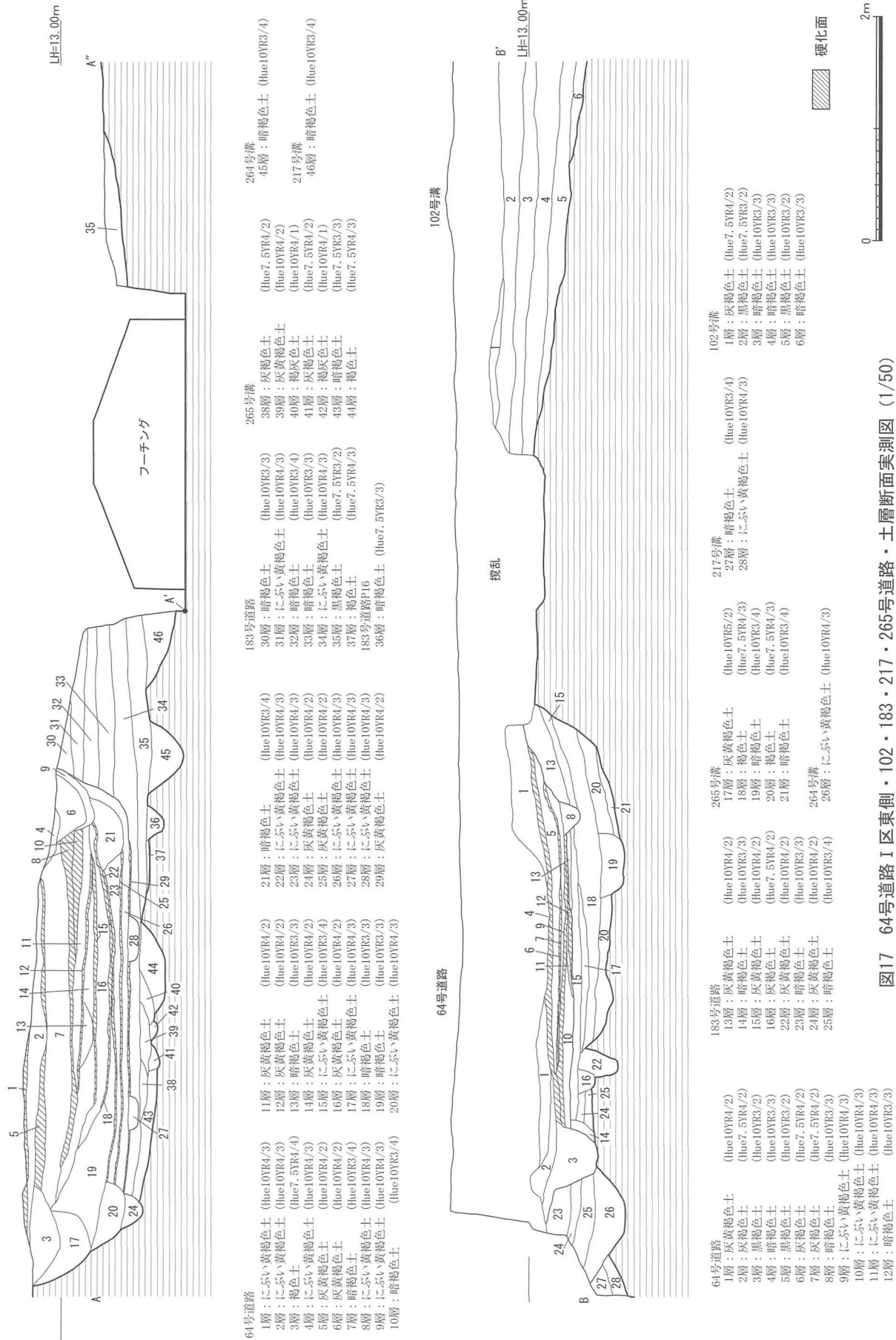


図17 64号道路 I 区東側・102・183・217・265号道路・土層断面実測図 (1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

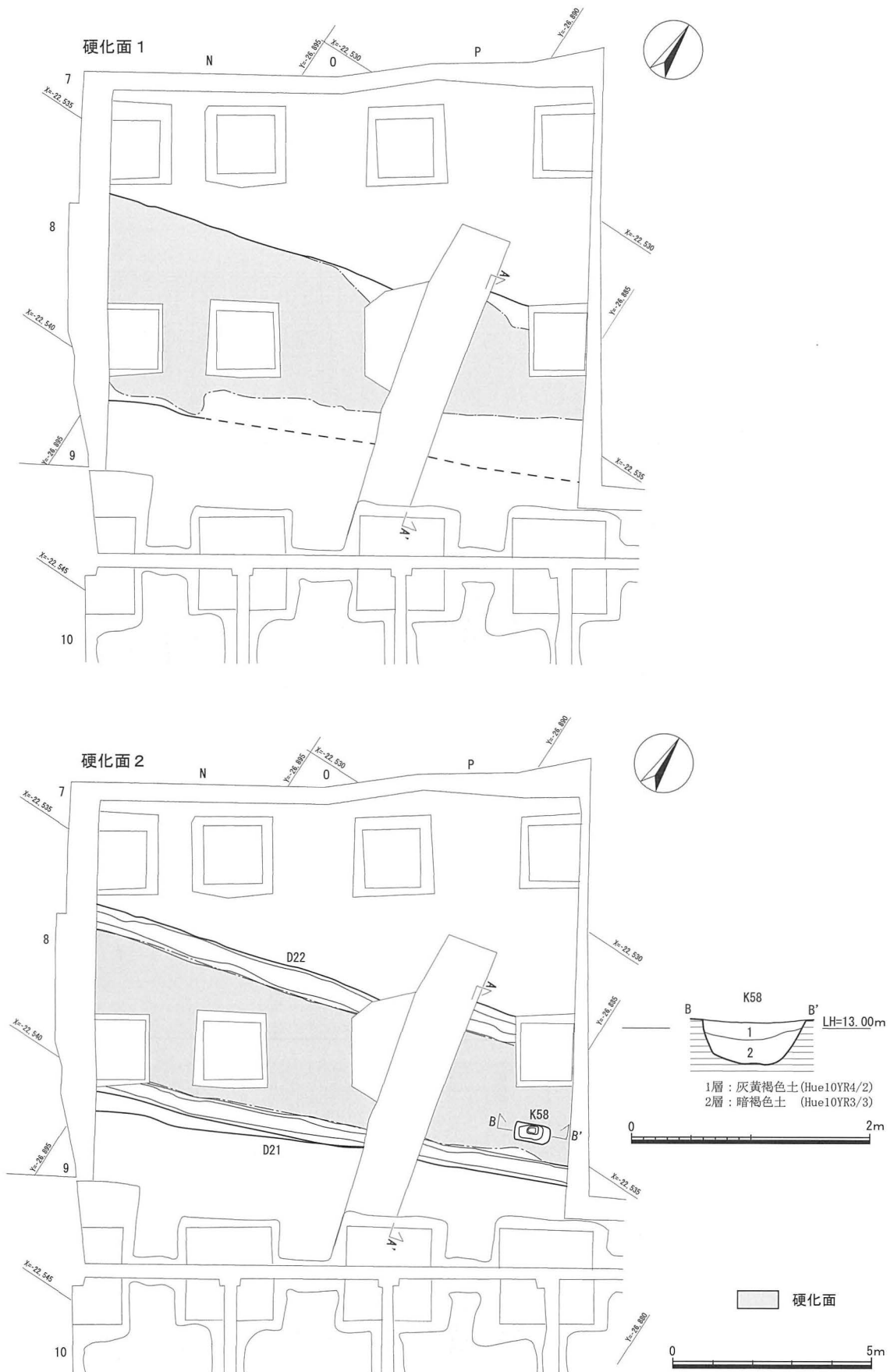


图18 64号道路I区东侧硬化面1・2検出遺構実測図 (1/150・1/50)

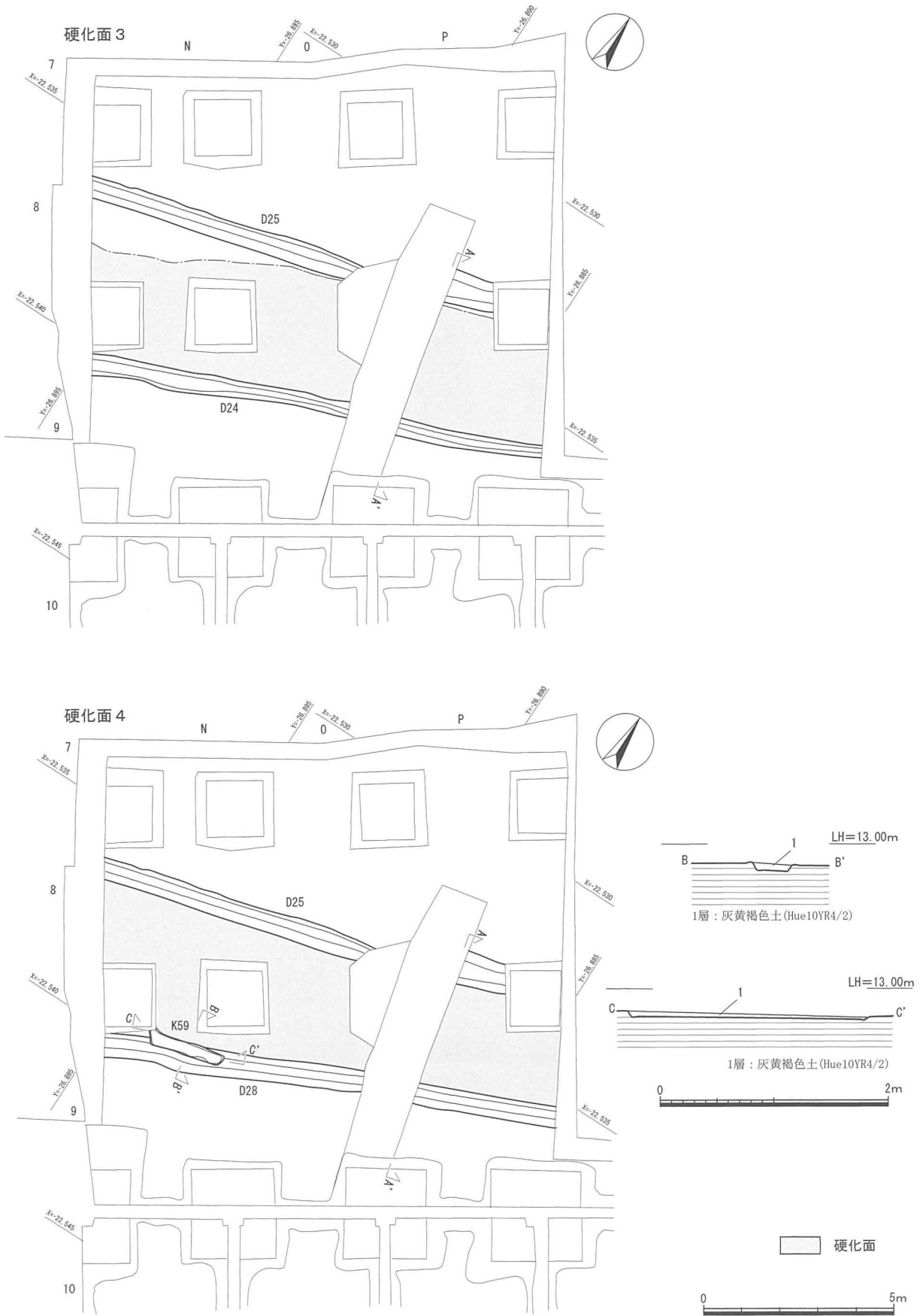


図19 64号道路I区東側硬化面3・4検出遺構実測図 (1/150・1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

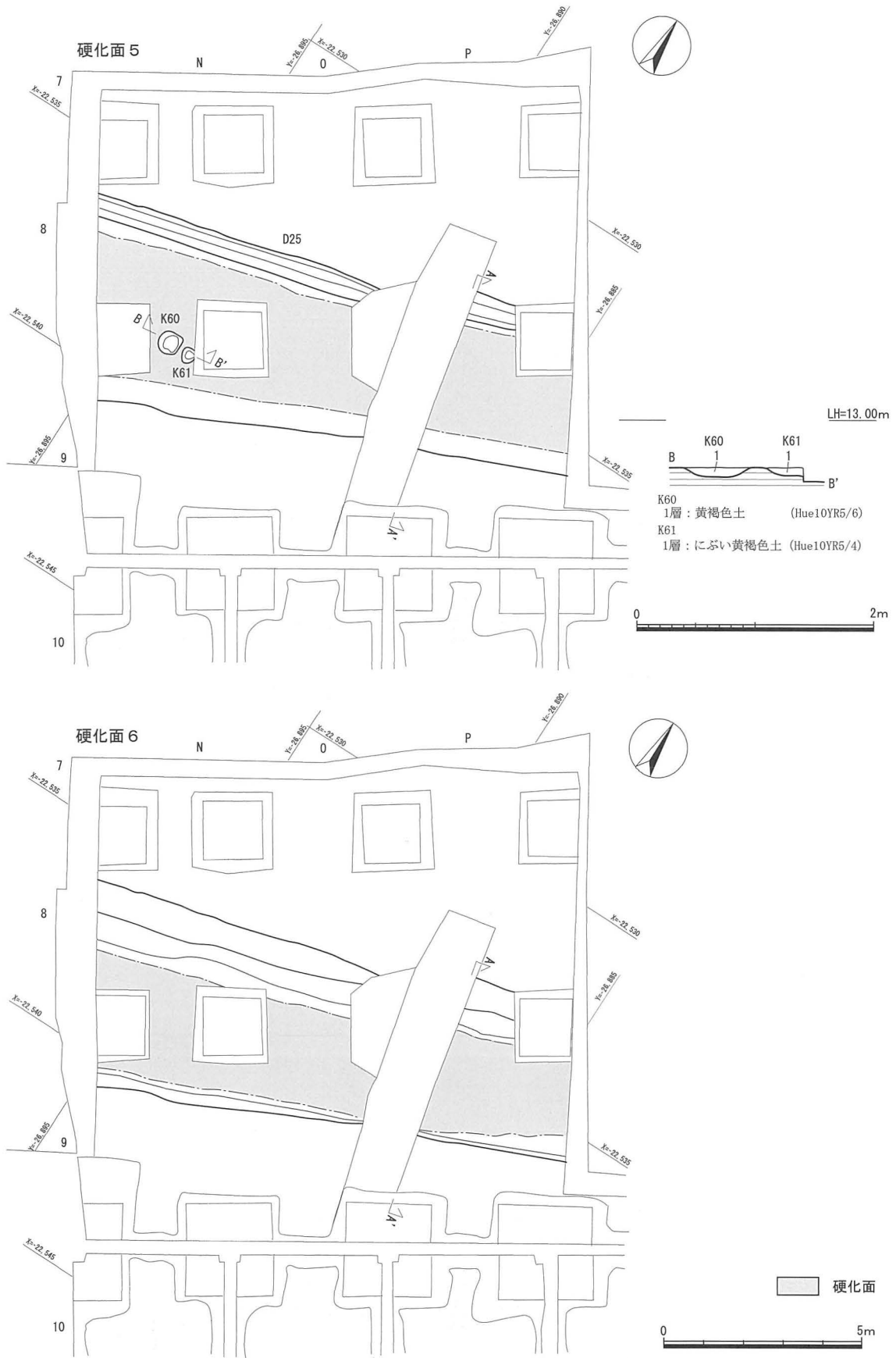


図20 64号道路I区東側硬化面5・6検出遺構実測図(1/150・1/50)



含み、一部から骨片を検出した。現状で長軸2m、短軸0.6m、深さ2cmを測る。D39は長さ9m、幅0.4m、深さ0.14mを測る。D40はD39に切られる形で検出された。西側に中端があり、東端では北側へL字に屈曲する。長さ6m、幅0.3m、深さ0.1mを測る。図化できる遺物はなかった。

硬化面3は硬化面2の4cm程下位、調査区南側で路面に沿って検出された(図15下)。幅2.25m、厚さ2cmを測る。硬化面上面では土坑K75~77を検出した。K75は長軸0.2~0.6m、短軸0.2~0.3m、深さ3~10cmを測る。遺物は出土しなかった。

硬化面4は硬化面3の3cm程下位、調査区南半で路面に沿って検出された(図16上)。遺構の検出状況と切合い関係から本硬化面を3時期に分け、新しい順にa~cの枝番を付した。硬化面4-a(図14左下-9層)ではD41(図14左下10層が溝埋土に対応)・42の2条の側溝を検出した。D41は幅0.4mで深さ0.26mを測る。D42は幅0.4mで深さ0.1mを測る。両側溝の心の間距離は約2.7mである。x-1グリッド中央付近D41南側からは骨片が検出されている。D41南側路面の硬化面を剥がしたところ、v~z-1グリッド付近に新たに溝D44が検出された(硬化面4-b)。幅が最大で1.5m、深さ0.2mを測る。D44は3段分の中端を持ち、法面が階段状に成形されている。検出当時の所見として、本遺構は複数回造り直された痕跡が認められている。硬化面の範囲内からは土坑K79・82~88が検出された。これら土坑の平面プランは歪で、このうちK79とK82は規模が大きく、現状で長軸2.1~4.5m、短軸0.15~0.95m、深さは0.1~0.3mである。K82はK79に切られる形で検出された。このうちK79の埋土中には、ロームブロックを多量に含み東端付近に3~5cm大の礫が多く出土するなどの特徴が認められた。他の土坑埋土が並行葉理の砂層堆積であることと対照的で、埋没過程の違いを表す可能性があり注目すべきである。K82の南側は硬化面1で検出されたK69に壊されているためその全体規模は不明である。K83~88は現状で長軸0.3~2.25m、短軸0.2~0.6m、深さ0.15mである。K83は底部で路面と並行する帯状の硬化面が検出されている(硬化面4-c)。幅0.2~0.6m、厚さ0.15cmを測る。本硬化面で検出された土坑群は平面プランが歪な点や土坑埋土の堆積状況から、風雨や使用によって生じた路面上の窪みの可能性が高い。ただし、埋没過程は窪みによって異なり、窪みが生じてからも長期間放置されたもの(K83)もあれば、人工的に埋め戻されたもの(K79・K82)、自然に埋没していったもの(K85~88)などがあり、その性格は多様である。

#### 64号道路 I 区東側(図17~22)

64号道路のI区東側検出地点に相当し、N~P-7~9グリッドに位置する。西側は調査範囲外へ延び、64号道路I区西側へ繋がる。東側の延長部分はS~U-8~10グリッドへ延びると想定されるが、攪乱が深く残存していない。N~P-7~9グリッドは中庭に建物を増築した部分であり、基礎掘方が浅く、地中梁も存在しないことから残存状況が良好で、古代包含層と褐色砂層の漸移層(IVc層)から検出できた。本検出地点では南側に向かうほど削平が深く、南側0.7mの範囲は一部壊されていた。硬化面はN~P-8・9の範囲で計10枚確認でき、検出面での道路上端幅は5mで、最下の硬化面の検出面からの深さは0.95mを測る。検出された硬化面の厚さは2~5cmである。主軸はE-20°-Nで64号道路I区西側より南側に若干カーブしている。

硬化面1は表土を除去したところで検出された(図18)。残存している硬化面の最大幅は4.6mで厚さは5cmを測る。N-8・9グリッドは周辺に比べて残存状況が良好で、埋土が若干残っていた。先行トレンチを西側壁際に入れたところ硬化面1上面または被覆する埋土中から「祝」「縣□□本病院・移轉式」と記された記念盃が出土した(図49-1)。この盃は明治34年3月24日の県立熊本病院落成移轉式に関係者に配られたものとみられ、検出された道路遺構の廃道時期を示すも重要な資料と考えられる。

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

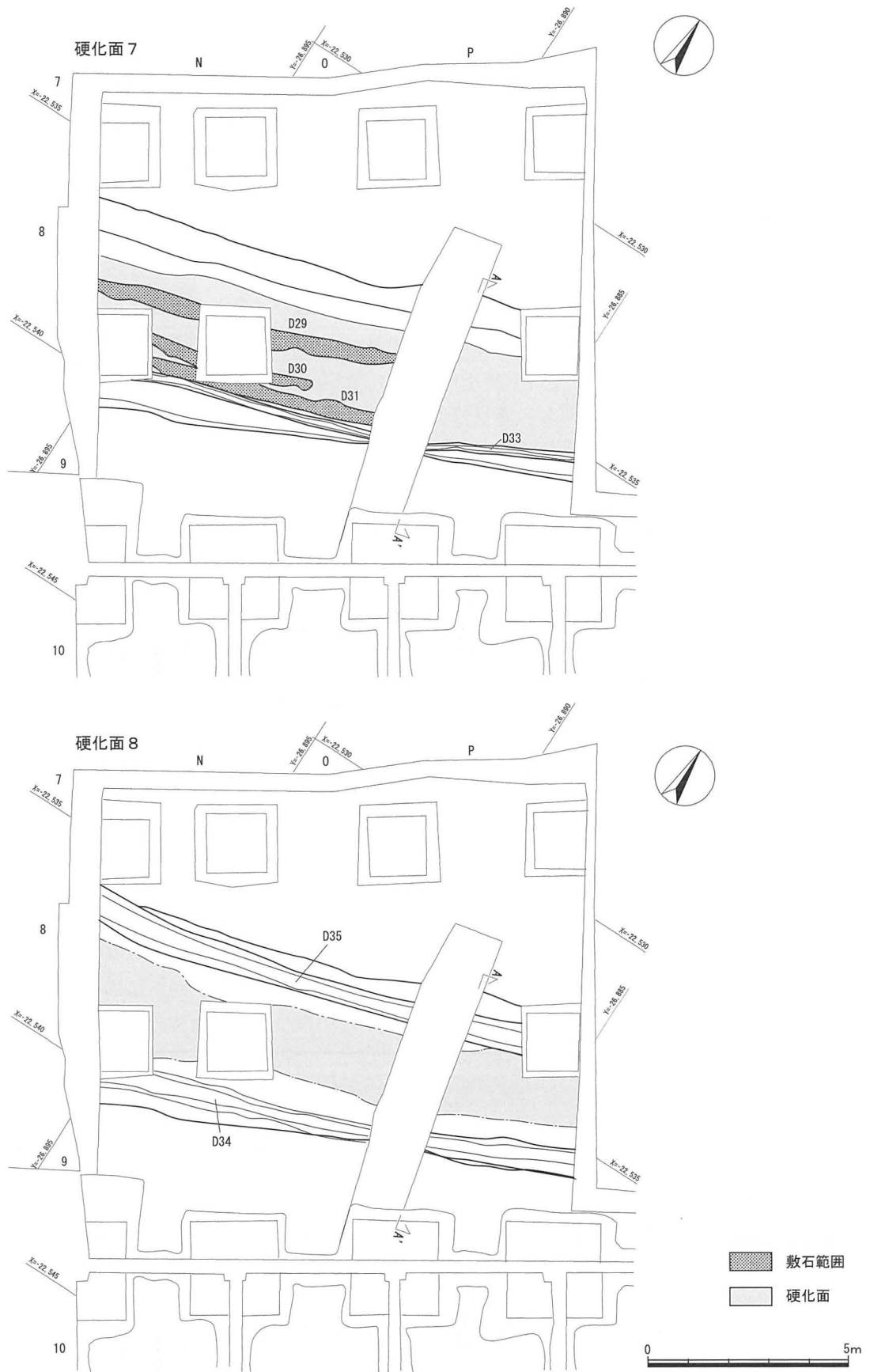


図21 64号道路 I 区東側硬化面7・8検出遺構実測図 (1/150)

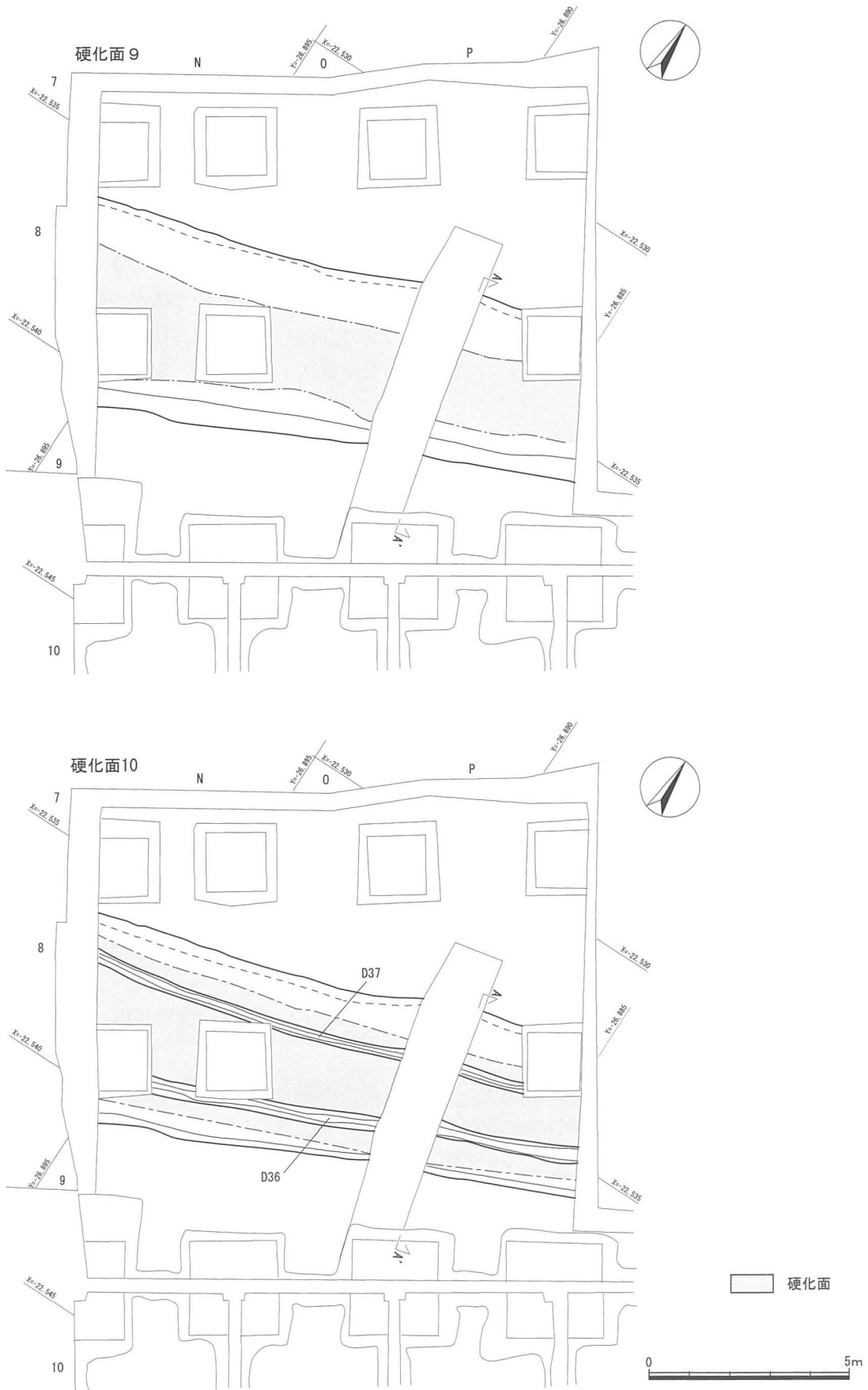


図22 64号道路 I 区東側硬化面9・10検出遺構実測図 (1/150)

硬化面2上面では路面両脇にD21・22の側溝が検出された(図18)。D21上部は削平を受けているが、現状で幅0.5m、深さ0.1m、D22は幅0.7m、深さ0.2mを測る。側溝の心の間距離は4mである。D21の東側からは赤い顔料とともに徳利の破片が大量に出土した。これらを接合したところ5個体分あり、いずれも胴部から底部に限定され、口縁部から頸部は欠損し、底は抜けている状況であった。唐津焼の徳利とみられ、時期は江戸後期と思われる(図49-6・7)。P-9グリッドでは路面中心から南側に0.5m程の位置で方形の土坑K58を検出した。長軸を東西方向に持ち、幅0.9×0.45m、深さ0.3mを測る。上面には硬化面が存在せず、人工的な遺構と思われるがその性格は不明である。

硬化面3から硬化面5にかけては、検出状況において各硬化面を分けることができるが、土層断面で確認したところ、路面北側で幅1.1mの範囲で硬化面3~5が一体化している状況が確認できた(図17-8・10・12)。硬化面3上面では路面両脇にD24・25の側溝が検出された(図19上)。D24・25はほぼ同規格で、幅0.6m、深さ0.24mを測る。両溝の心の間距離は4mを測る。実測図化できる遺物は出土していない。

硬化面4は北側半分において硬化面3と一体化している(図19下)。よって北側に位置する側溝のD25は硬化面3の使用時期と重複していると考えられる。硬化面4南側では側溝D28が検出された。幅0.6m、深さ0.2mを測る。また、D28を切る形で土坑K59が検出されている。長軸2m、短軸0.4m、深さ0.5mを測る。K59の埋土内からは土師器・須恵器・陶磁器・瓦・礫・砂漆喰等が出土した。

硬化面5は北側半分において硬化面3と一体化している(図20上)。土層断面からD25は北側側溝として本時期に形成されたことが分かる。D25には対面する南側側溝が確認できなかったが、硬化面4において形成されたD28によって破壊を受けた可能性がある。N-8と9グリッドの中間にK60・61が検出された。直径30~60cm、深さ10cmを測る。断面レンズ状で下面は硬化していた。埋土には3cm大のロームブロックを多く含む土が入っており、路面に生じた窪みを土で補修したと考えられる。

硬化面6では溝や土坑などの遺構が検出されなかった(図20下)。検出面では北側路面に中端が認められ、本時期には道幅が狭くなっていたものとみられる。

硬化面7は、硬化面を形成する土に小礫が含まれという他の路面にはない特徴がみられた(図21上)。検出面では路面に沿って3~5cmの礫が密集する帯状の敷石範囲が3条検出された。北から順にD29・30・31と遺構名を付した。現状で長さ4.2~7.8m、幅0.22~0.5mの範囲に広がる。路面南端には硬化面がややくぼみ、溝状を呈することから本遺構をD33とした。D33は幅0.2m、深さ3cmを測る。

硬化面8では路面両脇にD34・35の溝が検出された(図21下)。両者はほぼ同規模で幅0.7m、深さ0.22mを測り、両溝の心の間距離は3.3mである。

硬化面9ではその上面において遺構が検出されなかった(図22上)。

硬化面10では路面両脇において溝D36・37が検出された(図22下)。両溝の心の間距離は、西側で2mを測り、東側では幅が狭くなり最短1.5mを測る。硬化面10の検出範囲は他の路面と異なり、側溝の外側0.5mにも広がっていた。

### 183号道路(図17・23~26)

64号道路に先行する道路遺構である。64号道路の南側に残った埋土(図17-30~34)は一括して掘削を実施し、64号道路の硬化面10の下に検出された183号道路の路面(図17-34層下面)から調査をおこなった。当初、H~T-10~13グリッドで検出された溝状遺構が主軸を異にするため別遺構と判断して調査を進めていた。しかし、N~P-10グリッドで両溝が繋がりを、同一のものであると確認できた。よって、183号道路は南西側では南北に主軸を取り、東側では東西に主軸を取る大きくカーブ

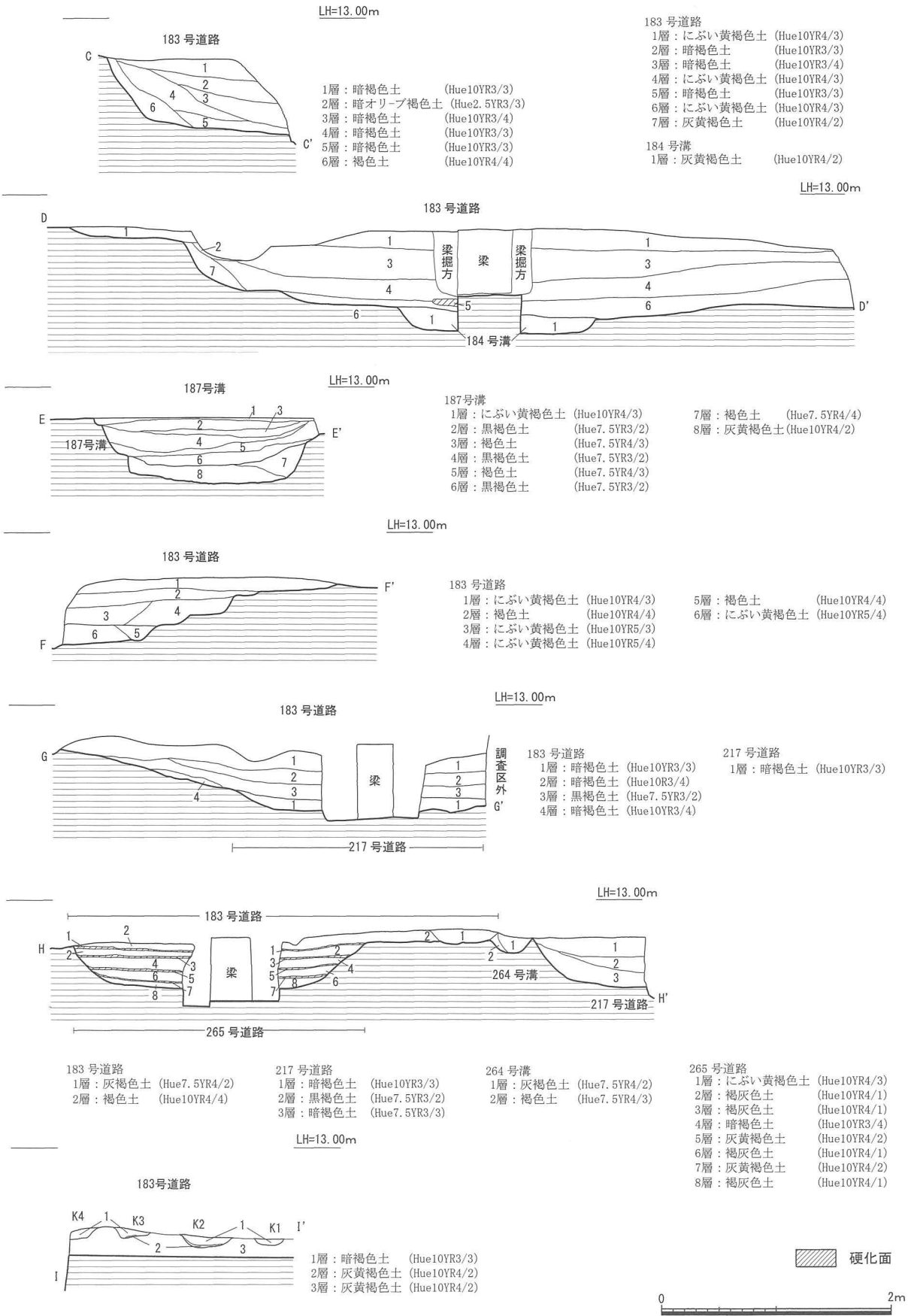


図23 64・183・217・265号道路，187・264号溝土層断面実測図 (1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

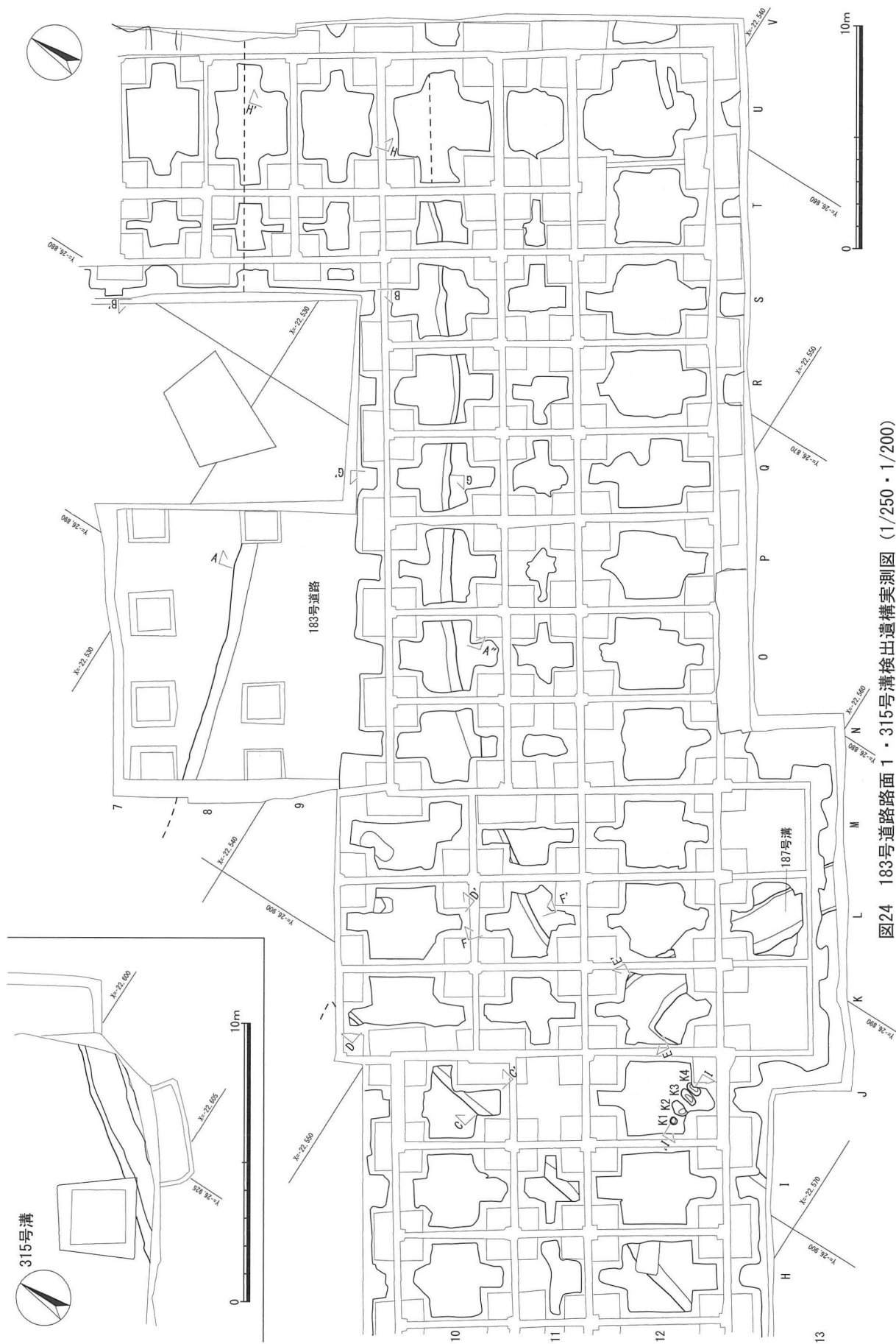
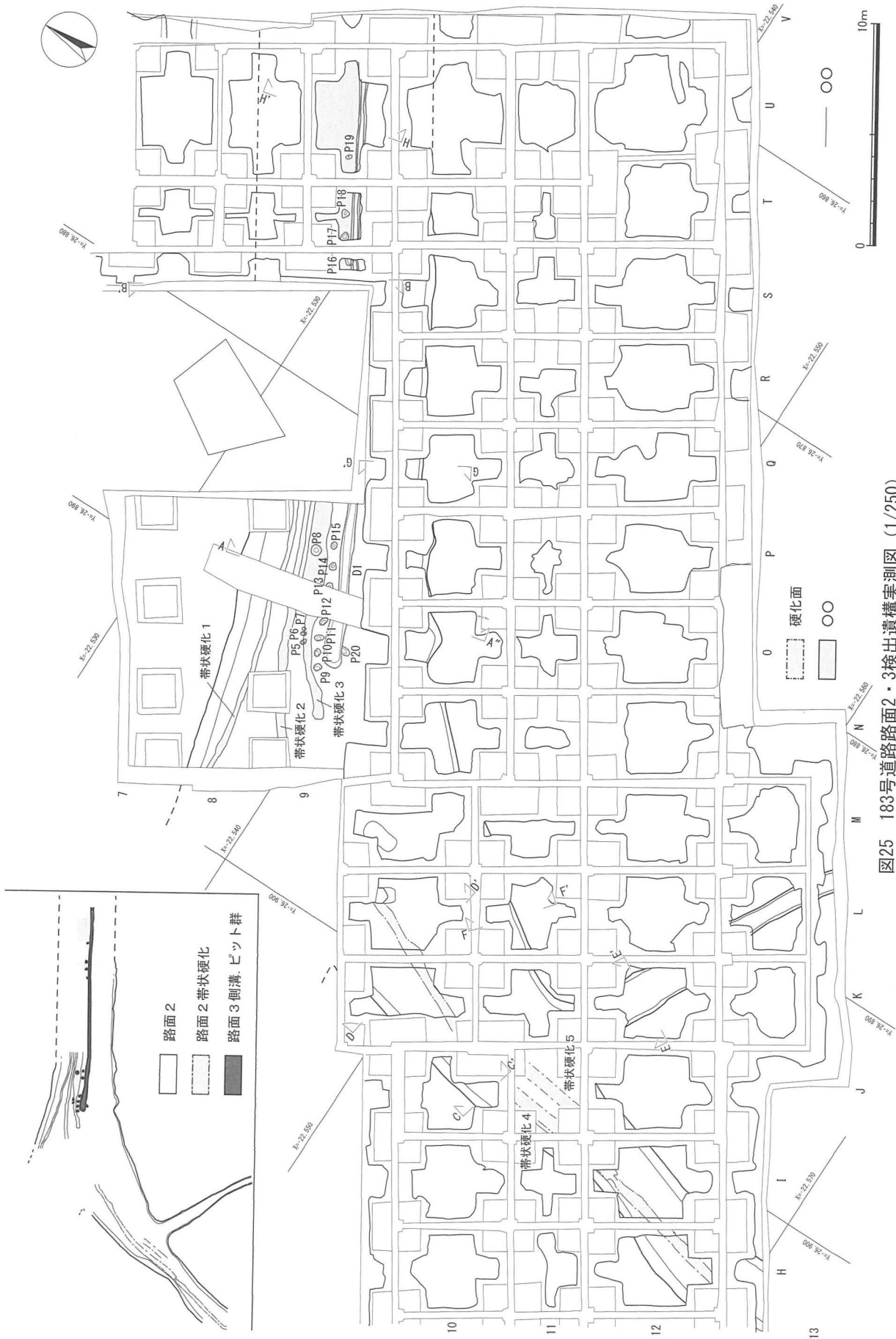


図24 183号道路路面1・315号溝検出遺構実測図 (1/250・1/200)



1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

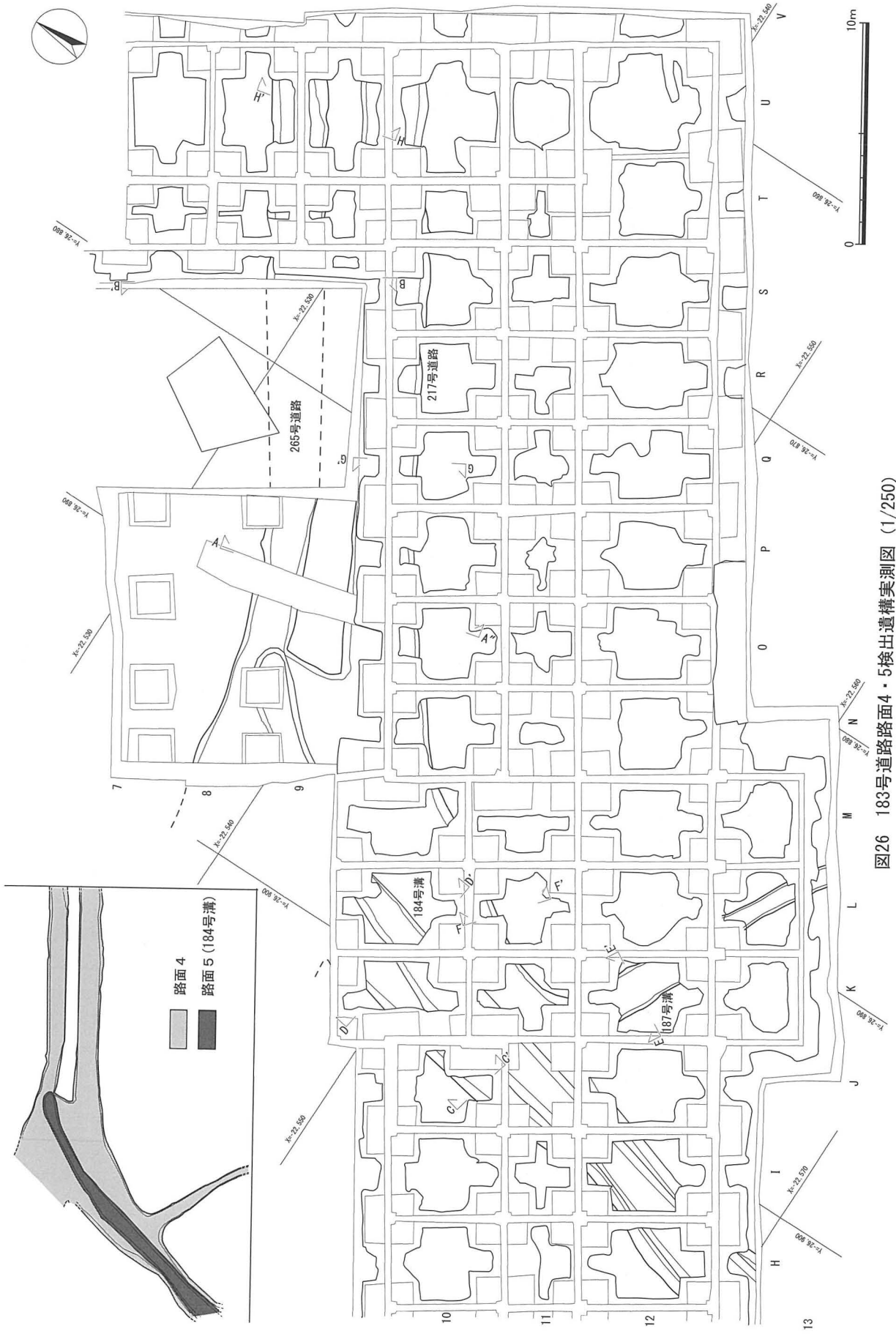


図26 183号道路路面4・5検出遺構美測図 (1/250)



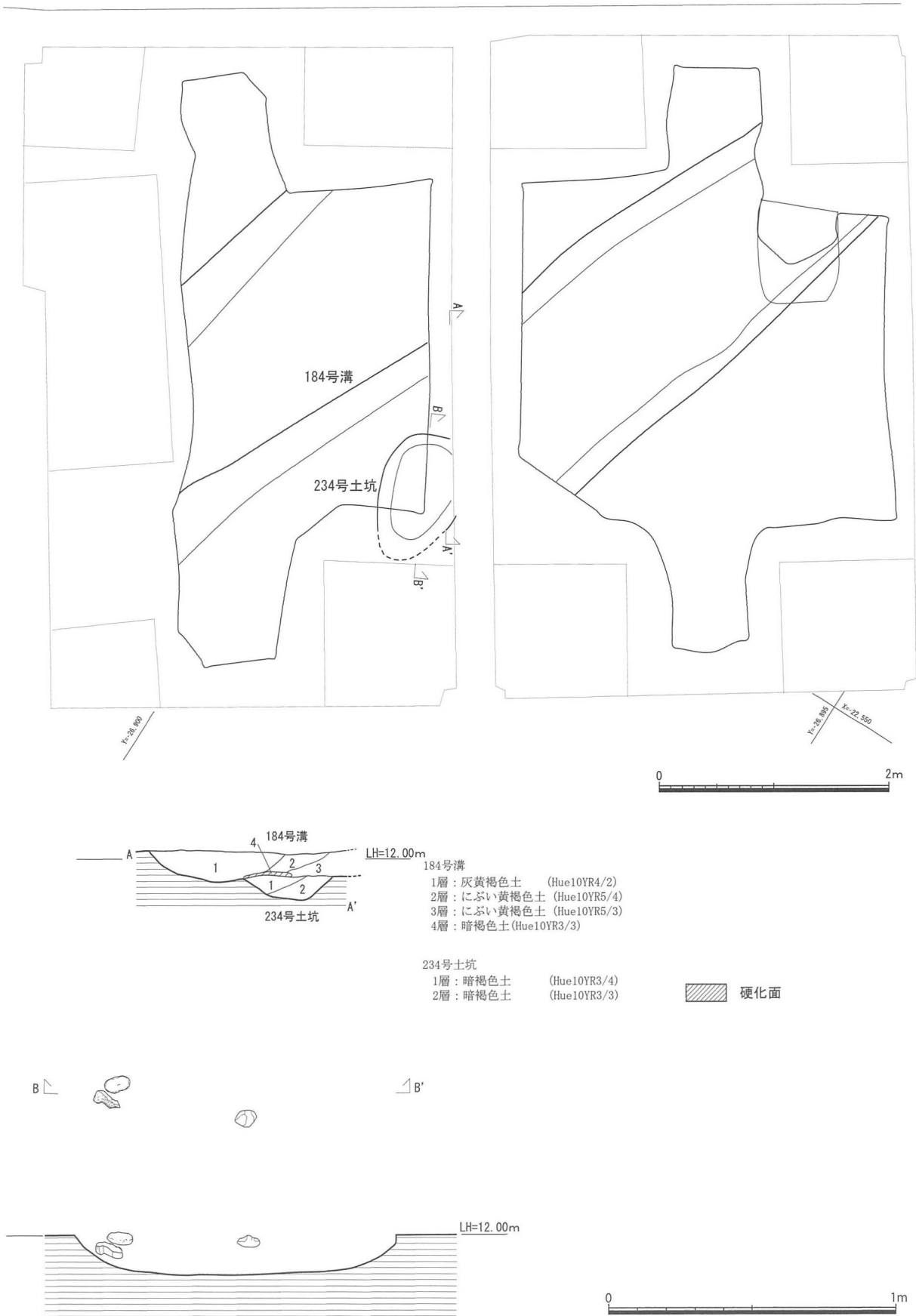


図27 184号溝・234号土坑実測図 (1/50・1/20)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

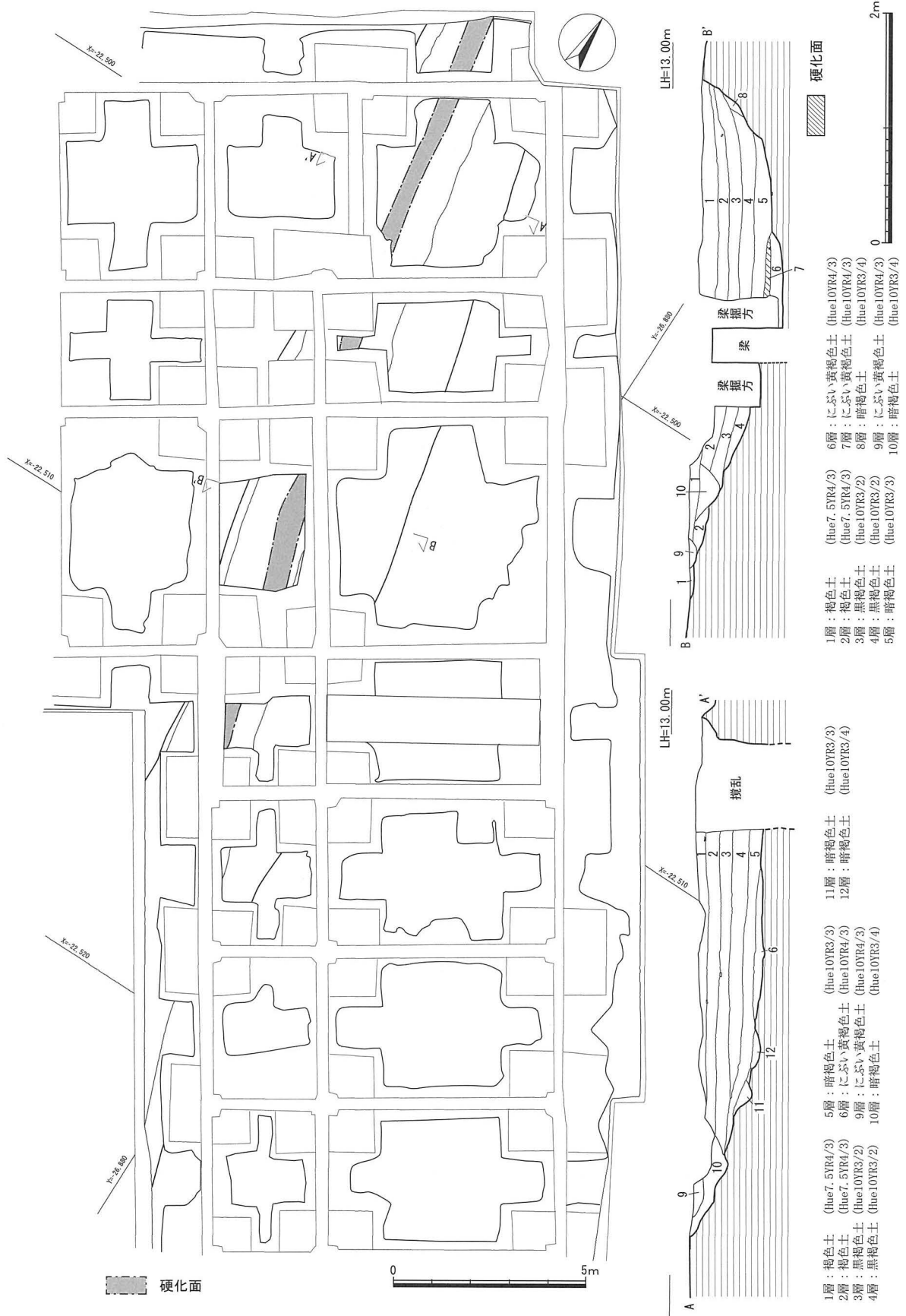


図28 102号道路実測図 (1/150・1/50)

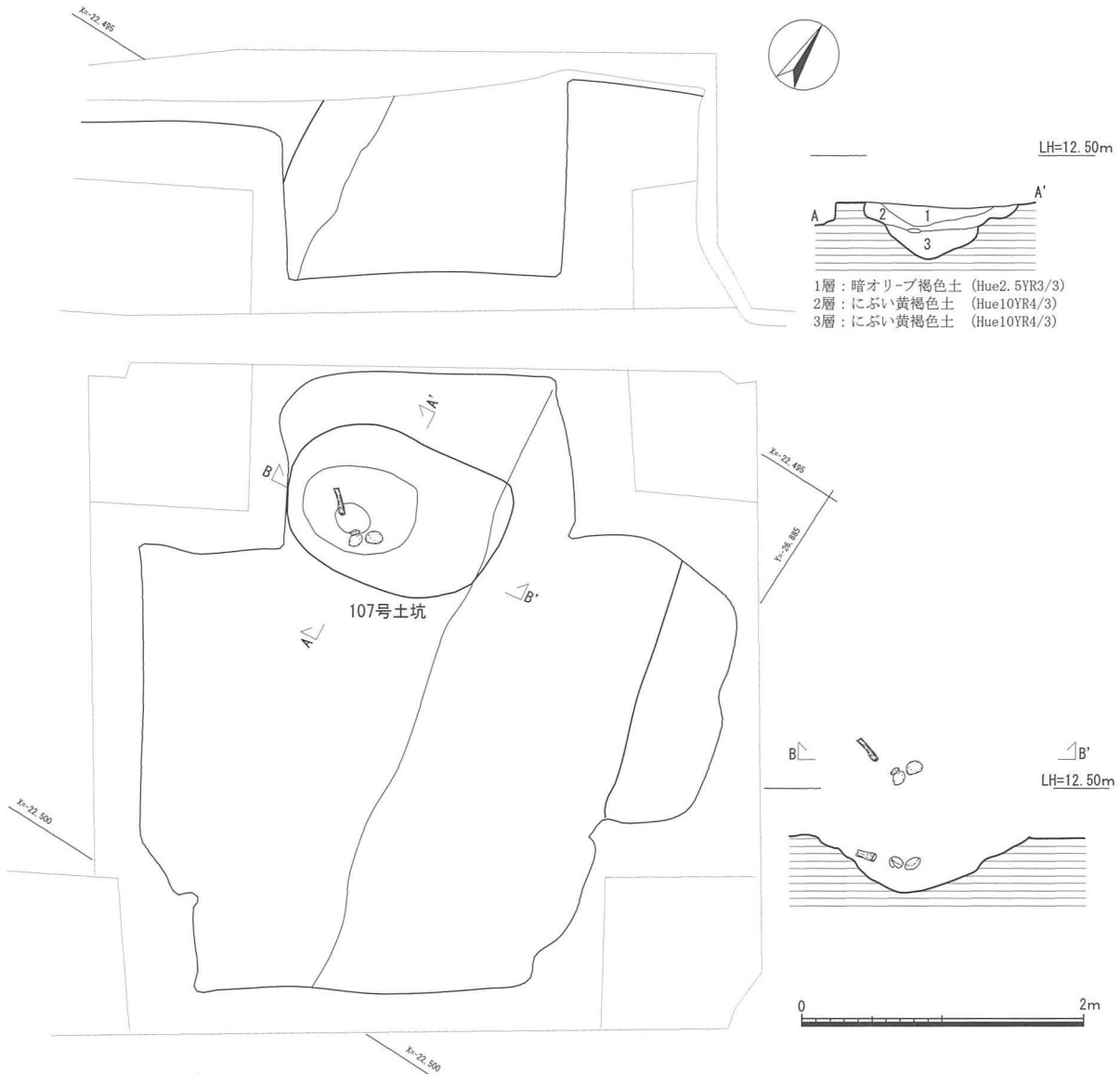


図29 107号土坑実測図 (1/50)

する道路遺構であることが判明した。以後前者を南北路面、後者を東西路面、両者の交錯する位置を路面交差部と仮称する。また、183号道路東側（N～U-9・10グリッド）の下部からは北側に265号道路、南側に217号道路が並行して走っていることが確認できた。この3つの遺構が一連の帯状の硬化面で繋がることにより、両遺構が183号道路に対応する道路であることは確かである。183号道路では硬化面が帯状など部分的な検出に留まっており、この硬化面の検出レベルで遺構検出を実施した。また、183号道路南北路面の東側（K-12グリッド）では東西に軸を持つ187号溝と合流している。187号溝は183号道路と埋土が対応しており、同時期の遺構であることが判明している。また、II区で検出された315号溝は183号道路の延長線上に位置し、183号道路と同様に中端を持つことから同遺構である可能性が高い。64号道路では多くの路面で硬化面が広い範囲で確認できたことから、「硬化面1～」の名称を用いたが、本遺構では各遺構検出面を硬化面ではなく「路面」と言い換えて説明する。本道路には5つの路面が確認でき、路面上面において溝や土坑などの遺構が検出された。183号、217号、265号道路の各埋土からは磁器、陶器片が出土しており、実測図化できるような資料はないが、後述する路面4からは江戸時代初期から江戸時代中期を主とする。

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

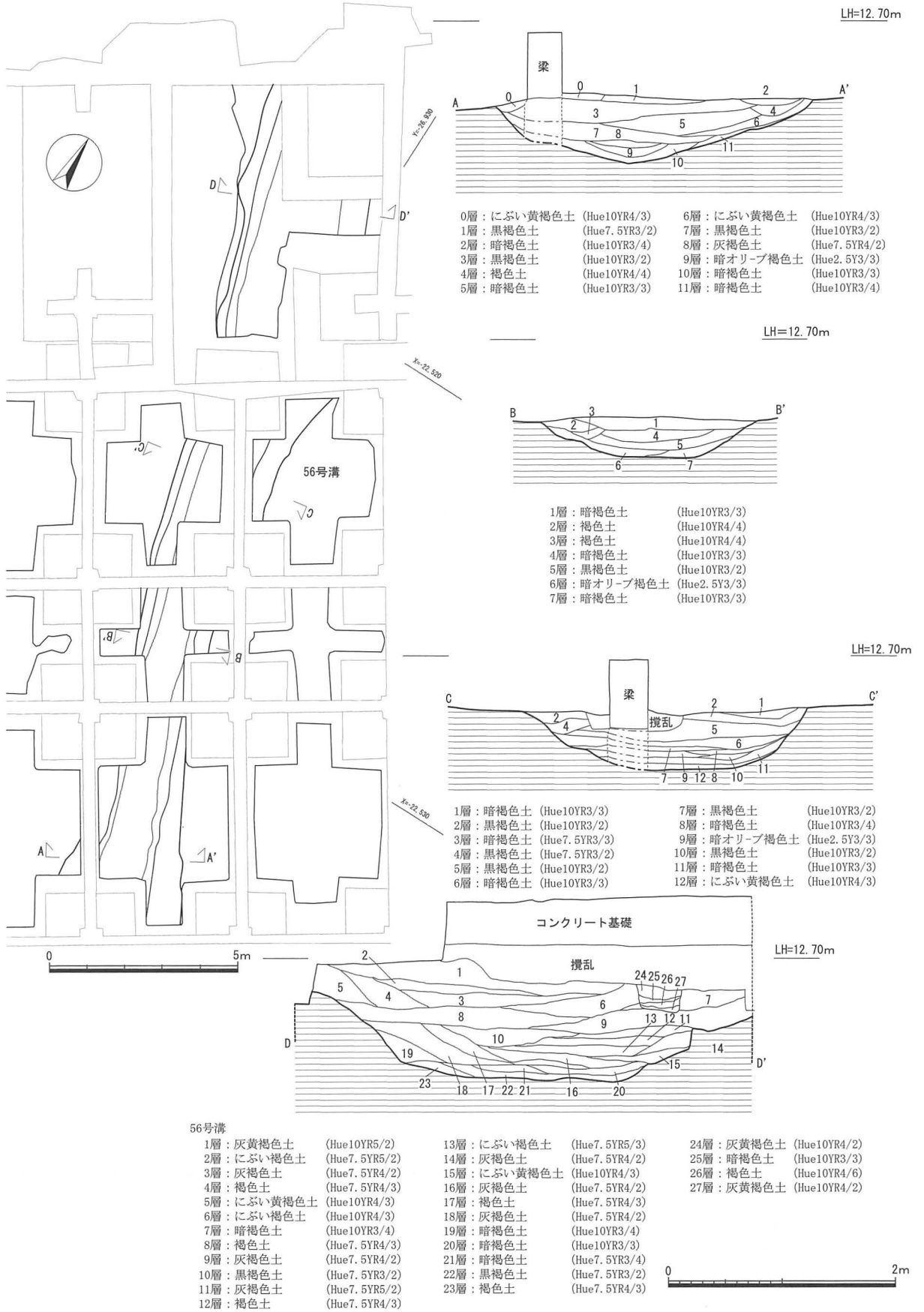


図30 56号溝実測図 (1/150・1/50)

路面1は、南北路面で現状の上端幅8m、東西路面で上端幅10mを測る（図24）。本路面では明瞭な硬化面や帯状硬化を検出できていない。ただし、J-12グリッドではロームブロック混じりの土を敷いている状況が確認できた。本グリッドで土坑K1~4を検出した。これら土坑は東西軸に連続して並んでおり、各土坑の心心間距離は0.5~0.7mを測る。東西路面の東側、U-9・10グリッド辺りから上部は削平されており上端は残存していなかった。

路面2は、南北路面で現状の上端幅3m、北側で最大9mに広がる。東西路面で上端幅9mを測る（図25）。各路面では幅0.5mほどの帯状硬化が計5条確認できた。それぞれに1~5の番号を付している。南北路面では路面中央からやや西側に帯状硬化が2条検出された。東西路面でも道筋に沿った帯状硬化が3条検出できているが、部分的な検出に留まり全容は把握できていない。このうち帯状硬化2と帯状硬化4は路面交錯部でつながる可能性がある。

路面3は路面2の下位10cmで検出したしまりを持つ面である（図25）。明瞭な硬化面や帯状硬化を検出できなかった。南北路面では遺構は検出されず、東西路面では路面中央から溝D1が検出された。長さ37.5m、幅0.8m、深さ0.15mを測る。その周囲にはピット状の遺構が主に溝の北側に並んでいた。ピット状遺構は幅0.4×0.4m、深さ0.1m、各遺構の心心間距離が約0.7mを測る。遺構の性格は不明だが、路面中央でD1に沿って検出されることから、北と南の路面を分ける機能があったと考えられる。これは路面4で検出された217・265号道路との関連性がうかがえ示唆的である。

路面4は、路面3で検出した溝D1が東側で217号道路を切っていることが確認できたため、そのレベルを新たな路面として捉え掘削を実施した（図26）。東西路面では北の265号道路と、南の217号溝に路面が枝別れしている。2つの溝はほぼ同規模で、幅1.8m、深さ最深で0.5mを測る。両道路遺構の西側では硬化面を確認できなかったが、東側では265号道路に4枚の硬化面が認められた。一方、217号溝は中心部をフーチング・梁の掘方によって壊されており、詳細は不明である。

183号溝の調査の最終段階では、南北路面から路面交錯部にかけて、長さ約36m、上端幅1.7~2.3m、深さ20cmの溝が検出された（路面5）。この184号溝は183号道路の最下面にあたるため、本道路の最終路面である可能性もある。しかし、溝が217号道路および265号道路の入り口にむかって遮断するように走るため、これら道路遺構と同時期とは考えにくい。よって、本遺構は217・265号の両道路遺構形成以前に作られた溝と想定できる。本遺構には明瞭な硬化面、帯状硬化は認められず、その性格については不明である。あるいは183号溝が成形される以前に設けられた道路または排水路（自然由来も含む）の可能性も考慮しておきたい。

### 187号溝

187号溝は183号道路南北路面の東側（K-12グリッド）で検出された。東西に軸を持ち、186号溝の硬化面1検出時で幅2.1m、最下面までの深さ0.6mを測る。本遺構埋土には183号道路の埋土と対応関係がみられ、ほぼ同時期の遺構と考えられる。183号道路の路面と対応して本溝の溝幅に変動が認められる。ただし、埋土中に江戸期の遺物は出土せず、古代の土師器・須恵器片が得られた。

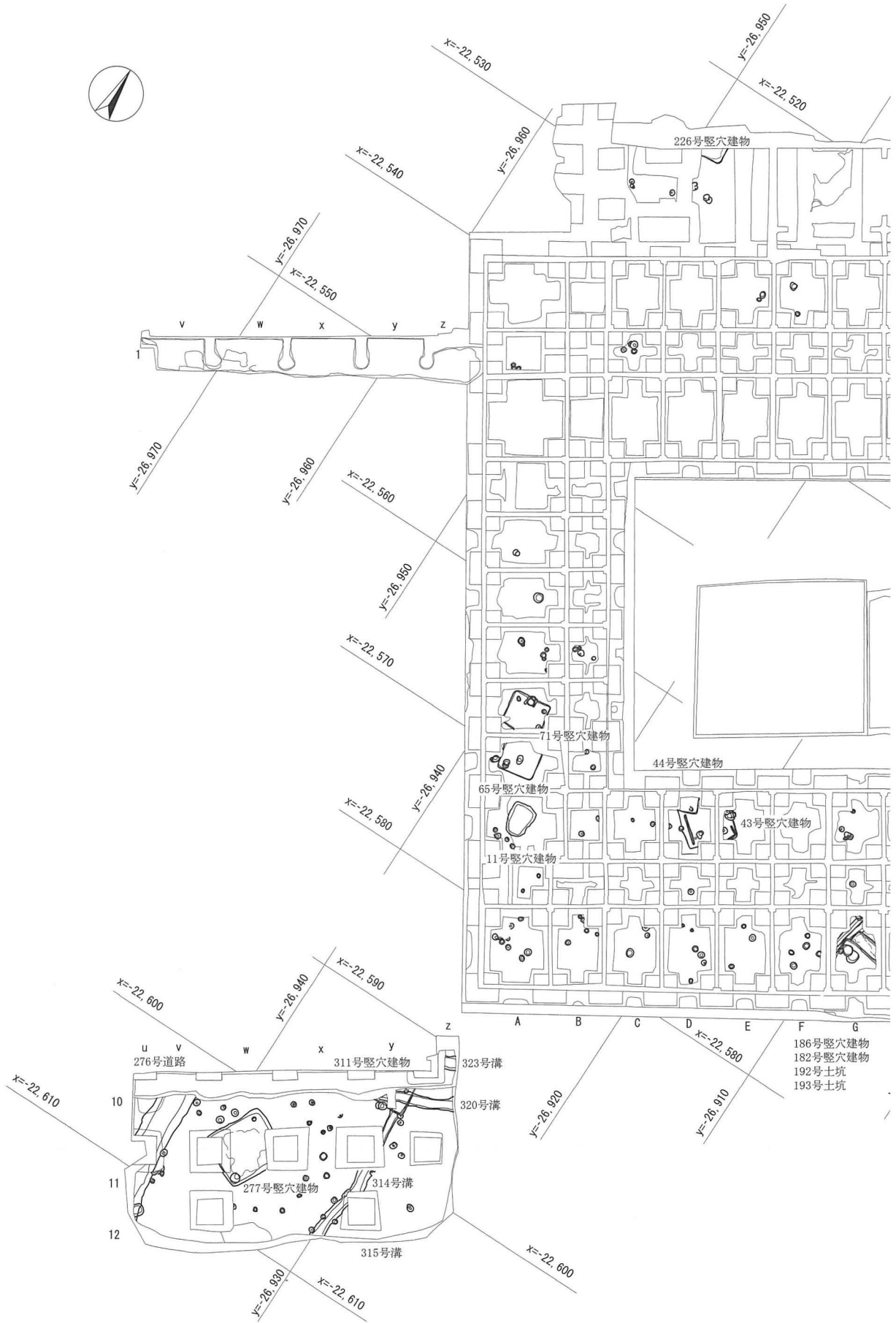
### 315号道路

315号溝はⅡ区x~z-11・12グリッドで検出された（図24左上）。大部分は未掘削であり、現状で長さ12.5m、幅1.75mを測り、主軸はN-33°-Eを示す。183号道路の延長線上に位置し、183号道路と同様に中端を持つことから同遺構である可能性が高い。

### 234号土坑（図27）

J-10グリッドからは184号溝の下から234号土坑を検出した。幅は1.2×0.7m、深さ0.2mを測る。埋土内から種別不明の獣骨と石が2個検出された。同様の遺構が102号溝の下面からも検出されたこ

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)



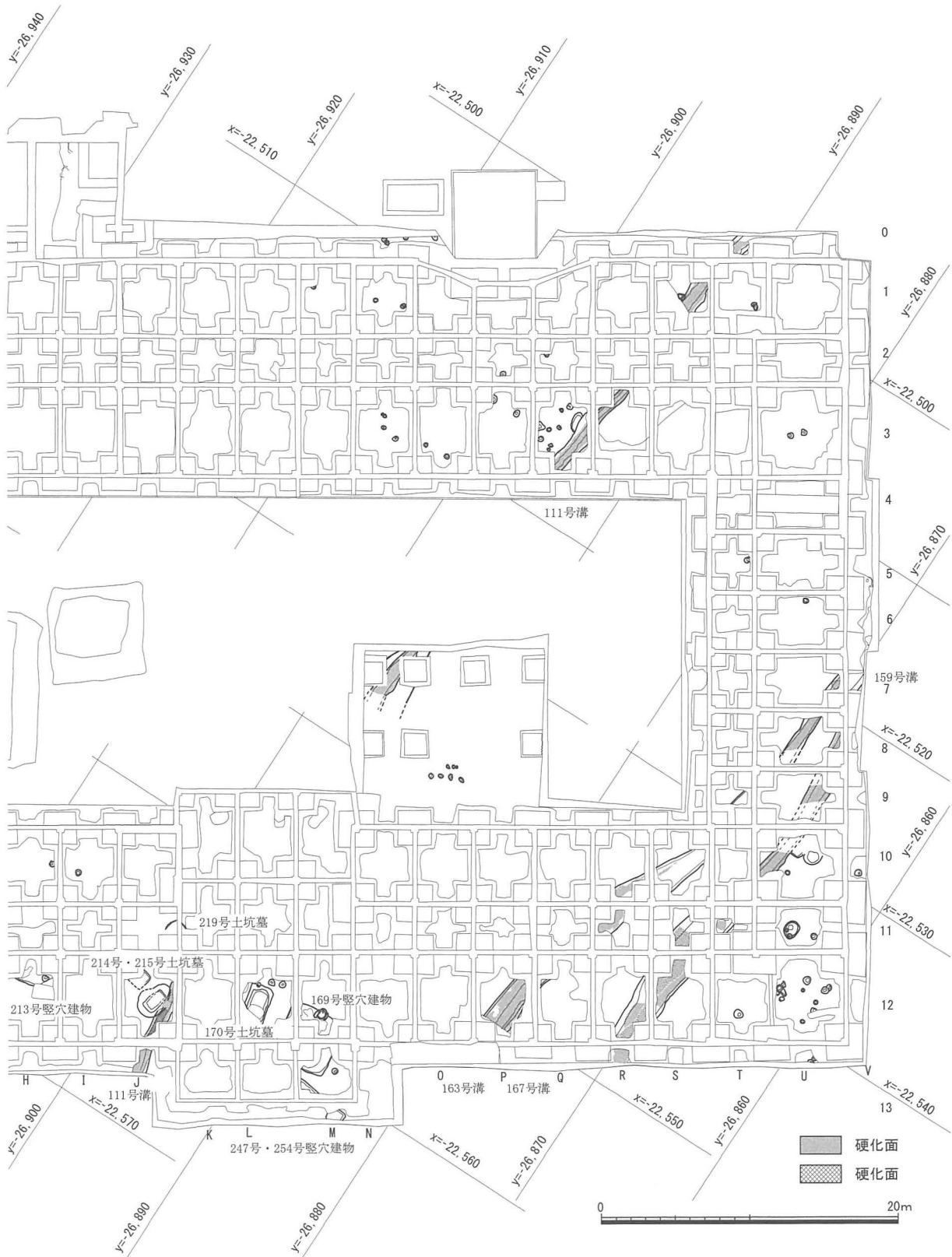


図31 1708調査地点古墳時代・古代遺構配置図 (1/400)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

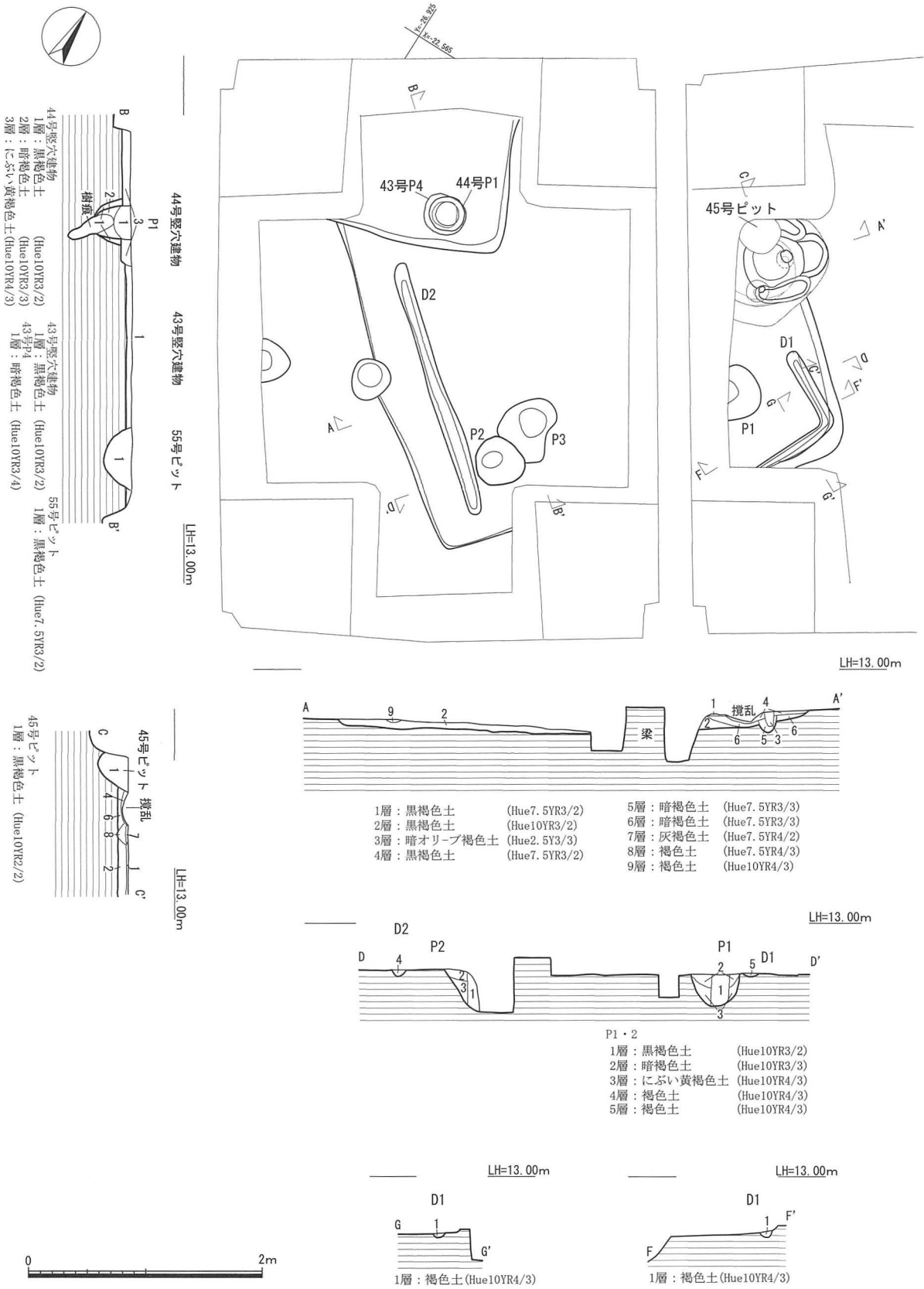


図32 43・44号竪穴建物実測図 (1/50)



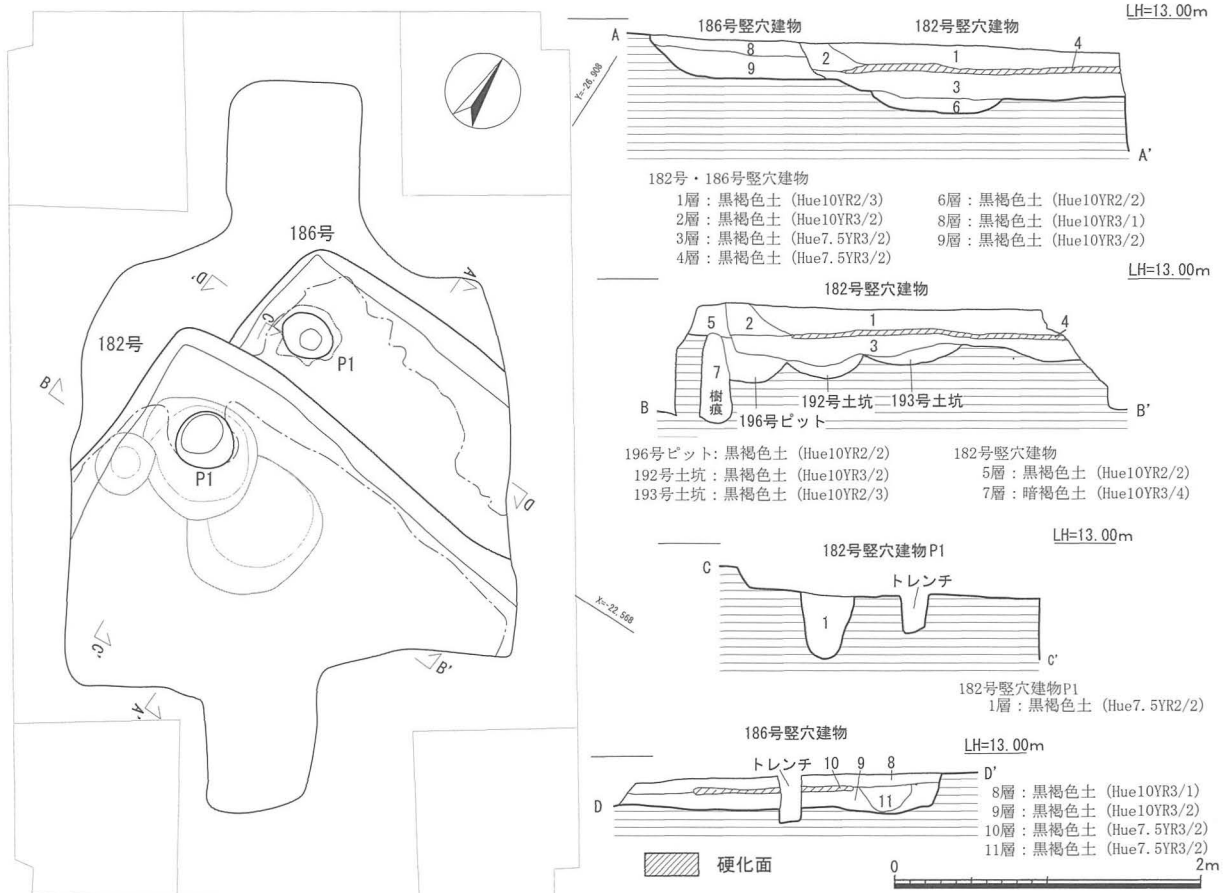


図33 182・186号竪穴建物実測図 (1/50)

とから何らかの祭祀がおこなわれた痕跡と推察される。

### 102号道路 (図28)

I区S～V-0～7グリッドに位置する。183号道路の東西路面以南からは検出されないため、183号道路に合流するものと考えられる。北側は調査区外へ延び、9601地点の33号溝に繋がると思われる。幅4m、深さ0.7mを測り、主軸はN-13°-Wを示す。東側法面が急傾斜であるのに対し、西側法面は緩やかになる特徴を持つ。深さ0.6m程で中央部からやや西側に幅0.45mの帯状硬化が認められた。遺物として縄文土器が1点出土しているが、関係性は不明である (図52-45)。

### 107号土坑 (図29)

102号溝の最下面から検出された。幅1.1×1.5m、深さ0.4mを測る。掘方に中端を持ち、このレベルの平坦面で獣骨と石を3個検出した。石には敲打痕と磨痕が認められる (図52-46)。これらは出土状況から意図的に埋納されたと考えられる。234号土坑と様相が類似することから、道に関連する祭祀がおこなわれた痕跡と推察される。

### 56号溝 (図30)

I区G～I-0～3グリッドに位置する。183号道路の東西路面以南からは検出されないため、183号道路に合流するものと思われる。明瞭な硬化面や帯状硬化は確認できなかったため溝として調査をおこなっているが道路遺構の可能性も否めない。北側は調査区外へ延び、現状で幅2.5～3.5m、深さは北側最深で1mを測り、主軸はN-17°-Wを示す。本遺構は複数の中端を持つため数時期の使用が考えられるが、分層的発掘調査を実施していない。

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

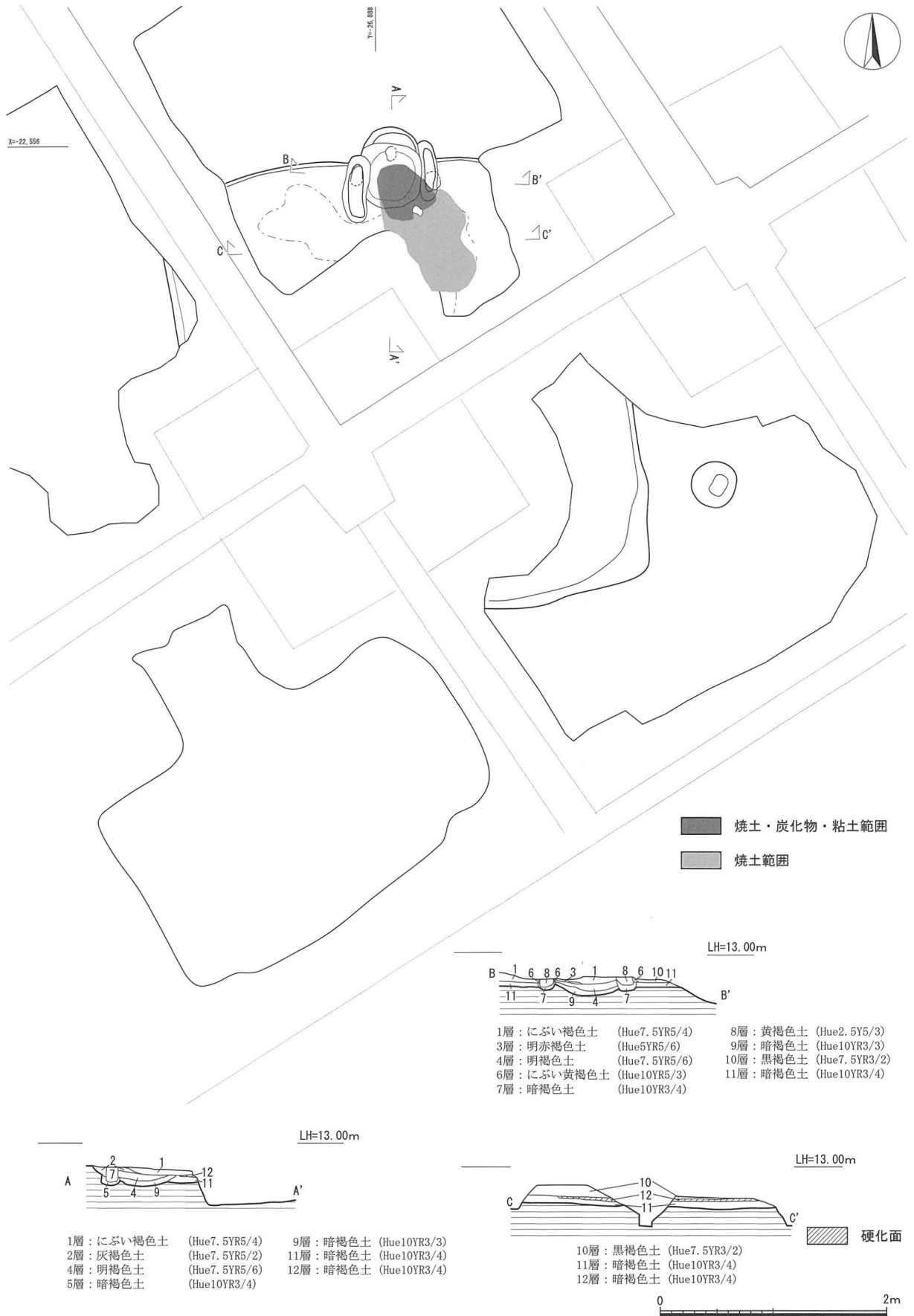


図34 169号竖穴建物実測図 (1/50)

### 近代廃棄土坑

I区Q～S-1～3グリッドにおいて近代の廃棄土坑が検出された。約10m×10mの方形プランで、深さ80cm程を測る。本土坑埋土中からは大量の灰とともにガラス器具や陶磁器など医療にかかわる道具が出土した。県立熊本病院時期の地図によると本調査区東側には汚物焼却所が存在していたことから、本土坑はその焼却されたゴミや焼却できない道具の一部を廃棄するための穴であったと考えられる。出土遺物の中には「県立熊本病院」と刻まれた薬瓶や牛乳瓶（図57-101・102）が発見された。

### 古墳時代・古代の調査（図31）

I区では古墳時代の溝1条（111号）、古代の溝2条、竪穴建物12基、土坑9基、土坑墓3基を、II区では古墳時代の竪穴建物1基（277号）、古代の竪穴建物1基、道路遺構1条、溝3条を検出した。そのほか多数の古代のピットを検出した。遺構内遺構をピットをP、溝をDとする。

### 43・44号竪穴建物（図32）

I区D・E-10グリッドで2基の竪穴建物を検出した。43号竪穴建物は、西側を梁・フーチングの掘方や44号竪穴建物により切られており、全体規模を把握できない。現状では約4m×3mで、深さは約6cmしか残存していない。主軸はN-42°-Eを示す。北側にカマドを検出したが西側袖部の一部は上から掘りこまれたピットにより壊されている。東側袖部と中央部に軟質砂岩による支柱が、袖部には白色粘土がわずかに残存していた。検出は貼床と思われる埋土より下位であり、硬化面は削平を受けて残っていなかった。位置関係から支柱穴としてP1～4を、側壁溝としてD1・2を検出した。P1は北側の立ち上がりから60cm南側に位置する。南側を梁の掘方に壊されているが、直径45cmの円形を呈し、検出面からの深さは38cmを測る。P2は南側の立ち上がりから50cm北側に位置する。直径40cmで円形を呈し、検出面からの深さは26cmを測る。P2には柱痕があり柱痕内から須恵器の坏・高坏（図53-47・48）が出土した。P3は南側の立ち上がりから80cm北側に位置する。直径50cmで円形を呈し、深さは25cmを測る。P2・3は切合っており、どちらが支柱穴であったか不明である。P4は44号竪穴建物のP1の真下から検出され、直径40cmで円形を呈し、検出面からの深さは24cmを測る。D1は北東側の立ち上がり付近に位置し幅10cmで深さは5cmを測る。D2は南側の立ち上がりから35cm北側に位置し、幅15cmで深さは4cmを測る。

44号竪穴建物はI区D-10グリッドの北側に位置する。43号竪穴建物に後出し、遺構は調査区北西へ広がるとみられる。現状で約1.2m×1.5m、深さ10cmを測る。硬化面は削平され残存しない。南東隅の立ち上がり付近に支柱穴P1を検出した。P1は直径0.3mの円形を呈し、深さは0.3mを測る。遺物は検出されなかった。

### 182・186号竪穴建物（図33）

182号竪穴建物はI区G-12グリッドに位置する。重複する186号竪穴建物に後出し、北西側の一部を残し大部分が梁・フーチングの掘方によって壊されており、全体規模を把握できない。現状では約2.4m×3m、検出面から硬化面までの深さ14cmを測る。主軸はN-4°-Wを示す。建物床面全体に硬化面を検出した。硬化面上面から支柱穴P1が検出されている。P1は直径38cmの円形を呈し、硬化面からの深さは40cmである。本遺構の床面からは土師器の甕（図53-51）が、貼床埋土内から土師器の皿（図53-49）と高坏（図53-50）が出土した。

186号竪穴建物はI区G-12グリッドに位置する。建物北側の一部を残し大部分は182号竪穴建物や梁・フーチングの掘方に壊されているため、全体規模を把握できない。現状で約0.95m×2.35m、検出面から硬化面までの深さ25cmを測る。建物床面では発達した硬化面を検出できた。硬化面上面で北側の立ち上がりから40cm南側で支柱穴P1を検出した。P1は直径35cmの円形で、硬化面からの深

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

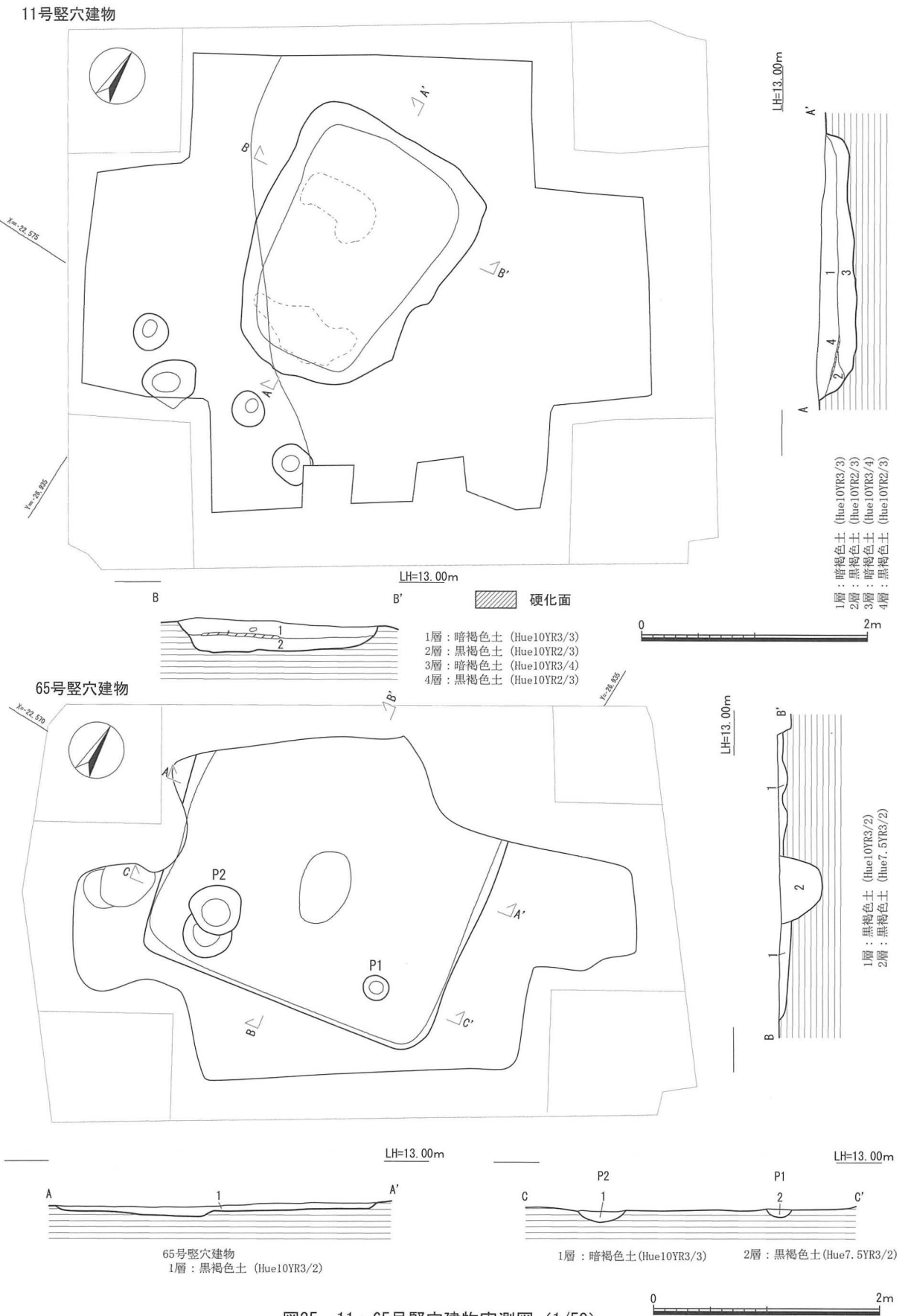


図35 11・65号竖穴建物実測図 (1/50)

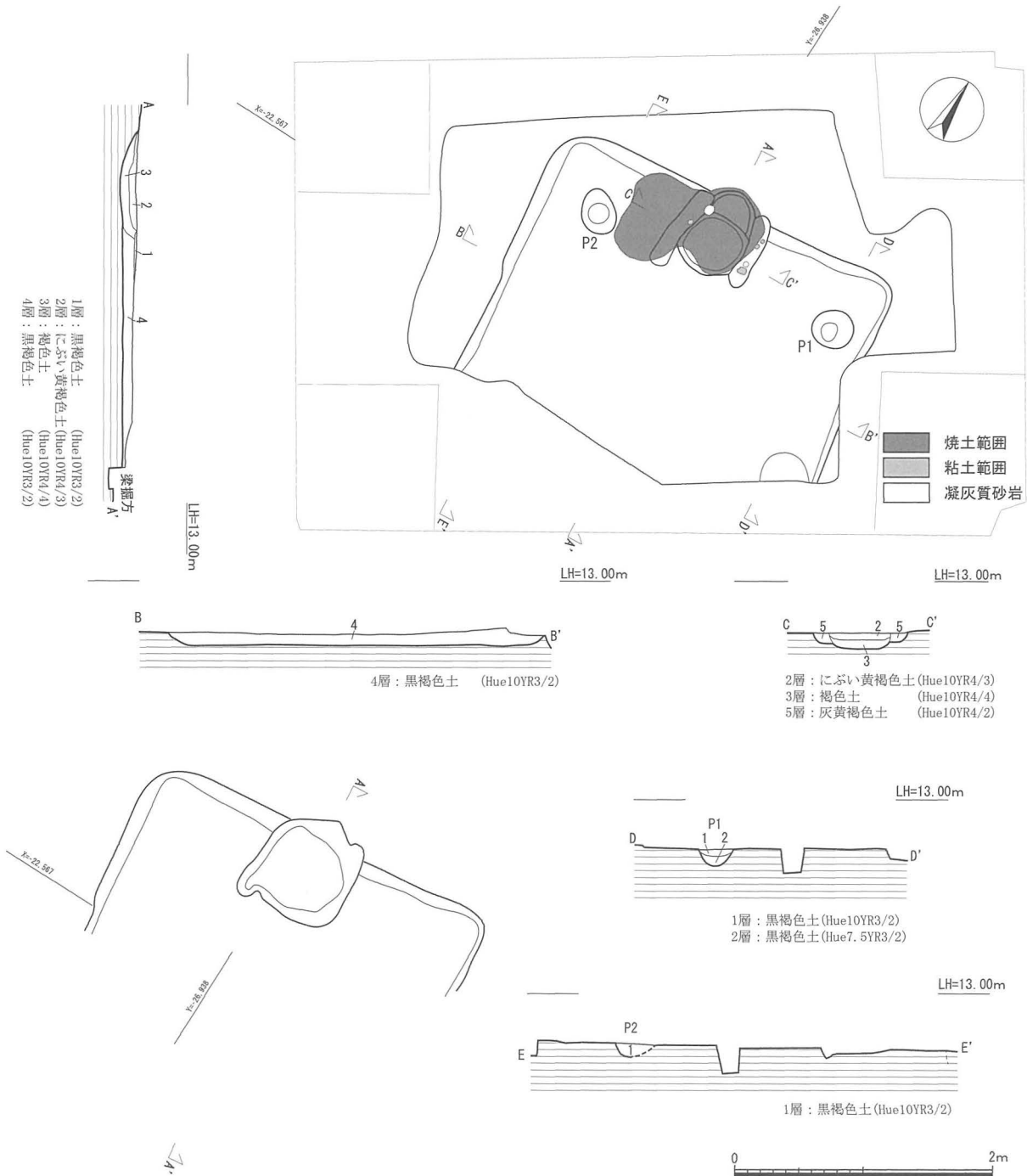


図36 71号竪穴建物実測図 (1/50)

さは18cmである。図化できる遺物は出土していない。

169号竪穴建物 (図34)

I区L・M-12・13グリッドに位置する。中央部分が梁・フーチングの掘方によって破壊を受けている。現状で4.2m×4m、検出面から硬化面まで深さ12cmを測り、主軸はN-5°-Wを示す。北側にカマドを備えており、袖部と中央部に軟質砂岩による支柱が据えられ、袖部には白色粘土が少量残存する。カマド南側に一部発達した硬化面の広がりを検出した。図化できる遺物は出土していない。

11号竪穴建物 (図35上)

I区A-10グリッドのほぼ中央に位置する。現状で2.4m×1.8m、検出面からの深さ0.26mを測り、

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

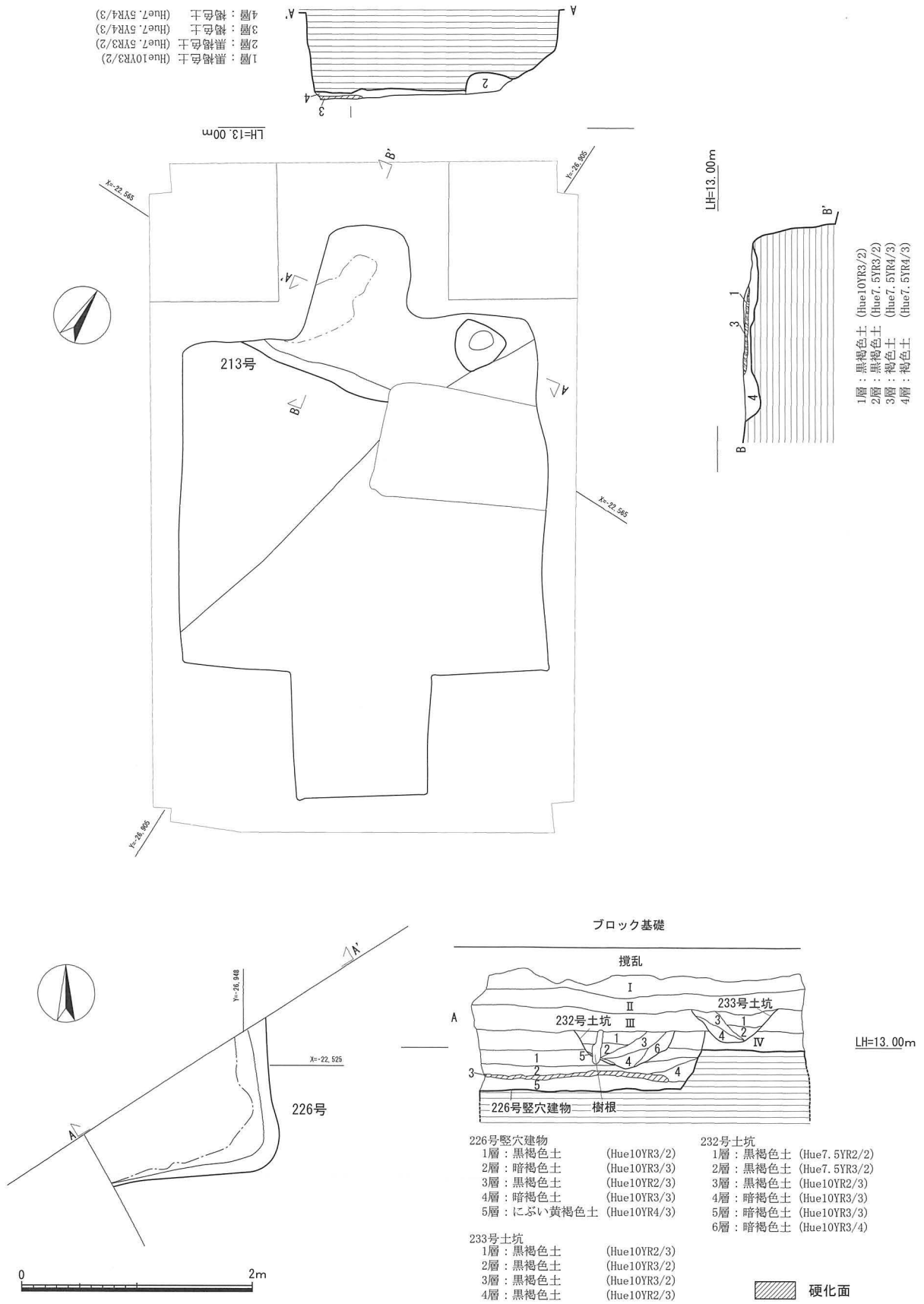


図37 213・226号竪穴建物実測図 (1/50)

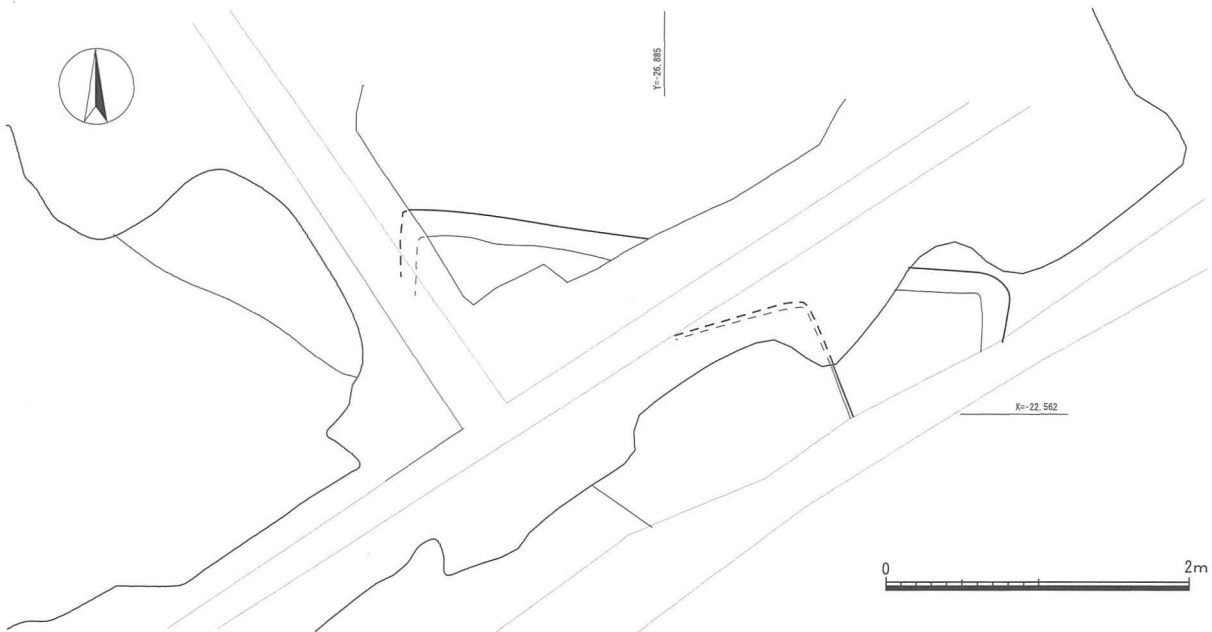


図38 247・254号竪穴建物実測図 (1/50)

主軸はN-5°-Wを示す。本遺構は検出された遺構の中でも小規模だが、南側の立ち上がり付近と中央付近に硬化面を部分的に確認できた。支柱穴は検出されなかったが、建物南側にピットを4基検出しており、建物との関連性が考えられる。本建物には貼床が認められ、掘方埋土内からは土師器の甕（図53-52）が、硬化面直上から甑の把手（図53-53）が出土した。

#### 65号竪穴建物（図35下）

I区のア-9グリッドに位置する。北側が梁・フーチングの掘方によって破壊を受けている。現状では約2.5m×2.8m、検出面からの深さ8cmを測り、主軸はN-9°-Wを示す。硬化面はなく、生活面は削平されて残っていないとみられる。立ち上がりは不明であるが位置的にP1・P2が支柱穴だと想定される。図化できる遺物は検出されなかった。

#### 71号竪穴建物（図36）

I区A-8グリッドに位置する。現状で2.3m×2.9m、検出面から床面までの深さ2cmを測り、主軸はN-5°-Wを示す。北側にカマドを備え、カマド周辺に一部床面を検出したが、大部分は貼床埋土からの検出であった。カマド西側には焼土や白色粘土ブロックが広がり、崩壊した様子が見られる。崩壊部分を剥ぎとると一部白色粘土による袖部が残存していた。カマドの両脇にはP1・P2の支柱穴を検出した。P1・P2は直径30cmの円形で、深さは検出面から13cmを測る。

#### 213号竪穴建物（図37上）

I区H-12グリッドに位置する。現状で約1.4m×2.0m、検出面から床面までの深さ2cmを測り、主軸はN-12°-Wを示す。梁・フーチングの掘方や183号溝に壊されており、全体規模を把握できないが、一部に硬化面と褐色・黒褐色ブロックを多く含む貼床らしき土層を確認できたことから竪穴建物であると判断した。検出範囲からピットを1基検出したが関連性は不明である。遺物は出土していない。

#### 226号竪穴建物（図37下）

I区D・E-0グリッドに位置する。本遺構の北側は調査区外へ延びる。現状で1.3m×1.7m、主軸はN-3°-Wを示す。検出面から5cm掘削したところで部分的な硬化面の広がりを確認した。図化

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

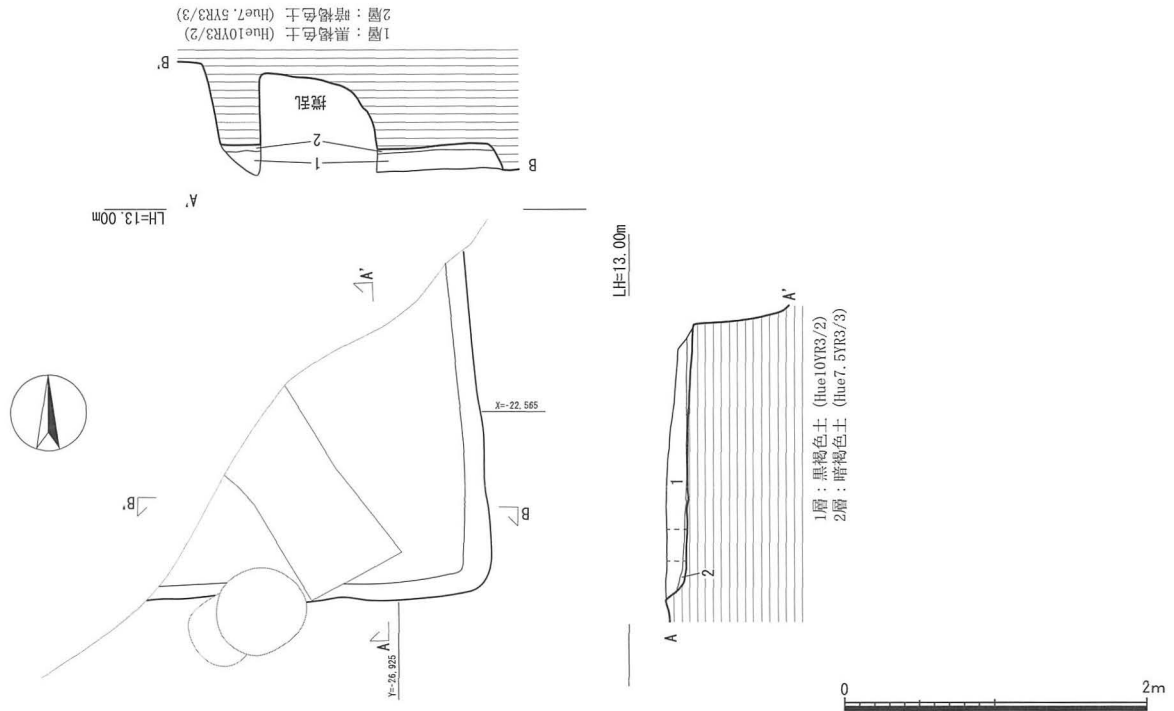


図39 311号竪穴建物実測図 (1/50)

できる遺物は検出されなかった。

247・254号竪穴建物 (図38)

I区M-12・13グリッドに位置する。両遺構は近代の溝である187号溝により大きく破壊を受けており、南側は調査区外であるため全体規模を把握できない。254号竪穴建物は調査区南壁土層断面 (図4上) で確認できるが、平面プランは北東側の立ち上がり部分がわずかに残存するのみである。一方、247号竪穴建物は現状で約1m×4m、主軸はN-5°-Wを示す。調査区南壁土層断面において硬化面を確認できるが、検出面では削平され残っていない。図化できる遺物は検出されなかった。

311号竪穴建物 (図39)

II区y-10グリッドに位置する。本遺構は314・320号溝の交差部分において検出した。両溝の埋土は5~10cm大の黒褐色・褐色ブロックを含むのに対し、本遺構は細かいブロックを含んでおり、両者は明らかに埋土が異なる。方形の平面プランが検出されたことから竪穴建物として掘削した。建物中央は現代の攪乱を受け、北西側は旧外来臨床研究棟の建物掘方により壊されているため、全体規模を把握できなかった。現状で約2.2m×2.3m、主軸はN-5°-Wを示す。硬化面は不明瞭だが、検出面から12cm下位でやや締りのある層を確認している。遺物は検出されなかった。

277号竪穴建物 (図40)

II区W-10・11グリッドに位置する。南西と北東は基礎掘方によって破壊を受けているが、現状で約4.7m×4.2m、検出面から硬化面までの深さ40cmを測り、主軸はN-25°-Wを示す。本遺構は他の竪穴建物と異なり、床面以下の埋土が基本土層V層のブロックを主体とする褐色であった。建物中央には不定形の硬化面の広がりを見出した。また、硬化面上面にて建物の北西隅と南東隅に支柱穴P1・P2をそれぞれ検出した。P1は直径30cmの円形で、硬化面から深さ10cmを測る。P2は直径70cmで円形を呈し、硬化面から深さ20cmを測る。建物埋土中から土師器の小型丸底壺 (図53-54) が、床面直上から土師器の甕 (図53-55) が出土した。



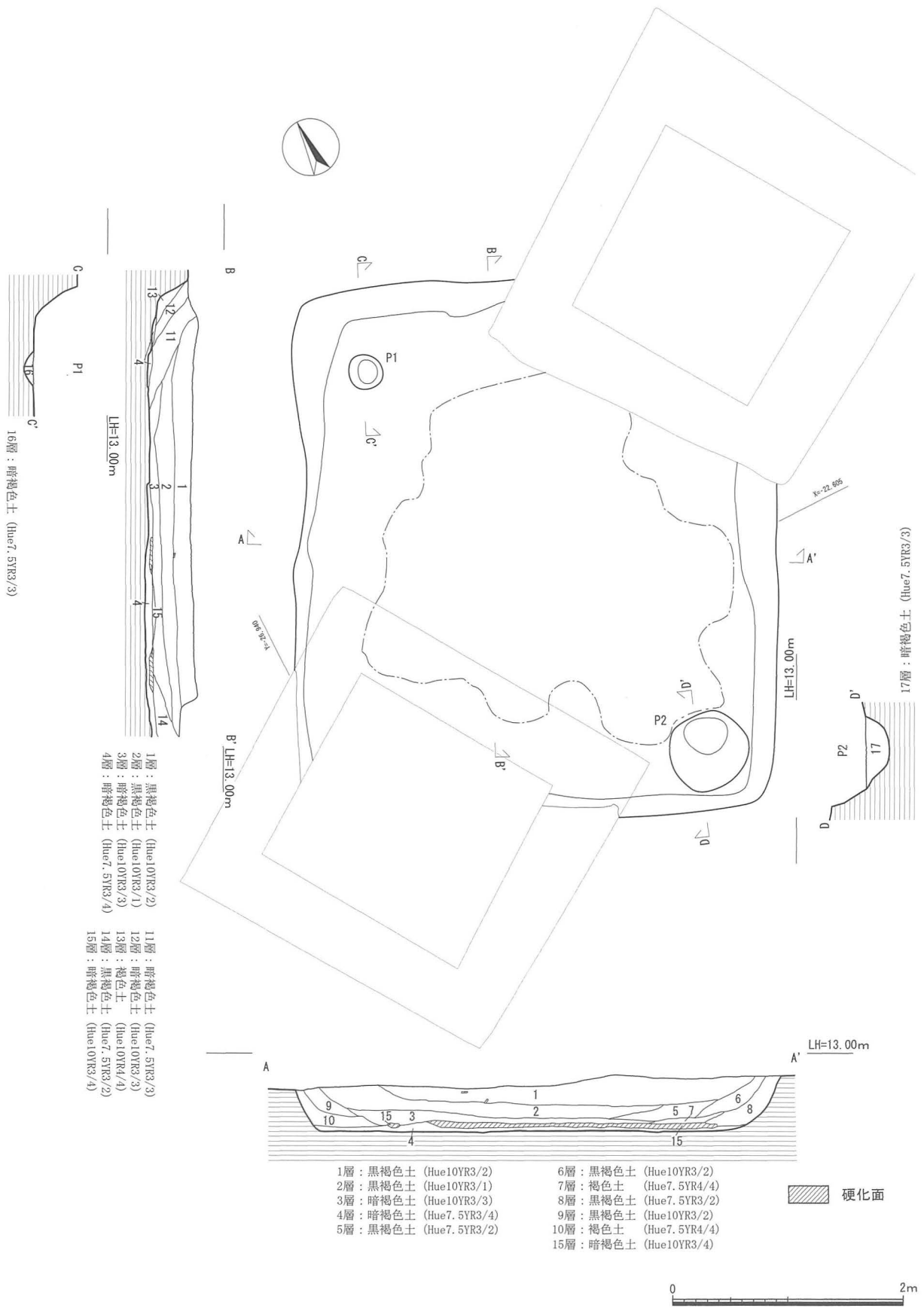


図40 277号竪穴建物実測図 (1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

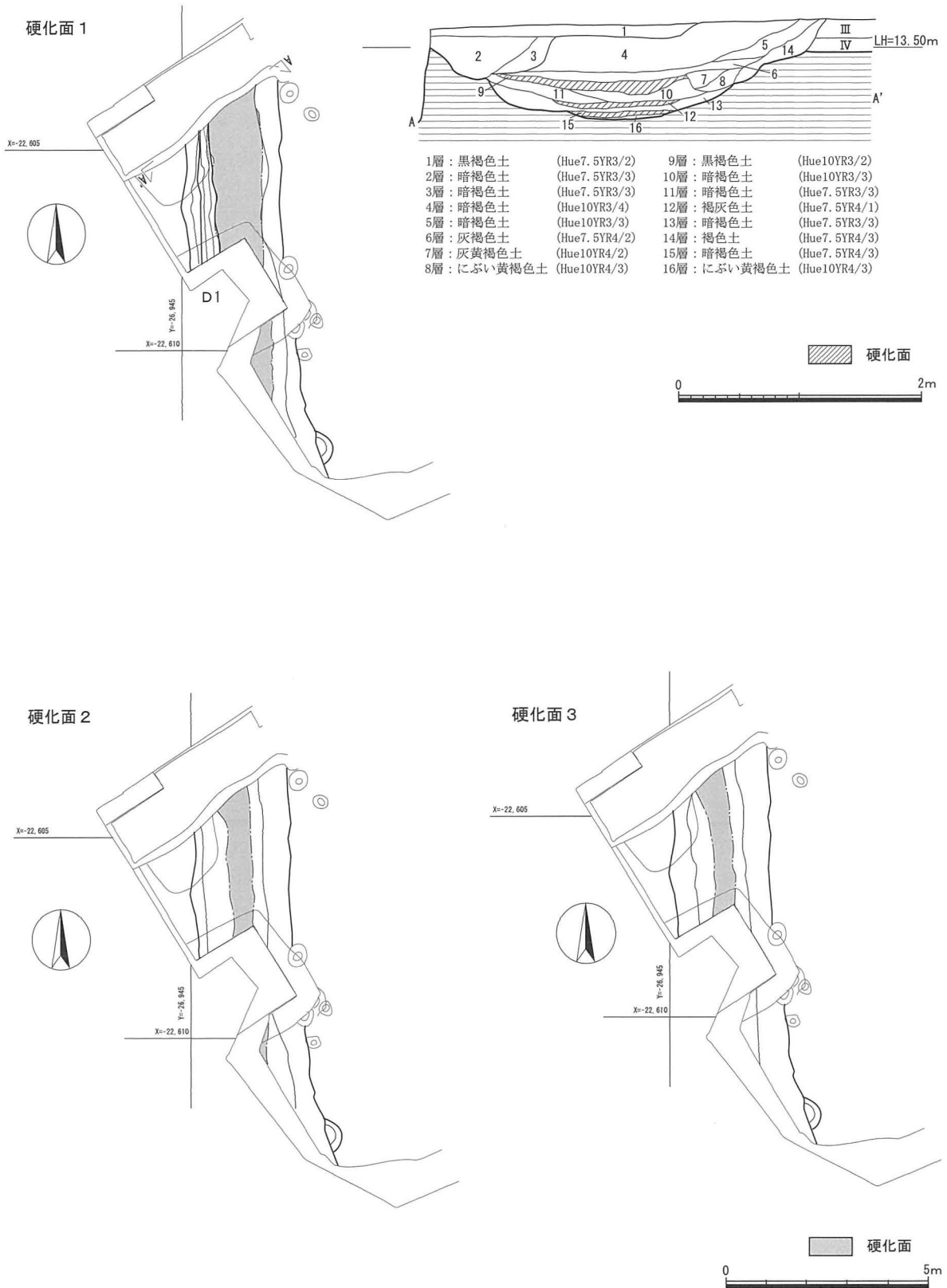


図41 276号道路実測図 (1/150・1/50)

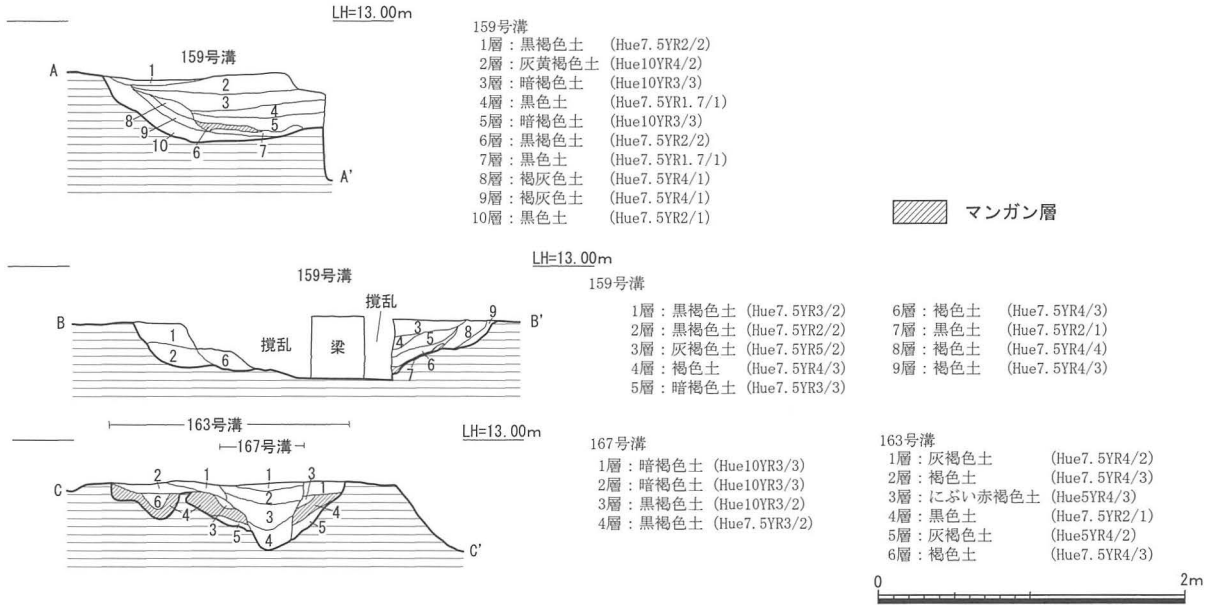


図42 159・163・167号溝土層断面実測図 (1/50)

276道路 (図41)

II区 u・v-10~12グリッドに位置する。北側は旧外来臨床研究棟の建物基礎によって破壊を受けており、南側は調査区外へ延びる。断面が浅いレンズ状の切通し構造の道路であり、検出面での上端の幅は2.5mを測る。主軸はN-7°-Wを示す。本遺構からは硬化面が3枚検出された。硬化面1は、検出面から深さ48cm下位、幅1.4mで厚さ8cmを測る。硬化面1上面では西側で路面に沿って幅40cm、深さ18cmの溝D1を検出した。硬化面2は検出面から深さ66cm下位、幅70cmで厚さ6cmを測る。硬化面3は検出面から深さ74cm下位、幅55cmで厚さ6cmを測る。硬化面2・3上面では遺構は検出されなかった。古代の土師器片等が出土している。

159・163・167号溝 (図42・43)

159号溝はI区R~V-7~13グリッドに位置する。南側は調査区外へ延び、北側は延長すると9601調査地点で調査された2号溝に連結する可能性がある。幅は1.4~2.3mで、検出面からの深さは0.4mを測る。主軸はほぼ南北を示し、やや蛇行、拡幅しながら走る。下端から8cm程上位で厚さ5cm程のマンガン層が確認できた。RS-11・12グリッドではマンガン層の上層からは部分的に白色の土も認められている。遺物として須恵器・土師器の高坏などが出土している (図54-57~59)

163号溝はI区P~V-6~13グリッドに位置する。南側は調査区外へ延び、北側は延長すると9601調査地点の3号溝に連結する可能性がある。幅は0.8~2.0m、検出面からの深さは0.3mを測る。主軸はほぼ南北を示し、159号溝と並列しながら南側で拡幅している。下端から5cm程上位では厚さ5~10cmのマンガン層が認められ、本層の上位からは部分的に白色の土が認められており、埋土の堆積状況が159号溝と類似する。調査区北側では両溝の心間距離は1.5mであるのに対して、南端では8mと距離が広がる。遺物として土師器の坏・甕、須恵器の皿・脚付壺、(図54-60~64)。土師器坏には「本寺」のヘラ書きがあり、9601調査地点の1・2号溝から「杵本寺」のヘラ書き土器が出土することと関連し注目すべき点である。

167号溝はI区P~R-11・12グリッドに位置する。163号溝のマンガン層を切っており、埋土からブロック状にマンガンを確認したことから、別遺構として調査した。主軸は163号溝と並列しており、

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

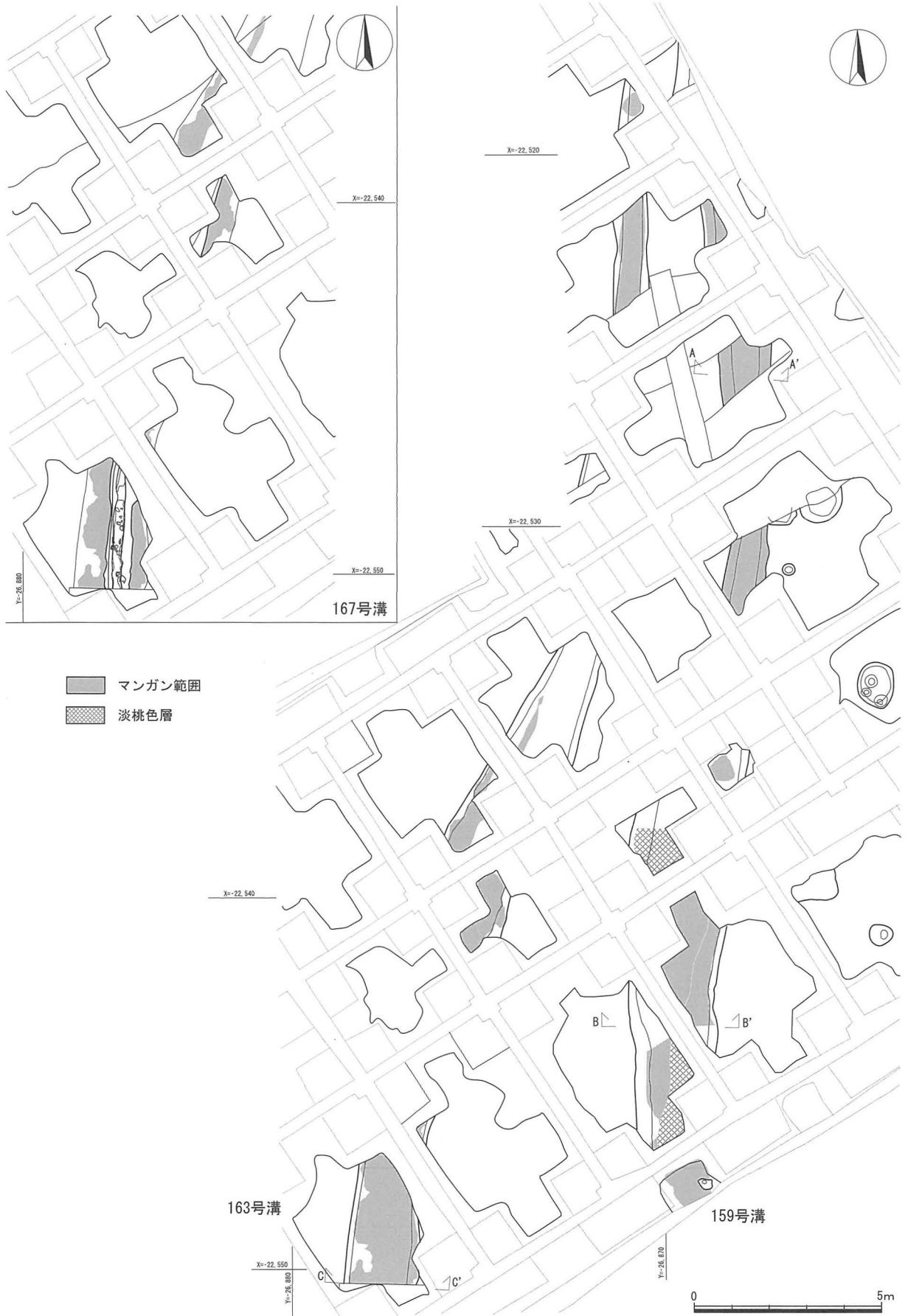
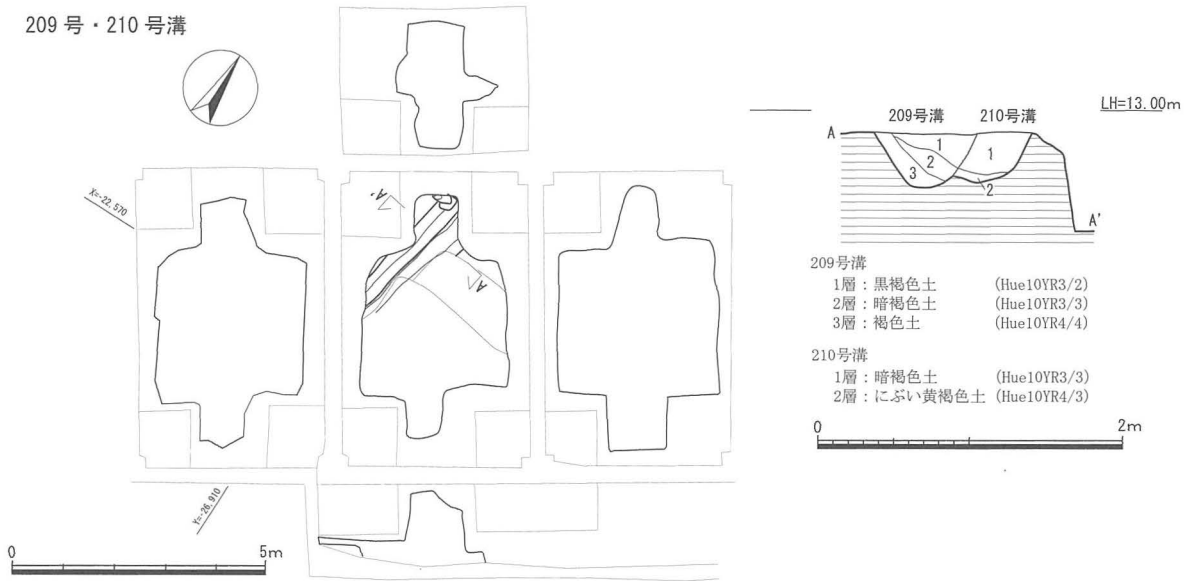


图43 159・163・167号溝実測図 (1/150)

209号・210号溝



111号溝

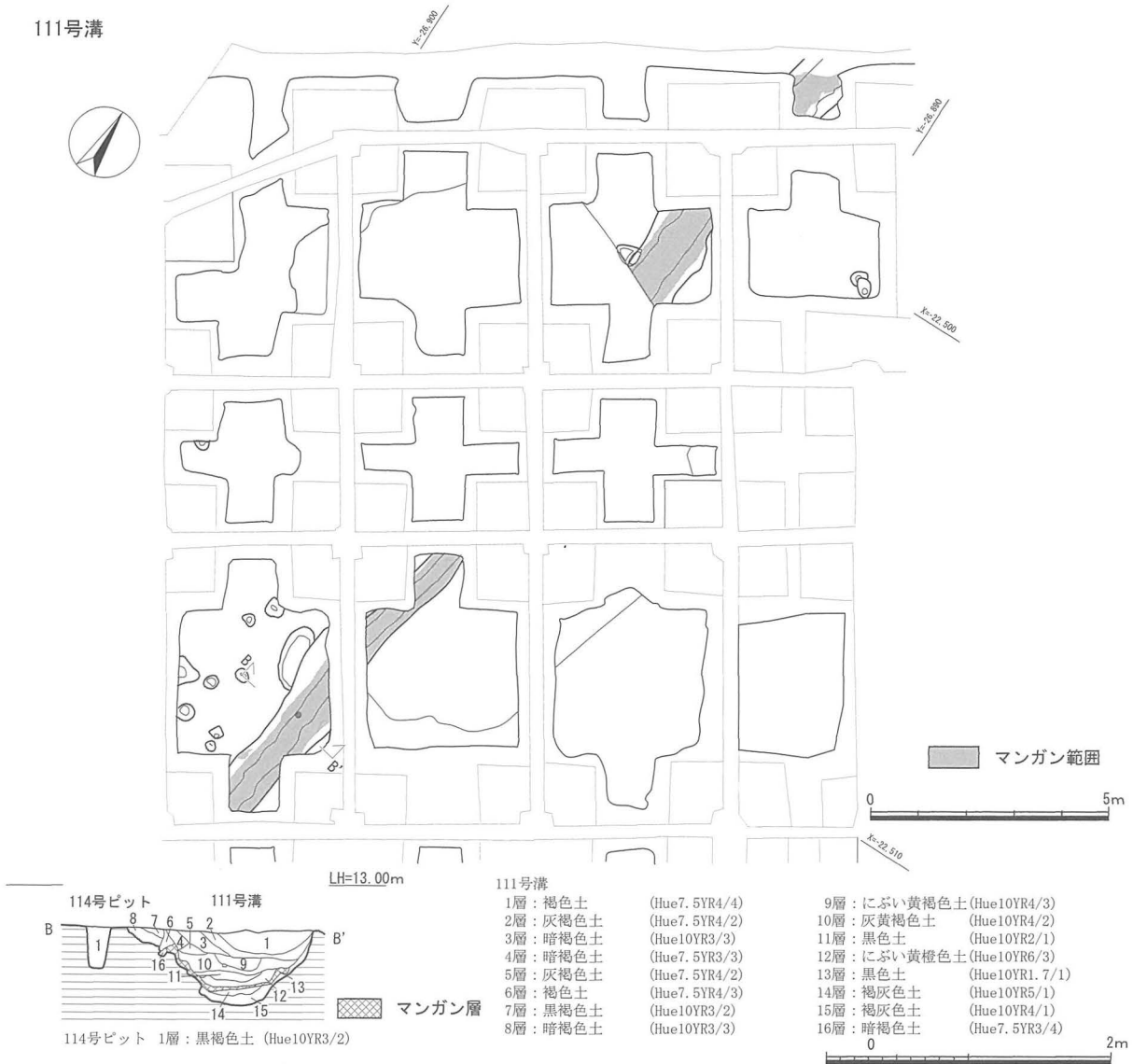


図 44 209・210・111号溝実測図 (1/150・1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

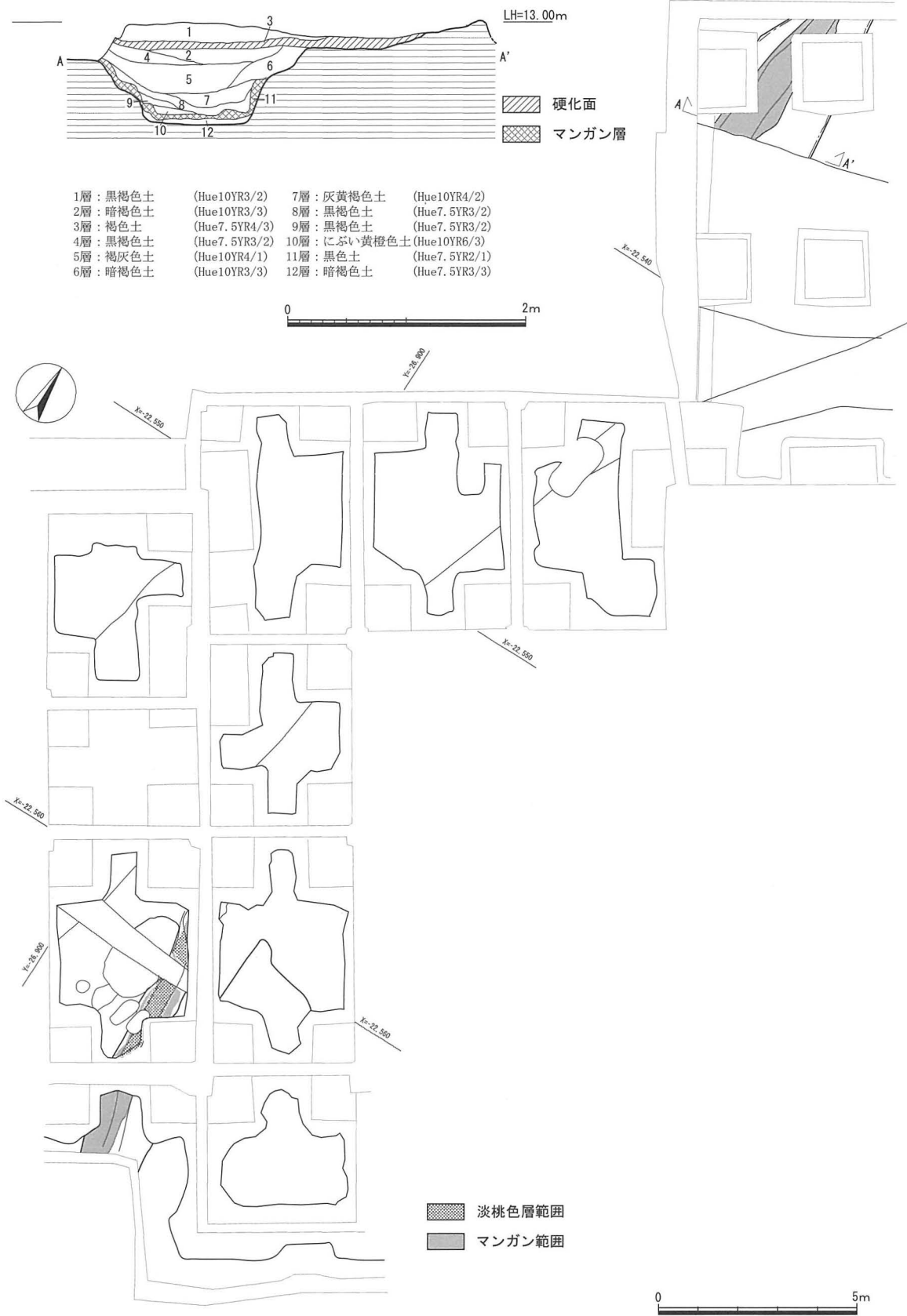


図45 111号溝実測図 (1/50・1/150)

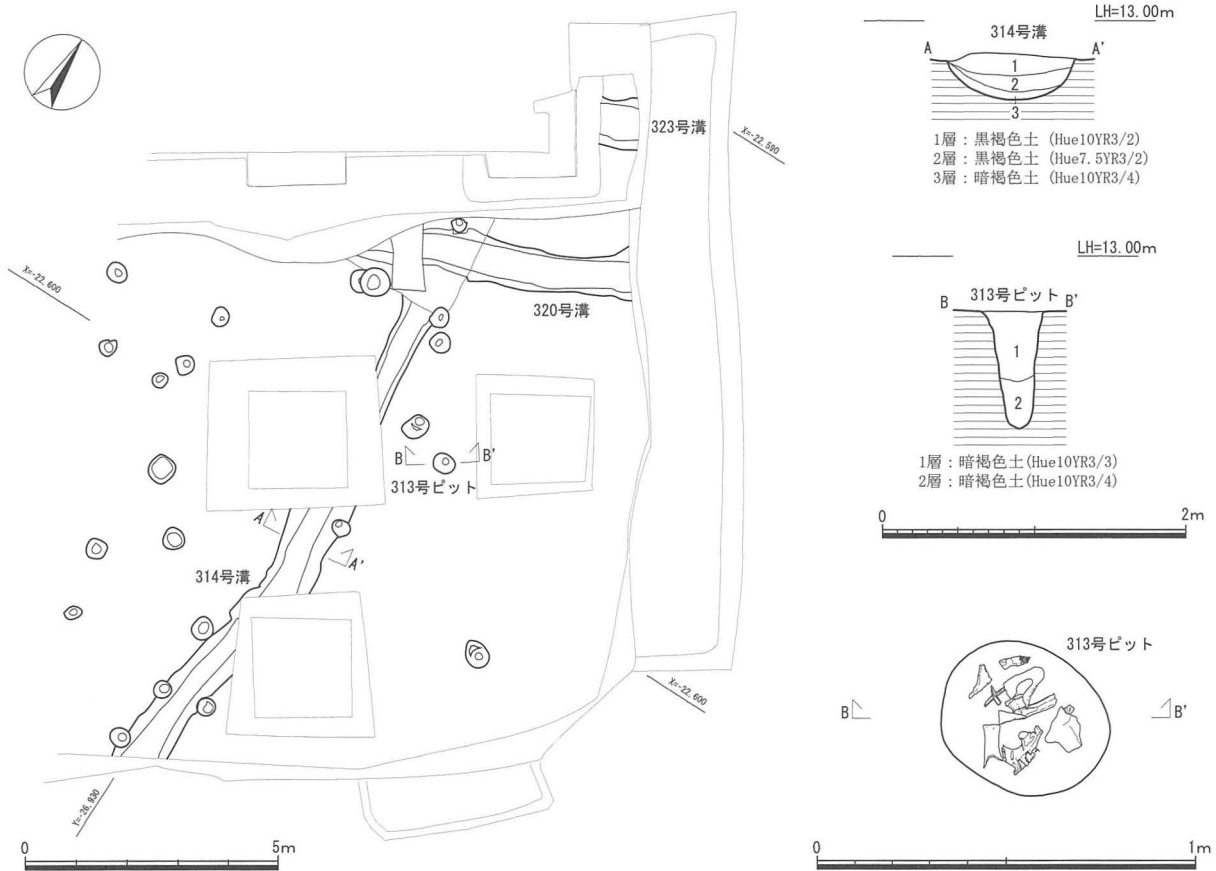


図46 314・320・323号溝・313号ピット実測図 (1/150・1/50・1/20)

幅60cm、検出面からの深さ46cmを測る。埋土中からは土師器の坏、甕、須恵器の坏蓋、坏、甕等がまとまって出土した。

209・210号溝 (図44)

209号溝はI区G-12グリッドに位置する。東側は182・186号竪穴建物に切られており、北・南側は梁・フーチングの掘方によって壊されている。現状で幅70cm、検出面からの深さ35cmを測る。

210号溝はI区G-12グリッドに位置する。東側は209号溝に切られており、主軸は209号溝・182・186号竪穴建物と同じである。現況で幅50cm、検出面からの深さ32cmを測る。いずれの遺構でも図化できる遺物は出土していない。

111号溝 (図44・45)

I区Q~T-0~4、N・O-7・8、J・K-12・13グリッドに位置する。南端・北端は調査区外へ延び、Q~T-0~4グリッドでは中央を攪乱によって破壊されているが、R-3グリッドでは下端がわずかに残存していた。現状で長さ70m、幅0.8m、検出面からの深さ50cmを測る。下端から12cm程上位に厚さ2cm程のマンガン層が法面にかけて認められた。マンガン層の直上には淡桃色層があり、その直上から須恵器の蓋がほぼ完形の状態で出土した (図54-74)。N・O-7・8グリッドは土の残りが良く、比較的上部で検出された。この検出面において溝埋土上面は著しく硬化していた。本遺構は64号道路に接しており、この埋土上面の硬化面が64号道路使用時に形成された可能性もある。上部から遺物は検出されなかったため詳細は不明である。下部はQ~T-0~4グリッドと同様に法面から底部にかけてマンガン層が検出できた。検出面からの深さは86cmを測る。JK-12・13グリッドは北側を183号道路南北路面など他の遺構によって壊されており、ここでもマンガン層や淡桃色層

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

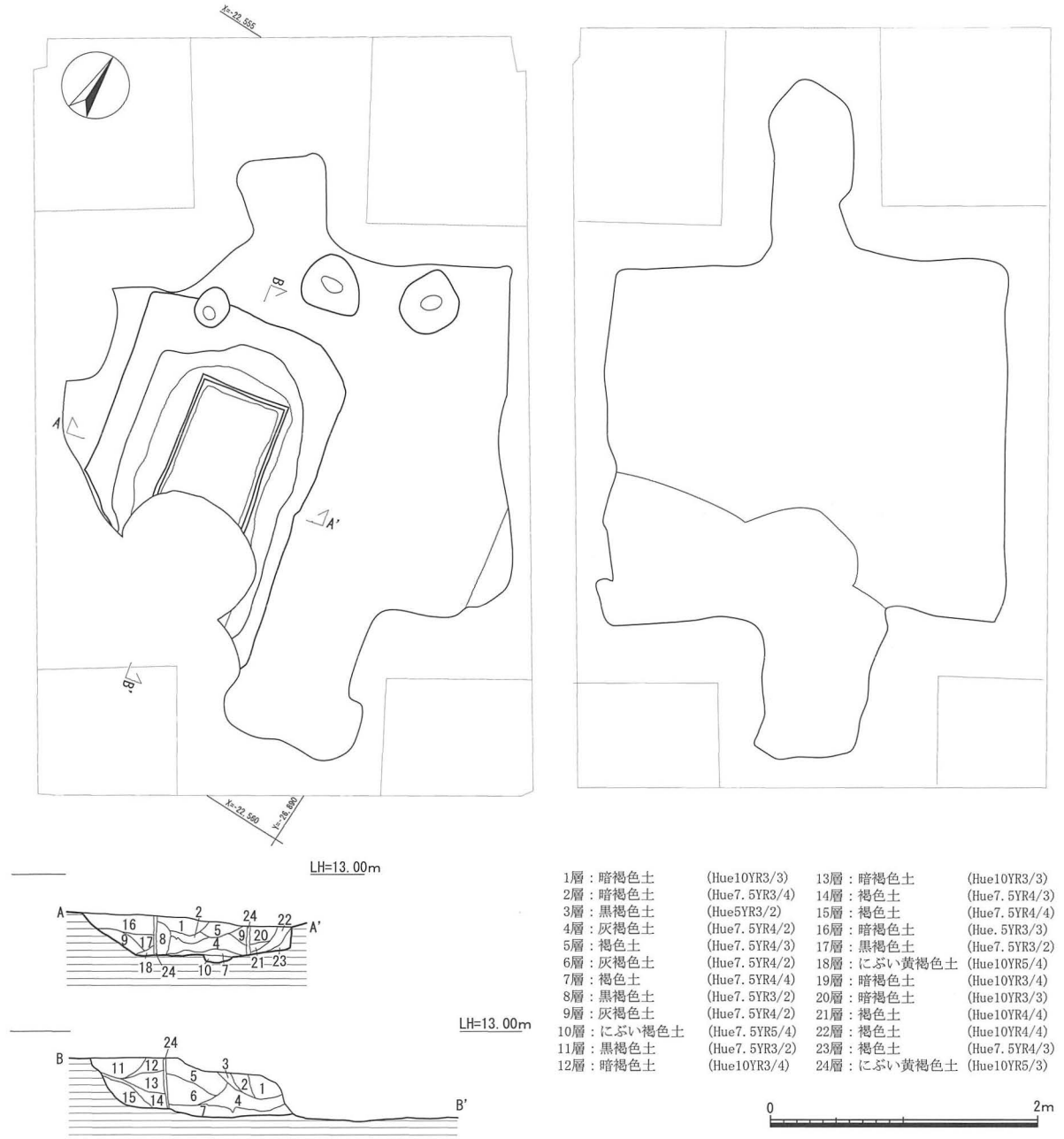


図47 170号土坑墓実測図(1/50)

が認められた。これらは水性由来の堆積物であり、ある時期に本溝が排水施設として利用されていたと考えられる。土壌についてはサンプリングを実施し、化学分析を実施した(pp.117~122)。

314・320・323号溝(図46)

314号溝はⅡ区x・y-10~12グリッドに位置する。幅90cmで、検出面からの深さ30cmを測る。主軸はほぼ南北を示す。320号溝はⅡ区y・z-10グリッドに位置する。幅90cmで検出面からの深さ40cmを測り、主軸はE-22°-Nを示す。323号溝はⅡ区z-9・10グリッドに位置する。上部は建物の掘方に壊されており、他の遺構より60cm程下位で検出できた。幅90cmで、検出面からの深さ40cmを測り、主軸はほぼ320号溝と同じである。



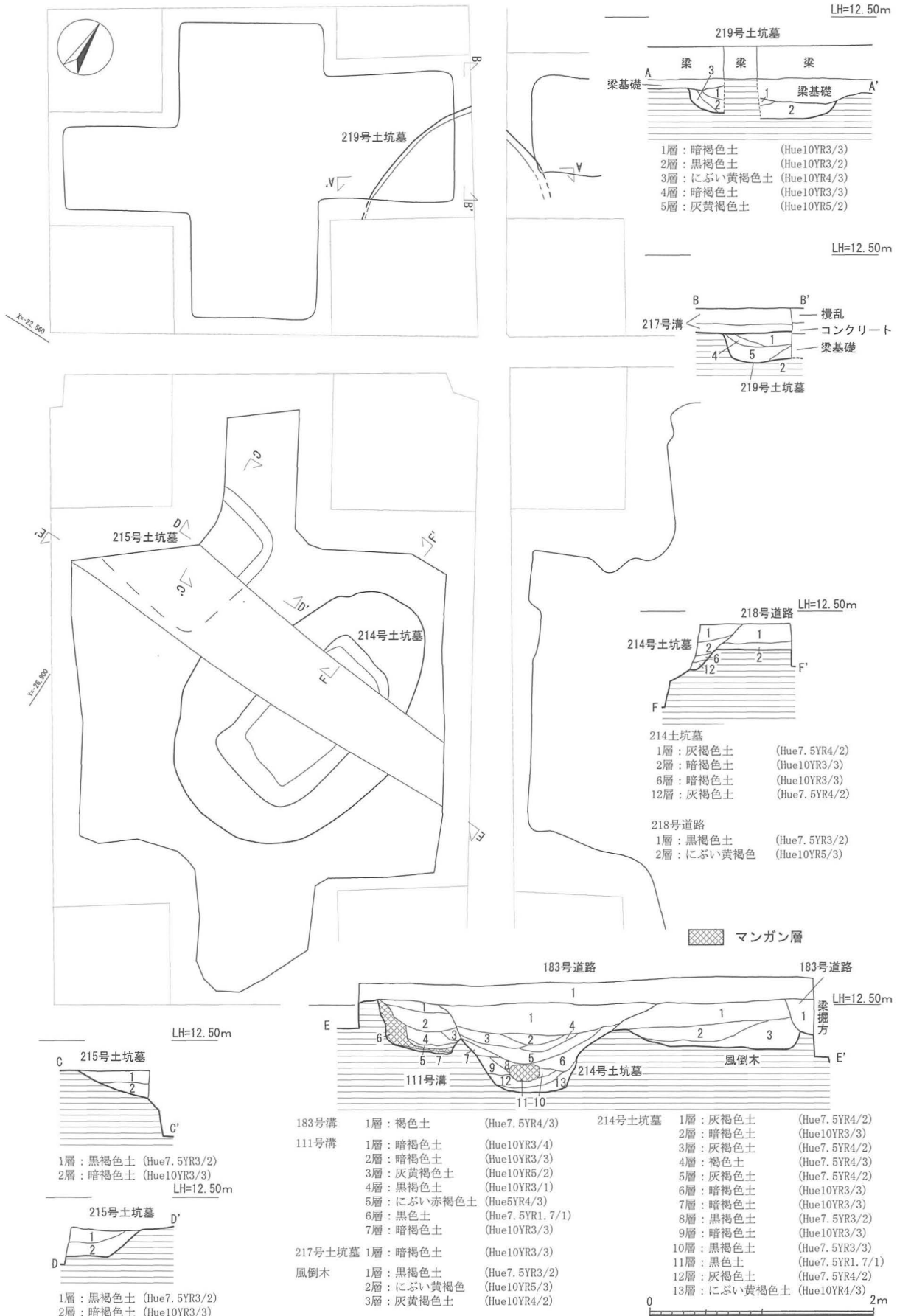


図48 214・215・219号土坑墓実測図 (1/50)

### 313号ピット (図46)

Ⅱ区y-11グリッドに位置する。平面プランは直径50cmの円形で、検出面からの深さは76cmである。埋土内からは多量の獣骨が出土した。下顎骨・歯・距骨の形状から馬の骨とみられる。ピット内にはほぼ全身の骨が確認でき、二次的に埋納されたと考えられる。

### 170土坑墓 (図47)

I区L-12グリッドに位置する。南側は攪乱によって破壊を受けている。現状で長軸2.4m、短軸1.6mの長方形を呈し、主軸はN-12°-Wを示す。土層断面からは、埋土やブロックが内側と外側で明瞭に縦にずれており、レンズ状に堆積していない状況が確認できた。また中端を有することから、本遺構が土坑墓 (木棺墓) の可能性があるかと判断した。ただし、内側埋土内に骨や副葬品等は検出されていない。本遺構を検出したグリッドは汚染土範囲内であるため、木棺内の埋土をフローテーションすることができなかった。外側埋土内から土師器の坏が出土した (図55-76)。

### 214・215・219号土坑墓 (図48)

214号土坑墓はI区J-12グリッドに位置する。長軸2.55m、短軸1.9mの楕円形を呈し、検出面から20cm下位の中端は長軸2.1m、短軸1.0mで長方形を呈する。主軸はN-13°-Eを示す。東側では中端から角度が急に持ち上がる。先述した170号土坑墓と距離や形状が近いことから土坑墓 (木棺墓) である可能性がある。埋土中に骨や副葬品は検出されなかった。111号溝を切っており、埋土内に111号溝に由来するマンガンのブロック片が混入していた。

215号土坑墓はI区J-12グリッドに位置する。本遺構上位で検出した183号道路の調査時に設定したトレンチで半分を壊してしまったが、現状で60cm四方の方形を呈し、検出面からの深さ20cmを測る。東側に隣接する214号土坑墓と同軸で方形を呈することから、土坑墓である可能性がある。埋土中に骨や副葬品は検出されなかった。

219号土坑墓はI区J・K-11グリッドに位置する。遺構上部は183号道路によって、南側は梁・フーチングの掘方によって破壊を受けている。現状で長軸1.2m、短軸1.0mの長方形を呈し、検出面からの深さ30cmを測る。214・215号土坑墓と同軸であり隣接することから土坑墓の可能性が高い。埋土中に骨や副葬品は検出されなかった。

### 小結

ここまで古墳時代、古代、近世・近代の遺構について概要を述べてきた。本調査地点周辺の旧地形は白川左岸から南へ向けて緩く傾斜している。本調査区東側では古墳時代に相当する南北方向に走る大溝 (111号溝) が確認された。埋土からはマンガンや珪藻を多く含む水性由来の特殊な土壌が検出された。南側には古墳時代の竪穴建物があり、地形を利用して川水を集落に向けて流す用水路の機能を有していた可能性がある。古代の竪穴建物は調査区の南西部に集中している。遺物から7世紀後半から8世紀後半の遺構と思われる。調査区北半は大部分が削平を受けていたため、本来は調査区全体に集落が広がっていたと推測できる。調査区南東隅では溝2条 (159・163号溝) が、Ⅱ区では大小の東西南北に軸を持つ溝3条 (314・320・323号溝) が走っており、集落を区画する溝の可能性もある。

近世の大きな成果として、近世から近代にかけて使用された東西南北に主軸を持つ大規模な道路遺構とその支路らしき遺構が検出された。本調査区において検出された64号道路と183号道路は近世のある期間に利用された切通し構造の大型道路であった。そして、Ⅱ区北側で検出された64号道路から183号道路の東西路面までの東西に走る一連の大型道路は、絵図との比較の結果、日向往還の旧ルートに相当することが判明した。これに小規模の切通し構造の近世の道路 (56号溝・102号道路・187号溝) が、北側あるいは南側で連結する状況が確認できる。道路遺構の各路面上では、側溝や不定形の

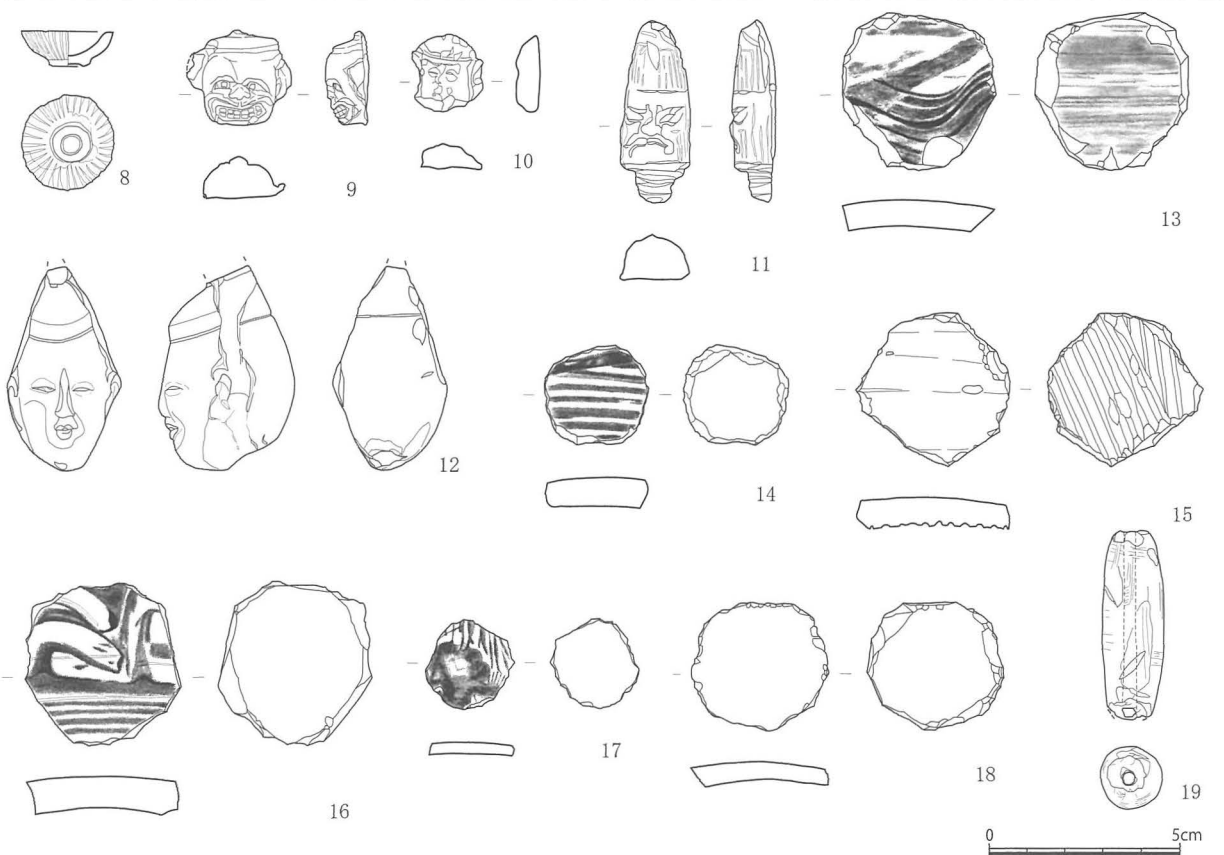
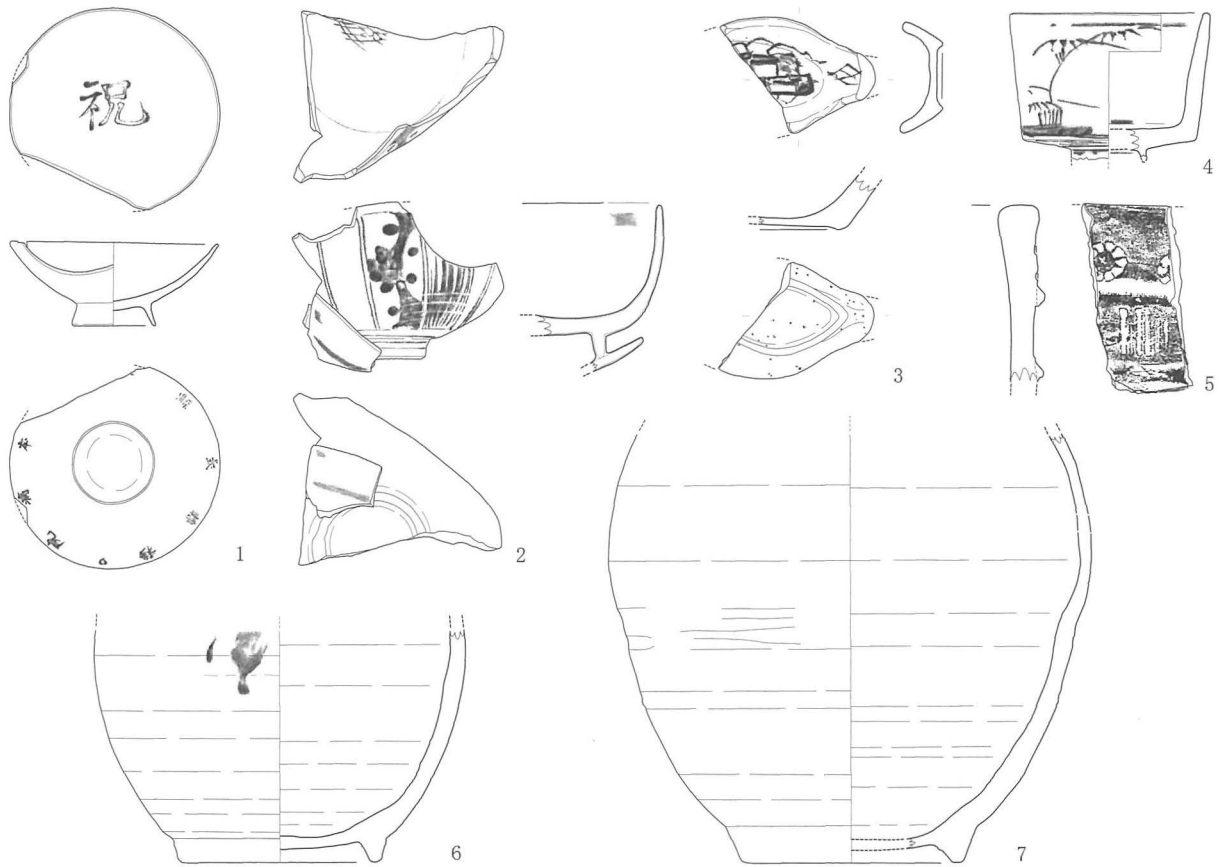


図49 1708 調査地点出土遺物実測図1 (1/2・1/3)

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

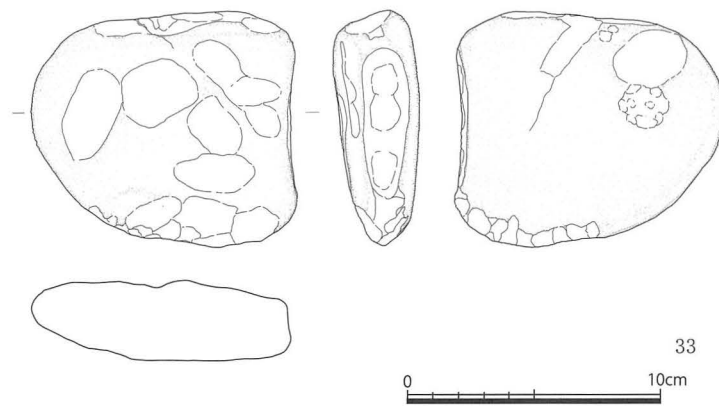
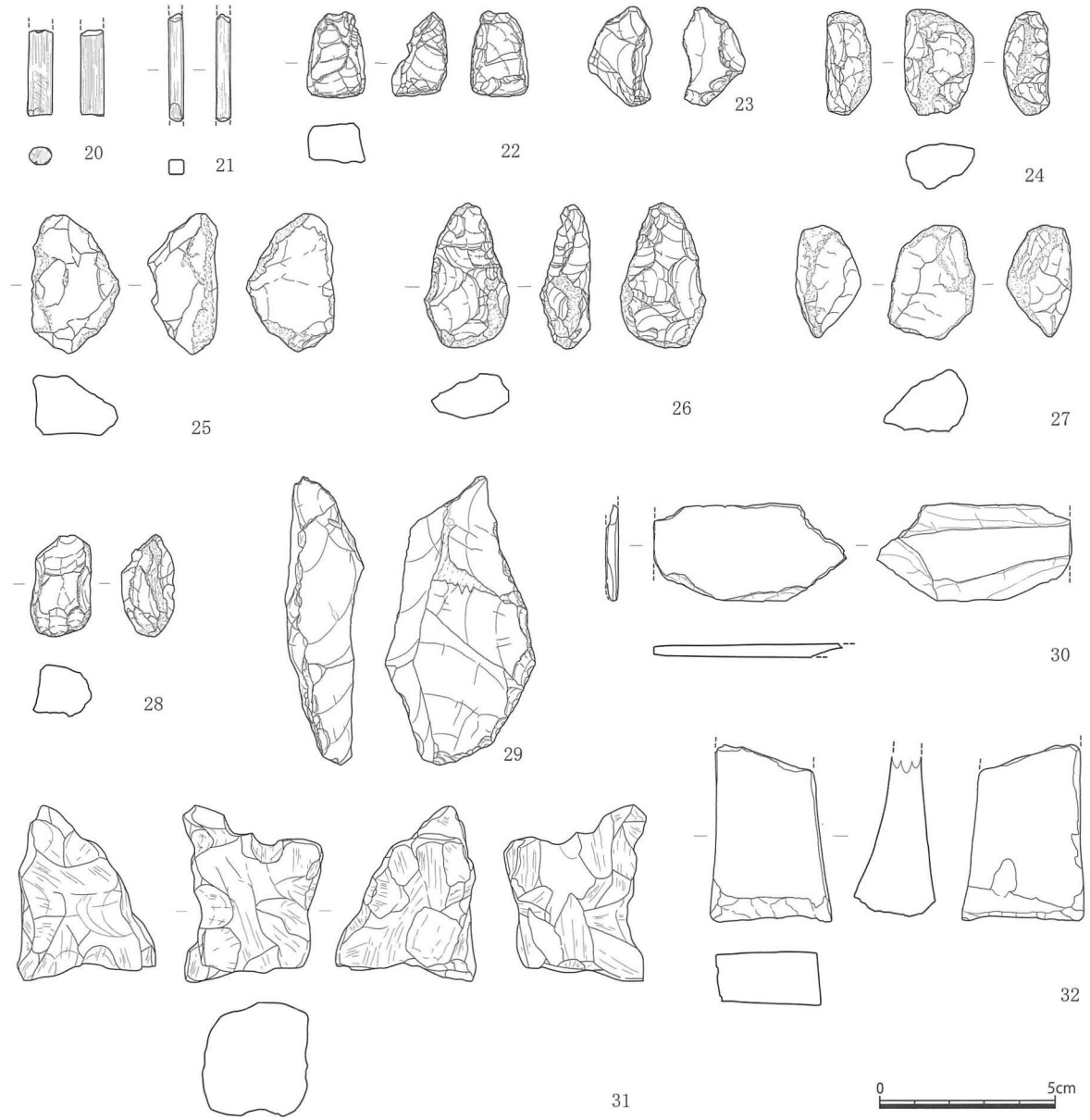


図 50 1708 調査地点出土遺物実測図 2 (1/2・1/3)

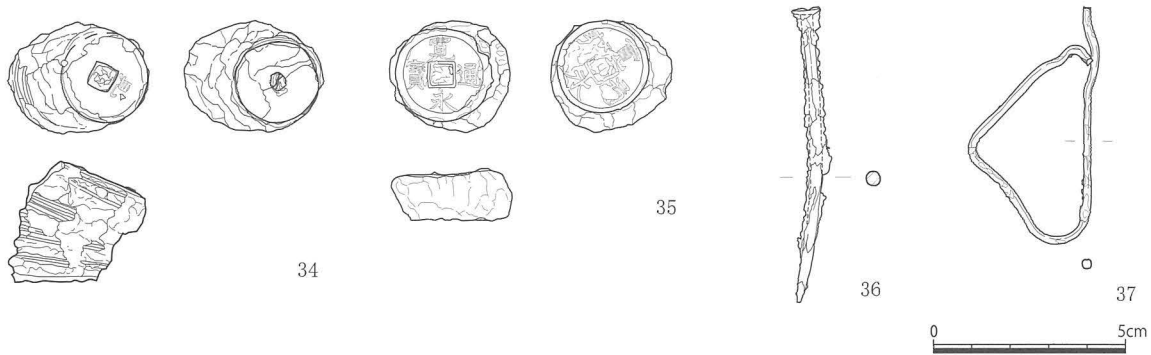


図 51 1708 調査地点出土遺物実測図3 (1/2)

連続土坑である波板状痕跡が検出できた。考察で詳細を述べるが、各遺構埋土の堆積状況は多様であり、補修や自然による埋没などそれぞれ性格が異なるものと思われる。64号溝は近代まで使用されており、近世から近代までの連続的な道路の使用も明らかとなった。

#### (4) 出土遺物

##### 64号道路出土土器 (図49・50・51：1～37)

64号道路からは古代から近代まで多くの遺物が出土している。ほとんどは破片であったため、状態の良好な資料を選別している。

1は道路の最上面から出土した記念盃である。口縁が緩く立ち上がる小形の杯で、内面底に「祝」、外面口縁周縁に「縣(立熊)本病院・移轉式」の金文字が描かれている。明治34年3月24日に開催された県立熊本病院の落成移轉式で関係者に配られた記念品と考えられる。2は磁器の碗である。形状がいびつに歪んでおり、別個体と癒着している。窯元から持ち出したものであると思われ、江戸後期の資料と考えられる。3は磁器の散り蓮華である。器部内面に絵付けがあり、豊付けは釉剥ぎしてある。肥前系の江戸後期のものと思われる。4は磁器の筒形碗である。外面に呉須で笹竹の染付が施されている。器形から肥前系18世紀後半のものとして推測される。5は瓦器の火鉢である。外面に突帯が2条めぐり突帯の間に菊花、櫛歯文のスタンプがある。形状から16～17世紀の資料と考えられる。6・7は陶器の徳利である。赤い顔料とともに出土しており、内・外面ともに赤く染まっている。器形から肥前系の江戸後期の資料と考えられる。8は磁器の紅皿である。型打ち整形で、見込みと外面の一部に施釉がある。9～11は泥面子である。9は猿面、10は仏面、11は男人面であろう。12は土人形の頭部である。顔の両サイドに指なでがみられる。首部分に穿孔あり。烏帽子部分は欠損している。13～18は破片面子である。13、14は陶器片を転用した破片面子で、道路中央箇所の硬化面3に対応する側溝D24の埋土から出土した。15は播鉢片を転用した破片面子で道路中央箇所の硬化面7から8間の埋土より検出した。16は陶器片を転用した破片面子で道路中央箇所の硬化面8に対応する側溝D34の埋土から検出した。17、18は磁器片を転用した破片面子で道路中央箇所のトレンチ掘削時の一括史料である。19は道路中央箇所の硬化面3に対応する側溝D24から出土した土錘である。古代のものであろう。20、21は滑石製の石筆である。20は断面が円形になるように削られている。21は断面が四角になるように擦られているようである。22から29はチャート製の火打石である。主として緑川流域で採取される石材とみられる。30は頁岩性の石盤の破片である。表・裏面とも磨かれている。31は砥石である。21箇所にU字の凹みを持っている。32は天草砥石である。33は敲石である。34・35は寛永通宝で

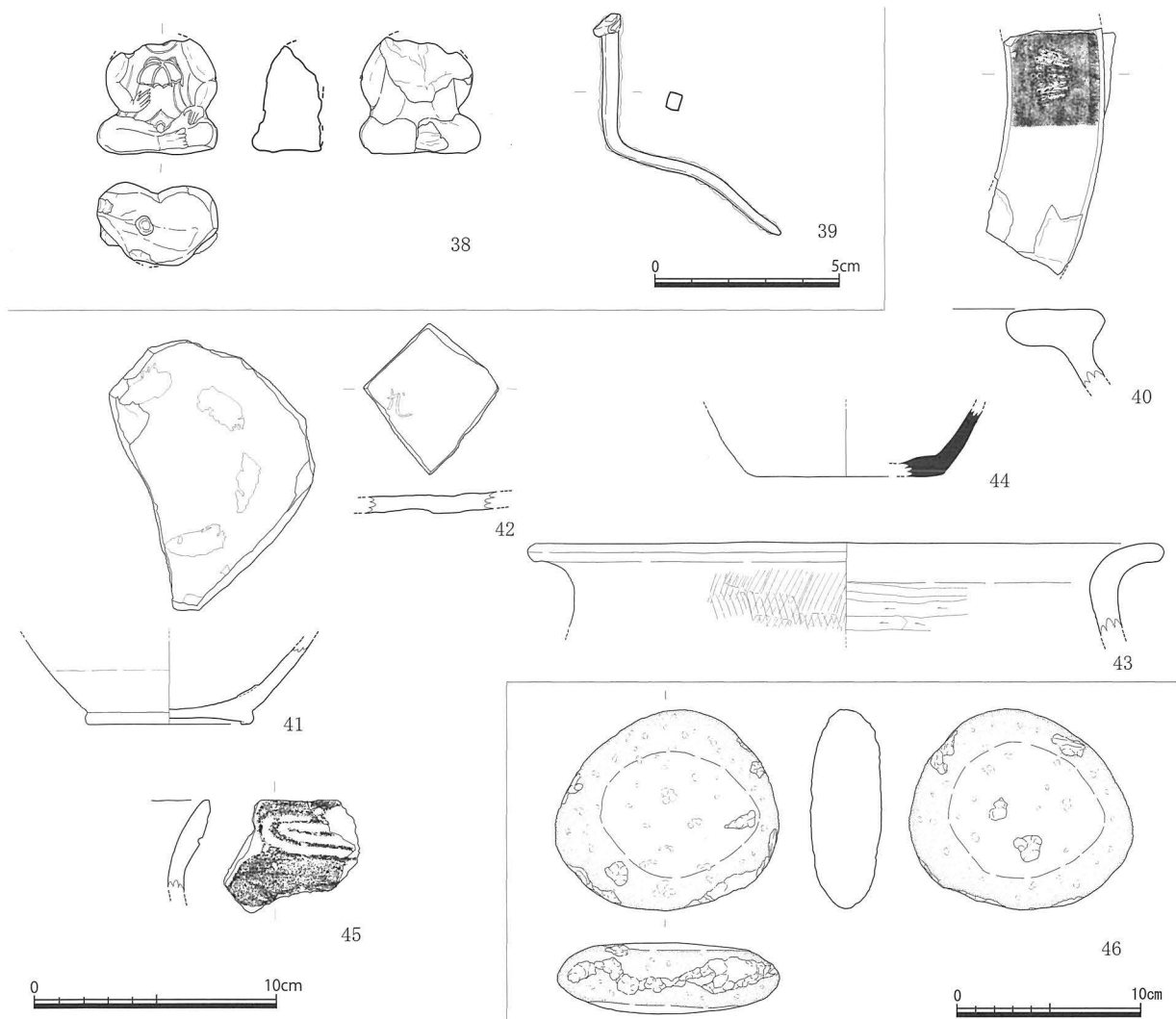


図52 1708 調査地点出土遺物実測図4 (1/2・1/3・1/4)

ある。青銅製のもので数十枚が重なっている。34は背面が錆びて詳しく見るできないが、無紋であると思われる。穿内は繊維状に錆びついている。36は鉄製の洋釘である。道路の硬化面1と2の間の埋土から出土している。明治以降のものである。37は青銅製の金属片である。用途は不明である。

#### 183号道路出土土器 (図52: 38・39・40・41)

38は土人形である。頭部が欠損している。底に穿孔がみられる。39は和釘の巻頭釘である。40は陶器の甕である。口縁部は内外面に突出する。口縁部に貝高台を置いている。16世紀末～17世紀前半のものであろう。41は越州窯青磁Ⅱ類である。内面に胎土目がある。内外面に施釉されてあるが、外面の腰から底までは露胎している。9～10世紀のものである。

#### 217号道路出土土器 (図52: 41)

42は土師器の坏であらう。内面は回転などで後に(丸)の字をヘラ書きしている。外面は回転ヘラ切りが施されている。

#### 187号溝出土遺物 (図52: 43・44)

43は土師器の甕である。外面にハケ目、内面にヘラケズリが施されている。8世紀後半のものである。44は須恵器の坏である。8世紀後半のものであろう。

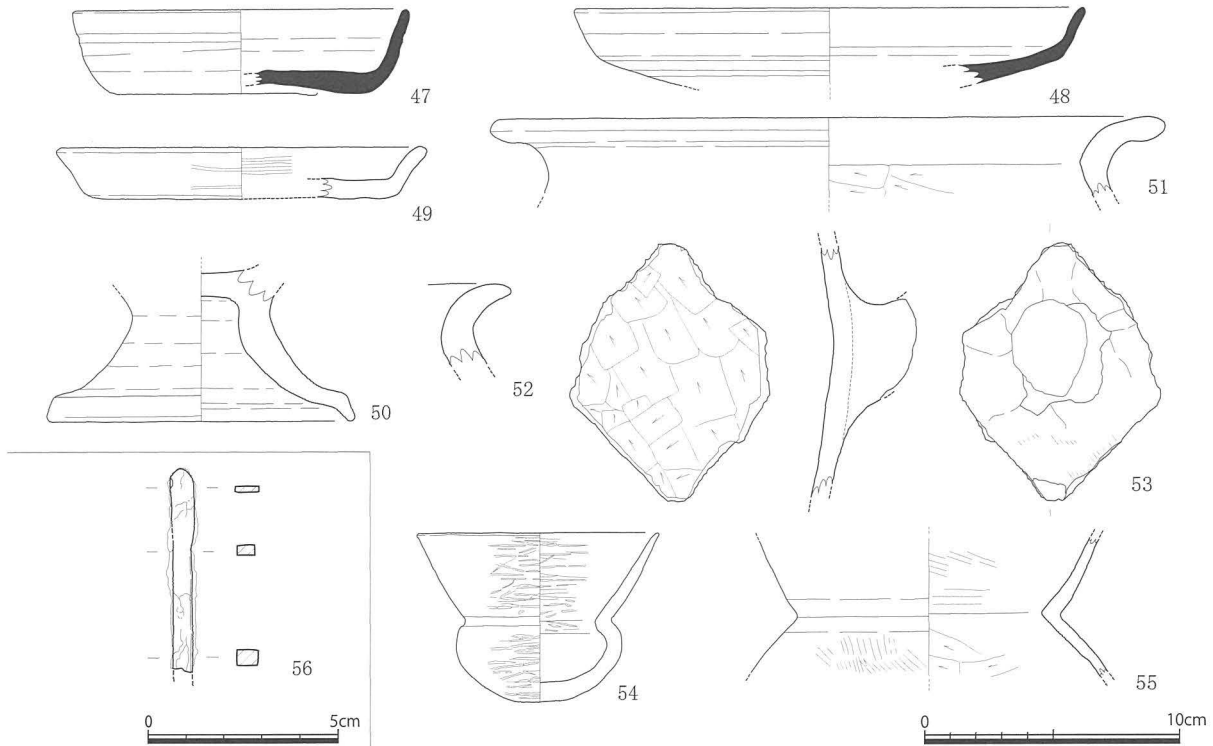


図53 1708 調査地点出土遺物実測図 5 (1/2・1/3)

102号溝出土遺物 (図52: 45)

45は縄文土器である。やや膨らんだ口縁部が緩く外反し、二重弧文状の沈線が口縁部帯に施される。本遺構に伴うものではなく、下位の層から混入したものとみられる。

107号土坑 (図52: 46)

46は安山岩製の磨石である。縁辺部には敲打痕、磨痕がみられる。

43号竪穴建物出土遺物 (図43: 47・48)

47は須恵器の坏である。内外面は回転なでである。8世後半のものであろう。48は須恵器の高坏である。

182号竪穴建物出土遺物 (図53: 49・50・51)

49は土師器の皿である。内外面に篋磨きが施されている。8世紀後半から9世紀前半のころと思われる。50は土師器の高坏である。7世紀末～8世紀前半のものであろう。51は土師器の甕である7世紀末～8世紀前半のものであろう。

186号竪穴建物出土遺物 (図53: 56)

56は長頸鏃の刃部である。

11号竪穴建物出土遺物 (図53: 52・53)

52は土師器の甕である。53は土師器の甑である。把手部分のみで、外面にハケ目、ナデ、内面にケズリを施してある。

277号竪穴建物出土遺物 (図53: 54・55)

54は土師器の小形丸底壺である。胴部径に対し口縁部径が大きく外側に開く。5世紀の初頭のものと考えられる。内外面にミガキが施されている。55は土師器の広口壺である。古墳時代のものである。

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

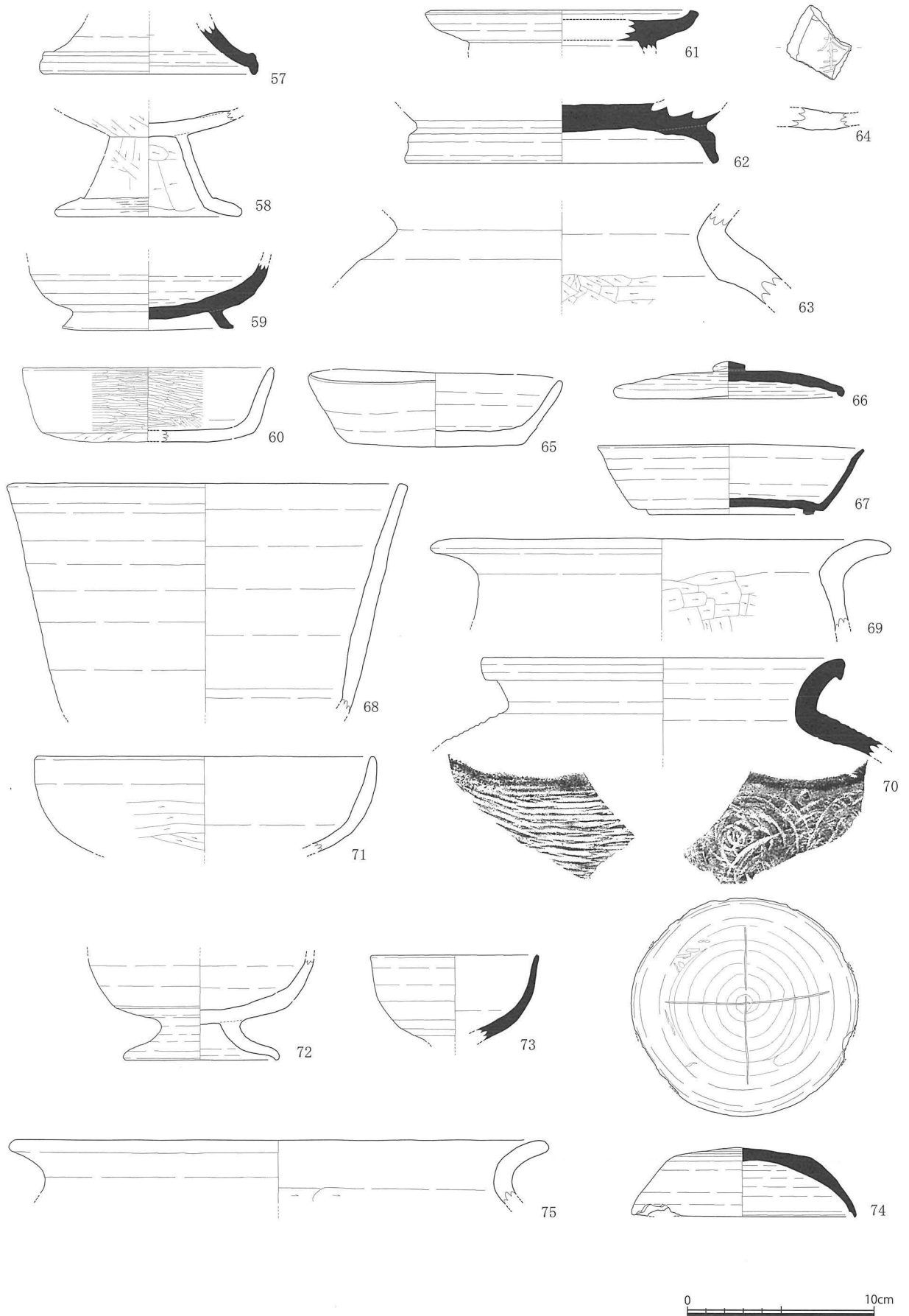


図 54 1708 調査地点出土遺物実測図 6 (1/3)



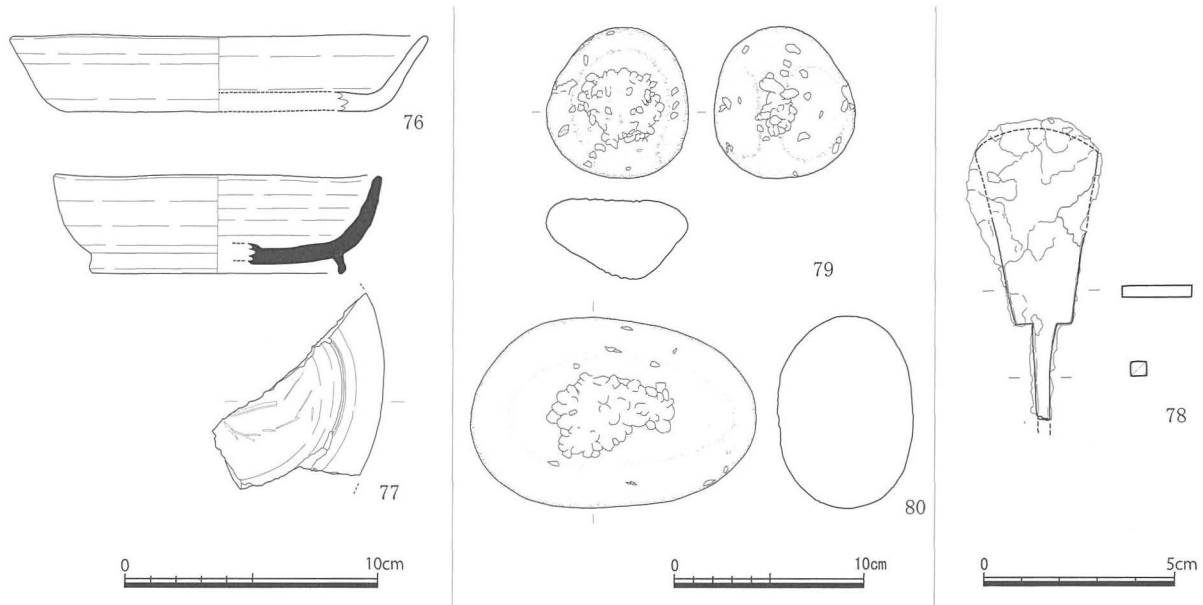


図55 1708 調査地点出土遺物実測図7 (1/2・1/3・1/4)

#### 159号溝出土遺物 (図54：57・58・59)

57は須恵器の高坏である。58は土師器の高坏である。内外面にケズリ・外面底部にミガキが施されている。7世紀末から8世紀前半のものであろう。59は須恵器の碗である。7世紀末～8世紀初頭のものであろう。

#### 163号溝出土遺物 (図54：60・61・62・63・64)

60は土師器の坏である。内外面にミガキが施されている。底部はヘラで剥がしてあり、丸くなっている。61は須恵器の器台である。62は底部のみであるが、須恵器の高台付壺であろうか。63は土師器の甕である。内面の頸部にケズリが施されている。64は土師器の坏である。内底部に本寺と篋書きが施されてある。7世紀末～8世紀初頭のものであろう。

#### 167号溝出土遺物 (図54：65・66・67・68・69・70)

65は土師器の坏である。若干口縁部が歪になっている。8世紀後半のものであろうか。66は須恵器の蓋である。8世紀末のものであろう。67は須恵器の碗である。8世紀の中ごろ～後半のものであろうか。68は底部が欠損しているが、土師器の鉢であろうか。

69は土師器の甕である。内面は頸部から胴部にかけてケズリが施されている。8世紀末～9世紀初頭のころであろうか。70は須恵器の甕である。

#### 111号溝出土遺物 (図54：71・72・73・74・75)

71は土師器の坏である。外面にケズリが施されている。72は土師器の脚付の坏である。73は須恵器の高坏である。74は須恵器の蓋である。外面はヘラケズリが施されているが簡素化されている。十字にヘラ記号が描かれている。6世紀のものであろう。75は土師器の甕である。

#### 170号土坑墓出土土器 (図55：76)

76は土師器の坏である。

#### 攪乱出土遺物 (図55：77)

77は須恵器の碗である。外面の底部にヘラ記号がある。

#### 包含層出土遺物 (図55：78・79・80)

78は鉄器で方頭鏃である。79・80は敲石である。

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

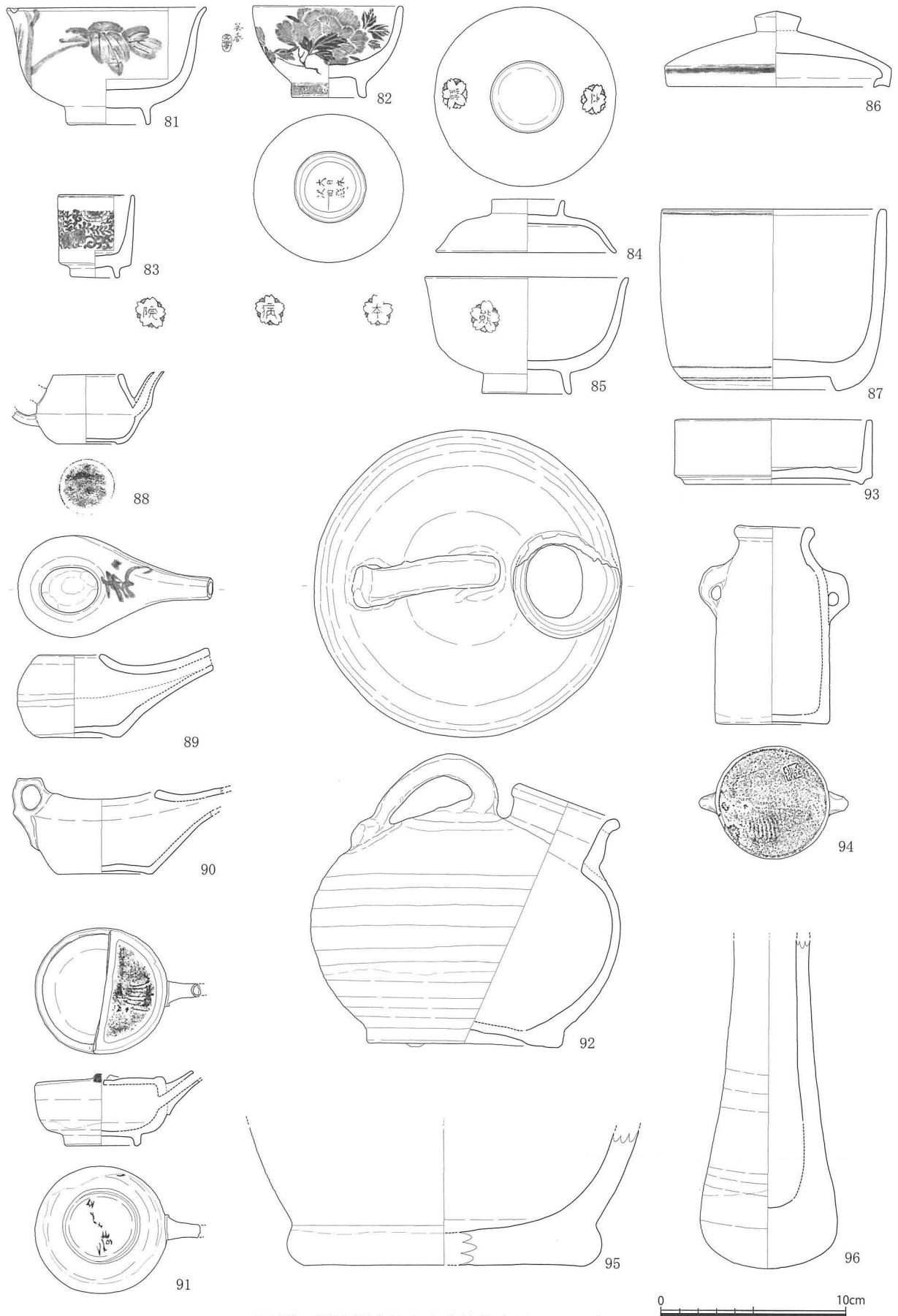


図 56 1708 調査地点出土遺物実測図 8 (1/3)



図 57 1708 調査地点出土遺物実測図 9 (1/3)

### その他の出土遺物 (図55: 81~96 図57: 98~108)

81~96は各調査区の攪乱より大量の灰と共に出土したものである。81・82は磁器の碗である。81は端反り形の磁器碗である。合成コバルトで染付されている。82は銅版転写で絵付けがされている。83は磁器のぐい飲みである。型紙摺りで絵付けされている。84・85蓋と碗のセットである。蓋に縣立、碗に熊本病院と描かれている。どちらも端反りである。86・87は蓋と鉢のセットである。高台は削り出しとなっている。88は朱泥急須で煎茶道具である。底部に「清風常伴大淋」と描かれている。89~91は吸い呑みである。89は磁器の吸い呑みで上部に「寿」と書いてある。型打ち整形で上部と底部を接合させている。90は磁器の吸い呑みで後部に取手を持つ。型打ち整形で左右の部分の接合させている。91は陶器の吸い呑みである。底部に文字が描かれているが読み取れない。92は尿瓶である。鉄釉、灰釉、クロムの順に施釉されている。内面に石灰がこびりついている。93は磁器の重皿である。94は水平焼の雲丹瓶である。青海鼠釉で施釉されている。95は磁器の乳鉢である内面は露体している。96は磁器の乳棒である。磨部は露体している。97は磁器の貧乏徳利である。合成コバルトで綿乃と描かれている。98は陶器の唐津徳利である。99は陶器の移動式カマドである。100はかわらけである。型打ち整形である。内面に録、外面に小林製と描かれている。101~108はガラス瓶である。101は縣立熊本病院の銘とメモリの入った薬瓶である。色調は無色透明である。102は牛乳瓶である。側面に「消毒全乳」「縣立熊本病院」、底部に「1」という字がプレスされている。色調は無色透明である。103はサイダー瓶である。底部に「三ツ矢」とプレスされている。色調は青色透明である。104はサイダー瓶と思われる。ヘッドスペースに紙が貼りついている。色調は青色透明である。105はソース瓶と思われる。肩部に「SAUCEI. S. WORCESTERSHIRE」とプレスしてある。色調は青色透明である。106は醤油瓶であろうか。底部に六角形に「久」とプレスしてある。色調は青色透明である。107は清酒1合瓶である。キックを持つ。色調は無色透明である。108はワインボトルである。ボルドー型でキックを持つ。色調は茶色半透明である。

### (5) 近世道路遺構についての考察

過去の調査成果で想定された通り、1708調査地点の発掘調査でも古墳時代から古代にかけての溝や竪穴建物の広がり確認できた。さらに今回の調査では、近世から近代にかけて使用された大規模な道路遺構が発見された。また道路遺構の各硬化面においては側溝や波板状痕跡が検出されている。本発掘調査では道路路面を詳細に調査したことにより、希少なデータを収集、記録することができた。以下、近世道路遺構の時期や変遷について考察を実施する。

#### ①道路遺構について

本遺跡で検出された東西軸の大型道路 (64号道路・183号道路東西路面) は、整然とした直線道路ではなく、西端では南側にやや湾曲し、東端ではやや北へ湾曲している。道路は断面U字状の切り通し構造で作道されており、現状で10枚の路面 (あるいは硬化面) が確認できた。本大型道路について遺構の切り合い関係から、大きく4段階に分けることができる。第1段階は、大型道路東側が2条の道路 (217・265号道路) に分かれている段階である (183号道路路面4)。その後、両道路は埋没し、新たに1条の道路が形成される。この段階でもその路面には溝 (183号D1) や土坑群が分布する様子から、南北に区切られて使用されたことが分かる (183号道路路面3)。本段階は江戸時代中期に比定される。第2段階は大型道路東側が明確に区切られなくなり、完全に一つの道路となる時期である (183号道路路面1)。本段階も江戸時代中期に比定される。第3段階は、これまでの大型道路がほぼ

埋没し、新たに大型道路に重複する幅狭の道路（64号道路）が作られた段階に相当する。第2段階までの大型道路が人工的に埋め立てられ、その上に規模を縮小して作道された。本段階には56号溝・102号道路・187号溝など大型道路に連結するだろう小型道路も廃道した。この段階は江戸時代後期に比定される。第4段階は、第3段階の道路の道幅が拡幅する段階に相当し、下記に述べる明治30年以降の廃道までの時期に当たる。

さて、本道路遺構の作道時期について言及したい。大型道路の最下面には江戸時代中期の遺物が含まれていることから、遺構そのものの年代は本時期まで下る。ただし、江戸時代前期の遺物が最下面ないしは遺構下部埋土中に出土することから、作道時の痕跡は残っていないものの、江戸時代前期の道路遺構が存在した可能性がある。大型道路の路面は出土状況より何度も造り直されていることが分かる。つまり江戸時代前期の道路遺構を削平して、今回検出された江戸時代中期の切通し構造の道路遺構が作道されたと推定できる。大江遺跡群の87・91次調査では東西軸の古代道路遺構が調査されており、2箇所の延長線上には本庄遺跡が存在しているため古代から使用されていた道を踏襲して使用している可能性も否定できない。

次に本道路遺構の廃道時期について検討する。『肥後医育史』によると手取本町にあった県立病院は移転にあたり明治30年に現在の本庄1丁目の敷地を選定し、計5年の歳月をかけ病院を新たに建立・移転したとされている（山崎1976）。明治13年の『熊本全図（熊本県立図書館所蔵）』（図60）をみると附属病院の敷地の範囲は「圃」と記されており、用地取得が容易であったためこの地が選出されたとみられる。64号道路I区東側の最上面より出土した記念盃には「祝」「縣□□本病院・移転式」と描かれていた。この記念盃は明治34年3月24日に執り行われた落成移転式で関係者に配られたもので、経緯は不明であるが道路上に廃棄されたとみられる。記念盃が出土した位置を当時の県立熊本病院の地図に重ねると建物が無い空白地帯であったことが分かる。当時病院敷地内の道路は敷地外の道路と連結しているはずで、明治30年以降、病院建物建築の資材を運び入れるために工事用道路として活用され、段階的に埋められて廃道したと推察される。

## ② 路線について

本調査区で検出された近世・近代の道路遺構について絵図や文献と比較、照合をおこなった。地図の比較や位置の検証にあたり、白川や江戸時代の井手、道路区画を参考にした。説明に用いる図58～60の各地図上のA～Dは同じ地点を示すものとする。

白川中流域に位置する渡鹿堰からは江戸時代の用水路である大井手が平野部に向けて流れており、下流域に向けて一の井手、二の井手、三の井手に分岐する（図60）。東西軸の大型道路を東西に延長させると、東側では大学病院敷地と二の井手の並行する位置（A）を通過し、西側では三の井手と大学病院敷地境界の接する位置（B）を通過すると推定される。この井手との位置関係を参考に『明治元年の地誌の付図』（新熊本市史編纂委員会1991）の本庄村付近に当てはめると、これに合致する道の記載があった。この道名は絵図に「九品寺村道」「木山町道別路」と記されていることから、当時、九品寺や益城方面へ繋がる道と認識されていたようである。この道は西から本庄村・九品寺村・国府村・今村を通過していく。本路線は、『慶長国絵図（1605）』（図58上）でも辿ることができる。すなわち、国府村の付近で高森に向かう道が伸びる様子など道筋が酷似することから、明治元年の地誌の付図に示された「九品寺村道」「木山町道別路」と同一のものとみられる。本路線は『慶長国絵図』における「日向往還」に相当するが、『正保国絵図（1659）』（図58下）以降の絵図に描かれる「日向往還」の道筋とは異なっていることが分かる。熊本城下において1600年代前半には大きく蛇行した白

川の流路を改変し、改変後の流路に新たに長六橋を架けた(C)。この際に薩摩街道・日向往還は長六橋を通過するルートに変更されているようである。また、「熊本屋舗轄割下絵図」(図59)を見ると、白川と坪井川との距離が狭まる箇所(D)に古長六町の記載がある。ここにはかつて白川の流路が変えられる以前に旧長六橋が架けられていたという(鶴嶋俊彦氏ご教示)。本調査で見つかった大型道路を西側に延長させると、道筋を通过这个の旧長六橋に繋がる(A-D)。すなわち、本大型道路は、慶長期には日向往還として使用されていたが、白川の流路改変後には日向往還脇道となり、本庄村や九品寺村をつなぐ道として使用され続けた(図60)。先述のとおり、本発掘調査で見つかった大型道路の埋土中からは江戸時代前期の遺物も出土しており、慶長期に使用された旧ルートの日向往還に相当するものと推定できる。

### ③ 近世の道路の機能について

断面U字状の切り通し構造の道路は、起伏のある地面を切り開き平らにして使用するために作道されることが多く、台地上で多く確認される。しかし、今回調査した道路遺構は白川から200m程しか離れておらず、大雨の際は直接的に水害の影響を受けたはずである。江戸時代の文献である『藤公遺業記』には、「敵が攻めてきた際兩岸を切り崩し人馬の通行を絶す」ことや「旅人に街並みを見せない」など、軍事的な配慮があったと記されている(武藤他編1909)。しかし白川の氾濫を抑えるために河川改修をおこなっていることを考えると、大雨の際は、切り通し構造の道自体が大型の排水溝として機能したのではないかと推察される。

### ④ 支路について

東西に走る大型道路には、小規模の切通し構造の道路(56号溝・102号道路・187号溝)が、北側あるいは南側で連結する状況が確認できた。56号溝・102号道路については合流箇所が調査区外に相当するため調査を実施できていないが、大型道路にはほぼ直行する形で突き当たっており、本道路に対する支路と思われる。これらの遺構からは183号道路と同様に江戸時代中期の遺物が出土している。大型道路で検出された路面と、小型道路の法面にみられる明瞭な中端は本来連動しているものとみられ、両道路が同時期に改修を受けるなど、長期間維持管理がされていたものと理解される。上述した道路遺構の第3段階にはこれら支路は廃道となっているようである。

### ⑤ 祭祀遺構について

102号道路の路面下から検出された107号土坑と、初期の道路遺構の可能性が高い184号溝の下から検出された234号土坑には、いずれも獣骨と拳大の石が埋納されていた。道路最終路面の中央付近から両土坑は検出されており、道路と関連する祭祀の痕跡の可能性が高い。今後の類例を待ちたい。

### ⑥ 波板状痕跡について

波板状痕跡とは、ピットや土坑状の窪みが一定の間隔を持ち並ぶもので、古いものでは塚原古墳の墓道より検出例があり、官道をはじめとする古代の道路遺構に伴って検出される事例も多い。熊本城遺跡群古町上段からは近世の道路遺構から波板状痕跡が見つまっている。この遺構の性格について、現在まで「路床構築痕説」、「重量運搬の枕木痕説」、「二次的補修痕説」、「牛馬歩行痕説」等多くの説が議論されているが明確な結論は出ていない(近江2006)。

当該調査では、64号道路Ⅰ区西側・Ⅱ区北側と183号道路南北路面の187号溝との合流付近から検出

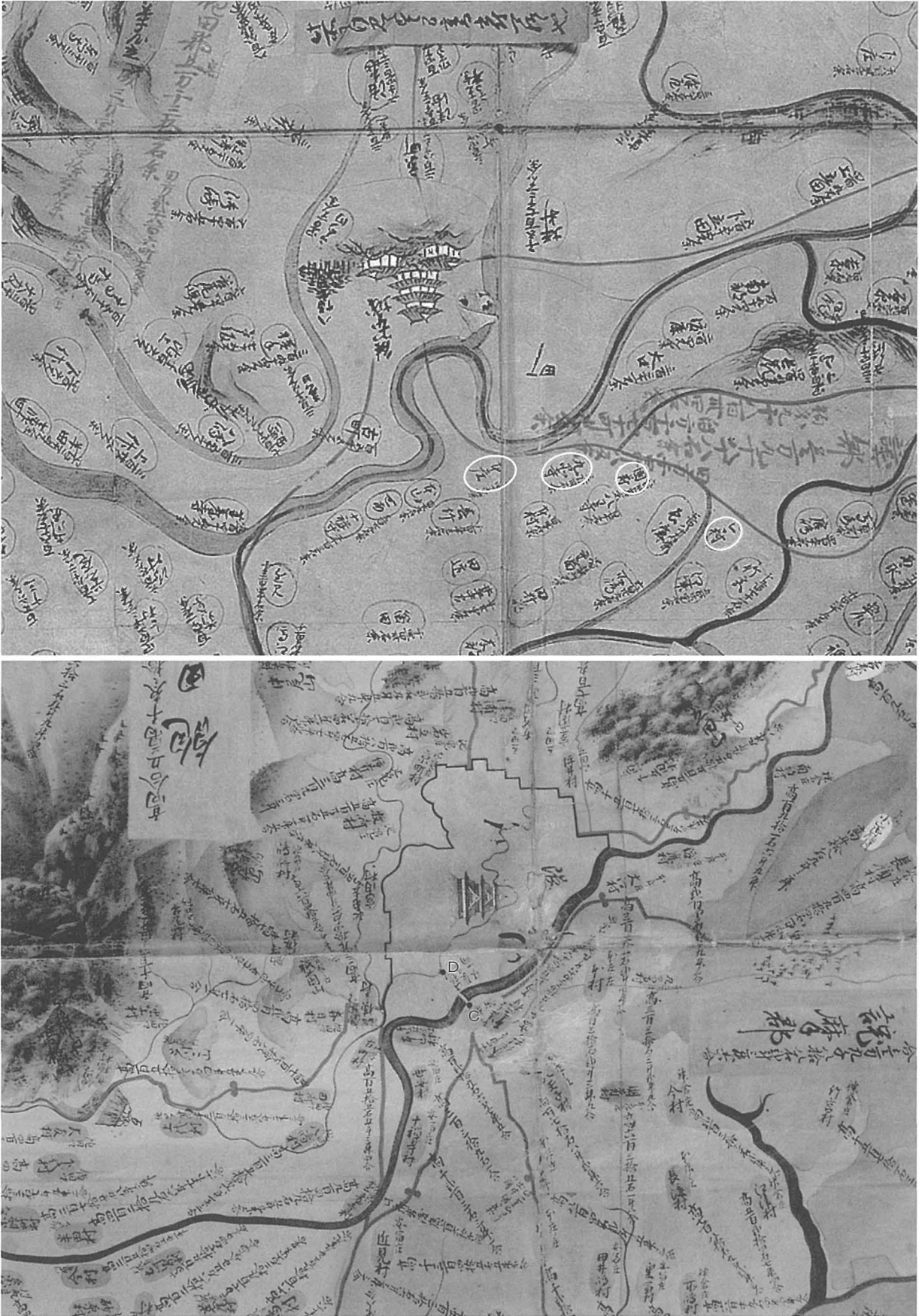


図 58 慶長国絵図と正保国絵図（熊本市史より一部改変転載）

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

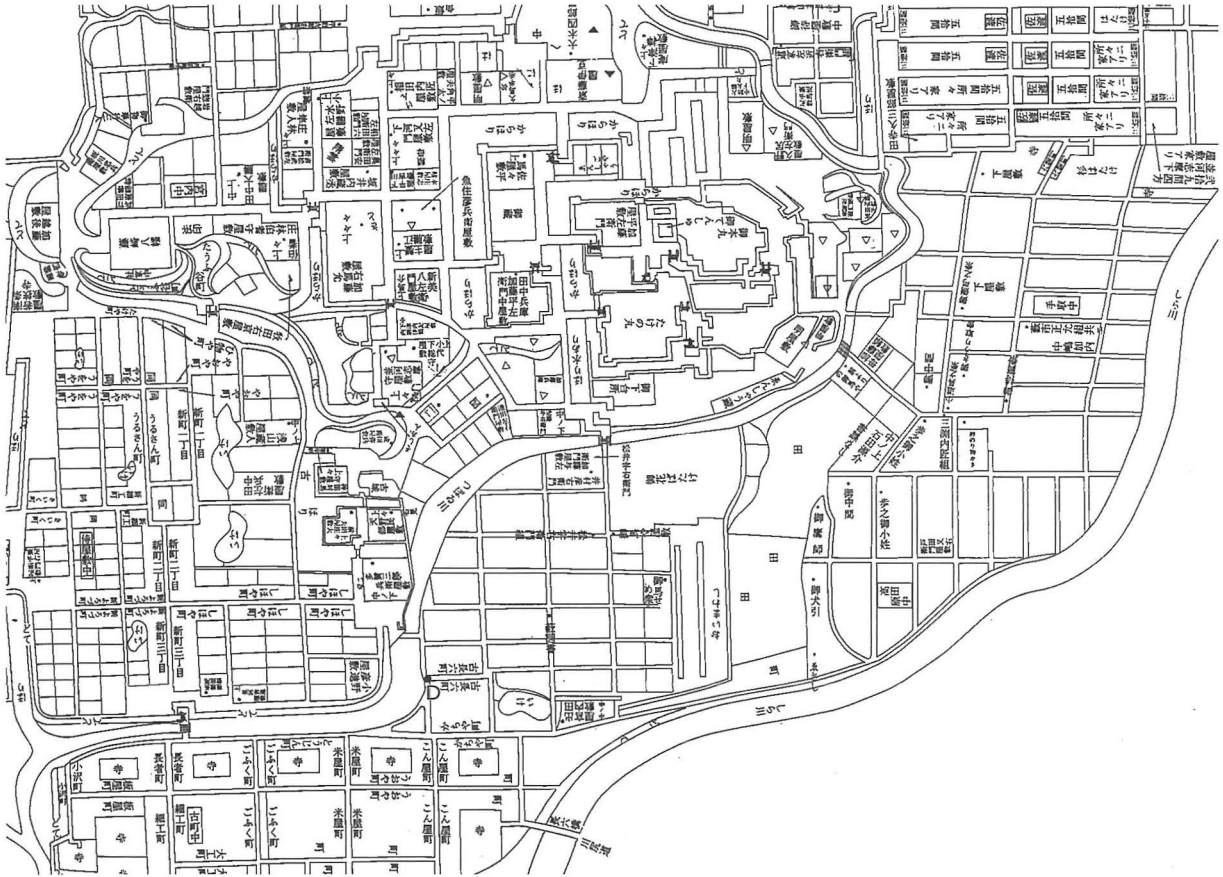


図 59 熊本屋舗轄割下絵図 (熊本市史より一部改変転載)

された。64号道路 I 区西側では特に良好な状態で検出され、硬化面 8 面中 5 面から確認された。波板状痕跡は以下の特徴が挙げられる。

- A. 波板状痕跡の埋土は硬くしまっているが、上部には路面と同様の硬化面が存在しない。言い換えると硬化面の成形後にこれら遺構が成形されたことになる。
- B. 埋土の性質は一様でない。粘性がなく、砂また砂混土で鉄分の沈着が見られる埋土や、ロームブロックを含む粘性土などがある。前者では並行葉理の砂層堆積が認められることがある。路面を構築する埋土とは異なる土質である。
- C. 道路路面 (側溝と側溝の間など) で検出されることがほとんどである。道路の中心よりもやや端に寄った位置で検出される。
- D. 遺物の多くは波板状痕跡の底に張り付いた状態で検出されている。また、遺物の出土量は一定しない。内容は土師器・須恵器・陶磁器・瓦器・鉄器・火打石・礫等で遺物の大きさは 1 cm 未満のものから 10cm 以上のものまであり、統一性は見られない。
- E. 硬化面直上と 2 基の波板状痕跡から出土した 3 点の陶器片 (遺物番号 111) が接合した。この痕跡埋土に並行葉理は見られず、本出土状況は路面使用時に路面上に窪みが存在し、これを埋め立てた状況を示すと考えられる。一方で、並行葉理の砂層堆積のみられるものは風雨によって自然に埋没した可能性がある。

⑦ まとめ

本調査で最も大きな調査成果は調査区を東西に走る近世から近代にかけての大型道路が発見された



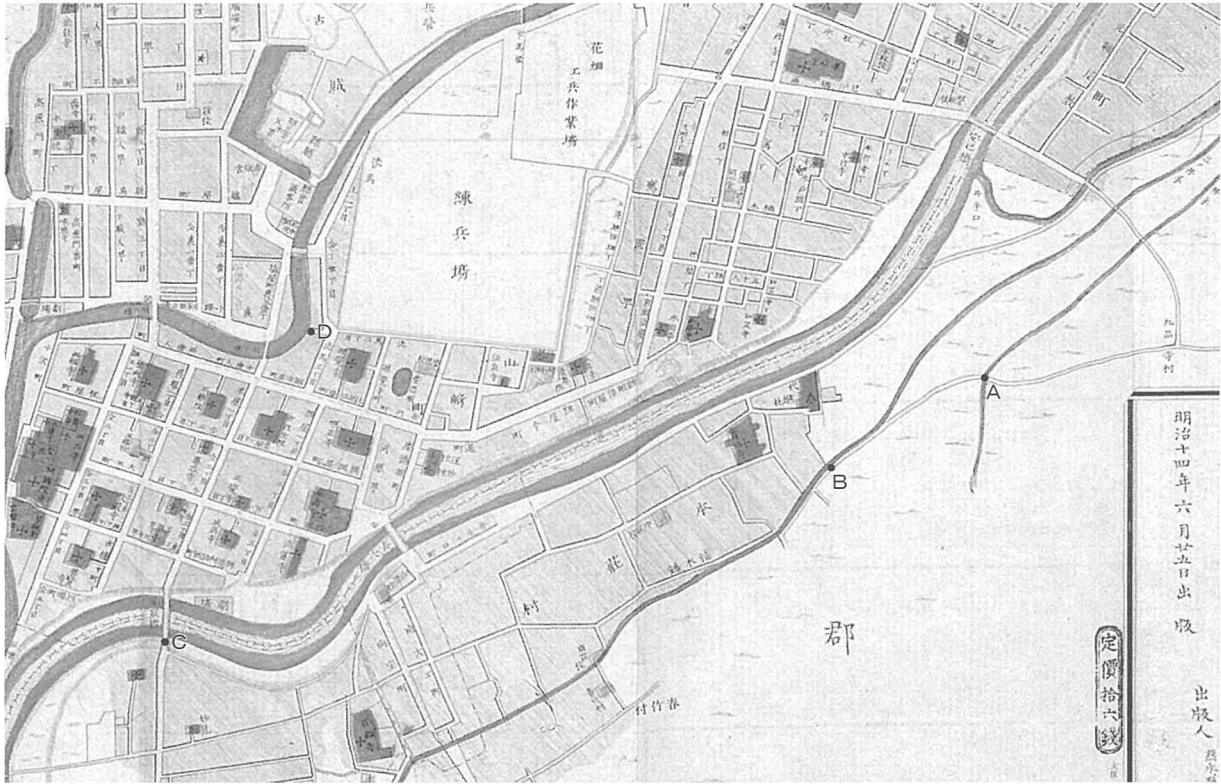


図 60 熊本全図（熊本市史より一部改変転載）と  
1708 調査地点検出道路遺構の路線復元図（国土地理院ウェブサイトの一部加工して作成）

ことである。日向往還の旧ルートと想定される道路遺構が考古学的に検出されたのは初めてのことであり、今後、本庄遺跡やその周辺の遺跡を調査する上で重要な情報となるだろう。2018年度には熊本大学埋蔵文化財調査センター展示室において、本調査の調査成果を公表する速報展示2018「発掘されたメインストリート」を開催した。展示では検出した大型道路遺構の模型を作成、火打ち石による火おこし体験なども実施し、開催期間中に約200名の方が来場された。大学構内遺跡では黒髪地区における赤煉瓦構造物の調査をはじめ、熊本監獄・刑務所の囚人墓地の調査など、近世・近代の調査事例が増加している(山野編2018)。考古学にとって新しい年代の遺構の調査はその必要性も含めて議論される余地があるが、近世～近代の調査成果に関する一般の方々の関心は非常に高いものがある。今後も事前調査を丹念に実施し、地域にとって重要な埋蔵文化財について、入念な調査を実施する必要があるだろう。

#### (引用・参考文献)

- 近江俊秀 2006『古代国家と道路』 青木書店
- 大坪志子編 2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅳ 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 大坪志子・松田光太郎編 2016『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅺ 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第11集 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 大坪志子編 2019『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』24 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己編 2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅳ 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 小畑弘己編 2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅴ 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 九州近世陶磁学会事務局編 2000『九州陶磁の編年』 九州近世陶磁学会
- 新熊本市史編纂委員会 1991『新熊本市史 別編第1巻 絵図・地図』上 熊本市
- 原田範昭・美濃口雅朗 2004『古町遺跡－第1次調査区－発掘調査報告書』 熊本市教育委員会
- 武藤巖男・宇野東風・古城貞吉編 1909「藤公遺業記」『肥後文献叢書』 東京隆文館
- 山崎正董 1976『肥後医育史』 大和学芸図書
- 山野ケン陽次郎編 2018『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』ⅩⅢ 熊本大学埋蔵文化財調査報告書第13集 熊本大学埋蔵文化財調査センター

表3 1708調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
49	1	磁器	盃	口径8.2 底径3.3 器高3.45	7/8	内:施釉 外:施釉	内:Hue 9/0 外:Hue 9/0	I区P8・64号道路 硬化面1-2間トレン チ	有田焼の記念盃 内面内底に「祝」の金箔文字 外面に「縣〇〇本病院・移轉式」 の金箔文字 口縁部に金箔一部残存
	2	磁器	碗	口径 底径 器高	約1/3	内:施釉 外:施釉	内:Hue 外:Hue	I区O9・64号道路 硬化面2-3間西側ペ ルト	江戸前期1600年代 高浜焼 内面にこんにやく印
	3	磁器	散り蓮華	口径 底径 器高	約1/3	内:施釉 外:施釉	内:Hue 外:Hue	I区N8・64号道路 D24硬化面3	江戸後期 内面に絵付け
	4	磁器	碗 (筒形)	口径7.8 底径 器高	約1/4	内:施釉 外:施釉	内:Hue 外:Hue	I区O9・64号道路 D34硬化面8	内外面に貫入 内外面に絵付け
	5	瓦器	火鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue N4/0 外:Hue N5/0	I区A3・64号道 路D7硬化面5	外面に菊花・樹雲文を施す
	6	陶器	徳利	口径 底径8.0 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ、回転ヘラ 切り、削り出し、施 釉	内:Hue 10R4/6 外:Hue 7.5YR5/2	I区P8.9・64号道 路硬化面2-3間東側 ペルト、I区P9・ 64号道路D21硬化 面2、I区P9・64 号道路D21硬化面2 一括、I区64号道 路D21硬化面2ト レンチ東	徳利 一部鉄分付着
	7	陶器	徳利	口径 底径8.8 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ、回転ヘラ 切り、回転ヘラ削り、 削り出し	内:Hue 10R4/4 外:Hue 5YR6/4	I区P9・64号道路 D21硬化面2一括、 I区PQ・64号道 路D21硬化面2ト レンチ東	徳利 一部鉄分付着
	8	磁器	紅皿	口径2.45 底径1.1 器高0.95	完形	内:型起こし 外:型起こし	内:Hue N8/0 外:Hue N8/0	I区P9・64号道路 硬化面5-5'間	内外面約3/4程に釉
	9	土製品	泥面子	長さ2.5 幅2.7 厚さ1.2	完形	内: 外:	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 7.5YR6/4	I区N8・64号道路 硬化面1-2間	重量6.3g 猿面?
	10	土製品	泥面子	長さ2.05 幅1.85 厚さ0.65	ほぼ完形	内: 外:	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 7.5YR6/4	I区N9・64号道路 硬化面2No5	重量2.2g 仏面? 一部欠損で裏面指紋
	11	土製品	泥面子	長さ4.8 幅1.8 厚さ1.2	完形	内: 外:	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 10YR6/3	I区N7・64号道路 硬化面2No1	重量9.2g 男人面 裏面指紋
	12	土製品	土人形	長さ5.35 幅3.0 厚さ3.55	ほぼ完形	内: 外:指ナデ	内:Hue 外:Hue 7.5Y7/4	I区P9・64号道路 硬化面5No1	重量40.2g 部位頭部
	13	陶器	破片面子	長径5.2 短径4.0 厚さ0.7	完形	内: 外:	内:Hue 7.5YR4/1 外:Hue 7.5YR4/2	I区N9・64号道路 D24硬化面3	重量19.2g 陶器破片転用
	14	陶器	破片面子	長径2.6 短径2.7 厚さ0.8	完形	内: 外:	内:Hue 5YR5/4 外:Hue 7.5YR4/3	I区N9・64号道路 D24硬化面3	重量7.6g 陶器破片転用 表面に釉薬
	15	土製品	破片面子	長径4.0 短径4.0 厚さ0.8	完形	内: 外:	内:Hue 10YR2/1 外:Hue 10YR2/1	I区O8・64号道路 硬化面7-8間	重量17.0g 陶器(すり鉢)破片転用 裏面にすり目
	16	土製品	破片面子	長径4.3 短径4.1 厚さ0.9	完形	内: 外:	内:Hue 7.5YR3/2 外:Hue 7.5YR3/2	I区N9・64号道路 D34硬化面8	重量25.2g 陶器破片転用 表裏面釉薬
	17	磁器	破片面子	長径2.3 短径2.3 厚さ0.3	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区O9・64号道路 トレンチ一括	重量2.6g 磁器破片転用 表裏面釉薬、染付け
	18	土製品	破片面子	長径3.6 短径3.4 厚さ0.6	完形	内: 外:	内:Hue 2.5GY8/1 外:Hue 10GY8/1	I区O9・64号道路 トレンチ一括	重量10.2g 磁器破片転用
	19	土製品	土錘	長さ5.0 幅1.6 厚さ1.7 孔径0.35	ほぼ完形	内: 外:	内:Hue 2.5Y4/1 外:Hue 2.5Y4/1	I区N9・64号道路 D24硬化面3No3	重量14.0g 縦横方向に擦れた使用痕 両側から穿孔、片側に欠損
50	20	石器	石筆	長さ2.45 幅0.7 厚さ0.7	約1/2	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区N10・64号道 路硬化面1	重量1.6g 滑石 全体に縦方向の磨痕調整
	21	石器	石筆	長さ3.1 幅0.4 厚さ0.4	約1/2	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区O9・64号道路 硬化面1-2間ペルト	重量1.5g 滑石 両端欠損 白色で側面は四角に磨って形成
	22	石器	火打石	長さ2.45 幅1.6 厚さ1.55	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区O9・64号道路 硬化面1	重量8.2g チャート 形状はやや四角錐で角張った部 分に打ち潰れた痕跡
	23	石器	火打石	長さ2.8 幅1.8 厚さ1.6	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区M8・64号道 路硬化面1	重量8.2g チャート
	24	石器	火打石	長さ3.0 幅2.0 厚さ1.3	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区A3・64号道路 硬化面3-4間 I区 A3東側ペルト	重量10.2g チャート

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

図	番号	遺物	種類 (器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
50	25	石器	火打石	長さ 4.0 幅 2.5 厚さ 1.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 K11硬化面3	重量21.8g チャート
	26	石器	火打石	長さ 4.15 幅 2.4 厚さ 1.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 P9・64号道路 硬化面3-4間	重量13.8g チャート 縁辺全体に打ち潰れた痕跡
	27	石器	火打石	長さ 3.2 幅 2.5 厚さ 1.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N9・64号道路 硬化面3-4間	重量15.6g チャート 縁辺部に火打ち痕
	28	石器	火打石	長さ 1.9 幅 1.35 厚さ 1.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 P9・64号道路 D28硬化面5	重量9.8g
	29	石器	火打石	長さ 8.2 幅 4.3 厚さ 2.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 D36硬化面10	重量73.5g チャート 縁辺に火打ち部分が残る
	30	石器	石盤	長さ 2.8 幅 5.5 厚さ 0.4	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 D24硬化面3	重量8.8g 表裏面共平坦に丁寧に磨いてある
	31	石器	砥石	長さ 5.0 幅 3.7 厚さ 4.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N9・64号道路 硬化面2No4	重量69.5g 全面に砥石としての使用痕
	32	石器	砥石	長さ 5.1 幅 3.5 厚さ 2.3	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	II 区 v1・64号道路 K69硬化面1以上	重量49.0g 天草砥石 全面磨って使用下方部も粗く削った痕跡
	33	石器	敲石	長さ 9.3 幅 10.65 厚さ 3.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 D13硬化面6	重量491g 安山岩 表裏面・縁辺部に敲打・磨り痕有り
51	34	青銅製品	寛水通寶	長さ 2.4 幅 2.3 厚さ 0.1		内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 硬化面1直上	重量計測不可 数十枚が重なって錆ついている 「寛」の文字のみ識別できる 穴は塞がっており紐跡と推定できる
	35	青銅製品	寛水通寶	長さ 2.5 幅 2.5 厚さ 0.1		内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 硬化面1直上	重量表裏計測不可 数枚が錆びてくっついた状態
	36	鉄製品	鉄釘	長さ 7.7 胴部径0.35 頭部径0.7		内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 硬化面1-2間	重量4.9g 全体に錆付着 先端部を細く尖らせ加工
	37	青銅品	金属片	長さ 15.0 幅 0.2 厚さ 0.2		内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 P9・64号道路 D28硬化面5	重量4.1g
52	38	土製品	土人形	長さ 3.4 幅 3.1 厚さ 2.1	2/3	内: 外:	内: Hue 7.5YR7/3 外: Hue	I 区 O9・183号 溝 埋土1	重量16.2g 頭部欠損 底部に4ミリ程度の穿孔痕
	39	鉄製品	鉄釘	長さ 9.0 幅 0.5 厚さ 0.4	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 I12・183号 溝 上層一括	重量6.6g
	40	陶器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 施釉 外: 回転ナデ, 施釉	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	I 区 I12・183号 溝 最下層	口縁上部に「貝高台」後施釉
	41	陶器	碗	口径 底径 6.7 器高	底部片	内: 回転ナデ後施釉 外: 回転ナデ, ナデ, 施 釉	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 10YR5/2	I 区 J12・217号 溝 一括	緑釉 内底に目跡 (砂目)
	42	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ切 外: 回転ヘラ切り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	I 区 N9・217号 溝 埋土1-4間一括	底部内面に「九」のヘラ描き
	43	土師器	甕	口径 25.5 底径 器高	口縁～頸部片	内: 回転ナデ, 磨き, 削 り 外: 回転ナデ, ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR4/2	I 区 L13・187号 溝	
	44	須恵器	坏	口径 底径 8.2 器高	底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 2.5Y5/2	I 区 K12・187号 溝 一括	
	45	縄文土器	深鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/4	I 区 U0・102号 溝 一括	口縁部に凹線文
	46	石器	磨石	長さ 11.1 幅 12.1 厚さ 3.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 U1・107号 土 坑No1	重量675g 安山岩 表裏面中心部は磨って平たい 縁辺部は敲いて磨った痕跡
53	47	須恵器	坏	口径 12.3 底径 9.8 器高 3.3	約1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転ヘラ 切り痕	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	I 区 D10・43号 堅 穴建物 P1柱痕	ややいびつ
	48	須恵器	高坏	口径 20.2 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/2	I 区 D10・43号 堅 穴建物 P1柱痕	内外面に自然釉
	49	土師器	皿	口径 底径 12.2 器高 2.05	口縁～底部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	I 区 G12・182号 堅 穴建物貼床埋土	
	50	土師器	高坏	口径 底径 12.2 器高	脚部	内: ナデ, 回転ヘラ削り 外: 回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 5YR5/8	I 区 G12・182号 堅 穴建物No1	外面に赤色化粧土

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
53	51	土師器	甕	口径26.6 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	I区 G12・182号竪 穴建物硬化面上	外面に一部スス付着
	52	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 10YR5/1 外: Hue 10YR5/2	I区 A10・11号竪 穴建物埋土1	内外面にスス付着
	53	土師器	甗	口径 底径 器高	把手一部	内:削り 外:ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/3 外: Hue 7.5YR6/3	I区 A10・11号竪 穴建物埋土1No1	外面がやや摩耗
	54	土師器	小型丸底蓋	口径9.6 底径 器高6.7	約2/3	内:ナデ, 磨き 外:磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	II区・277号竪穴建 物床直上北東 II区 w11・277号竪 穴建物埋土2北東側	口縁部と底部に一部スス付着 内外面に細かい磨き
	55	土師器	甕	頸径10.4 底径 器高	頭部片	内:ナデ, 削り, ハケ目 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 7.5YR6/4	II区 w10.11・277 号竪穴建物清掃	内外面にスス付着
	56	鉄製品	長頸鎌	長さ5.4 幅0.55 厚さ0.5	刃部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 G12・186号竪 穴建物貼床	重量4.0g 鎌身部は錆の為刃部は不鮮明 茎部は一部のみ残存
54	57	須恵器	高坏	口径 底径 器高11.4	脚部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N4/0	I区 U9・159号溝 鉄分より上層	内外面に一部スス付着
	58	土師器	高坏	口径 底径 器高10.0	胴部~脚部	内:ナデ, 削り 外:回転ナデ, ナデ, 削り 磨き	内: Hue 5YR7/4 外: Hue 5YR6/6	I区 S12・159号溝 下層	外面に赤色化粧土 内外面に鉄分付着
	59	須恵器	碗	口径 底径 器高9.2	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/3	I区 R13・159号溝 鉄分より上層	高台径ややいびつ
	60	土師器	坏	口径13.6 底径11.4 器高4.0	約1/3	内:磨き 外:磨き, ヘラ削り	内: Hue 7.5YR4/1 外: Hue 7.5YR4/2	I区 U8・163号溝	黒色土器
	61	須恵器	皿	口径14.6 底径 器高	約1/5	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	I区 S10・163号溝 トレンチャー一括	外面に自然釉
	62	須恵器	脚付壺?	口径 底径 器高18.8	底部片	内:ナデ 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	I区 P12・163号溝 トレンチャー一括	7世紀後期~8世紀初め 貼付け高台 内部ナデやや粗い
	63	土師器	甕	頸径17.6 底径 器高	頭部~胴部片	内:回転ナデ, ナデ, 削り 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5Y5/6 外: Hue 7.5Y5/6	I区 R10・163号溝 一括	
	64	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	I区163号溝	底部内面に「本寺」のヘラ描き
	65	土師器	坏	口径13.6 底径9.4 器高4.2	7/8	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 切り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/6	I区 P12・167号溝 No4	
	66	須恵器	蓋	口径12.2 底径 器高2.0	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/1	I区 P12・167号溝 No2	
	67	須恵器	碗	口径14.3 底径8.85 器高3.8	3/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 切り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	I区 P12・167号溝 No9	
	68	土師器	鉢	口径21.6 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 回転ヘラ 削り 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	I区 P12・167号溝 No7	
	69	土師器	甕	口径24.6 底径 器高	口縁~頭部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/4	I区 P12・167号溝 上層	
	70	須恵器	壺	口径19.2 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, タタキ 外:回転ナデ, タタキ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue N4/0	I区 P12・167号溝 No8	内外面に自然釉
	71	土師器	坏	口径18.2 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/6 外: Hue 7.5Y6/4	I区 Q3・111号溝 埋土1	内外面にスス付着 内面に一部剥離
	72	土師器	脚付坏	口径 底径 器高	約2/3	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り, 回転ヘラ切り	内: Hue 7.5Y7/4 外: Hue 7.5Y6/6	I区 N7.8・111号 溝硬化面1	
	73	須恵器	高坏	口径8.8 底径 器高	口縁~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 2.5GY4/1 外: Hue 2.5GY4/1	I区 J13・111号溝	ややいびつ
	74	須恵器	蓋	口径12.1 底径 器高3.7	完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 回転ヘラ 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	I区 Q3・111号溝 No1	鉄分付着 外面にヘラ記号 口縁部2/3程打ち欠き
	75	土師器	甕	口径28.4 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/6	I区 N7.8・111号 溝硬化面1	
	55	76	土師器	坏	口径16.6 底径12.0 器高3.1	口縁~底部片	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	I区 L12・170号土 坑墓
77		須恵器	碗	口径13.0 底径10.0 器高3.9	口縁~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y4/1	I区 K3攪乱	口縁部ややいびつ 底部にヘラ記号

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考	
55	78	鉄器	鉄 鎌	(長さ) 鎌身部5.5 基部 2.5 (幅) 最大鎌身部 3.2 最大基部 0.6 (厚さ) 鎌身部0.3 基部 0.4	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	I 区 TU7.8清掃一括	重量25.6g 方頭鎌 基部先端は欠損 刃部は錆びれて計測不可	
	79	石器	敲石	長さ 8.0 幅 7.5 厚さ 4.2	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	II 区 w11・3層一括	重量335g 安山岩 全面にスス附着	
	80	石器	敲石	長さ 15.0 幅 10.1 厚さ 7.1	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	II 区 w10.11	重量1353g 安山岩 上面に敲打痕	
56	81	磁器	碗	口径 10.8 底径 4.4 器高 6.4	完形	内：削り出し, 施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	I 区 S2.3.4攪乱	外面に染付け	
	82	磁器	碗	口径 8.2 底径 4.0 器高 5.0	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	I 区 S2.3.4攪乱	外面「牡丹の花」色絵 外面「興春」文字 高台底「大日本沢田製」文字	
	83	磁器	猪口	口径 4.2 底径 2.6 器高 4.5	完形	内：施釉 外：削り, 施釉	内：Hue 8/0 外：Hue 8/0	I 区 S2.3.4攪乱	口縁一部欠損 外面胴部に絵付け	
	84	磁器	蓋	口径 9.7 底径 器高 2.9	完形	内：施釉 外：削り出し, 施釉	内：Hue 2.5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	I 区 S2.3.4攪乱	「縣」「立」の文字	
	85	陶器	碗	口径 11.0 底径 4.8 器高 6.4	完形	内： 外：	内：Hue 5Y8/1 外：Hue 5Y8/1	I 区 S2.3.4攪乱	外面周囲に「熊本病院」の文字	
	86	磁器	蓋	口径 12.0 底径 器高 4.1	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	I 区 S2.3.4攪乱	外面に染付け	
	87	磁器	碗	口径 12.2 底径 7.2 器高 9.8	約3/4	内：施釉 外：削り出し, 施釉	内：Hue 外：Hue	I 区 S2攪乱		
	88	陶器	急須	口径 3.8 底径 3.3 器高 4.5	一部欠損	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 外：Hue	I 区 S2.3.4攪乱	外面底部に刻書 「清風常伴件大淋」	
	89	磁器	吸呑み	口径 3.1 底径 4.3 器高 4.5	完形	内：施釉 外：回転ナデ, 施釉	内：Hue 外：Hue	I 区 S2.3.4攪乱	全長10.5cm 外面上部に「寿」の染付け文字	
	90	磁器	吸呑み	口径 5.3 底径 5.3 器高 5.2	ほぼ完形	内：削り, 施釉 外：削り, 施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	I 区 O11攪乱	全長11.45cm 型押し成形による左右接合	
	91	陶器	吸呑み	口径 6.8 底径 4.0 器高 4.1	完形	内：回転ナデ, 施釉 外：回転ナデ, 回転ヘラ 削り, 施釉	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y7/2	I 区 S2.3.4攪乱	全長8.9cm 底部に文字不明の墨書 約3/4程に施釉	
	92	陶器	尿 瓶	口径 5.7 底径 10.2 器高 15.9	ほぼ完形	内：回転ナデ, ナデ, 指 ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 外：Hue	I 区 S2.3.4攪乱	内面に外面からの釉だれ 外面は3段階の施釉 (鉄釉 - 土 灰 - 銅釉) 取っ手挿入部は銅釉附着不良で 鉄釉がむき出し部	
	93	磁器	重 皿	口径 10.7 底径 9.7 器高 3.6	完形	内：回転ナデ, 施釉 外：回転ナデ, 回転ヘラ 切り離し, 施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	I 区 S2攪乱	内外面に鉄附着	
	94	陶器	うに瓶	口径 4.3 底径 5.8 器高 10.8	完形	内：施釉 外：ナデ, 削り, 施釉	内：Hue 外：Hue	I 区 S2攪乱	天草水の平焼 壘付に砂目 底部に刻印	
	95	磁器	乳 鉢	口径 底径 15.1 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	I 区 S2攪乱		
	96	磁器	乳 棒	長さ 17.8 幅 7.9 厚さ	4/5 (上部欠損)	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, ナデ, 施 釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	I 区 S2攪乱	使用部に一部鉄分附着	
	57	97	磁器	徳 利	口径 4.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	I 区 S2.3.4攪乱	貧乏徳利 3カ所に「綿」の描写 「綿」文字中央に欠損
		98	陶器	徳 利	口径 9.3 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り出し, 施釉	内：Hue 2.5YR4/2 外：Hue 2.5Y5/2	I 区 S2.3.4攪乱	壘付に砂付着
99		土師器	移動式竈	口径 25.6 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ, 削り	内：Hue 10YR4/2 外：Hue 7.5YR6/3	I 区 S2.3.4攪乱	爪の部位は貼り付け 爪の個数は不明だが1個のみ残存	
100		かわらけ	坏	口径 10.2 底径 2.4 器高 2.1	1/3	内：回転ナデ 外：回転ヘラ削り	内：Hue 10YR8/2 外：Hue 10YR8/2	I 区 S2.3.4攪乱	口縁部に故意の打ち欠き 内外面中心部に型押し	
101		ガラス製品	薬 瓶	口径 2.5 底径 6.9 器高 17.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	I 区 S2攪乱	宙吹技法 白色透明, 口縁内面に窪み 注ぎ口部は後方に少し傾く 側面に「縣立熊本病院」と目盛り	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
57	102	ガラス製品	瓶	口径 底径 5.0 器高	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2.3.4攪乱	機械製法 全体的に気泡を多く含む 内面に内容物の痕跡 外面・底部に「縣立熊本病院」 「消毒全乳」の陽刻 合わせ目
	103	ガラス製品	サイダー瓶	口径 2.5 底径 6.6 器高 23.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2攪乱	宙吹技法 底部に「三ツ矢」の陽刻
	104	ガラス製品	瓶	口径 2.6 底径 6.4 器高 23.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2攪乱	瓶蓋部を覆う紙が付着した跡 縦方向に7本程、4ミリ幅位の製 作時の回転痕 大小の気泡を多く含む
	105	ガラス製品	瓶	口径 2.5 底径 8.1 器高 22.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2攪乱	機械製法 胴部内面に陽刻 「SAUCE LS.WORCESTERSHIRE」 合せ目
	106	ガラス製品	瓶	口径 2.4 底径 5.3 器高 15.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2.3.4攪乱	宙吹技法 全体的に気泡を多く含む 底部に「久」の陽刻
	107	ガラス製品	瓶	口径 1.7 底径 5.6 器高 16.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2.3.4攪乱	宙吹技法 内面に内容物の痕跡 全体的に気泡を含む
	108	ガラス製品	ワイン瓶	口径 2.6 底径 7.3 器高 24.45	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 S2.3.4攪乱	宙吹技法 底部に窪み
	109	磁器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 M8・64号道 路硬化面1	
	110	磁器	徳利	口径 3.7 底径 8.55 器高	口縁～肩部 胴部～底部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 O9・64号道 路D21硬化面2トレン チ西	胴部欠損
	111	陶器	碗	口径 底径 器高	胴部～底部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 A3・64号道 路K7硬化面3, I区 A3・64号道路K11 硬化面3, I区 A3・ 64号道路硬化面3上	
	112	陶器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N8・64号道 路硬化面9-10間	
	113	陶器	徳利	口径 底径 8.6 器高	胴部～底部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N9・64号道 路硬化面1-2間, I区 O9・64号道路D22 硬化面2西側ベルト, I区 P9・64号道 路D21硬化面2一括, I区 PQ・64号道 路D21硬化面2トレン チ東	赤色顔料付着
114	陶器	徳利	口径 底径 器高	胴部～底部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 O9・64号道 路D21硬化面2一括	赤色顔料付着	
115	陶器	徳利	口径 底径 器高	胴部～底部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 P9・64号道 路D21硬化面2一括, I区 PQ・64号道 路D21硬化面2トレン チ東	赤色顔料付着	
116	瓦器	火鉢?	長さ 幅 厚さ	脚部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 D8.9・64号道 路硬化面6-7間		
117	土師器	炮烙	口径 底径 器高	取手	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N9・64号道 路硬化面1直上		
118	土製品	泥面子	長さ 2.0 幅 1.5 厚さ 0.6	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N10・64号道 路硬化面1	重量2.4g 琴?	
119	土製品	泥面子	長さ 2.45 幅 1.8 厚さ 1.0	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N9・64号道 路硬化面2No3	重量4.9g 格子状の模様入る	
120	土製品	泥面子	長さ 2.0 幅 1.8 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 P8.9・64号道 路硬化面2-3間東側 ベルト	重量1.2g 葉団扇?	
121	土製品	土錘	長さ 2.5 幅 1.1 厚さ 1.1	2/3	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 M8・64号道 路硬化面1	重量2.8g	
122-1	土製品	破片面子	長径 3.1 短径 2.7 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N10・64号道 路硬化面1	重量12.2g	
122-2	土製品	破片面子	長径 2.4 短径 2.2 厚さ 0.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 O8・64号道 路硬化面1	重量3.5g	
122-3	土製品	破片面子	長径 2.4 短径 2.4 厚さ 1.35	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 N10・64号道 路硬化面1	重量8.3g	
122-4	土製品	破片面子	長径 2.5 短径 2.5 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区 O9・64号道 路硬化面1	重量5.6g	

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
	122-5	土製品	破片面子	長径 2.4 短径 2.6 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化面1	重量8.0g
	122-6	土製品	破片面子	長径 2.3 短径 2.4 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化 面1-2間西側ベルト	重量6.5g
	122-7	土製品	破片面子	長径 3.2 短径 3.1 厚さ 0.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 NO10・64号 道路硬化面2	重量10.2g
	122-8	土製品	破片面子	長径 3.1 短径 3.0 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 P9・64号道路 硬化面2-3間	重量12.0g
	122-9	土製品	破片面子	長径 3.1 短径 3.2 厚さ 1.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N9・64号道路 D24硬化面3	重量13.4g
	122-10	土製品	破片面子	長径 2.3 短径 2.2 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N9・64号道路 D24硬化面3	重量3.4g
	122-11	土製品	破片面子	長径 3.3 短径 3.3 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O8・64号道路 硬化面3-4間	重量17.4g
	122-12	土製品	破片面子	長径 2.5 短径 2.5 厚さ 1.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 硬化面3-4間	重量7.0g
	122-13	土製品	破片面子	長径 2.9 短径 2.8 厚さ 0.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化面3-4間	重量8.3g
	122-14	土製品	破片面子	長径 2.2 短径 2.4 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 硬化面4-5間	重量4.8g
	122-15	土製品	破片面子	長径 3.3 短径 3.2 厚さ 0.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 硬化面4-5間	重量10.0g
	122-16	土製品	破片面子	長径 4.95 短径 5.3 厚さ 2.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 B3・64号道路 D4硬化面4西側ベ ルト	重量45.6g 使用部位高台
	122-17	土製品	破片面子	長径 2.8 短径 2.4 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 D4硬化面4	重量7.3g
	122-18	土製品	破片面子	長径 3.7 短径 4.0 厚さ 1.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O8・64号道路 硬化面6-7間	重量18.6g
	122-19	土製品	破片面子	長径 2.3 短径 2.6 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 D8.9・64号道 路硬化面6-7間	重量7.3g
	122-20	土製品	破片面子	長径 2.5 短径 2.5 厚さ 0.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化面6-7間	重量5.3g
	122-21	土製品	破片面子	長径 3.2 短径 3.0 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 硬化面7直上	重量10.0g
	122-22	土製品	破片面子	長径 1.9 短径 1.9 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 D29硬化面7直上	重量3.8g
	122-23	土製品	破片面子	長径 3.9 短径 3.7 厚さ 1.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 硬化面7-8間犬走り 下付近	重量17.8g
	122-24	土製品	破片面子	長径 3.5 短径 3.4 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化面9-10間	重量15.4g
	122-25	土製品	破片面子	長径 2.6 短径 2.5 厚さ 0.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 硬化面9-10間	重量3.7g
	122-26	土製品	破片面子	長径 3.5 短径 3.8 厚さ 1.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 O9・64号道路 トレンチャー括	重量16.4g
	122-27	土製品	破片面子	長径 3.5 短径 3.8 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 トレンチャー括西側	重量14.8g
	122-28	土製品	破片面子	長径 3.8 短径 3.7 厚さ 1.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 w1・64号道路 一括	重量19.4g 使用部位高台
	122-29	土製品	破片面子	長径 2.4 短径 2.3 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区64号道路硬化 面上	重量3.2g
	122-30	土製品	破片面子	長径 2.2 短径 2.3 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 N8・64号道路 トレンチャー括	重量5.3g
	123-1	石器	火打石	長さ 2.8 幅 2.7 厚さ 1.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 硬化面1上	重量8.7g
	123-2	石器	火打石	長さ 2.3 幅 2.1 厚さ 1.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I 区 A3・64号道路 K2硬化面2	重量6.0g



図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
	123-3	石器	火打石	長さ 1.35 幅 0.9 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区A3・64号道路 硬化面2-3間	重量0.5g
	123-4	石器	火打石	長さ 2.1 幅 3.5 厚さ 1.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区A3・64号道路 K8硬化面3	重量6.4g チャート
	123-5	石器	火打石	長さ 2.8 幅 2.4 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区M8・64号道路 硬化面1	重量3.8g
	123-6	石器	火打石	長さ 2.2 幅 1.2 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区N10・64号道路 硬化面1	重量2.1g
	123-7	石器	火打石	長さ 1.9 幅 1.2 厚さ 0.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 硬化面1-2間西側ペ ルト	重量2.0g
	123-8	石器	火打石	長さ 1.8 幅 1.6 厚さ 1.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 硬化面2-3間西側ペ ルト	重量2.3g
	123-9	石器	火打石	長さ 2.5 幅 1.3 厚さ 1.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P8.9・64号道路 硬化面2-3間東側 ペルト	重量5.8g
	123-10	石器	火打石	長さ 1.9 幅 1.4 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 D24硬化面3	重量1.2g
	123-11	石器	火打石	長さ 2.0 幅 1.1 厚さ 0.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 D24硬化面3	重量0.8g
	123-12	石器	火打石	長さ 3.9 幅 2.0 厚さ 1.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区N9・64号道路 硬化面3-4間	重量4.8g
	123-13	石器	火打石	長さ 2.8 幅 1.8 厚さ 1.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O8・64号道路 硬化面3-4間	重量8.5g
	123-14	石器	火打石	長さ 2.5 幅 1.7 厚さ 1.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 D28硬化面5	重量6.1g
	123-15	石器	火打石	長さ 1.9 幅 1.5 厚さ 0.95	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 硬化面5.5-5間	重量2.1g
	123-16	石器	火打石	長さ 3.2 幅 2.1 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 硬化面6-7間	重量3.2g
	123-17	石器	火打石	長さ 1.7 幅 1.2 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 硬化面6-7間	重量1.0g
	123-18	石器	火打石	長さ 2.8 幅 1.8 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P8.9・64号道路 硬化面6-7間	重量5.7g
	123-19	石器	火打石	長さ 2.2 幅 1.8 厚さ 1.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 硬化面6-7間	重量4.9g チャート
	123-20	石器	火打石	長さ 2.4 幅 1.4 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 硬化面6-7間	重量2.7g
	123-21	石器	火打石	長さ 1.8 幅 1.3 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区64号道路硬化 面6-7間	重量2.0g
	123-22	石器	火打石	長さ 3.5 幅 3.1 厚さ 1.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 D29硬化面7直上	重量14.4g
	123-23	石器	火打石	長さ 3.1 幅 2.6 厚さ 2.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区NOP・64号道路 D31硬化面7	重量17.6g チャート
	123-24	石器	火打石	長さ 1.6 幅 1.2 厚さ 0.7	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区NOP9・64号 道路D29硬化面7	重量1.1g
	123-25	石器	火打石	長さ 1.3 幅 1.7 厚さ 0.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O8・64号道路 硬化面7-8間北側掘 り残し	重量0.7g 石英
	123-26	石器	火打石	長さ 1.4 幅 0.95 厚さ 0.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 硬化面7-8間	重量0.7g
	123-27	石器	火打石	長さ 1.8 幅 1.3 厚さ 0.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区N8・64号道路 硬化面8-9間	重量2.2g
	123-28	石器	火打石	長さ 2.5 幅 1.6 厚さ 1.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区P9・64号道路 硬化面5-10間東側 ペルト一括	重量5.6g
	123-29	石器	火打石	長さ 2.1 幅 1.8 厚さ 0.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 トレンチャー括	重量2.2g メノウ
	123-30	石器	火打石	長さ 3.1 幅 2.5 厚さ 1.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	I区O9・64号道路 トレンチャー括	重量8.8g

1. (医病) 基幹・環境整備(旧管理棟等取壊し)工事に伴う発掘調査(1708調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
	123-31	石器	火打石	長さ1.9 幅1.5 厚さ0.4	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区I12・183号溝 上層一括	重量1.1g
	124	銅製品	煙管	口径 底径 器高	火皿	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区P9・64号道路 D34硬化面8	
	125	銅製品	煙管	口径 底径 器高	吸口	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区N8・64号道路 硬化面7直上	
	126	青銅製品	寛永通寶	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区A3・64号道路 硬化面1直上	数枚が重なって錆ついている
	127	鉄器	和釘	長さ10.1 幅1.4 厚さ1.4	4/5	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区TU8.9・64号 道路硬化面10	
	128	石製品	基石	長さ2.1 幅1.8 厚さ0.6	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区NOP7.8.9・64 号道路硬化面1-2間	
	129	陶器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区I12・183号溝 埋土3	
	130	陶器	播鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区J12・183号溝 埋土3	
	131	石器	砥石	長さ5.6 幅3.1 厚さ2.5	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区H12・183号溝 埋土2	重量44.2g
	132	須恵器	高坏	口径 底径 器高	坏部のみ	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区U9・217号溝	
	133	石器	敲石	長さ11.4 幅9.5 厚さ2.4	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区U1・107号土 坑石2	重量259g
	134	土師器	高坏	口径 底径 器高	1/3	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区R13・159号溝 鉄分より上層	
	135	石器	台石	長さ9.0 幅5.9 厚さ7.2	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区P12・167号溝 No10	重量590g
	136	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区v10.11・276号 道路硬化面1-2間	赤色顔料付着
	137	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区v14・276号道 路硬化面1-2間	黒色土器A類
	138	土師器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区v10・276号道 路	赤色顔料付着
	139	石器	石斧	長さ6.8 幅7.4 厚さ1.4	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区v10.11・276号 道路清掃一括	重量92.5g
	140	石製品	搔器	長さ5.1 幅4.5 厚さ1.7	1/3	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区v14攪乱一括	重量40.2g
	141	磁器	皿	口径9.4 底径5.3 器高1.8	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	II区攪乱	見込みに「大学」の文字
	142	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区L10攪乱	穿孔
	143	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/4	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区O7.8包含層掘 削	外面にヘラ記号
	144	磁器	吸呑み	口径3.6 底径4.5 器高5.1	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区S2.3.4攪乱	全長12.3cm
	145	土製品	土人形	長さ10.1 幅8.1 厚さ7.5	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区K3攪乱	大黒様型
	146	ガラス製品	インク瓶	口径2.0 底径4.4 器高4.0	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区S2.3.4攪乱	
	147	ガラス製品	薬瓶	口径2.8 底径8.1 器高19.4	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区S2.3.4攪乱	側面に「縣立熊本病院」
	148	ガラス製品	ガラス瓶	口径2.3 底径4.8 器高20.4	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	I区S2攪乱	ソース瓶

## (6) 111号溝内堆積物の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

熊本市に所在する本庄遺跡は、町田ほか編（2001）による地形分類図に従えば、熊本平野北部を流下する白川の下流域左岸に広がる自然堤防上に位置する。発掘調査では、古墳時代5世紀頃の遺構とされる溝状遺構が検出されている。溝状遺構内に堆積する土層には、火山灰（テフラ）と考えられる堆積層やマンガンの沈着したような黒色土層が確認されたことから、これらを分析することにより、溝の年代や溝内の環境に関わる情報を獲得し、溝状遺構の資料を作成する。

## ① 試料

試料は、本庄遺跡の1708地区で検出された111号溝とされた溝状遺構を埋積する土層より採取された。溝は幅1.3m、深さ0.6mほどであり、埋積土層は、発掘調査所見により埋土①～埋土⑮までの分層がなされている。これらのうち、埋積土層の下部の埋土⑫は、淡桃色を呈し、粘性がなく、部分的に固結した碎屑物を含むテフラの可能性のあるシルト質の堆積層であり、その下位の埋土⑬は黒色を呈するマンガンの沈着したようなシルト質の土層である。さらに埋土⑫の直上に堆積する暗褐色の極細砂層は埋土⑪とされた。

本分析では、埋土⑫を対象としてテフラの検出同定およびX線回折分析を行い、それがテフラに由来する堆積物であるかどうかを検証する。また、埋土⑬については、土壤化学分析を行うことにより、炭素やマンガンの含量を確認し、黒色の由来を検討する。さらに、埋土⑪の珪藻分析を行い、溝が機能していた頃の溝内の環境を推定し、溝の性格に係る資料とする。

## ② 分析方法

## (1) テフラの検出同定

試料約20gを蒸発皿に取り、水を加え泥水にした状態で超音波洗浄装置により粒子を分散し、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより得られた砂分を乾燥させた後、実体顕微鏡下にて観察する。観察は、テフラの本質物質であるスコリア・火山ガラス・軽石を対象とし、その特徴や含有量の多少を定性的に調べる。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

## (2) X線回折分析

試料は恒温乾燥器において60℃程度で12時間以上乾燥させた後、メノウ乳鉢を用いて磨砕し、粉末試料とする。粉末試料は、X線回折用の無反射板上に塗布し、不定方位試料とする。作成した不定方位試料をX線回折測定装置によって以下の条件で測定する。

装置：理学電気製 MultiFlex	Divergency Slit：1°
Target：Cu（Ka）	Scattering Slit：1°
Monochrometer：湾曲 Graphite	Recieving Slit：0.3mm
Voltage：40KV	Scanning Speed：2° /min
Current：40mA	Scanning Mode：連続法
Detector：SC	Sampling Range：0.02°

Calculation Mode : cps

Scanning Range : 2~61°

試験結果の同定解析は、測定回折線の主要ピークと回折角度から原子面間隔および相対強度を計算し、それに該当する化合物または鉱物を、JCPDS (Joint Committee on Powder Diffraction Standards) の PDF (Powder Data File) をデータベースとした X 線粉末回折線解析プログラム JADE により検索し、同定した。

### (3) 土壌化学分析

本分析では、試料の黒色部の由来を検討するために、全炭素、全窒素、全マンガンの分析を行うこととする。全炭素・全窒素は乾式燃焼法、全マンガンはフッ化水素酸分解-原子吸光法 (土壌標準分析・測定法委員会, 1986) に従う。以下に各項目の操作工程を示す。

#### 1) 分析試料の調製

試料を風乾後、土塊を軽く崩して2mmの篩でふるい分けをする。この篩通過試料を風乾細土試料とし、分析に供する。また、風乾細土試料の一部を乳鉢で粉碎し、0.5mm篩を全通させ、粉碎土試料を作成する。風乾細土試料については、105℃で4時間乾燥し、分析試料水分を求める。

#### 2) 全炭素・全窒素

粉碎土試料を0.1000g~2.0000gを石英ボートに秤量し、乾式燃焼法により全炭素・全窒素含量を測定する。使用装置は、ヤナコ分析工業製CNコーダーである。分析値及び加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりの全炭素量・全窒素量を (T-C・T-N 乾土%) 求める。さらに、全炭素量を全窒素量で除し、炭素率 (C/N) を求める。

#### 3) 全マンガン

微粉碎試料約0.50gをテフロンビーカーに精秤し、硝酸5mlおよび過塩素酸5mlを加え、時計皿で覆い、サンドバス上で有機物を分解する。過塩素酸の白煙が激しく出てきた後、過塩素酸5mlとフッ化水素酸10mlを加え、内容物を蒸発乾固させる。放冷後、6N-HCl5ml、硝酸1mlを加え加熱し、内容物を軽く溶解させた後、蒸留水30mlを加え、内容物を完全に溶解させる。放冷後、100mlに定容する。この定容液を適宜希釈し、原子吸光光度計によりマンガン (Mn) の濃度を測定する。測定値と加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりのマンガン (Mn%) の含量を求める。なお、結果は酸化物表示とする。

### (4) 珪藻分析

湿重約5gをビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を4~5回繰り返す。次に、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のプリュウラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

検鏡は、油浸600倍または1000倍で行い、メカニカルステージを用い任意に出現する珪藻化石が200個体以上になるまで同定・計数した。なお、原則として、珪藻殻が半分以上破損したものについては、誤同定を避けるため同定・計数は行わない。200個体が産出した後は、示準種等の重要な種類の見落としがないように、全体を精査し、含まれる種群すべてが把握できるように努める。

珪藻の同定と種の生態性については、Horst Lange-Bertalot (2000)、Hustedt (1930-1966)、Krammer and Lange-Bertalot (1985~1991)、Desikachary (1987)などを参考にする。群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃度に対する適応性により、海水生、海水~汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の3適応性についても生態

分類して表に示した。

堆積環境の変遷を考察するために珪藻化石が100個体以上産出した試料について珪藻化石群集組成図を作成した。出現率は化石総数を基数とした百分率で表し、基本的に1%以上（産出種数により変更）の産出率を示す分類群についてのみ表示した（図中の●印は、総数が100個体以上産出した試料うち1%未満の種を示し、+印は総数100個体未満の場合の産出を示す）。表示する分類群は、分析試料全体で産出率の合計が1%以上の分類群である。また、図中には、海水生・汽水生・淡水生種の相対頻度と淡水生種を基数とした塩分・pH・流水の相対頻度について図示した。

塩分に対する適応性とは、淡水中の塩類濃度の違いにより区分したもので、ある程度の塩分が含まれた方がよく生育する種類は好塩性種とし、少量の塩分が含まれていても生育できるものを不定性種、塩分が存在する水中では生育できないものを嫌塩性種として区分している。これは、主に水域の化学的な特性を知る手がかりとなるが、単に塩類濃度が高いか低いかといったことが分かるだけでなく、塩類濃度が高い水域というのは概して閉鎖水域であることが多いことから、景観を推定する上でも重要な要素である。

pHに対する適応性とは、アルカリ性の水域に特徴的に認められる種群を好アルカリ性種、逆に酸性水域に生育する種群を好酸性種、中性の水域に生育する種を不定性種としている。これも、単に水の酸性・アルカリ性のいずれかがわかるだけでなく、酸性の場合は湿地であることが多いなど、間接的には水域の状況を考察する上で必要不可欠である。

流水に対する適応性とは、流れのある水域の基物（岩石・大型の藻類・水生植物など）に付着生育する種群であり、特に常時、流れのあるような水域でなければ生育出来ない種群を好流水性種、逆に流れのない水域に生育する種群を好止水性種として区分している。流水不定は、どちらにでも生育できる可能性もあるが、それらの大半は止水域に多い種群である。なお、好流水性種と流水不定性種の多くは付着性種であるが、好止水性種には水塊中を浮遊生活する浮遊性種も存在する。浮遊性種は、池沼あるいは湖沼の環境を指標する。

なお、淡水生種の中には、水中から出て陸域の乾いた環境下でも生育する種群が存在し、これらを陸生珪藻と呼んで、水中で生育する種群と区分している。陸生珪藻は、陸域の乾いた環境を指標することから、古環境を推定する上で極めて重要な種群である。

### ③ 結果

#### (1) テフラの検出同定

処理後に得られた試料には、径2～20mmほどの固結した砂のブロックが多量に含まれる。固結したブロックは、赤褐色を呈する基質と砂分とからなり、実体顕微鏡下の観察から、鉄分を比較的多く含んだ碎屑物の風化変質により生じた粘土分が砂分を取り込んで固結したものと考えられる。

表4 テフラ分析結果

試料名	スコリア			火山ガラス	軽石	備考
	量	色調・発泡度	最大粒径	量	量	
埋土⑫	+++	B・b	0.8	-	-	斜長石鈹物粒中量、輝石類鈹物粒少量

凡例 - : 含まれない. (+) : きわめて微量. + : 微量. ++ : 少量. +++ : 中量. ++++ : 多量.  
 B : 黒色. Br : 褐色. GBr : 灰褐色. R : 赤色.  
 g : 良好. sg : やや良好. sb : やや不良. b : 不良. 最大粒径は mm.

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

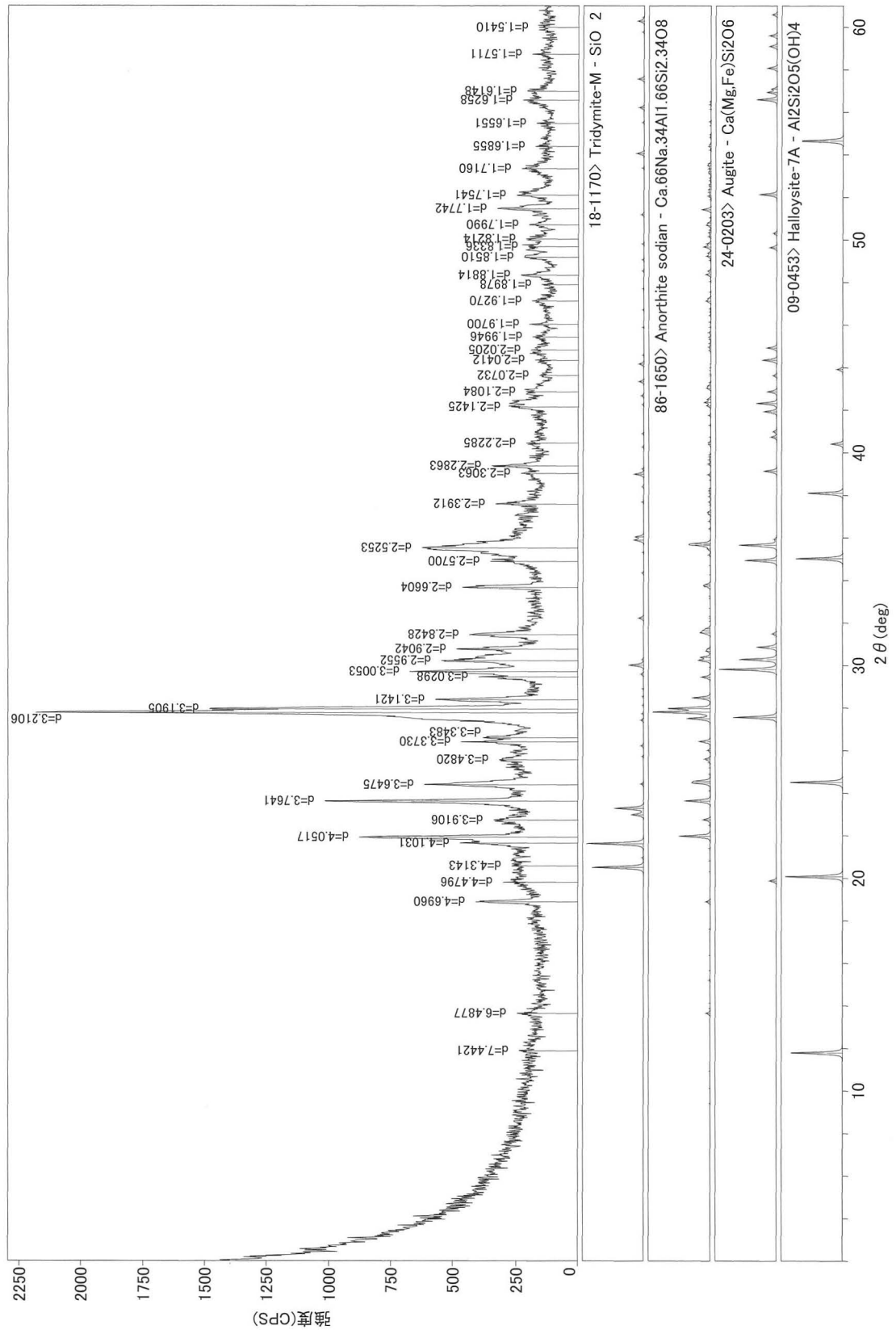


図61 埋土⑩の不定方位X線回折チャート

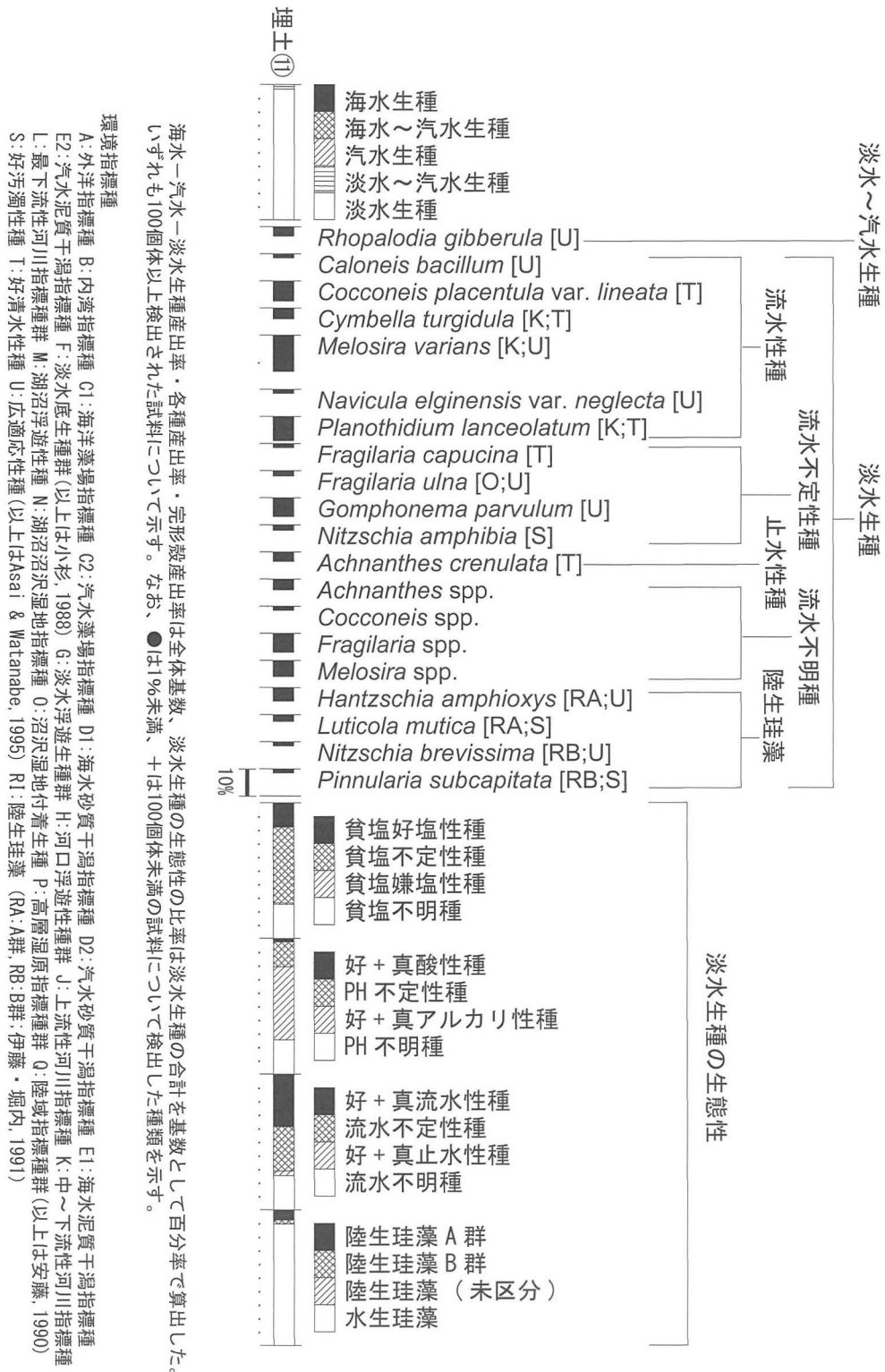


図 62 111号溝 B-B' 埋土 13 の主要珪藻化石群集組成

表5 土壌化学分析結果

試料名	土性	土色		全炭素	全窒素	C/N	MnO
				(%)	(%)		(%)
埋土⑬	SiCL	2.5Y2/1	黒	0.04	0.03	1	2.99

- (1) 土色：マンセル表色系に準じた新版標準土色帖（農林省農林水産技術会議監修，1967）による。  
 (2) 土性：土壌調査ハンドブック改訂版（ペドロロジー学会編，1997）の野外土性による。  
 SiCL・・・シルト質埴壤土（粘土15～25%、シルト45～85%、砂0～40%）  
 (3) C/N：全炭素/全窒素。  
 (4) MnO：全マンガン（フッ化水素酸分解による。表示は酸化物表示。）

ブロックに含まれない粗砂径以下の砂分の状況は表1に示す。中量のスコリアと多量の斜長石の鉱物片および少量の輝石類の鉱物片により構成される。スコリアは、最大径約0.8mmであり、黒色を呈し、発泡は不良であり、平滑な面に囲まれた多面体の外観を呈する。斜長石や輝石類の鉱物片は、比較的新鮮であり、自形を呈するものも多いことから、火山噴出物に由来すると考えられる。

## (2) X線回折分析

X線回折チャートを図1に示す。図中の最上段が試料の回折チャートであり、下段が同定された結晶性鉱物もしくは化合物の回折パターンである。検出鉱物の量比は、最強回折線の回折強度（cps）から、多量（>5000cps）、中量（2,500～5,000cps）、少量（500～2,500cps）、微量（250～500cps）およびきわめて微量（<250cps）という基準で判定した。以下の文中においては、回折チャートの同定に使用したPDFデータの鉱物名（英名）は括弧内に記している。

回折試験の結果、少量の斜長石（anorthite）、微量の単斜輝石（augite）およびきわめて微量のトリディマイト（tridymite）・7Å型ハロイサイト（halloysite-7A）が検出された。斜長石は、尖度の高い明瞭な回折線が多数認められる。単斜輝石は、3.01Å（2θ：29.7°）、2.90Å（2θ：30.8°）などに弱い回折線を示す。粘土鉱物のハロイサイトは、4.48Å（2θ：20°）付近や、2.57Å（2θ：35°）付近においてブロードで非対称な回折線を示す。

## (3) 土壌化学分析

理化学分析結果を表2に示す。土色は2.5Y2/1黒色である。野外土性（ペドロロジー学会編，1997）はSiCL（シルト質埴壤土）である。全炭素は0.04%、全窒素は0.03%と少なく、C/N比は1である。全マンガンは2.99%と多い。

## (4) 珪藻分析

分析結果を表3、図2に示す。埋土⑬からは200個体以上産出した。保存状態は、壊れた殻が多く、一部の殻に溶解の痕跡が認められるため、不良～極不良である。産出した分類群は、淡水生種を主にし、淡水～汽水生種を伴う種群で構成される。本試料の淡水生の群集の特徴について、生態性を整理してみた場合、以下のような傾向が認められる。まず、塩分に対する適応性は、全体的に貧塩不定性種が優先する。次に、pHに対する適応性は、アルカリ性種が優先する。流水に対する適応性は、流水性種および流水不明性種が、それぞれ40%と30%程度産出する。また、本試料は水生珪藻が優先し、陸生珪藻は10%程度産出する。特徴的に産出した種は、淡水～汽水生種の *Rhopalodia gibberula*、淡水生種で流水性種の *Cocconeis placentula* var. *lineata*、*Melosira varians*、*Planthidium lanceolatum*、淡水生種で流水不明種の *Gomphonema parvulum* 等である。

## ④ 考察

### (1) 淡桃色層について



表6 珪藻分析結果

種 類	生態性			環境 指標種	HJH 1708 M111 埋土①
	塩分	pH	流水		
<i>Rhopalodia gibberula</i> (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	7
<i>Achnanthes crenulata</i> Grunow	Ogh-ind	al-bi	l-ph	T	7
<i>Achnanthes japonica</i> H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	r-bi	J,T	1
<i>Achnanthes</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		8
<i>Amphora ovalis</i> var. <i>affinis</i> (Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	2
<i>Caloneis bacillum</i> (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	3
<i>Caloneis silicula</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O	2
<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>euglypta</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	1
<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>lineata</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	15
<i>Cocconeis</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		3
<i>Cymbella tumida</i> (Breb. ex Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	1
<i>Cymbella turgidula</i> Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	K,T	8
<i>Cymbella</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
<i>Diploneis parma</i> Cleve	Ogh-ind	ind	ind	O	1
<i>Diploneis</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		1
<i>Epithemia</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
<i>Eunotia pectinalis</i> (Dillwyn) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O,T	1
<i>Eunotia</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		1
<i>Fragilaria capucina</i> Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	3
<i>Fragilaria ulna</i> (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	4
<i>Fragilaria</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		14
<i>Gomphonema parvulum</i> (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	14
<i>Gomphonema</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
<i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	10
<i>Luticola mutica</i> (Kuetz.) D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	5
<i>Melosira varians</i> C.Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K,U	27
<i>Melosira</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		12
<i>Navicula cryptotenella</i> Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	T	2
<i>Navicula elginensis</i> var. <i>neglecta</i> (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	3
<i>Nitzschia amphibia</i> Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	4
<i>Nitzschia brevissima</i> Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	3
<i>Nitzschia</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
<i>Pinnularia gibba</i> var. <i>linearis</i> Hustedt	Ogh-hob	ac-il	ind	O	1
<i>Pinnularia subcapitata</i> Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	3
<i>Planothidium lanceolatum</i> (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	18
<i>Rhoicosphenia abbreviata</i> (Ag.) Lang-Bertalot	Ogh-hil	al-il	r-ph	K,T	2
<i>Rhopalodia gibba</i> (Ehr.) Mueller	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	1
<i>Sellaphora pupula</i> (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S,U	2
<i>Sellaphora</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
<i>Stauroneis</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		2
海水生種					0
海水～汽水生種					0
汽水生種					0
淡水～汽水生種					7
淡水生種					195
珪藻化石総数					202

凡例

塩分・pH・流水に対する適応性

H.R. : 塩分濃度に対する適応性

- Euh : 海水生種
- Euh-Meh : 海水生種 - 汽水生種
- Meh : 汽水生種
- Ogh-hil : 貧塩好塩性種
- Ogh-ind : 貧塩不定性種
- Ogh-hob : 貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk : 貧塩不明種

pH : 水素イオン濃度に対する適応性

- al-bi : 真アルカリ性種
- al-il : 好アルカリ性種
- ind : pH不定性種
- ac-il : 好酸性種
- ac-bi : 真酸性種
- unk : pH不明種

C.R. : 流水に対する適応性

- l-bi : 真止水性種
- l-ph : 好止水性種
- ind : 流水不定性種
- r-ph : 好流水性種
- r-bi : 真流水性種
- unk : 流水不明種

環境指標種

- A : 外洋指標種 B : 内湾指標種 C1 : 海水藻場指標種 C2 : 汽水藻場指標種
- D1 : 海水砂質干潟指標種 D2 : 汽水砂質干潟指標種
- E1 : 海水泥質干潟指標種 E2 : 汽水泥質干潟指標種 F : 淡水底生種群 (以上は小杉, 1988)
- G : 淡水浮遊性種群 H : 河口浮遊性種群 J : 上流性河川指標種 K : 中～下流性河川指標種
- L : 最下流性河川指標種群 M : 湖沼浮遊性種 N : 湖沼沼沢湿地指標種 O : 沼沢湿地付着生種
- P : 高層湿原指標種群 Q : 陸域指標種群 (以上は安藤, 1990)
- S : 好汚濁性種 U : 広適応性種 T : 好清水性種 (以上は Asai and Watanabe, 1995)
- R : 陸生珪藻 (RA : A 群, RB : B 群, RI : 未区分、伊藤・堀内, 1991)

砂分を構成する主要な碎屑物は、スコリアと斜長石および輝石類の鉱物片である。これらは、いずれも火山噴出物の本質物質であることから、淡桃色層は、溝内に降下堆積したテフラが残存した堆積物である可能性が高いと考えられる。

スコリアの多面体を呈する特徴 (小野ほか, 1995) と本庄遺跡の地理的位置および溝状遺構の年代が古墳時代とされる発掘調査所見から、テフラは完新世に噴出した阿蘇火山中央火口丘群を給源とするテフラに同定される。宮縁 (2015) は、鬼界アカホヤテフラ (K-Ah: 町田・新井, 1978) 以降の阿蘇火山中央火口丘群を給源とする主要なテフラとして、暦年代で (以下同様) 1500年前に噴出したとされる中岳 N2スコリア、3600年前の往生岳スコリア、4000年前の杵島岳スコリア、4100年前の阿蘇中央火口丘第 1 軽石をあげている。これらの記載と溝状遺構の年代を 5 世紀頃とする発掘調査所見を考慮すれば、埋土⑫とされた淡桃色層は、中岳 N2スコリアの降下堆積物に対比される可能性が高いと考えられる。

なお、埋土⑫が淡桃色という色調を呈することについては、X 線回折分析により粘土鉱物のハロイサイトが検出されていることと固結したブロック状の碎屑物を多く含むことを考慮すると、スコリア質テフラが溝内で堆積した後に風化変質により粘土化したことが原因であると考えられる。

## (2) 黒色層について

今回の分析結果から、黒色層については、土壌における黒色の色調の大きな要因の一つである炭素含量が少なく、炭素率も低いことに加え、全マンガンが特徴的に多いことが挙げられる。よって、植物成分の少ない土壌であると判断され、黒色の要因はマンガンによるものであると考えられる。

一般には土壌中のマンガンは水酸化物として沈殿物を形成する (松井, 1988) ことから、マンガン層の形成は、おそらく溝埋積土層中における水分の影響を示唆している可能性があると考えられる。このことは、後述する珪藻分析結果とも調和する。

## (3) 溝内環境について

埋土⑪から特徴的に産出した種は、淡水～汽水生種の *Rhopalodia gibberula*、淡水生種で流水性種の *Cocconeis placentula* var. *lineata*、*Melosira varians*、*Planothidium lanceolatum*、淡水生種で流水不明種の *Gomphonema parvulum* 等である。これらのうち、淡水～汽水生種の *Rhopalodia gibberula* は、Cholnoky (1968) によれば、高 pH の水域を好むとしている。本種は、基本的には淡水生種と考えられるため、海域には生育できないと思われるが、塩分に対しては、他の種群にくらべて耐性が高いため、沿岸部の海水の影響が及ぶような塩分濃度の高くなる後背湿地をはじめ、湿地や河岸などで、水が停滞することの多い場所 (淀み) などの水中の塩類濃度の高い水域にも特徴的に認められる。流水性種の *Cocconeis placentula* var. *lineata* は、河川等の流水域の基物 (礫等) に大型の藻類と共に付着生育する種である。Asai and Watanebe (1995) は、清浄な水域に生育する種であることから、好清水性種としている。同じく、流水性種の *Melosira varians*、*Planothidium lanceolatum* は、河川等の流水域に生育する種であり、中～下流河川指標種群と呼ばれる (安藤, 1990)。中～下流河川指標種群は、河川の中～下流部、すなわち、河川沿いに河成段丘、扇状地、自然堤防および後背湿地といった地形がみられる地域に集中して出現し、他の地域には出現せず、出現しても主要でないことから、この地域を指標する可能性が大きい種群とされる。流水不定性種の *Gomphonema parvulum* は、流水に対して不定なだけでなく、塩分濃度や pH に対しても不定であり、極めて高い適応能力を持ち、さまざまな水域に認められる。そのため、Asai and Watanabe (1995) は、広域適応種としている。ただし、実際には、流水域に多産することが多く認められることから、以前は流水性種に含められていた種である。

以上述べた産出種の生態性と群集の特徴から、堆積時の環境は以下のように推定される。流水性を示す種が特徴的に複数種産出していること、また、やや pH の高い水域に生息する種が産出したことから、埋土①の堆積時の環境は、やや塩濃度の高い流水域であったと考えられる。

#### (引用・参考文献)

- 安藤一男, 1990, 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, 42, 73-88.
- Asai Kazumi & Watanabe Toshiharu, 1995, Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa. Diatom, 10, 35-47.
- Cholnoky, B. J., 1968, Die Oekologie der Diatomeen in Binnengewässern. p.699. Lehre (Cramer).
- Desikachary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, 1-13, Plates, 401-621.
- 土壤標準分析・測定法委員会編, 1986, 土壤標準分析・測定法. 博友社, 354p.
- Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.
- Hustedt, F., 1937-1938, Systematische und ökologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. I ~ III. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.
- Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.
- Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.
- 伊藤良永・堀内誠示, 1989, 古環境解析からみた陸生珪藻の検討 - 陸生珪藻の細分 -. 日本珪藻学会第10回大会講演要旨集, 17.
- 伊藤良永・堀内誠示, 1991, 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用. 日本珪藻学誌, 6, 23-44.
- 小杉正人, 1988, 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 第四紀研究, 27, 1-20.
- Krammer, K. & Lange-Bertalot H., 1985, Naviculaceae. Bibliotheca Diatomologica, vol. 9, p.250.
- Krammer, K. & Lange-Bertalot H., 1986, Bacillariophyceae, Süsswasser flora von Mitteleuropa, 2(1): 876p.
- Krammer, K. & Lange-Bertalot H., 1988, Bacillariophyceae, Süsswasser flora von Mitteleuropa 2(2): 596p.
- Krammer, K. & Lange-Bertalot H., 1990, Bacillariophyceae, Süsswasser flora von Mitteleuropa 2(3): 576p.

1. (医病) 基幹・環境整備 (旧管理棟等取壊し) 工事に伴う発掘調査 (1708調査地点)

Krammer, K. & Lange-Bertalot H., 1991a, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(4): 437p.

Lange-Bertalot, H., Witowski, A., Metzeltin, D., 2000, ICONOGRAPHIA DIATOMOLOGICA Annotated diatom micrographs. Diatom Flora of Marine Coasts, 1, 925p.

町田 洋・新井房夫, 1978, 南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラ-アカホヤ火山灰. 第四紀研究, 17, 143-163.

町田 洋・太田陽子・河名俊男・森脇 広・長岡信治 (編), 2001, 日本の地形7 九州・南西諸島, 東京大学出版会, 355p.

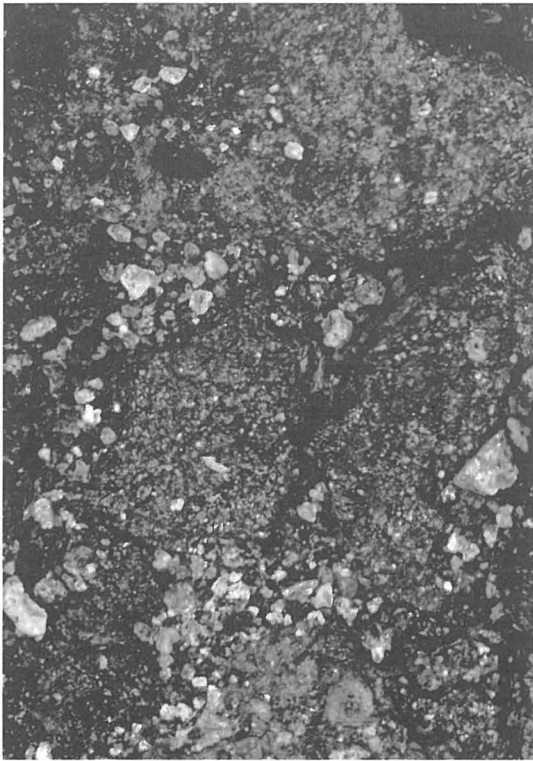
松井 健, 1988, 土壤地理学序説. 築地書館, 316p.

宮縁育夫, 2015, 火山灰噴出を主体とする火山周辺域における埋没土壌層の認定: 阿蘇火山での事例. 火山, 60, 173-180.

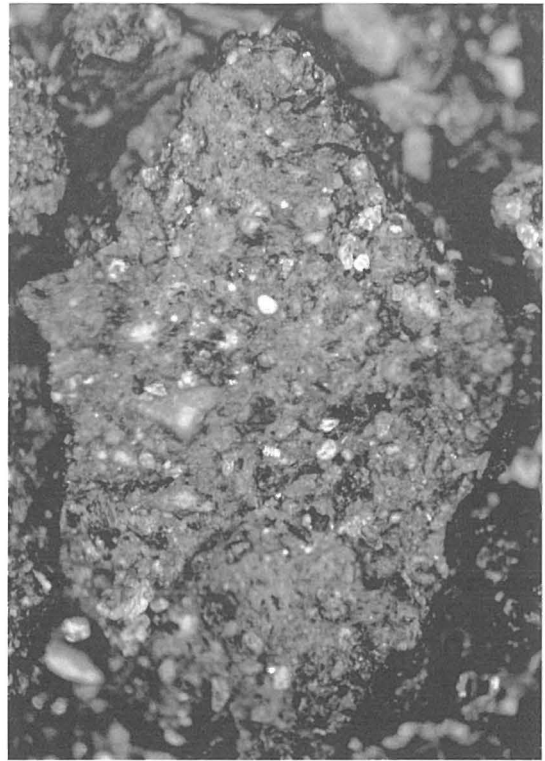
農林省農林水産技術会議事務局監修, 1967, 新版標準土色帖.

小野晃司・渡辺一徳・星住英夫・高田英樹・池辺伸一郎, 1995, 阿蘇火山中岳の灰噴火とその噴出物. 火山, 40, 133-151.

ペドロジー学会編, 1997, 土壤調査ハンドブック改訂版, 博友社.



1. 砂粒が癒着した固結ブロック (HJH 1708 M111;埋土⑫ 白色物質)



2. 固結ブロックの断面 (HJH 1708 M111;埋土⑫ 白色物質)



3. 砂粒の状況 (HJH 1708 M111;埋土⑫ 白色物質)

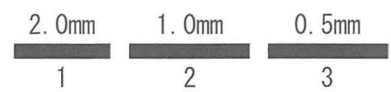
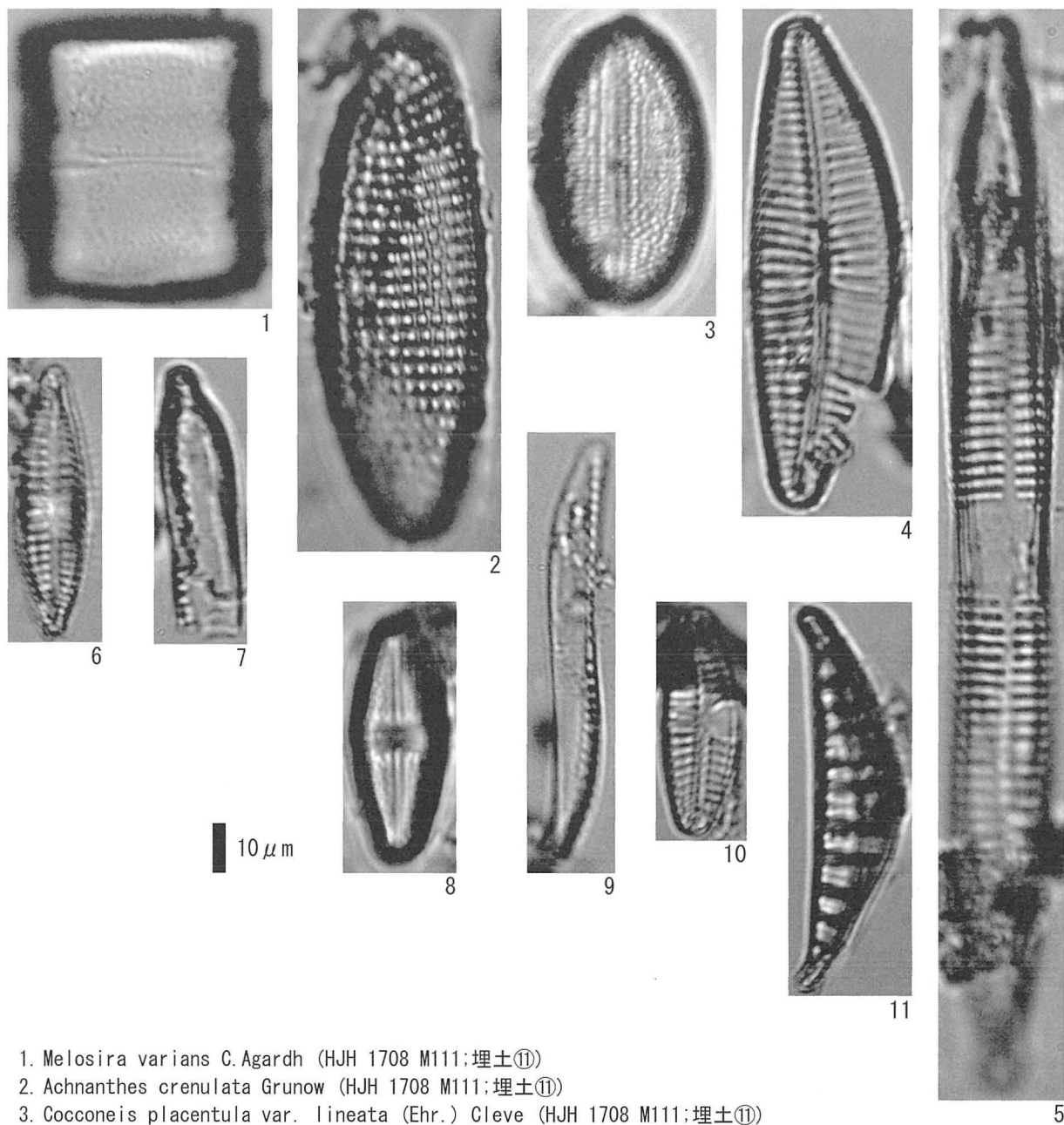


図 63 テフラ



1. *Melosira varians* C. Agardh (HJH 1708 M111; 埋土①)
2. *Achnanthes crenulata* Grunow (HJH 1708 M111; 埋土①)
3. *Cocconeis placentula* var. *lineata* (Ehr.) Cleve (HJH 1708 M111; 埋土①)
4. *Cymbella turgidula* Grunow (HJH 1708 M111; 埋土①)
5. *Fragilaria ulna* (Nitzsch) Lange-Bertalot (HJH 1708 M111; 埋土①)
6. *Gomphonema parvulum* (Kuetz.) Kuetzing (HJH 1708 M111; 埋土①)
7. *Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow (HJH 1708 M111; 埋土①)
8. *Luticola mutica* (Kuetz.) D. G. Mann (HJH 1708 M111; 埋土①)
9. *Nitzschia brevissima* Grunow (HJH 1708 M111; 埋土①)
10. *Planothidium lanceolatum* (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot (HJH 1708 M111; 埋土①)
11. *Rhopalodia gibberula* (Ehr.) Mueller (HJH 1708 M111; 埋土①)

図 64 珪藻化石

## Summary

In 1985, Kumamoto University planned a reconstruction of campus. But it was known that some of campus is designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Research Center for buried Cultural Properties in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at other areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of Science and faculty of Engineering (south area), faculty of Education, faculty of Law, and faculty of Letters (north area), and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta on a low terrace formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient posting-station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of Medicine, Kumamoto University hospital and institutes (north and middle area), school of Health Science (south area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site. School of Pharmacy and Oe athletic field (Toroku area) belong to Oe site. Kyomachi area where is constituted Elementary School and Junior High School Attached to faculty of Education is belong to Kyomachidai site. The site is located on the Kyomachi plateau, and is famous for as the site of Yayoi period.

The result of the No.1708 in Honjo North area where was investigated in the fiscal years 2017 to 2018 are published in this report. No.1708 is located slightly east from middle in Honjo North area. In a previous survey, we discovered the pit dwellings and ditch from Kofun period to Nara and Heian period from around these areas. So we expected that there will be remains what is good condition in this investigation too. In this investigation, we got the important result that discovering not only a lot of remains from Kofun period to Nara and Heian period but also the Large-scale road what used in Edo period to Modern period.

The section shape of discovered road was U-shaped, and about width 13m, depth 2.4m. This road was reworked many times, we could discover at least 10 road surface. We guess the road in this investigated area became unusable in 1987. Because we discovered the ceremony cup writing "Celebration, Moving Commemoration Prefectural Kumamoto Hospital" from newest road surface. This road is possibly the old route of "Hyuga Highway", according to old drawing and literature.

## 概 要

1985年，熊本大学曾计划过现在校园的重建开发项目。然而得知校园内几个地区是被指定的地下文物的埋藏地。1994年，熊本大学作为考古研究机构迅速成立了文物保护研究所，在重建老朽化建筑物时，对校园地下进行挖掘调查。

大学有两个主要的校区。第一个是属于黑发町遗迹群的黑发校区。黑发校区由教育学部，法学部，文学部（北地区），工学部和理学部（南地区）组成。遗迹位于立田山的山脚下，在白川形成的低阶地位置，推断古代的车站「蚕养」站就是在这。

另一个是属于本庄遗迹群的本庄莊校区。本庄莊校区由熊本大学附属病院（北地区），熊本大学医学部（中地区），保健学科（南地区）组成。遗迹位于白川的低阶地上，与黑发町遗迹群类似。黑发町遗迹群和本庄遗迹直线距离相隔2公里。本庄遗迹的周围有大江遗迹群和新屋敷遗迹，都是巨大的古代村落遗迹。熊本大学的药学部和运动场（渡鹿地区）都属于大江遗迹群。教育学部附属小学校和中学校所在地京町地区属于京町台遗迹群。遗迹是位于京町台地上，作为弥生时代的遗迹非常有名。

本报告书记载了从2017年度调查的1708调查地的挖掘调查成果。1708调查地点位于本庄北地区的中央偏东侧，形成熊本平原的扇状地形的中央的白川的河岸堤防上。根据以往的调查，从周边到古坟时代，发现了古代的竖穴建筑和沟渠等。在本次的调查中，除了古坟时代、古代遗址以外，还发现了近代到近代使用的大规模道路遗址等，取得了重要的调查成果。被发现的道路遗址是断层面呈U字状的结构，宽约13m，深约2.4m的规模。道路曾被多次重建，并确认了有10条路面。根据从最终路面出土的“祝・县立熊本医院转移式”纪念碑，可以推测出用地内的道路是在1897年被选定为县立熊本医院的地方时不再使用的。将绘图和文字对照一看，道路是江户时代初期存在的旧的路线往返日向的可能性很大。



# 写 真 图 版



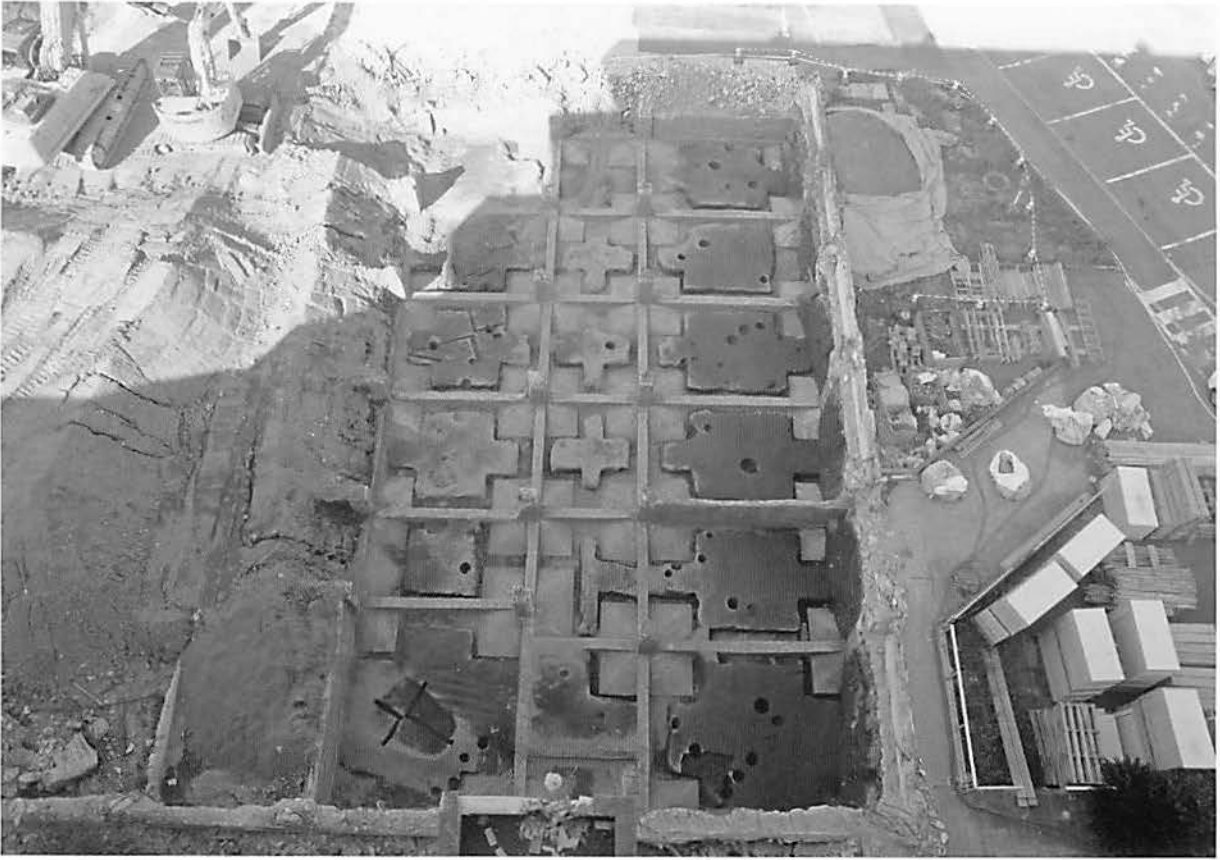


写真1 A～F-10～12グリッド掘削状況（西より）



写真2 A～E-1, AB-1～9グリッド掘削状況（西より）



写真3 N～S-1～4グリッド掘削状況（北東より）



写真4 C～E-0グリッド掘削状況（西より）



写真5 U-7~9グリッド掘削状況(東より)



写真6 J~N-13, 14グリッド掘削状況(東より)



写真7 N～P-8～10グリッド265, 264, 267, 183, 217号溝完掘状況(西より)



写真8 V-2グリッド東側調査区断面(西より)



写真9 J～N-14グリッド南側調査区断面（北西より）



写真10 v-14, 15グリッド掘削状況（西より）



写真11 u～z-10～12グリッド掘削状況（西より）



写真12 64号道路I区西側硬化面3波板状痕跡検出状況（東より）



写真13 64号道路I区西側硬化面3波板状痕跡K1～6完掘状況（東より）



写真14 64号道路I区西側硬化面4波板状痕跡K7～13完掘状況（東より）



写真15 64号道路I区西側硬化面5-b波板状痕跡K31(左)K32(右)遺物出土状況（東より）





写真16 64号道路I区西側硬化面5-c完掘状況(西より)



写真17 64号道路I区西側硬化面6完掘状況(東より)



写真18 64号道路I区西側硬化面7完掘状況(東より)



写真19 64号道路I区西側硬化面8完掘状況(西より)



写真20 64号道路I区西側ベルトA-A'土層断面(北西より)



写真21 64号道路I区西側東壁B-B'土層断面(未調査区)(東より)



写真22 64号道路I区東側硬化面1検出状況(東より)



写真23 64号道路I区東側硬化面2掘削状況(東より)



写真 24 64号道路I区東側硬化面2遺物出土状況(東より)



写真 25 64号道路I区東側硬化面3検出状況(西より)



写真 26 64号道路I区東側硬化面4検出状況(西より)



写真 27 64号道路I区東側硬化面5検出状況(西より)



写真 28 64号道路I区東側硬化面6検出状況(西より)



写真 29 64号道路I区東側硬化面7敷石検出状況(西より)



写真 30 64号道路I区東側硬化面8検出状況(西より)



写真 31 64号道路I区東側硬化面9検出状況(東より)



写真32 64号道路Ⅰ区東側硬化面10側溝検出状況(西より)



写真33 64号道路Ⅰ区東側硬化面10検出状況(西より)



写真34 64号道路Ⅰ区東側土層断面(Ⅰ区中央ベルトA-A)(西より)



写真35 64号道路Ⅱ区北側硬化面1検出状況(西より)



写真36 64号道路Ⅱ区北側硬化面2波板用痕跡K73検出状況(北東より)



写真37 64号道路Ⅱ区北側硬化面3検出状況(西より)



写真38 64号道路Ⅱ区北側硬化面4K79補修痕検出状況(南東より)



写真39 64号道路Ⅱ区北側硬化面4-2完掘状況(南より)



写真 40 183号道路HI-12 グリッド帯状硬化検出状況 (東より)



写真 41 183号道路II~P-8~10 グリッド路面2帯状硬化検出状況 (西より)



写真 42 183号道路TU-8~10 グリッド路面2検出状況 (西より)



写真 43 183号道路N~P-8~10 グリッド路面3検出状況 (東より)



写真 44 183号道路TU-8~10 グリッド路面3P12~15 検出状況 (東より)



写真 45 234号土坑獣骨出土状況 (西より)



写真 46 184号溝L-10 グリッド完掘状況 (北東より)



写真 47 217号道路Q~S-10 グリッド完掘状況 (西より)



写真 48 187号溝土層断面（南より）



写真 49 187号溝上部K-12グリッド完掘状況（南東より）



写真 50 187号溝K-12グリッド完掘状況（南東より）



写真 51 102号溝TU-3グリッド硬化面検出状況（北より）



写真 52 102号溝完掘状況（北より）



写真 53 56号溝F~I-1~3グリッド完掘状況（南西より）



写真 54 315号溝完掘状況（東より）



写真 55 107号土坑獣骨出土状況（南西より）



写真 56 43号竖穴建物硬化面検出状況（西より）



写真 57 44号竖穴建物完掘状況（西より）



写真 58 186号竖穴建物硬化面検出状況（南より）



写真 59 169号竖穴建物竈土層断面（北東より）



写真 60 169号竖穴建物硬化面検出状況（南より）



写真 61 169号竖穴建物竈支柱掘方検出状況（南より）



写真 62 11号竖穴建物完掘状況（西より）



写真 63 65号竖穴建物残存状況（南より）



写真 64 71号竖穴建物硬化面検出状況（南西より）



写真 65 213号竖穴建物硬化面検出状況（北より）

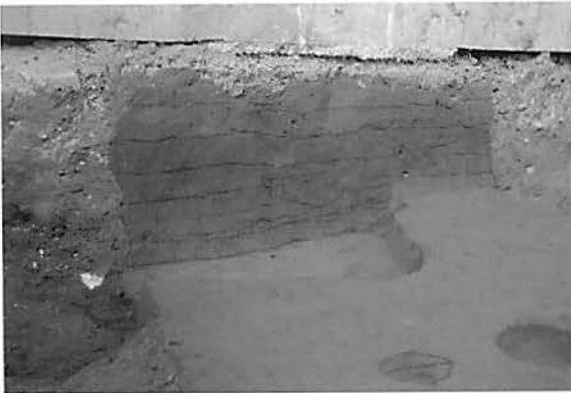


写真 66 226号竖穴建物完掘状況（南より）



写真 67 247・254号竖穴建物残存状況（北西より）



写真 68 311号竖穴建物完掘状況（北より）



写真 69 277号竖穴建物硬化面検出状況（北西より）



写真 70 276号道路硬化面1検出状況（北より）



写真 71 276号道路硬化面2検出状況（東より）



写真 72 276号道路硬化面3検出状況（北より）



写真 73 159号溝鉄分・マンガン層検出状況（北西より）



写真 74 159号溝土層断面（北より）



写真 75 163号溝土層断面（南より）



写真 76 163号溝P-12グリッド鉄分・マンガン層検出状況（南西より）



写真 77 167号溝P-12グリッド遺物出土状況（南東より）



写真 78 210号溝完掘状況（北より）



写真 79 323号溝完掘状況（南西より）





写真 80 218号溝K1～4完掘状況(西より)



写真 81 111号溝土層断面(南西より)



写真 82 111号溝Q-3グリッド白色埋土内遺物出土状況(南より)

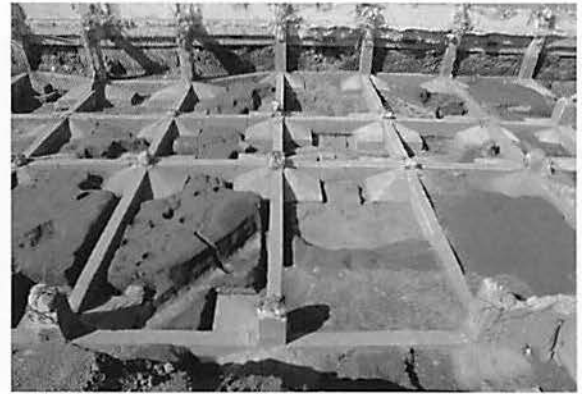


写真 83 111号溝Q-S-1～3グリッド鉄分・マンガン層検出状況(南より)



写真 84 111号溝J-12グリッド白色土検出状況(南西より)



写真 85 111号溝J-12グリッド鉄分・マンガン層検出状況(東より)



写真 86 170号土坑墓木棺木枠検出状況(南より)



写真 87 170号土坑墓完掘状況(南より)



写真 88 214・215号土坑墓完掘状況（北より）



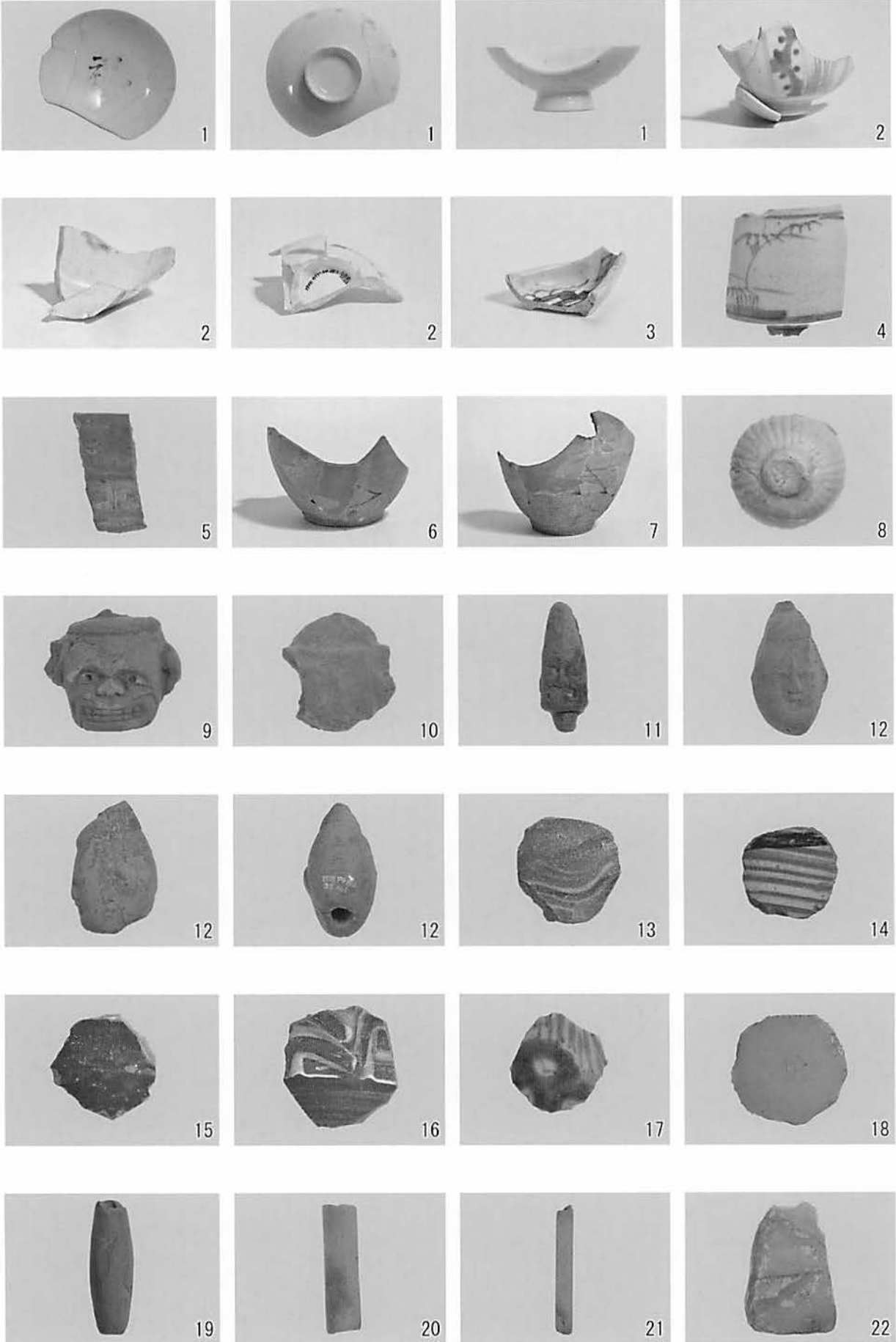
写真 89 219号土坑墓完掘状況（北東より）

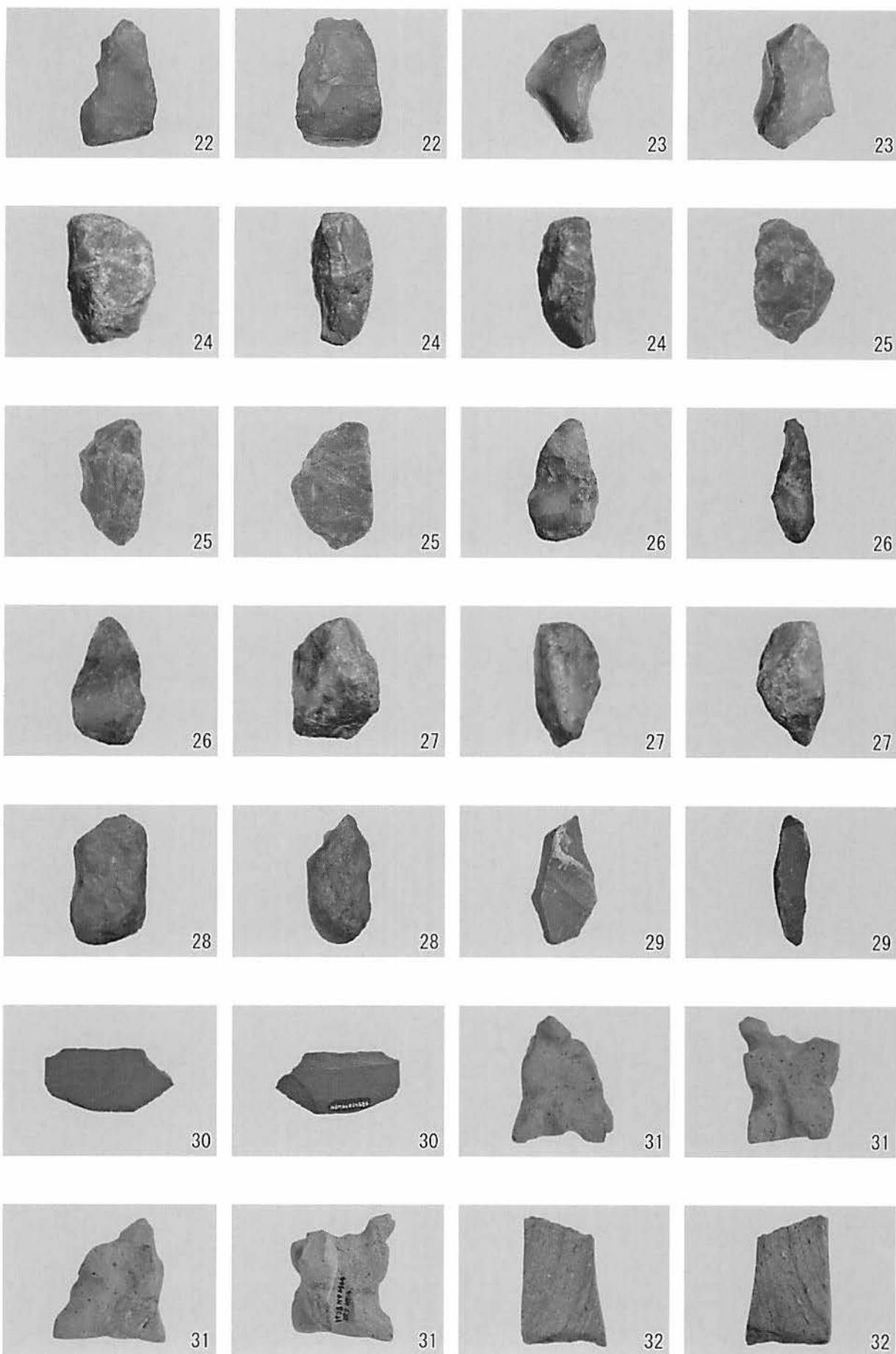


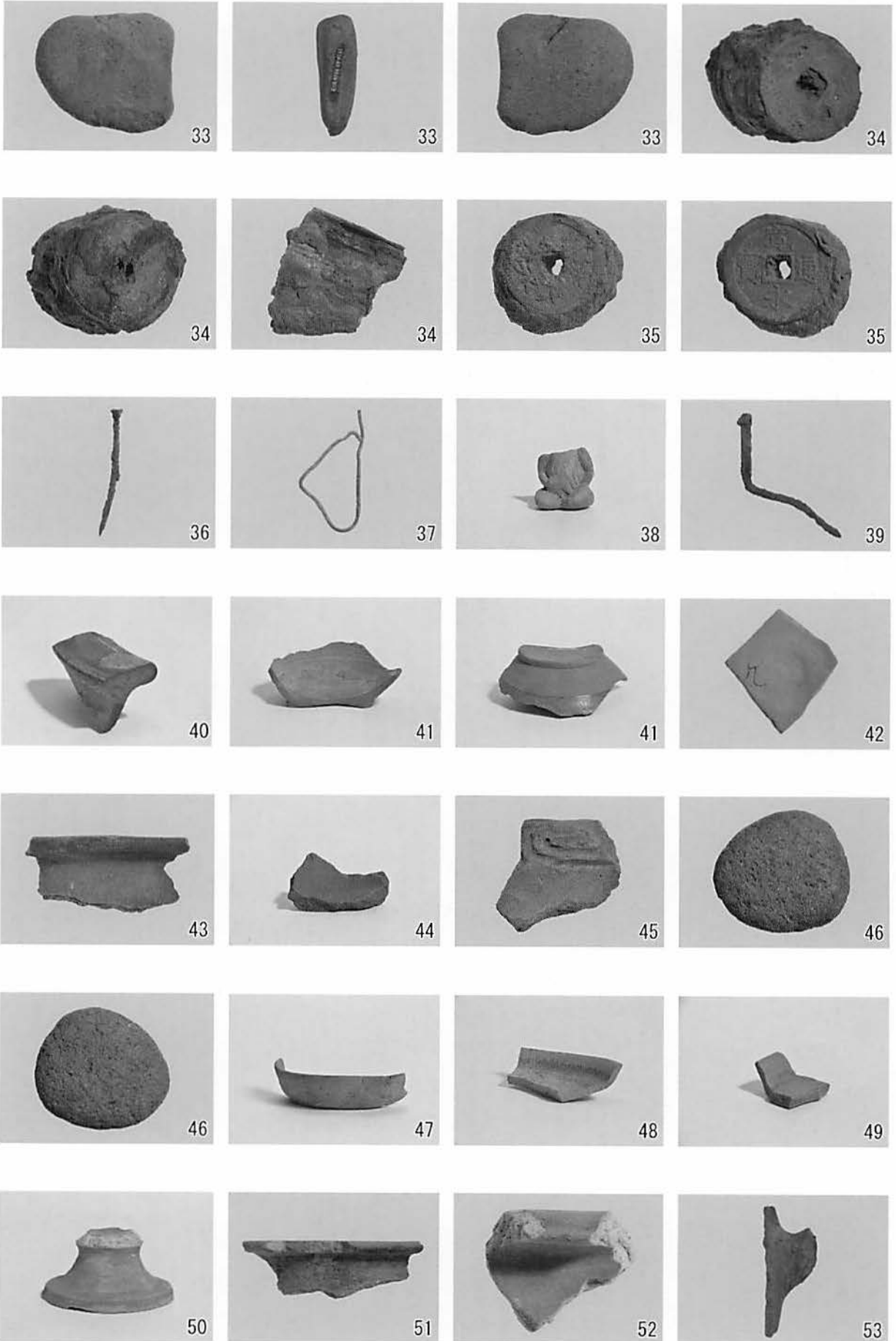
写真 90 192・193・196号土坑完掘状況（南より）

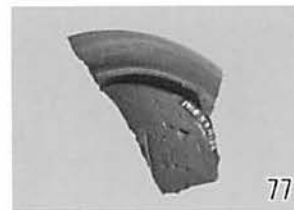
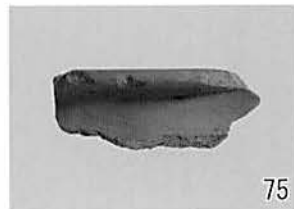


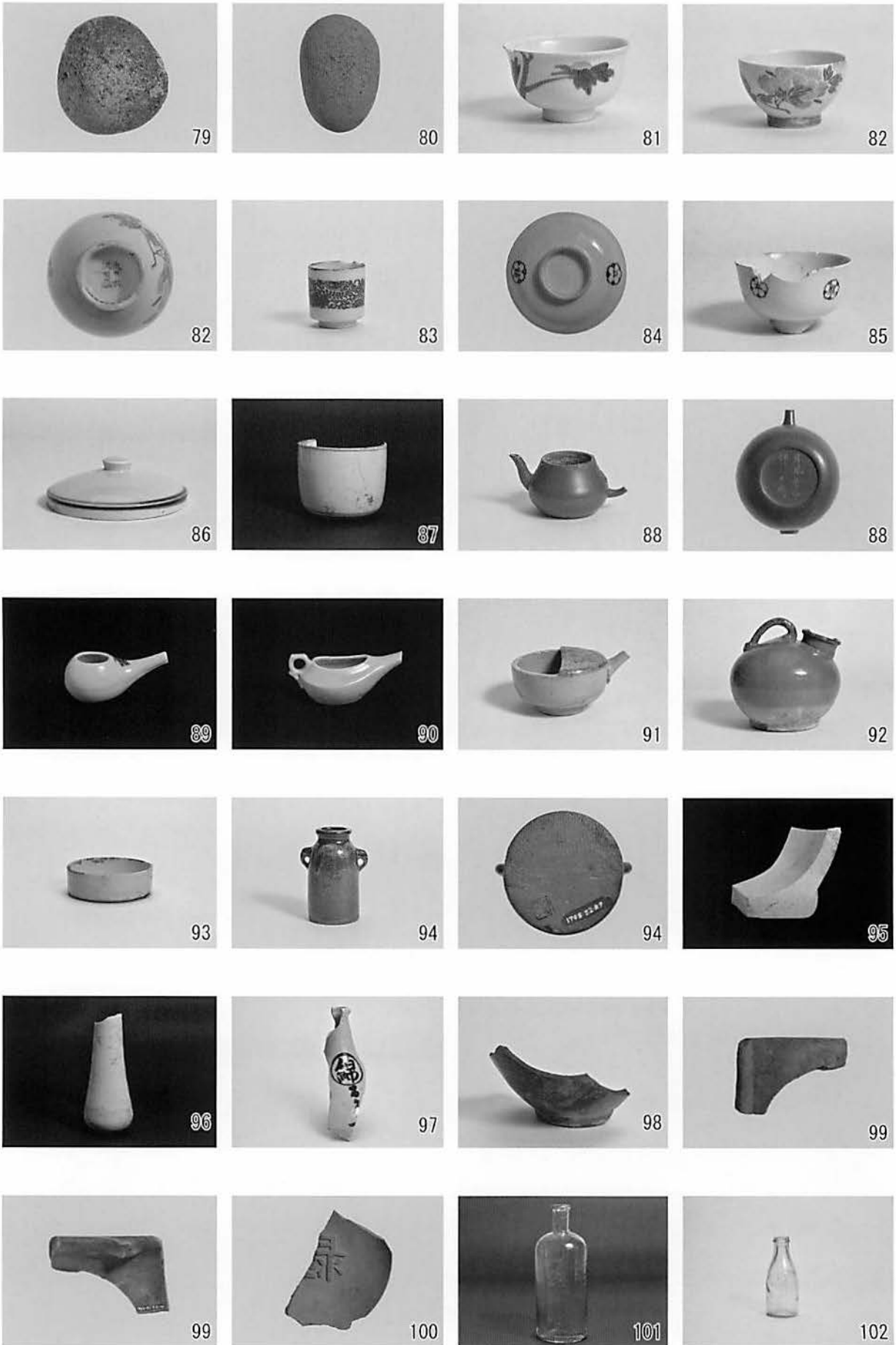
写真 91 313号ピット内獣骨出土状況（北より）

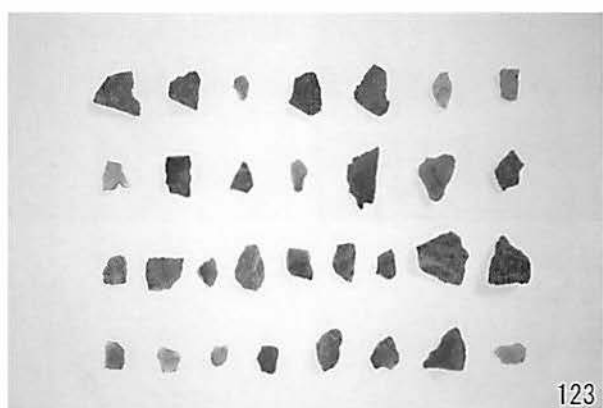
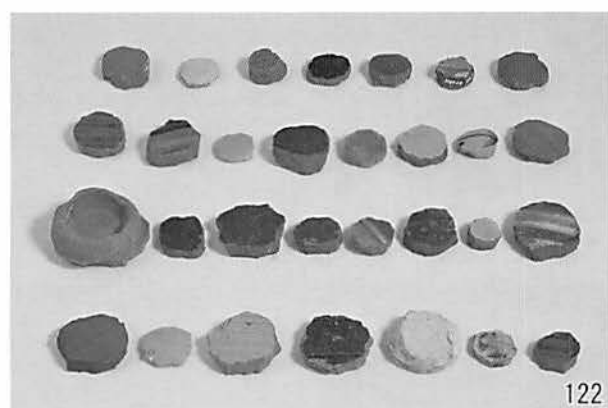
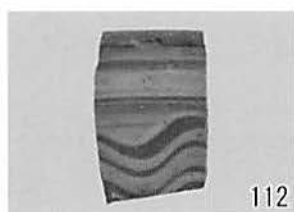
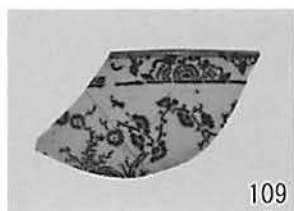




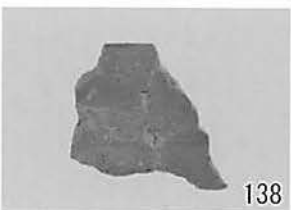
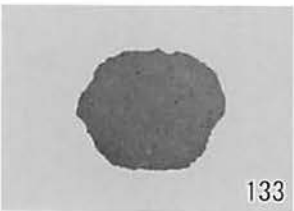
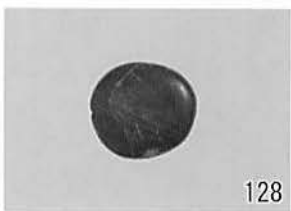
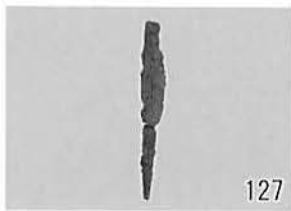
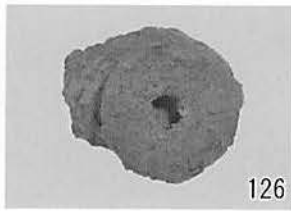
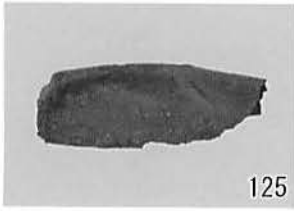














報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはくつちょうさほうこく15							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告15							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	15							
編著者名	吉留 広、山野 ケン陽次郎、バリノ・サーヴェイ株式会社							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2020年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほんじょう 本庄遺跡 (1708地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 45"	130° 42' 44"	20170703 ～ 20180719	7681.2㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
本庄遺跡 (1708地点)	集落址	古代・近世・近代		道路・竪穴建物・溝・ピット		土師器、須恵器、陶磁器、瓦器、ガラス瓶、泥面子、破片面子、砥石、火打石、寛永通宝、鉄器		旧ルートの「日向往還」の道路遺構
要約	<p>本報告書では2017・2018年度に調査された1708調査地点の発掘調査成果を掲載した。1708調査地点は本庄北地区の中央よりやや東側、熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する。従来の調査では、周辺から古墳時代、古代の竪穴建物や溝などが見つかった。今回の調査では古墳時代、古代の遺構のほか、近世～近代に使用されていた大規模な道路遺構が発見されるなど、重要な調査成果を得た。</p> <p>発見された道路遺構は断面U字状の切通しの構造をしており、幅約13mで深さ約2.4mの規模であった。道路は何度も造り作り直されており10枚の路面が確認された。最終路面より「祝・県□□熊本病院移転式」と描かれた記念盃が出土したことにより、敷地内の道路は1897年に県立熊本病院の敷地として選定された後に使われなくなったと推定される。絵図や文献と照合すると道路は江戸時代初期に存在した旧ルートの日向往還であった可能性が高い。</p>							

---

---

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第15集  
熊本大学構内遺跡発掘調査報告15  
(2017～2018年度：本荘北地区1708調査地点)

令和2年3月29日 印刷

令和2年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社

---

---







